今池小学校校舎改修第1期及び保全主体工事

図 面 リスト

意　匠			意　匠			意　匠					
図 番	図 面 名 称	縮 尺	図 番	図 面 名 称	縮 尺	図 番	図 面 名 称	縮 尺		図 面 名 称	縮 尺
A －00	表紙・図面リスト	N.S	A －36	階段2　展開図（改修前）	A1 1/50 A3 1/100	A －72	4階廊下（北棟）展開図(改修前)	A1 1/50 A3 1/100	＜機械設備工事＞		
01	建築改修工事特記仕様書1/10	N.S	37	階段2　展開図（改修後）	A1 1/50 A3 1/100	73	4階廊下（北棟）展開図(改修後)	A1 1/50 A3 1/100	M- 01	機械設備工事特記仕様書 1/9	N.S
02	建築改修工事特記仕様書2/10	N.S	38	階段3　平面詳細図・断面詳細図（改修前）	A1 1/10,50 A3 1/20,100	74	1階 天井伏図（改修前）	A1 1/200 A3 1/400	02	機械設備工事特記仕様書 2/9	N.S
03	建築改修工事特記仕様書3/10	N.S	39	階段3　平面詳細図・断面詳細図（改修後）	A1 1/10,50 A3 1/20,100	75	1階 天井伏図（改修後）	A1 1/200 A3 1/400	03	機械設備工事特記仕様書 3/9	N.S
04	建築改修工事特記仕様書4/10	N.S	40	階段3　展開図（改修前）	A1 1/50 A3 1/100	76	2階 天井伏図（改修前）	A1 1/200 A3 1/400	04	機械設備工事特記仕様書 4/9	N.S
05	建築改修工事特記仕様書5/10	N.S	41	階段3　展開図（改修後）	A1 1/50 A3 1/100	77	2階 天井伏図（改修後）	A1 1/200 A3 1/400	05	機械設備工事特記仕様書 5/9	N.S
06	建築改修工事特記仕様書6/10	N.S	42	階段4　平面詳細図・断面詳細図（改修前）	A1 1/10,50 A3 1/20,100	78	3階 天井伏図（改修前）	A1 1/200 A3 1/400	06	機械設備工事特記仕様書 6/9	N.S
07	建築改修工事特記仕様書7/10	N.S	43	階段4　平面詳細図・断面詳細図（改修後）	A1 1/10,50 A3 1/20,100	79	3階 天井伏図（改修後）	A1 1/200 A3 1/400	07	機械設備工事特記仕様書 7/9	N.S
08	建築改修工事特記仕様書8/10	N.S	44	階段4　展開図（改修前）	A1 1/50 A3 1/100	80	4階 天井伏図（改修前）	A1 1/200 A3 1/400	08	機械設備工事特記仕様書 8/9	N.S
09	建築改修工事特記仕様書9/10	N.S	45	階段4　展開図（改修後）	A1 1/50 A3 1/100	81	4階 天井伏図（改修後）	A1 1/200 A3 1/400	09	機械設備工事特記仕様書 9/9	N.S
10	建築改修工事特記仕様書10/10	N.S	46	普通教室(A-type) 平面詳細図・展開図(改修前後)	A1 1/50 A3 1/100	82	建具表（1）	A1 1/50 A3 1/100	10	配置図、案内図、工事概要	1/300
11	案内図、配置図、工事概要	A1 1/300,2500 A3 1/600,5000	47	普通教室(B-type) 平面詳細図・展開図(改修前後)	A1 1/50 A3 1/100	83	建具表（2）	A1 1/50 A3 1/100	11	衛生設備　職員玄関　平面詳細図（改修前後）	1/50
12	外部仕上表	N.S	48	普通教室(C-type) 平面詳細図・展開図(改修前後)	A1 1/50 A3 1/100	84	建具表（3）	A1 1/50 A3 1/100	12	空調設備　系統図・凡例（改修前）	N.S
13	内部仕上表（1）	N.S	49	職員玄関 平面詳細図・展開図・断面図(改修前)	A1 1/30,50 A3 1/60,100	85	建具表（4）	A1 1/50 A3 1/100	13	空調設備　2階平面図（改修前）	1/100
14	内部仕上表（2）	N.S	50	職員玄関 平面詳細図・展開図・断面図(改修後)	A1 1/10,50 A3 1/20,100	86	建具表（5）	A1 1/50 A3 1/100	14	空調設備　系統図・機器表（改修後）	N.S
15	1階 平面図（改修前）・建具キープラン	A1 1/200 A3 1/400	51	渡り廊下1　詳細図（改修前後）	A1 1/50 A3 1/100	87	建具表（6）	A1 1/50 A3 1/100	15	空調設備　2階平面図（改修後）	1/100
16	1階 平面図（改修後）・建具キープラン	A1 1/200 A3 1/400	52	渡り廊下2　詳細図（改修前後）	A1 1/50 A3 1/100	88	建具表（7）	A1 1/50 A3 1/100			
17	2階 平面図（改修前）・建具キープラン	A1 1/200 A3 1/400	53	渡り廊下3　詳細図（改修前後）	A1 1/10,30,50 A3 1/20,60,100	89	建具表（8）	A1 1/50 A3 1/100			
18	2階 平面図（改修後）・建具キープラン	A1 1/200 A3 1/400	54	1階廊下（北棟）展開図(改修前)	A1 1/50 A3 1/100	90	部分詳細図（1）	A1 1/5,20,30 A3 1/10,40,60			
19	3階 平面図（改修前）・建具キープラン	A1 1/200 A3 1/400	55	1階廊下（北棟）展開図(改修後)	A1 1/50 A3 1/100	91	部分詳細図（2）	A1 1/5,10,20,30 A3 1/10,20,40,60			
20	3階 平面図（改修後）・建具キープラン	A1 1/200 A3 1/400	56	1階廊下（南棟）展開図(改修前)	A1 1/50 A3 1/100	92	部分詳細図（3）	A1 1/5,10,20 A3 1/10,20,40			
21	4階 平面図（改修前）・建具キープラン	A1 1/200 A3 1/400	57	1階廊下（南棟）展開図(改修後)	A1 1/50 A3 1/100	93	部分詳細図（4）	A1 1/10,20 A3 1/20,40			
22	4階 平面図（改修後）・建具キープラン	A1 1/200 A3 1/400	58	1階渡り廊下　展開図(改修前)	A1 1/50 A3 1/100	94	高置水槽廻り詳細図	A1 1/50 A3 1/100			
23	南棟　南立面図	A1 1/100 A3 1/200	59	1階渡り廊下　展開図(改修後)	A1 1/50 A3 1/100	95	仮設計画図（1）・概略工程表	A1 1/300 A3 1/600			
24	南棟　北立面図	A1 1/100 A3 1/200	60	2階廊下（北棟）展開図(改修前)	A1 1/50 A3 1/100	96	仮設計画図（2）	A1 1/300 A3 1/600			
25	北棟　南・北立面図	A1 1/100 A3 1/200	61	2階廊下（北棟）展開図(改修後)	A1 1/50 A3 1/100	＜教室転用工事＞					
26	東・中庭東立面図	A1 1/100 A3 1/200	62	2階廊下（南棟）展開図(改修前)	A1 1/50 A3 1/100	97	北棟　１、２階平面図、建具表	A1 1/50、200 A3 1/100、400			
27	西・中庭西立面図	A1 1/100 A3 1/200	63	2階廊下（南棟）展開図(改修後)	A1 1/50 A3 1/100	98	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰ教室 詳細図(改修前)	A1 1/50、100 A3 1/100、200			
28	南棟矩計図	A1 1/30 A3 1/60	64	2階渡り廊下　展開図(改修前)	A1 1/50 A3 1/100	99	普通教室 詳細図(改修後)	A1 1/50,100 A3 1/100,200			
29	北棟矩計図	A1 1/30 A3 1/60	65	2階渡り廊下　展開図(改修後)	A1 1/50 A3 1/100	100	部分詳細図(1)	A1 1/5,10 A3 1/10,20			
30	階段1　平面詳細図・断面詳細図（改修前）	A1 1/10,50 A3 1/20,100	66	3階廊下（北棟）展開図(改修前)	A1 1/50 A3 1/100	101	部分詳細図(2)	A1 1/5,20 A3 1/10,40			
31	階段1　平面詳細図・断面詳細図（改修後）	A1 1/10,50 A3 1/20,100	67	3階廊下（北棟）展開図(改修後)	A1 1/50 A3 1/100						
32	階段1　展開図（改修前）	A1 1/50 A3 1/100	68	3階廊下（南棟）展開図(改修前)	A1 1/50 A3 1/100						
33	階段1　展開図（改修後）	A1 1/50 A3 1/100	69	3階廊下（南棟）展開図(改修後)	A1 1/50 A3 1/100	B-01～52	各部　内部劣化	A1 1/50 A3 1/100			
34	階段2　平面詳細図・断面詳細図（改修前）	A1 1/10,50 A3 1/20,100	70	3階渡り廊下　展開図(改修前)	A1 1/50 A3 1/100	C-01～05	外壁劣化損傷図（１）～（５）	A1 1/100 A3 1/200			
35	階段2　平面詳細図・断面詳細図（改修後）	A1 1/10,50 A3 1/20,100	71	3階渡り廊下　展開図(改修後)	A1 1/50 A3 1/100						

計 174枚（表紙共）

建 築 改 修 工 事 特 記 仕 様 書

2025年10月1日改定

章	項目	特記事項	備考
1 章 各 章 共 通 事 項	1節 共通事項 1.1.1 一般事項	1. この特記事項以外は下記に準拠する。但し、本工事に関係しない事項は適用しない。 1）安城市契約規則及び安城市工事等施工に関する事務取扱要領 2）工事請負契約書 3）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工事編） （最新版） 4） 〃 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編） （最新版） 5） 〃 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編） （最新版） 6） 〃 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） （最新版） 7） 〃 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編） （最新版） 8） 〃 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編） （最新版） 9） 〃 建築物解体工事共通仕様書 （最新版） 10）関係法令及び諸工事基準 11）愛知県建築工事品質管理要領 2. 特記事項の適用優先順位 1. ⊙ 2. ※ ただし ⊙ と ◯※ のある場合は共に適用する。 3. 設計図書に関する疑義は原則として、入札執行前に質問書の提出によって確かめるものとする。 4. 本工事特記仕様書は公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)に対応している。	
	1.1.3 官公署その他への届出手続等	＊工事の着手、施工、完成に当たり、関係官公署その他の関係組織への必要な届出手続等を遅滞なく行う。	
	1.1.4 工事実績情報システムへの登録	＊請負代金額が500万円以上の工事は、(一財)日本建設情報総合センター(JACIC)の工事実績情報サービス（コリンズ)に、工事実績情報の登録を、その内容について監督職員の確認を（JACICの様式「登録のための確認のお願い」に従って）受けた上、行う。（受注時、変更時、竣工時）また、登録後にJACICが発行する「登録内容確認書」を、監督職員へ提出する。	
	1.1.5 書面の書式及び取扱い	＊ 情報共有システムの適用 ・利用する ・利用しない なお、「利用しない」となっている工事において、受注者が利用を希望する場合、監督員と協議のうえ、受注者の費用負担により、利用することができる。 ＊ 情報共有システムの適用要件は以下のとおりとする。 1）本工事における情報共有システムは、(公財)愛知県都市整備協会が運営する「あいち建設情報共有システム」を利用すること。(https://akjs-ps.aichi-toshi.or.jp/) 2)情報共有システムは「愛知県情報共有運用ガイドライン」及び「愛知県建築局発注工事における情報共有システム運用の手引き（案）」に基づき利用すること。 (https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kensetsu-kikaku/kenchiku-kijyun.html) 3)本システムを用いて作成及び提出等を行った工事関係図書については、システムにより電子納品することとし、別途紙に出力して提出しないものとする。 4)成果品の提出について、CADデータは情報共有システムへ登録し、電子納品をする。また監督員の指示がある場合は、その指示による。	
	1.1.7 関連工事等の調整		

項目	工事区分 建築	電気	管	空調	浄化槽	備考	項目	工事区分 建築	電気	管	空調	浄化槽	備考
設備スリーブ箱入		※	※	※	※		水槽・その他マンホール	※					
同上用構造体補強	※						厨房機器接続		※	※			
〃 防水処理	※						化粧棚及び鏡						
天井・壁埋込器具切込補強	※					天井下地共	実験台設備接続						
設備機器基礎・防水処理	※					防水処理又は配管	ワイランド用受台	※					
設備機器用アンカーボルト		※	※	※	※	機器類に伴うもの	防煙シャッター、同用煙感知器、						
(外部)空気取入・換気ガラリ	※						防火戸自閉装置及び	※					
(内部)空気取入・換気ガラリ	※						各間の配線						
換気扇取付枠	※						同上盤までの電源送り		※				
建物内外配線配管ピット蓋	※						排煙口開放装置				※		
建物内排水溝	※						排煙口手動開放装置	※					
たて樋接続用横引管	※						消火栓組込発信器類及び取付		※				
発電機用 冷却用給水排水		※				減圧水槽以降	不燃性ｶﾞｽ消火設備への電源送り		※				
〃 燃料用油配管		※				燃料小出槽以降	同上制御盤及び制御配線			※			
〃 通気管		※					電動黒板・電動パリマスク		※				
〃 オイルタンク		※					への電源送り						
動力制御盤及び配線		※					受水槽・高架水槽基礎	※					
自動制御盤及び配線				※	※		〃 ・ 〃 架台			※			
自動制御盤への電源送り		※					天井・壁改め口	※					
ファンコイルへの電源送り		※					床・改め口	※					
液面電極体リレー及び配線		※					汚水桝			※			汚水処理槽流入側槽入口汚水桝を除く
床排水金物			※										
流し台排水金物	※						雑排水桝			※			
〃 設備接続			※				雨水桝	※					

章	項目	特記事項	備考
	1.1.9 工事の一時中止に係る事項	＊工事の一時中止の場合の措置は、契約書による。 1）安城市工事請負契約約款第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、「工事一時中止に伴う工事現場の維持管理等に関する基本計画書」（以下「基本計画書」という。）を提出し、発注者の承諾を得るものとする。 なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来高、職員の体制、労働者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。 2）工事を一時中止する場合は、工事の続行に備え、工事現場を保全すること。	
	2節 工事関係図書 1.2.1 実施工程表	＊概成工期 ⊙有（ 図示による ） ※ 無 ＊ 校舎改修工事は夏休み期間とする。また、令和7年8月29日までに現場の部分使用に対する出来形検査を受検すること。	H22.7.23付22建企第332号建設企画課長通知
	1.2.2 施工計画書	＊つり足場を使用するすべての工事において、つり足場の組立・解体作業中の墜落・転落による労働災害防止の方法等の記入及び愛知労働局労働基準部安全課長事務連絡（平成22年7月6日）の注意事項をふまえた施工計画書を作成し、監督職員に提出する。	
	1.2.4 工事の記録等	1. 仕様書に基づき監督職員に報告等を行う書面で電子データによるものについては、以下を基本とするが、監督員の指示がある場合はその指示による。 （1）電子媒体（CD－RまたはDVD－R）で完了検査時に1部提出する。 （2）「あいち電子納品運用ガイドライン」に準拠することとし、格納フォルダは「愛知県建築局発注工事における情報共有システム運用の手引き（案）」における表6を参考とする。	
1 章 各 章 共 通 事 項	＊工事写真	＊工事写真の撮影時期、内容、枚数等は下記のとおりとする。 1）着手前 工事の着手に先だち、敷地、隣地及び周辺道路、建築物、工作物等の現況を撮影する。 2）工事中 ①黒板（白板）に所定事項を明記し、工事の進捗状況を撮影、記録すると共に、特に施工後隠ぺい又は埋設される部分は、被写体に幅広テープを添え撮影する。 記載事項：件名（工事名）、名称（工種）、位置、工程、備考、撮影年月日 ②監督職員の指示により、適宜提出する。 ※デジタルカメラの撮影素子の有効画素数は130万画素を標準とする。 ※デジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得た上で、「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について」（https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kensetsu-kikaku/kenchiku-kijyun.htmlを参照）により行うことができる。	
	＊竣工写真	＊竣工時 外部（カラー 箇所） 内部（カラー 箇所）	
	3節 工事現場管理 1.3.1 施工管理	＊主任技術者、監督技術者、特例監理技術者及び特例監理技術者の職務を補佐する者（以下、「監理技術者補佐」という。）の設置及びその他制度の運用については、最新版の「監理技術者制度運用マニュアル」によるものとする。	
	1.3.3 電気保安技術者	＊ ・配置する ⊙配置しない	
	1.3.5 施工条件	＊ 1）施工日・施工時間 制限 ◯ 有（ 図示による ） ・無 2）工事車両の駐車場所 場所制限 ※ 有 （駐車場所： ※ 敷地内 ・（ ）） ・無 3）資機材置場所 置場制限 ※ 有（置場所：※ 敷地内 ・（ ）） ・無 4）その他（ ）	
	＊週休2日制工事	＊週休2日制工事実施対象工事 ※ 発注者指定 ・受注者希望 ・その他	
	1.3.11 施工中の環境保全等	＊「土壌汚染対策法」、「県民の生活環境の保全等に関する条例」、「市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例」による措置 ◯無 ・有（詳細は図示による）	
	1.3.12 発生材の処理等	1. 引き渡しを要するものは監督職員の指定する場所に整理し、発生物件調書を作成し、施設管理者へ引き渡す。 2. 引き渡しを要しないものはすべて場外に搬出し、下記建設副産物の項及び関係法令等に従い適正に処理する。 3. 本工事で発生する産業廃棄物のうち愛知県内の最終処分場に搬入する産業廃棄物については、愛知県産業廃棄物税が課税されるので適正に取り扱うこと。 4. PCBを使用している機器材料は、適切な容器に収めた上で引渡しを要する。撤去した機器のﾒｰｶｰ名・型番・製造年月日を記載したリストを作成して発注者へ提出する。 5. 次の物品はPCBの混入が疑われるため、専門の分析機関に依頼し、その有無を確認する。 昭和47年以前の建築物：ポリサルファイド（チオコール）系コーキング 平成元年以前の製造機器：蛍光灯安定器、コンデンサ、リアクトル、コンデンサ用放電コイル、変圧器（絶縁油中の濃度0.5mg/kg以下のものは対象外） 上記以外においても、PCB混入の恐れがある場合は、監督職員と協議の上、確認すること。 6. PCB含有物以外で引渡を要するもの （ ）	
	＊ 特別管理産業廃棄物 ＊ 建設副産物	＊分析調査 （ ） 1. 契約金額100万円以上の工事の発生材については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」及び「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下「建設リサイクル法」という。）その他関係法令の規定を遵守し、適正に処理する。 2. 事前に建設副産物情報交換システム等（以下「ｺﾌﾟﾘｽ・ﾌﾟﾗｽ」と言う。）に登録及び必要事項を入力し、ｺﾌﾟﾘｽ・ﾌﾟﾗｽより出力される、「リサイクルガイドライン」に定める計画書（①、②）を監督職員に提出する。 ① 再生資源利用計画書（実施書）（様式1） ② 再生資源利用促進計画書（実施書）（様式2） 3. 建設リサイクル法第9条第1項の対象建設工事に該当する工事は、再資源化等が完了したとき、同法第18条第1項に基づく報告として、監督職員に「再資源化等報告書」を提出すること。 4. 産業廃棄物管理表（以下「マニフェスト」という。）集計表を作成し、監督職員に提出する。マニフェスト集計表は任意様式とし、交付した全てのマニフェストについて、交付年月日、交付番号、車両ナンバー、廃棄物の内訳（t又はm^3）、マニフェストの照合・確認日（電子マニフェストの場合は、引渡し年月日、マニフェスト番号（連絡番号）、車両ナンバー、廃棄物の内訳、運搬・処分・最終処分の終了日）が記載され、受注者の記名があるものとする。また、紙マニフェストの場合は伝票を整理して保管し、必要に応じて検査員等に提示する。	
	＊搬去・更新時のﾌﾛﾝ等の取扱い ＊分別収集 ＊再資源化施設への搬出 ＊再利用を図るもの ＊せっこうﾎﾞｰﾄﾞ処理	＊「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」に基づいて行うこと。 ＊「リサイクルガイドライン」 別表3に従い、分別収集を行う。 ＊工事に伴い発生する指定副産物のうち、次のものは再資源化施設へ搬出する。 ※ コンクリート塊 ※ アスファルトコンクリート塊 ※ 建設発生木材 ・（ ） ＊・（ ） ・ 図示による ＊ひ素・ｶﾄﾞﾐｳﾑ含有せっこうボードの処理・ 製造業者に回収を委託 ・管理型最終処分場で埋立処分 ＊上記及び石綿含有せっこうボード以外の処理・再資源化 ・管理型最終処分場で埋立処分	
	4節 材 料		
	1.4.2 材料の品質等	1. 本工事に使用する資材等は、品質が規格値を満足しかつ価格が適正である場合には、県内産の優先使用に努めるものとする。 2. 本工事において愛知県内で産出された木材（愛知県内で産出された木材を使用した製材加工品を含む。以下、「県産材」という。）を使用する場合は、以下による。	

株式会社 市川三千男建築設計事務所	今池小学校校舎改修第1期及び保全主体工事		図面番号
一級建築士登録 第202334号 早瀬 賞次	建築改修工事特記仕様書 1／10	縮尺	A-1
検図 / 製図 / 設計			

章	項目	特記事項	備考
1章	＊再生資源の利用の指定	＊県産材を使用する部位は、設計図書で定められた部位のほか、次のとおりとする。 ・　・　・ ＊使用する県産材は、愛知県産材認証機構に登録された認定事業者（以下、単に「認定事業者」という。）が「あいち認証材」として証明し、出荷したものとする。 ＊受注者は、工事現場に搬入した県産材が「あいち認証材」であることの確認を、出荷事業者が交付する、認定事業者登録番号等（図－1）が明記された出荷伝票等により行う。 ＊受注者は、出荷伝票に記載された出荷事業者が認定業者であることの確認を、愛知県産材認証機構が運営管理するWebページ（http://www.aichi-wood.com）にて公表される認定事業者一覧により行う。 図－1 この木材は、＜あいち認証材＞です。 愛知県産材認証機構認定事業者登録番号No. ○－○○○ 3. 本工事において使用する材料のホルムアルデヒド放散量等の適用に関する区分は、「F☆☆☆☆」、「接着剤等不使用」、「ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用」、「非ホルムアルデヒド系接着剤使用」、「非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用」又は「非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用」のいずれかとする。 ＊使用する資材は、リサイクル資材の率先利用を図るため、「愛知県あいくる材率先利用方針」を遵守し、あいくる材として認定されている資材の利用に努める。 1）愛知県あいくる材率先利用方針第3のAAｸﾞﾙｰﾌﾟ及びAｸﾞﾙｰﾌﾟの認定資材を優先的に使用する。 2）指定材一覧 施工場所 ｜ 品目 ｜ 規格 ｜ 再生原料等の指定 ・指定しない　・ ・指定しない　・ あいくる材の指定があるものについて、上記一覧以外のものを使用する場合は、監督職員の承諾を要する。 3）指定材以外の使用に努める品目は、次のとおりとする。 ・再生加熱アスファルト混合物　・再生路盤材　・PC製品　・舗装用ブロック　※（　　）	
各章	5節　石綿含有建材の調査 1.5.1　事前調査	＊大気汚染防止法に基づき、適正に対応すること ＊調査範囲　・図示による　・（　　） ＊既存の設計図書、調査報告書の貸与　・有（　　）　・無 ＊石綿含有分析調査　※ 行わない　・行う（調査範囲：　　分析方法：　　）	
共通章	6節　施工調査 1.6.2　施工数量調査 1.6.3　調査破壊部分の補修 7節　施工 1.7.2　技能士	＊調査範囲　※図示による　・外壁　・屋上防水　(・)内装　・塗装　・（　　） ＊調査方法　※図示による(・)打診法　・赤外線法　・反射法　・（　　） ＊補修方法　（　　） ＊ ※ 適用する　・適用しない 適用職種 ｜ 標準仕様書 工事種別 ｜ 標準仕様書 工事の細分 ｜ 資格(技能検定における選択作業) ｜ 備考 ※ ｜ 鉄筋工事 ｜ 加工及び組立て ｜ 1級鉄筋施工技能士 ｜ 適用工事は下記による ※ ｜ コンクリート工事 ｜ 型枠 ｜ 1級型枠施工技能士 ｜ ※延べ5,000㎡ ※ ｜ 床コンクリートこて仕上げ ｜ 1級左官技能士 ｜ 以上の工事 ※ ｜ 防水工事 ｜ アスファルト防水 ｜ 1級防水施工技能士 ｜ ・その他特に必要と ※ ｜ シート防水 ｜ 認められる工事 ※ ｜ 塗膜防水 ※ ｜ シーリング ＊その他必要と認められる技能検定の職種及び作業の種別（　　）	
事項	1.7.5　施工の検査等 1.7.9　化学物質の濃度測定 8節　工事検査及び技術検査 1.8.2　技術検査 9節　完成図等 1.9.1　完成時の提出図書 1.9.2　完成図等 その他 ＊光熱水費 ＊現場代理人等 ＊火災保険等加入方法等 ＊法定外の労災保険	＊見本施工　※ 行わない　・行う（　　） ＊下記の室の揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告すること。 ＊測定時期（　　） ＊対象物質　※ ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン ＊測定方法　※ パッシブ型採取法　(・)文部科学省「学校環境衛生の基準」による　・（　　） ＊測定する室/測定箇所数　（ 南棟　普通教室 ／ 各階1箇所 ）（ 北棟　普通教室 ／ 各階1箇所 ）（転用教室/1箇所） ＊中間技術検査　(・)行わない　・行う（実施回数：　　、実施時期：　　） ＊工事完了前に次の図書を作成し監督職員に提出する。 1）完成原図（施工図を除く）1部（1.9.2により作成する場合のみ）2）完成図（施工図を除く）の2つ折り製本 1部 (3)完成図（施工図を除く）及び契約図のA3版2つ折り製本（合本作成）2部 4）契約図の2つ折り製本 1部　5）保全に関する資料 1部 6）施設台帳の作成又は整備（高等学校及び特別支援学校を除く）7）その他必要書類 1部 8）契約図・完成図（施工図を除く）のPDFﾌｧｲﾙ（公共建築課PDFﾌｧｲﾙ作成ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝによる）CD-RまたはDVD-R 2部 ＊完成図の種類は下記とする。 1. 配置図　2. 平面図・求積図　3. 仕上表　4. 施工図　5. その他監督職員の指示するもの CADデータ ┌※ 提出する（ ※ 愛知県電子納品運用ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝに基づく）　・監督職員との協議による ） └・提出しない　(9)竣工図A3版2つ折り製本 3部及A1版2つ折り製本 1部　（AutoCAD及びPDF） CAD図面の作成にあたっては国土交通省「建築CAD図面作成要領（案）」に基づいて作成する。 ＊ 原図の作成　・作成する　※ 作成しない　サイズ　※ 設計原図と同じ　・（　　） ＊原図作成方法　(※)CAD作成し紙出力　紙の種類　※ PPC用ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙｻﾝﾄﾞ和紙同等品・ﾄﾚｰｼﾝｸﾞﾍﾟｰﾊﾟｰ ＊複写図作成方法　・1.9.1完成時の提出図書3）に代える　・（　　） ＊建物引き渡しまでの電気、水道、ガス等の料金（基本料金を含む）は、協議の上、各工事受注者が負担する。 ＊契約約款第11条に規定する現場代理人、主任技術者（監理技術者）の通知は、所定の様式（現場代理人等通知書）により、監督員を通じて発注者に提出しなければならない。また建設業法に基づく監理技術者補佐、専門技術者を定めたときも同様とする。 ＊受注者は、主任技術者について建設業法施行令第27条第2項の規定に基づき他の工事と兼務させる場合や、主任技術者又は監理技術者について建設業法第26条第3項ただし書き第1号による技術者配置の特例を活用する場合、並びに監理技術者について建設業法第26条第3項ただし書き第2号の規定に基づき監理技術者補佐を専任で配置することにより他の工事と兼務させる場合にあっては、所定の様式により兼務届を作成の上、新たに契約した工事については工事請負契約締結後5日以内に、現に施工中の工事については原則兼務期間の始期より前に、監督職員を通じて発注者に提出すること。 ＊配置技術者の専任要件等については、愛知県建設企画課のWebﾍﾟｰｼﾞを参照すること。 （https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kensetsu-kikaku/haichigijyutsusyanosennin.html） ＊改修工事の保険の種類は、建設工事保険、火災保険又は組み立て保険とする。（建築工事事務の手引 参考2「愛知県建築工事に係る火災保険等の加入方法」による）期間は、工事資材の現場搬入の日から工事目的物の引渡しの日までとする。（特に定めのない限り、契約上の工事完成期日経過後14日間とする。）保険金受取人（被保険者）は、受注者とする。 ＊本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。	

章	項目	特記事項	備考
1章	＊事故報告	＊工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通報するとともに、事故発生報告書を監督職員に速やかに提出すること。	
	＊南海トラフ地震臨時情報発表時の対応	＊南海トラフ沿いの大規模な地震発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まった旨の「南海トラフ地震臨時情報」発表時の防災対応について、受注者は、継続的に地震関連情報の収集に努め、工事中の建築物及び仮設物等に対し、必要な安全対策措置が実施されているかの確認、及び作業員や必要に応じ第三者に対する安全の再確認を行うなど、有事に際しての備えを行うとともに、本工事の施工場所が、南海トラフ地震防災対策推進地域に含まれる場合は、「その他事項」の「南海トラフ地震防災対策推進地域における対応」を参照し、必要事項を施工計画書に記載の上、適切に対応すること。 ＊ 施工場所 南海トラフ地震防災対策推進地域　※含まれる（愛知県内全市町村）　・含まれない 住民事前避難対象地域　・含まれる　・含まれない	
	＊ 工事の下請負	＊受注者は、下請負に付する場合には、次の各号に掲げる要件をすべて満たさなければならない。 1）受注者が、工事の施工につき総合的に企画、指導及び調整するものであること。 2）下請負者は、当該下請負工事の施工能力を有すること。 3）下請負者は、建設業法に基づく営業停止の期間中でないこと。	
各章	＊ 施工体制台帳	＊建設業法第24条の8第1項の規定により作成した施工体制台帳（同項の規定により記載すべきものとされた事項に変更が生じたことに伴い新たに作成されたものを含む。）の写しを監督職員に提出すること。 （公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律第15条）	
	＊ 施工体系図	＊下請契約を締結する場合においては、下請金額に関わらず施工体系図を作成し、工事現場の工事関係者及び公衆が見やすい場所（仮囲いなど）に掲示する。	
		＊本工事における木材利用状況に関する調査に協力すること。	
共通章	＊ 騒音・振動対策	＊契約約款第3条第1項の規定による「工程表」は、発注者から請求があった時に提出すること。 ＊「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針（建設大臣官房技術審議官通達）」及び関連法規の規定を厳守し施工する。また、騒音規制法、振動規制法の規制の対象となる作業（特定建設作業）及び下記に指定した建設機械については、「低騒音型、低振動型建設機械の指定に関する規程」（建設大臣告示）により指定された建設機械を使用する。 作業名：　建設機械名： 作業名：　建設機械名：	
	＊排出ガス対策型建設機械	＊排出ガス対策型建設機械の適用　※ 有り　・なし （対象機種：バックホウ、車輪式トラクターショベル、ブルドーザー、発動発電機、空気圧縮機、油圧ユニット、ローラー類、ホイルクレーン（いずれもディーゼルエンジン出力7.5～260KW）） （対象規制値：排出ガス対策型建設機械指定要領（国土交通省総合政策局）の別表1（1次基準値））	
事項	＊貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制等に関する要綱	＊工事場所が「自動車NOx・PM法」の規制対象地域内においては、「貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制等に関する要綱」（愛知県：https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/0000034411.html）に基づき、対象地域外からの流入車も含め、車種規制非適合車の使用抑制に努めるものとする。	
	＊特定特殊自動車の燃料	＊受注者は、軽油を燃料とする特定特殊自動車の使用にあたって、燃料を購入して使用するときは、当該特定特殊自動車の製作等に関する事業者または団体が推奨する軽油（ガソリンスタンド等で販売されている軽油をいう）を選択しなければならない。また、監督職員から特定特殊自動車に使用した燃料の購入伝票を求められた場合、提示しなければならない。なお、軽油を燃料とする特定特殊自動車の使用にあたっては、下請負者等に関係法令等を遵守させるものとする。	
	＊薬液注入工法	＊薬液注入工法により地盤の改良を行う場合は、「薬液注入工法による建設工事の施工に関する暫定指針」（建設省事務次官通達）による。	
	＊石綿含有仕上塗材の除去・補修、既存壁等への作業	＊既存の壁等に対して作業（仕上塗材の除去・補修、コア抜きやアンカーボルト打設作業など仕上塗材の破断を伴う全ての作業）をする場合は、既存壁等の石綿含有仕上塗材使用の有無を確認し、石綿が含有されている場合は、除去工法、作業方法等について関係法令所管部局及び監督職員と協議の上、適切な石綿飛散防止措置を講じること。	
	＊CCUSの活用	＊建設キャリアアップシステムの活用に関して、工事成績評定において評価を希望する場合は、工事着手までに工事打合せ簿により申し出るとともに、工事完了時に活用状況を確認できる資料を監督員に提出すること。	
2章	1節　共通事項 2.1.3　騒音・粉じん等の対策	＊騒音・粉じん等の対策　・防音パネル　・防音シート　※ 図示による ＊防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲等　※図示による　・（　　）	

株式会社 市川三千男建築設計事務所	今池小学校校舎改修第1期及び保全主体工事		図面番号
一級建築士登録 第202334号 早瀬 賞次	建築改修工事特記仕様書 2／10	縮尺	A-2
検図 ｜ 製図 ｜ 設計			

章	項目	特記事項	備考
2章 仮設工事	2節 足場等 2.2.1 足場等	＊足場を設ける場合は、「「手すり先行工法等に関するガイドライン」について」（令和5年12月26日厚生労働省労働基準局長 基発1226第2号）に規定する「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」の2の（1）手すり据置方式又は2の（2）手すり先行専用足場方式により行う。 ＊屋根面からの墜落事故防止対策として、必要に応じて、JIS A8971（屋根工事用足場及び施工方法）に基づき、建方作業台、渡り廊下、墜落防護さく等の足場及び装備機材を設置する。 ＊外部足場 ※ 枠組足場またはくさび緊結式足場 ・単管本足場 ・仮設ゴンドラ ・移動式足場 ・（ ） 設置するシート等 ・防護シート(JISA8952) ・防護ネット(JISA8960) ・防音シート ・（ ネット養生シート ） 足場、防護シート等の設置範囲 ※ 図示による ＊内部足場 ※脚立・足場板等 ・枠組足場またはくさび緊結式足場 ・（ ） ＊材料、撤去材等の運搬方法 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・（ ） [表2.2.1] ＊高さが5m以上の箇所での作業を行う場合、労働安全衛生規則の各規定により使用する要求性能墜落制止用器具はフルハーネス型とし、「墜落制止用器具の規格」（平成31年1月25日厚生労働省告示第11号）によるものとする。	
	3節 養 生 2.3.1 既存部分の養生	＊既存部分の養生 ※ ﾋﾞﾆﾙｼｰﾄ、合板等により適切に行う ・図示による ・（ ） ＊既存部分の既存家具、既存設備等の養生方法 ※監督職員の承諾を受けてﾋﾞﾆﾙｼｰﾄ等で行う ・図示による ＊既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ・図示による ・ビニルシート等 ・保管場所（ ） ＊固定された備品、机・ロッカー等の移動 ・図示による ・移動しない	
	2.3.2 仮設間仕切り	＊種別 ・A種 ・B種 ・C種 [表2.3.1] 設置箇所 ※ 図示による A種、B種の場合の材料 ・合板（厚さ ※ 9mm ・（ ）mm） ※ せっこうボード（厚さ ※ 9.5mm ・（ ）mm） 間仕切りへの仕上げ ※ 無 ・有（範囲及び仕上げは図示による）	
	＊仮設扉	＊仕様 ※ 合板張り木製扉程度 ・（ アルミ既製品鍵付き 設置箇所 ※ 図示による ・（ ）	
	4節 仮設物 2.4.1		
	＊受注者事務所、材料置場その他仮設物の設置場所	＊受注者事務所（設ける場合） ※ 構内（従業員宿舎除く） ・構外 ＊材料置場 ※ 構内 ・構外 ＊その他仮設物 ※ 構内（従業員宿舎除く） ・構外 ※事務所等は建築基準法関係法令を遵守し、基礎を設置するなど適切に建築すること。	
	＊ 建設現場標識の設置	＊建設現場標識 ※ 設ける（他工事と共同設置を可とする） ・ 設けない	
3章 防水改修工事	1節 一般事項 ＊ 保証期間 3.1.3 施工一般	＊防水の保証期間は工事目的物引渡しからモルタル防水5年、その他防水10年とする。 ＊降雨等に対する養生方法 ※ 3.1.3(5) による ・図示による ・（ ）	
	1節～6節 防水工事 3.1.4 改修工法の種類・工程	＊防水改修工法・種別 ・図示による ＊立上り部等の既存防水層及び保護層の撤去 ・撤去しない ・図示による ＊屋内防水で、新規防水工法にて保護層を新設 ・新設する ・図示による	
	3.2.5 ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ回りの処理	＊P0AS、P0ASI、P0D、P0DI、P0S、P0SI、P0X工法における改修用ドレンの設置 工法（ ） ・設置する ・設置しない ・図示による	
	3.2.6 既存下地の処理	＊既存下地 補修箇所の形状、長さ、数量等 ※ 図示による ・（ ） ＊既存防水層の処理[M4AS工法、M4ASI工法、M4C工法及びM4DI工法] 仕上げ塗装の除去 ※ 図示による ・（ ） [L4X工法] 仕上げ塗装の除去 ※ 図示による ・（ ） ＊P0S工法及びP0SI工法(機械)における 既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした場合の既存防水層の処理 ・図示による ※ 3.2.6(4)(ｳ)(g)による ・（ ） ＊設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸環取付部、塔屋出入口部及び ＊防水層末端部等の収まり部の処理 ・図示による ・監督職員と協議	
	3節 アスファルト防水 3.3.2 材料	＊改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの種類及び厚さ ・図示による ※ 表3.3.3～表3.3.9による ・（ ） ＊部分粘着層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの種類、厚さ ・図示による ※表3.3.3、表3.3.4、表3.3.8、表3.3.9による ・（ ） ＊押え金物 材質及び形状寸法 ・図示による ※ アルミニウム製L-30×15×2.0mm程度 ・（ ） ＊屋根保護防水断熱工法に用いる断熱材厚さ ・図示による ・（ ） ＊屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材の種類及び厚さ 図示による ・（ ） ＊絶縁用シート材料 ・図示による ・ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ@0.15mm以上 ・ﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ(70g/㎡程度) ・（ ） ＊立上り部の保護の乾式保護材 ・図示による ・（ ） ＊立上り部の保護のれんが ・図示による ・（ ）	
	3.3.3 種類及び工程	＊屋根保護防水 新規防水層の種類及び工程 種別 ・（ ） ・図示による [表3.3.3] ＊立上り部への断熱材及び絶縁用シートの設置 ・図示による ・（ ） ～[表3.3.6] ＊立上り部における保護工法 ・図示による ・（ ） ＊屋根露出防水、屋根露出防水絶縁断熱工法 新規防水層の種別 ・（ ） ・図示による [表3.3.7] ～[表3.3.9] ＊仕上塗料の種類 ・（ ） ・図示による 使用量 ※ ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様による ・図示による ・（ ） ＊脱気装置の種類、設置数量 図示による ※ ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類製造所の指定による ＊屋内防水 新規防水層の種類及び工程 種別 ・（ ） ・図示による [表3.3.10] ＊保護層の設置 ・（ ） ・図示による E-1の工程3 ・図示による ※ 常時水に接する部位に適用 ・（ ）	
	3.3.4 施 工	＊ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類のﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ回り及び立上り部周辺の断熱材張りじまい位置 ・図示による ・（ ）	
	3.3.5 保護層等の施工	＊平場の保護ｺﾝｸﾘｰﾄ 厚さ ・図示による ※ こて仕上げ80mm以上、床タイル張り等仕上げ60mm以上 こて仕上げの場合の平たんさの種別 ・a種 ・b種 ・c種 [表8.1.5] ＊立上り部保護方法 ・図示による ・（ ） れんが押さえの場合 工法 ・図示による ＊屋上排水溝 ※ 図示による ・（ ）	
	4節 改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ防水 3.4.2 材 料	＊改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ 種類及び厚さ ・図示による ※ 表3.4.1～表3.4.3までによる ・（ ） ＊押え金物 材質、形状及び寸法 ・図示による ※ アルミニウム製L-30×15×2.0mm程度 ・（ ）	

章	項目	特記事項	備考
3章 防水改修工事	3.4.3 種類及び工程	＊屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材（発泡ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ断熱材）の種類及び厚さ ・図示による ・（ ） ＊新規防水層の種別 ・（ ） ・図示による [表3.4.1] ＊仕上塗料の種類 ・（ ） ・図示による ～[表3.4.3] 使用量 ※ ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類製造所の仕様による ・図示による ・（ ） ＊工程2に先立ち設ける防湿用シートの設置[M3ASI工法、M4ASI工法及びP0ASI工法] ・図示による ・（ ） ＊脱気装置の種類、設置数量 ※ 改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ製造所の仕様による ・図示による	
	5節 合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水 3.5.2 材 料	＊ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ種類及び厚さ ・図示による ※ 表3.5.1～表3.5.3までによる ・（ ） ＊絶縁用シート及び可塑剤以降防止用シートの材質 ※ 発泡ポリエチレンシート ・図示による ・（ ） ＊固定金具の材質、形状及び寸法 ※防錆処理した鋼板、ｽﾃﾝﾚｽ鋼板又はそれら鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもので厚さ0.4mm以上 ・図示による ・（ ） ＊断熱工法に用いる断熱材 種類及び厚さ ・図示による ・（ ）	
	3.5.3 種類及び工程	＊新規防水層の種別 ・（ ） ・図示による [表3.5.1] ＊脱気装置の種類、設置数量 ※ ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ製造所の仕様による ・図示による ～[表3.5.2] ＊仕上塗料の種類 ・（ ） ・図示による 使用量 ※ ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ製造所の仕様による ・図示による	
	3.5.4 施 工	＊SI-M1及びSI-M2の場合の防湿用ﾌｨﾙﾑの設置 ※ 図示による ・（ ） ＊S-C1の場合の保護ﾓﾙﾀﾙの塗厚 ※ 図示による ・（ ） ＊接着工法の場合で下地がﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄの場合の目地処理 ※ 図示による ・（ ） ＊S-F1又はSI-F1の場合のﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地の入隅部の増張り ※ 図示による ・（ ） ＊一般部のﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ張付(機械式固定法)で建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ※ 図示による ＊屋内保護密着工法の場合の保護層の施工[立上り部の保護ﾓﾙﾀﾙ塗厚] ・図示による ・（ ）	
	6節 塗膜防水 3.6.3 種別及び工程	＊新規防水層の種別 ※ 表3.6.1による（P0X工法の場合は種別X-1、L4X工法の場合は種別X-2） ・（ ） ・図示による ＊仕上塗料の種類 ・（ ） ・図示による 使用量 ・図示による ※ 主材料製造所の仕様による ・（ ） ＊絶縁工法における脱気装置の種類及び設置数量 ・図示による ※ 主材料製造所の仕様による ・（ ） ＊保護層の仕様[P1Y工法及びP2Y工法] ・図示による ・（ ）	
	7節 シーリング 3.1.4 改修方法の種類及び工程	＊改修工法の種類 ※ 図示による ・ｼｰﾘﾝｸﾞ充填工法 ・ｼｰﾘﾝｸﾞ再充填工法 [表3.1.2] ・拡幅ｼｰﾘﾝｸﾞ再充填工法 ・ﾌﾞﾘｯｼﾞ工法	
	3.7.2 材 料	＊ｼｰﾘﾝｸﾞ材の種類 ・図示による ※ [表3.7.1]による ・（ ） ＊ｼｰﾘﾝｸﾞ材表面の仕上 ・仕上げなし	
	3.7.3 目地寸法	＊目地寸法 ・図示による ・（ ）	
	3.7.8 シーリング材の試験	＊接着性試験 ※ 簡易接着性試験 ・引張接着性試験 ・図示による ・（ ）	
	8節 と い 3.8.2 材 料	＊材種等 ※ 図示による ・（ ） [表3.8.1] ＊表面処理鋼板の場合 表面及び裏面の塗膜の種類 ※図示による・（ ）耐酸被覆鋼板 ・使用する ・使用しない ＊とい受金物、足金物の材種、形状及び取付け間隔 ・図示による ※ 表3.8.2により溶融亜鉛めっきを行ったもの 多雪地域 ・適用する ・適用しない	
	3.8.3 工 法	＊既存とい、その他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ・図示による ・（ ） ＊鋼管製といの防露巻き ・図示による ※ 表3.8.4による ・（ ） ＊たてどい受金物の取付け ・図示による ・（ ） ＊ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝの取付工法 ・図示による ※ 3.8.3(6)による ・（ ）	
	9節 アルミニウム製笠木 3.9.2 材 料	＊部材の種類 押出250形 ・押出300形 ・押出350形 ・板材折り曲げ形（・ｵｰﾌﾟﾝ形式 ・シール形式） 板材折曲げ形の場合 本体幅 ※ 図示による ・（ ） 板厚 ・図示による ※ 2.0mm ・（ ） ＊表面処理の種別 ・（ ） ・図示による [表5.2.2]	
	3.9.3 工 法	＊既存笠木撤去及び新規笠木の下地補修の工法 ※ 図示による ・（ ） ＊板材折曲げ形笠木の取付け方法 ※ 図示による ・（ ） ＊建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ※ 図示による ・（ ）	
4章 外壁改修工事	1節 一般事項 4.1.4 外壁改修工法の種類		

外壁仕上 / 部位	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上げ	モルタル塗り仕上げ	タイル張り仕上げ
ひび割れ部	・樹脂注入工法 ・Uｶｯﾄｼｰﾙ材充填工法 ・シール工法 ・図示による	・樹脂注入工法 ・Uｶｯﾄｼｰﾙ材充填工法 ・シール工法 ・図示による	・樹脂注入工法
欠 損 部	・充填工法	・充填工法 ・モルタル塗替え工法	・タイル部分張替え工法 ・タイル張替え工法
浮 き 部		・アンカーﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ・アンカーﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ・アンカーﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ注入工法 ・注入口付アンカーﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ・注入口付アンカーﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ・注入口付アンカーﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ注入工法 ・充填工法 ・モルタル塗替え工法	・アンカーﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ・アンカーﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ・アンカーﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ注入工法 ・注入口付アンカーﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ・注入口付アンカーﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ・注入口付アンカーﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ﾎﾟﾘﾏｰ ｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ注入工法 ・注入口付アンカーﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞｴﾎﾟｷｼ樹脂 注入ﾀｲﾙ固定工法 ・タイル部分張替え工法 ・タイル張替え工法
目 地			・目地ひび割れ部改修工法 ・伸縮目地改修工法

4.1.5 改修後の塗り仕上げの種類	＊改修後の新規仕上げの種類 ※図示による ・薄付け仕上塗材塗り ・厚付け仕上塗材塗り ・複層仕上塗材塗り（外壁：吹付凸凹 内部：吹付凸凹）・各種塗料塗り ・マスチック塗材塗り ・外壁用塗膜防水材塗り ・可とう形改修用仕上塗材塗り

株式会社 市川三千男建築設計事務所	今池小学校校舎改修第1期及び保全主体工事		図面番号
一級建築士登録 第202334号 早瀬 賞次	建築改修工事特記仕様書 3／10	縮尺	A-3
検図	製図	設 計	

章	項目	特記事項	備考
	2節 コンクリート打放し仕上げ外壁の改修		
	3節 モルタル塗り仕上げ外壁の改修		
	4.2.4 材料	*Uカットシール材充填工法に使用するシーリング材 ※ ポリウレタン系シーリング材(・1成分形 ・2成分形) ・( )	
	(4.3.5 材料)	*シール工法材料 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 ・( ) ・図示による	
		*充填工法材料 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル ・( ) ・図示による	
	4.2.5 樹脂注入工法	*種類 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法(注入間隔 ※ 200～300mm ・( )、樹脂注入量:)	
	(4.3.2 ひび割れ部改修	・手動式エポキシ樹脂注入工法 (注入口間隔: 、樹脂注入量:)	
	4.4.2 共通事項	・機械式エポキシ樹脂注入工法 (注入口間隔: 、樹脂注入量:)	
	4.3.6 樹脂注入工法)	*ひび割れ部の注入状況の確認方法 ※ コア抜き取り ・( )	
	4.4.6	コアの抜き取り個数 ※ 1個/長さ500mごと及びその端数 ・( )	
		抜取り部分補修方法 ※ 図示による ・( )	
	4.3.5 材料	*モルタル塗替え工法用材料 モルタル ・現場調合材料 ・既調合材料( ) ・( )	
	(4.4.5 材料)	既製目地材 ・使用する(形状) ・使用しない	
4		*アンカーピンニング注入工法用材料	
		ポリマーセメントスラリー ※図示による ・( )	
		アンカーピン材質等 ※ステンレス鋼SUS304 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの ・( )	
		*注入口付アンカーピンニング注入工法材料 注入口付アンカーピン材質等 ※SUS304 呼び径外径6mm ・( )	
	4.3.10 モルタル塗替え工法	*下地処理 仕上げ厚又は全塗厚25mmを超える場合の処置 ※ 図示による ・( )	
章	4.3.11 アンカーピンニング部分	*浮き部分に対するアンカーピン本数 ※ 16本/㎡(一般部分)、25本/㎡(指定部分)、5本/m(狭幅部)	
	4.4.9 エポキシ樹脂注入工法	・( ) ・図示による	
		*アンカーピン固定用樹脂注入量(挿入孔1か所当たり) ※ 25ml ・( )ml	
	4.3.12 アンカーピンニング全面	*浮き部分に対するアンカーピン本数及び注入口の数 ※ 表4.3.5及び図4.3.2による ・( )	
	4.4.10 エポキシ樹脂注入工法	*注入量(注入口1か所当たり) ※ 25ml ・( )ml	
	4.3.13 アンカーピンニング全面ポリ	*浮き部分に対するアンカーピン本数及び注入口の数 ※ 表4.3.5及び図4.3.2による ・( )	
外	4.4.11 マーセメントスラリー注入工法	*注入量(注入口1か所当たり) ※ 50ml ・( )ml	
	4.3.14 注入口付アンカーピンニング	*浮き部分に対する注入口付アンカーピン本数 ※ 9本/㎡(一般部分)、16本/㎡(指定部分)、5本/m(狭幅部)	
	4.4.12 部分エポキシ樹脂注入工法	・( ) ・図示による	
		*注入量(注入口1か所当たり) ※ 25ml ・( )ml	
	4.3.15 注入口付アンカーピンニング	*浮き部分に対する注入口付アンカーピン本数 ※ 表4.3.6及び図4.3.4による ・( )	
壁	4.4.13 全面エポキシ樹脂注入工法	*注入量(注入口1か所当たり) ※ 25ml ・( )ml	
	4.3.16 注入口付アンカーピンニング	*浮き部分に対する注入口付アンカーピン本数 ※ 表4.3.6及び図4.3.4による ・( )	
	4.4.14 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	*注入量(注入口1か所当たり) ※ 50ml ・( )ml	
	4節 タイル張り仕上げ外壁の改修		
改	4.4.5 材料	*タイル(部分)張替え工法用材料 接着剤の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・外装タイル接着剤	
		外装タイル接着剤張りの場合の目地詰め ・行う ・行わない	
		タイルの形状、寸法、耐凍害性の有無、耐滑り性等 ※ 図示による ・( )	
		標準色・特別色の別 ※ 図示による ・( )	
		タイル役物 ・使用する ・使用しない	
		既調合モルタル ※ 図示による ・( )	
修		*外壁タイル接着剤張りのシーリング材	
		シーリング材の種類 打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 ※ ポリウレタン系 ・( )	
		伸縮調整目地及びその他目地 ※ 変成シリコーン系 ・( )	
	4.4.7 タイル部分張替え工法	*既存の下地モルタル等を撤去せず、1カ所当たりの張替え面積が0.25㎡を超える場合の ・図示による ・( )	
	4.4.8 タイル張替え工法	*伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 ※ 表4.4.2による ・( ) ・図示による	
		*見本焼 ・有 ※無 試験張り ・有 ※無	
		*セメントモルタルによるタイル張りの工法	
		下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・図示による ・( )	
		下地モルタル塗りの接着力試験 ・( ) ・図示による	
		セメントモルタルによるタイル張りの工法	
		外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り [表4.4.5]	
		ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り	
工		*有機系接着剤によるタイル張り	
		下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・図示による ・( )	
		下地モルタル塗りの接着力試験 ・( ) ・図示による	
		タイルの種類等 ・外装タイル ・ユニットタイル [表4.4.6]	
		外装タイル接着剤張りの目地詰めを行わない場合 ・図示による ・( )	
	4.4.15 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法	*注入口付アンカーピンの本数 ( )本/㎡ ・図示による	
		*注入量(注入口1か所当たり) ※ 25ml ・( )ml	
	4.4.16 目地改修工法	*伸縮調整目地 位置及び寸法 ※ 図示による ・( )	
	5節 仕上塗材仕上げ外壁等の改修		
	4.5.2 材料	*塗り仕上げ用材料(仕上塗材) 種類、仕上げ形状、工法 ・( ) ・図示による [表4.5.1]	
		外装厚塗材Si、Eにおける上塗材 ・塗る ・塗らない	
		外装厚塗材Cの上塗材がセメントスタッコ以外の場合 ・( ) ・図示による	
		*複層仕上塗材及び可とう形改修塗材の耐候性 ※ 耐候形3種 ・( ) ・図示による	
		*複層仕上塗材及び可とう形改修塗材の上塗材の種類 ※ 水系アクリルのつやあり ・( ) [表4.5.2]	
	4.5.4 既存塗膜等の除去、	*工法 ・サンダー工法 ・高圧水洗工法 ・塗膜はく離剤工法 ※ 水洗い工法(高圧水洗機(10～15MPa))	
	下地処理及び下地調整	*下地調整 下地調整塗材に代えてポリマーセメントモルタルを使用 ・使用する ・使用しない	
	(4.6.2 材料及び工法	*処理範囲(水洗い工法以外) ※既存仕上面全体 ・( ) ・図示による	
	4.7.4 既存塗膜等の除去、	*水洗い工法の処理範囲 ※他の工法で処理する範囲以外の既存仕上面全面 ・図示による	
	下地処理及び下地調整	*下地のひび割れ部等の補修 ・( ) ・図示による	
	6節 マスチック塗材塗り仕上げ外壁等の改修		
	4.6.2 マスチック塗材塗り	種別 ・A種 ・B種	
	7節 外壁用塗膜放水材による改修		
	4.7.2 材料	*塗り仕上げ用材料(外壁用塗膜防水材) 仕上げの形状及び工法 ・( ) ・図示による [表4.7.1]	
		模様材の種類 ※図示による ・( )	
		仕上げを砂壁状、じゅらく状等とする場合の模様材の種類 ※ 図示による ・( )	
		仕上塗料の種類 ※ 図示による ・( )	
		*仕上塗料の耐候性 ※ 図示による ・( )	
	4.7.3 施工一般	下地挙動緩衝材 ・使用する ・使用しない ・図示による	
	1節 一般事項		
5	5.1.3 改修工法	*改修工法 ・かぶせ工法 ・撤去工法	
章		*新規建具を設ける壁部分の開口の開け方及び新規建具周囲の補修工法並びにその範囲 ※ 図示による	
		*補修範囲 ※ 図示による ・( )	
	5.1.4 防火戸	*防火戸の適用 ※ 図示による ・( )	
		*防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸と連動させるもの	

章	項目	特記事項	備考
	5.1.5 建具見本の製作等	*建具見本の製作 ・有 ※ 無	
		*特殊な建具の仮組 ・実施する ・実施しない	
	5.1.6 取り付け調整等	*ブラインドボックス等の再使用 ・有 ・無 再使用するもの ・( ) ・図示による	
	5.1.7 その他	*防犯建物部品の使用 ・使用しない ・使用する(使用箇所)	
	2節 アルミニウム製建具		
	5.2.2 性能及び構造	*耐風圧性、気密性、水密性、枠の見込み寸法	
		・A種 ・B種 ・C種[見込み寸法 mm] ・図示による ・( ) [表5.2.1]	
5		*防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級 ・図示による ・( )	
		*断熱ドア、断熱サッシとする場合の断熱性の等級 ・図示による ・( )	
	5.2.3 材料	*網戸 防虫網 材質 ※ 合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製(SUS316) ・図示による	
		線径、網目 ※ 線径0.25mm以上、網目16～18メッシュ(合成樹脂) ・( ) ・図示による	
	5.2.4 形状及び仕上げ	表面処理の種別 ・( ) 図示による C種における常温乾燥形の塗装 ・( ) ・図示による [表5.2.2]	
		色 ※ 標準色 ・特注色 結露水の処理方法 ・( )・図示による	
		ステンレス製くつずりを使用する場合の仕上げ ※HL ・図示による ・( )	
章	5.2.5 工法	*水きり板 ・図示による ・( ) ぜん板 ・図示による ・( )	
	3節 樹脂製建具		
	5.3.2 性能及び構造	*耐風圧性、機密性、水密性 ・A種 ・B種 ・C種 ・図示による ・( ) [表5.3.1]	
		枠の見込み寸法 ・図示による ・( )	
		*防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級 ・図示による ・T-1 ・T-2 ・( )	
		*断熱ドア、断熱サッシとする場合の断熱性の等級 ・図示による ・H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8 ・( ) [表5.3.2]	
		*外壁に面する建具の日射熱取得性の等級 ・図示による ・( )	
建	5.3.3 材料		
		*網戸 防虫網 材質 ※ 合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製(SUS316) ・図示による	
		線径、網目 ※ 線径0.25mm以上、網目16～18メッシュ(合成樹脂) ・( )	
		・図示による	
		*ガラス ※ 複層ガラス ・( ) ・図示による	
	5.3.4 形状及び仕上げ	*ステンレス製くつずりを使用する場合の仕上げ ※HL ・図示による ・( )	
		*表面色 ※ 標準色 ・特注色	
具	5.3.5 工法	*水きり板 ・図示による ・( ) ぜん板 ・図示による ・( )	
	4節 鋼製建具		
	5.4.2 性能及び構造	*簡易気密型ドアセットの気密性、水密性の等級 ※ 気密性A-3、水密性W-1 ・( )	
	(5.4.6 標準型鋼製建具)	耐風圧性の等級 ・S-4 ・S-5 ・S-6 ・図示による [表5.2.1]	
		耐震ドアとする場合の面内変形追随性の等級 ・図示による ・( )	
		*防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級 ・図示による ・( )	
		*断熱ドア、断熱サッシとする場合の断熱性の等級 ・図示による ・( )	
改	5.4.3 材料	*点検口の類のくつずりの材料 ・図示による ・( )	
	(5.4.6 標準型鋼製建具)		
	5.4.4 形状及び仕上げ	*鋼板類の厚さ ※ 表5.4.2による ・図示による ・( )	
	(5.4.6 標準型鋼製建具)	*くつずりの仕上げ ・HL(ステンレス鋼板の場合) ・図示による ・( )	
	5.4.6 標準型鋼製建具	*形状及び寸法 ・図示による ・( ) [表5.4.5]	
	5節 鋼製軽量建具		
修	5.5.2 性能及び構造	*簡易気密型ドアセット(気密性:A-3) ・適用する ・適用しない ・図示による ・( )	
	(5.5.6 標準型鋼製軽量建具	*耐震ドアとする場合の面内変形追随性の等級 ・図示による ・( )	
		*防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級 ・図示による ・( )	
		*断熱ドア、断熱サッシとする場合の断熱性の等級 ・図示による ・( )	
	5.5.3 材料	*鋼板類の種類 ※ 図示による ・( )	
	(5.5.6 標準型鋼製軽量建具)	ステンレス鋼板 ※ SUS304 ※ SUS430J1L ※ SUS443J1 ・図示による ・( )	
		*召合せ、縦小口包み板等 ※ 鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金	
工	5.5.4 形状及び仕上げ	*鋼板類の厚さ ※ 表5.5.1による ・図示による ・( )	
	(5.5.6 標準型鋼製軽量建具	*ステンレス製くつずりを使用する場合の仕上げ ・HL ・図示による ・( )	
	5.5.6 標準型鋼製軽量建具	*形状及び寸法 ・図示による ・( ) [表5.4.5]	
	6節 ステンレス製建具		
事	5.6.3 材料	*ステンレス鋼板 ※ SUS304 ※ SUS430J1L ※ SUS443J1 ・図示による ・( )	
	5.6.4 形状及び仕上げ	*板ガラスをはめ込む溝の大きさ ※ 建具の製造所の仕様による ・( )	
		*表面仕上げ ※ HL ・( ) ・図示による	
		*ステンレス製くつずりを使用する場合の仕上げ ※HL ・図示による ・( )	
	5.6.5 工法	*曲げ加工 ※ 普通曲げ ・角出し曲げ ・図示による	
	7節 木製建具		
	5.7.2 材料	*種別 ※ A種 ・B種	
		*フラッシュ戸の材料 表面材の種類 ・普通合板 ・天然木化粧合板 ・特殊加工化粧合板	
		・MDF ・図示による ・( )	
		表面材の品質等 ※5.7.2.(2)(イ)による ・図示による ・( )	
		MDFの表裏面の状態による区分、曲げ強さによる区分、耐水性による区分及び難燃性	
		による区分 ・図示による ・( )	
		*かまち戸及び鏡板の材種 ・( ) ・図示による	
		*ふすまの種別及びふすま紙の上張りの種類 ・( ) ・図示による	
		*枠及びくつずりの材料 ・( ) ・図示による	
	5.7.3 形状及び仕上げ	*表面板の厚さ ※表5.7.6による ・図示による	
		*見込み寸法 ※表5.7.7による ・図示による	
	5.7.4 工法	*フラッシュ戸 引き戸 召合せかまち ・いんろう付き	
		*ふすまの縁の仕上げ ・( ) ・図示による	

株式会社 市川三千男建築設計事務所	今池小学校校舎改修第1期及び保全主体工事		図面番号
一級建築士登録 第202334号 早瀬 賞次	建築改修工事特記仕様書 4／10	縮尺	A-4
検図 / 製図 / 設計			

章	項目	特記事項	備考
5章 建具工事	8節 建具用金物		
	5.8.2 材質、形状及び寸法	＊金物の種類及び見え掛り部の材質 ※ 表5.8.1による(表の特記の適用は図示による) ・( )	
		＊金属製建具用丁番の枚数及び大きさ ※ 表5.8.2による ・( ) ・図示による	
		＊樹脂製建具用丁番の枚数及び大きさ ※ 表5.8.3による ・( ) ・図示による	
		＊木製建具用丁番の枚数及び大きさ ※ 表5.8.4による ・( ) ・図示による	
		＊戸車及びレール ※ 表5.8.5による ・( ) ・図示による	
	5.8.3 取付け施工	＊握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント等の取付け位置 ・図示による ・( )	
	5.8.4 鍵	＊マスターキー ・製作する ・製作しない	
		＊鍵 ※ 3本1組とし、室名札を付ける ・( ) 鍵箱 ・要 ・不要	
	9節 自動ドア開閉装置		
	5.9.2 性能・機構	＊戸の開閉方式 ・( ) ・図示による	
		＊自動ドアの開閉装置の性能	
		駆動装置の性能 ※ 表5.9.1による(引き戸用) ・( ) ・図示による	
		車椅子使用者用便房出入口の引き戸用駆動装置の性能 ※ 表5.9.2による ・( ) ・図示による	
		検出装置の性能 ※ 表5.9.3による(引き戸用) ・( ) ・図示による	
		引き戸用駆動装置及び引き戸用検出装置の防錆の適用 ・適用する ・適用しない ・図示による	
		＊引き戸用検出装置の種類 ・( ) ・図示による	[表5.9.4]
		タッチスイッチの種類 ・無線式タッチスイッチ ・光線式タッチスイッチ	
		車椅子使用者用便房用操作スイッチ ・大形(開・閉)押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ	
		＊凍結防止措置 ・要 ・不要	
	10節 自閉式上吊り引戸装置		
	5.10.3 性能等	＊自閉式上吊り引戸装置の性能 ※ 表5.10.1による ・( ) ・図示による	
	11節 重量シャッター		
	5.11.2 形式及び機構	＊シャッター種類 ・管理用ｼｬｯﾀｰ ・外壁用防火ｼｬｯﾀｰ ・屋内用防火ｼｬｯﾀｰ ・防煙ｼｬｯﾀｰ ・図示による	
		＊耐風圧強度(外壁開口部に設ける重量ｼｬｯﾀｰ) ・( ) ・図示による	
		＊開閉機能による種類 ※ 電動式(手動併用) ・手動式 ・図示による	[表5.11.1]
		＊安全装置 電動ｼｬｯﾀｰにおける不測の落下に備えた急降下制動装置又は急降下停止装置設置箇所 ・図示による ・( )	
		電動式シャッターにおける障害物感知装置設置箇所 ・図示による ・( )	
		屋内用防火ｼｬｯﾀｰ若しくは防煙ｼｬｯﾀｰの危害防止機構 ※ (a)かつ(c) ・(b)かつ(c) ・図示による	
		設置箇所 ・図示による ・( )	
		＊シャッターケース[管理用ｼｬｯﾀｰ] ・設置する ・設置しない ・図示による	
	5.11.3 材 料	＊ｽﾗｯﾄ及びｼｬｯﾀｰｹｰｽ用鋼板 鋼板の種類 ・( ) ・図示による	
		鋼板のめっき付着量 ※Z12またはF12を満足するもの ・( )	
	12節 軽量シャッター		
	5.12.2 形式及び機構	＊開閉形式 ※ 手動式 ・電動式(手動併用)	[表5.12.1]
		＊耐風圧強度 ・図示による ・( )	
		＊安全装置 電動式ｼｬｯﾀｰにおける不測の落下に備えた急降下停止装置・設置する ・設置しない ・図示による	
		電動式シャッターにおける障害物感知装置設置箇所 ・図示による ・( )	
	5.12.3 材 料	＊ｽﾗｯﾄの材質の種類 ・JIS G 3312 ・JIS G 3322 ・図示による ・( )	
		ｽﾗｯﾄのめっき付着量 ※ JIS G3312の場合はZ06又はF06を、JIS G3322の場合はAZ90を満足 ・図示による	
	5.12.4 形状及び仕上げ	＊スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 ・図示による ・( )	
	13節 オーバーヘッドドア		
	5.13.2 形式及び機構	＊ｾｸｼｮﾝ材料による区分 ※ ｽﾁｰﾙﾀｲﾌﾟ ・ｱﾙﾐﾆｳﾑﾀｲﾌﾟ ・ﾌｧｲﾊﾞｰｸﾞﾗｽﾀｲﾌﾟ ・図示による	
		＊JIS A 4715による風圧力による強さの区分 ・( ) ・図示による	
		＊開閉方式 ※ バランス式 ・チェーン式 ・電動式 ・図示による	
		＊収納形式 ・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形 ・図示による	
		＊電動式シャッターにおける障害物感知装置設置箇所 ・図示による ・( )	
	5.13.3 材 料	＊ガイドレールの材料 ※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 ・図示による ・( )	
	14節 ガラス		
	5.14.2 材 料	＊フロート板ガラス 品種及び厚さによる種類 ・図示による ・( )	
		型板ガラス 厚さによる種類 ・図示による ・( )	
		網入及び線入板ｶﾞﾗｽ 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ・図示による ・( )	
		合わせｶﾞﾗｽ 材料板ｶﾞﾗｽの種類及び厚さの組合せ並びにｶﾞﾗｽの合計厚さ ・図示による ・( )	
		特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類 ・図示による	
		強化ガラス 形状による種類及び材料板ガラスの種類 ・図示による ・( )	
		厚さの呼びによる種類 ・図示による ・( )	
		特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅲ類 ・図示による ・( )	
		熱線吸収板ガラス 材料板ガラスの種類、厚さによる種類 ・図示による ・( )	
		性能による種類 ・1種 ・2種 ・図示による ・( )	
		複層ガラス 材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、複層ｶﾞﾗｽ厚さ ・図示による ・( )	
		断熱性による区分 ・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6 ・図示による	
		日射取得性、日射遮蔽性による区分 ・G ・S ・図示による	
		封入気体の種類 ・空気 ・ｱﾙｺﾞﾝ ・ｸﾘﾌﾟﾄﾝ ・ﾈｵﾝ ・図示による	
		熱線反射ｶﾞﾗｽ 材料板ガラスの種類 ・図示による ・( )	
		厚さによる種類 ・6mm ・8mm ・10mm ・12mm ・図示による ・( )	
		日射熱遮蔽性による種類 ・1種 ・2種 ・3種 ・図示による ・( )	
		倍強度ガラス 材料板ガラスの種類 ・図示による ・( )	
		厚さの呼びによる種類 ・6mm ・8mm ・10mm ・12mm ・図示による	
		＊ｶﾞﾗｽ留め材 ・シーリング材 ・ガスケット(用途による区分・( ) ・図示による) ・図示による ・( )	
	5.14.3 ｶﾞﾗｽ溝の寸法、形状等	＊板ガラスをはめ込む溝の大きさ ※ 建具の製造所の仕様による ・( )	
	5.14.5 ガラスブロック積み	＊材料 ガラスブロック 表面形状、呼び寸法及び厚さ ※ 図示による ・( )	
		壁用金属枠及び補強材 ※ 図示による ・( )	
		力骨の材質、寸法及び形状 ※ ｽﾃﾝﾚｽ鋼(SUS304)製径5.5mmのはしご状複筋及び単筋 ・( ) ・図示による	
		シーリング材の種類 ・図示による ・( )	
		金属製化粧カバーの材質、寸法及び形状 ・図示による ・( )	
		＊工法 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ・図示による ・( )	
		目地幅 平積み ・( )mm ※ 8mm以上15mm以下 ・図示による	
		曲面積み ・( )mm ※ 外側15mm以下、内側6mm以上 ・図示による	
		伸縮調整目地位置 ・( )m以下ごと ※ 6m以下ごと	
		伸縮調整目地部の横力骨の納まり ※ ガラスブロック製造所の仕様 ・図示による	
6章 改修工事	1節 一般事項		
	6.1.3 他の部位との取合い等	＊既存間仕切壁の撤去に伴う天井、壁、床の改修範囲 ※ 壁厚程度 ・図示による	
		＊天井内の既存壁撤去に伴う天井改修範囲 ※ 壁面から両側600mm程度 ・図示による	
		＊天井撤去に伴う壁面の改修 ※ 既存のまま ・図示による	
	2節 既存床の撤去・下地補修		
	6.2.2 工 法	＊ビニル床シート等の除去における下地モルタルの撤去 ※図示による ・( )	
		＊合成樹脂塗床材の除去等の工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 ・図示による	

章	項目	特記事項	備考
6章 改修工事	3節 既存壁の撤去及び下地補修		
	6.3.2 工 法	＊間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※ モルタル塗り[4.3.10] ・( ) ・図示による	
	5節 木下地等	※間伐材 樹種 ○杉(愛知県内産、長野県下伊那郡根羽村産、その他安城市交流自治体地域産)	
	6.5.1 一般事項	＊超自動機械かんな、サンダー等による表面仕上げの場合 ・( ) ・図示による	
	6.5.2 木 材	＊含水率 ※ A種 ・B種	[表6.5.1]
		＊製材	
	(2)(ア)	「JAS 1083(製材)」による製材	
		下地用製材 寸法、含水率及び保存処理 ※ 図示による	
		等級 ・図示による ※ 2級	
		造作用製材 等級、寸法、含水率及び保存処理 ※ 図示による	
		板材における等級 ※ 枠、額縁、敷居、鴨居、框の類の見掛り面は上小節、それ以上は小節以上 ・図示による	
		広葉樹製材 寸法及び保存処理 ※ 図示による	
		等級 ※1等 ・図示による ・( )	
		含水率 ※ 10%以下 ・図示による ・( )	
	(2)(イ)	「JAS 1083(製材)」以外の製材	
		下地、造作及び仕上げに用いる製材 寸法、材面の品質、含水率及び防虫処理 ※ 図示による	
		造作材の材面の品質の基準 ※ A種 ・B種	[表6.5.2]
		＊造作用集成材等	
	(3)(ア)	「集成材の日本農林規格」による造作用集成材	
		造作用集成材 品名、樹種名、見付け材面、寸法 ※ 図示による	
		見付け材面の品質 ※1等 ・図示による ・( )	
		化粧ばり造作用集成材 品名、樹種名、化粧薄板の厚さ、見付け材面、寸法 ※ 図示による	
		見付け材面の品質 ※1等 ・図示による ・( )	
	(3)(イ)	3(ｱ)以外の造作用集成材等	
		造作用集成材 樹種名、寸法、見付け材面の品質 ※ 図示による	
		含水率 ※ 15%以下 ・図示による ・( )	
		化粧ばり造作用集成材 樹種名、寸法、化粧薄板の厚さ、見付け材面の品質 ※ 図示による	
		含水率 ※ 15%以下 ・図示による ・( )	
		＊造作用単板積層材	
	(4)(ア)	「JAS 07011(単板積層材)」に規定する造作用単板積層材	
		品名、寸法、表面の品質及び防虫処理 ※ 図示による	
	(4)(イ)	「JAS 0701」以外の造作用単板積層材	
		寸法、表面の品質及び防虫処理 ※ 図示による	
		含水率 ※ 14%以下 ・図示による ・( )	
	(5)	＊直交集成板 品名、強度等級、種別、接着性能(使用環境)、樹種名及び寸法 ※ 図示による	
	(6)	＊合板等	
		下地用合板 品名、単板の樹種名、防虫処理 ※ 図示による	
		厚さ ※ 5.5mm ・図示による 接着の程度 ※ 1類 ・図示による	
		板面の品質 ※ 2等以上(広葉樹) ※ C-D以上(針葉樹) ・図示による	
		構造用合板 品名、単板の樹種名、保存処理、防虫処理、強度等級 ※ 図示による	
		厚さ ※ 12mm ・図示による	
		接着の程度 ※ 1類以上(湿潤箇所を除く) ※ 特類(湿潤箇所) ・図示による	
		等級 ※ 2級以上 ・( ) 板面の品質 ※ C-D以上 ・( )	
		化粧ばり構造用合板 品名、厚さ、単板の樹種名、接着の程度、防虫処理 ※ 図示による	
		湿潤状態となる場所に使用する場合の接着の程度 ※ 特類 ・図示による	
		天然木化粧合板 厚さ、接着の程度、化粧板に使用する単板の樹種名、防虫処理 ※ 図示による	
		特殊加工化粧合板 品名、厚さ、接着の程度、表面性能、単板の樹種名、化粧加工の方法、防虫処理 ※ 図示による	
		パーティクルボード 表裏面の状態による区分 ※ 図示による	
		曲げ強さによる区分、耐水性による区分、厚さ ※ 15mm、13ﾀｲﾌﾟ、耐水性1(Mﾀｲﾌﾟ)	
		※ 15mm、13ﾀｲﾌﾟ、耐水性2(Pﾀｲﾌﾟ) ・( )	
		構造用パネル 品名、厚さ ※ 図示による	
		ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨｰﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ(MDF)	
		表裏面の状態による区分、曲げ強さによる区分、耐水性による区分、難燃性による区分、厚さ ※ 図示による	
	6.5.3 接合具等	＊造作材の化粧面の釘打ち ※ 隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し	
		＊諸金物の形状、寸法、材質 ※ 6.5.3(2)(ｱ)による ・( ) ・図示による	
	6.5.5 防腐・防蟻・防虫処理等	＊下地木材への防腐・防蟻処理 適用部材、処理の種類 ※ 図示による ・( )	
		工場における薬剤の加圧注入処理等の適用部材及び保存処理性能区分 ※ 図示による ・( )	
		薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理 表面処理用木材保存剤による処理 ・行う ・行わない	
		薬剤の種類、適用部材 ※ 図示による ・( )	
		処理の方法 ※薬剤の製造所の仕様による ・( )・図示による	
		薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理 ・図示による ・行う( ) ・行わない	
		合板等の加圧注入による防腐・防蟻処理 ・図示による ・行う( ) ・行わない	
		＊防虫処理 ・図示による ・行う( ) ・行わない	
		＊不燃材料、準不燃材料又は難燃材料の使用 ※図示による ・( )	
	6.5.6 RC造等の内部間仕切軸組及び床組	＊間仕切軸組に用いる木材 ・杉 ・松 ・( )	
		＊床組に用いる木材(土間ｽﾗﾌﾞ類の土台、転ばし大引、転ばし根太) ・ひのき ・保存処理木材 ・( )	
		床組に用いる木材(上記以外) ・杉 ・松 ・( )	
	6.5.7 窓、出入口その他	＊窓、出入口その他に用いる木材 吊元枠、水掛りの下枠、敷居 ※ ひのき ・( ) ・図示による	
		その他 ・松 ・杉 ・( ) ・図示による	
	6.5.8 床板張り	＊縁甲板、上がりがまちに用いる木材 ※ ひのき ・( ) ・図示による	
	6.5.9 壁及び天井下地	＊木材 ・杉 ・松 ・( ) ・図示による	
	6節 軽量鉄骨天井下地		
	6.6.2 材 料	＊野縁等の種類 屋内 ※ 19形 ・25形 ・図示による	[表6.6.1]
		屋外 ・19形 ※ 25形 ・図示による	
	6.6.3 形式及び寸法	＊屋外の野縁受、吊りボルト、インサートの間隔 ・( )mm ・図示による	
		＊屋外の野縁間隔 ・( )mm ・図示による	
	6.6.4 工 法	＊既存埋込インサートの使用 ・使用する ・使用しない ・図示による ・( )	
		＊ あと施工ｱﾝｶｰの引抜き試験 ・行う ・行わない ・図示による	
		＊引張試験の箇所数及び確認強度 ※ 6.6.4(1)(ｳ)による ・図示による ・( )	
		＊開口部等の補強方法 ※ 図示による ・( )	

株式会社 市川三千男建築設計事務所	今池小学校校舎改修第1期及び保全主体工事		図面番号
一級建築士登録 第202334号 早瀬 賞次	建築改修工事特記仕様書 5／10	縮尺	A-5
検図	製図	設計	

2025年10月1日改定

章	項目	特記事項	備考
6 内装改修工事		*天井のふところが3mを超える場合の補強方法　※ 図示による　・(　　)	
		*天井下地材の耐震性を考慮した補強方法　※ 図示による　・(　　)	
		*耐風圧性を考慮した補強方法(屋外軒天井、ピロティ天井等)　※ 図示による　・(　　)	
	7節　軽量鉄骨壁下地		
	6.7.3　形式及び寸法	*ｽﾀｯﾄﾞ,ﾗﾝﾅｰの種類　・50形　・65形　・90形　・100形　※ ｽﾀｯﾄﾞの高さに応じた種類　・(　　)	
		*ｽﾀｯﾄﾞ高さが5.0mを超える場合　・(　　)　・図示による	
	6.7.4　工　法	*出入口及びこれに準ずる開口部の補強　※ 6.7.4(5)による　・(　　)　・図示による	
	8節　ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ等張り	(ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り)	
	6.8.2　材　料	*ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ　種類の記号　※ FS　・(　　)　・図示による	
		厚さ　※ 2.0㎜　・(　　)　・図示による	
		色柄　・(　　)　・図示による	
		*ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ　種類の記号　※ ＫＴ　・(　　)　・図示による	
		寸法　・(　　)　・図示による	
		厚さ　※ 2.0㎜　・(　　)　・図示による	
		色柄　・(　　)　・図示による	
		*特殊機能床材	
		帯電防止床シート　種類、性能、厚さ等　・図示による　・(　　)	
		帯電防止床タイル　種類、性能、寸法、厚さ等　・図示による　・(　　)	
		視覚障害者用床タイル　種類、形状　・図示による　・(　　)	
		耐動荷重性床シート　種類、厚さ等　・図示による　・(　　)	
		防滑性床シート　種類、厚さ等　・図示による　・(　　)	
		防滑性床タイル　種類、寸法、厚さ等　・図示による　・(　　)	
		*ビニル幅木　種類　・図示による　・(　　)	
		厚さ　※1.5mm以上　・図示による　・(　　)	
		高さ　※ 60㎜　・図示による　・(　　)	
		*ゴム床タイル　色柄、種類、厚さ、寸法等　・図示による　・(　　)	
		*ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ、ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ用の接着剤種別[下地がセメント系及び木質系以外の場合]　・図示による　・(　　)	
		*ｺﾞﾑ床ﾀｲﾙ用の接着剤種別[下地がセメント系及び木質系以外の場合]　・図示による　・(　　)	
	6.8.3　工　法	*6.8.3(1)(ア)～(ウ)以外の下地の工法　・図示による　・(　　)	
		*接合部の処理　※ 熱溶接工法　・(　　)　・図示による	
	9節　カーペット敷き		
	6.9.2　材　料	*織じゅうたん　織り方、パイルの形状　・図示による　・(　　)	
		色柄　・(　　)　※ 模様のない無地　・図示による	
		パイル糸の種類　・A種　・B種　・C種	[表6.9.1]
		帯電性　※ 人体帯電圧3kV以下　・(　　)	
		*ﾀﾌﾃｯﾄﾞｶｰﾍﾟｯﾄ　パイルの形状、パイル長　・図示による　・(　　)	
		帯電性　※ 人体帯電圧3kV以下　・(　　)	
		*タイルカーペット　種類　※ 第一種　・第二種　・図示による	
		パイルの形状　※ ループパイル　・(　　)　・図示による	
		寸法　※ 500㎜角　・(　　)　・図示による	
		総厚さ　※ 6.5㎜　・(　　)　・図示による	
		*下敷き材　※ JIS L 3204(反毛フェルト)の第2種2号、呼び厚さ8㎜　・(　　)　・図示による	
		*取付け用付属品　見切り材、押え金物の材質、種類、形状　※図示による　・(　　)	
	6.9.4　工　法	*ﾀﾌﾃｯﾄﾞｶｰﾍﾟｯﾄの工法　・グリッパー工法　・全面接着工法　・図示による	
		*織じゅうたんの接合方法[ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法]　※ ﾋｰﾄﾎﾞﾝﾄﾞ工法　・手縫い	
		*タイルカーペットの敷き方[全面接着工法]　平場　※ 市松敷き　・(　　)　・図示による	
		階段　※ 模様流し　・(　　)　・図示による	
	10節　合成樹脂塗床		
	6.10.3　工　法	*弾性ウレタン樹脂系　仕上げの種類　※ 平滑　・防滑　・つや消し　・図示による	[表6.10.4]
		*エポキシ樹脂系　工法　・薄膜流しのべ　・厚膜流しのべ　・樹脂ﾓﾙﾀﾙ　・図示による	
		仕上げの種類　・平滑　・防滑	
	11節　フローリング張り		
	6.11.2　材　料	*種類　・単層ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ(・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ1等　・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ1等)　・複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ　・図示による	
	6.11.3　工法一般	*工法　・釘留め(根太張り)工法　・釘留め(直張り)工法　・接着工法　・図示による	
	6.11.4　釘留め工法	*根太張り工法	
		フローリング　・フローリングボード(根太張用)　・複合フローリング(根太張用)	
		フローリングボードの樹種　・(　　)　・図示による	
		複合フローリングの種別　・A種　・B種　・C種	[表6.11.2]
		複合フローリングの樹種　・(　　)　・図示による	
		*直張り工法	
		フローリング　・フローリングボード(直張用)　・複合フローリング(直張用)	
		樹種　・(　　)　・図示による	
		複合フローリングの種別　・A種　・B種　・C種	[表6.11.4]
		複合フローリングの樹種　・(　　)　・図示による	
	6.11.5　接着工法	*フローリング　・フローリングボード(直張用)　・複合フローリング(直張用)	
		*フローリングボードの樹種　・(　　)　・図示による	
		*複合フローリングの種別　・A種　・B種　・C種	[表6.11.6]
		*複合フローリングの樹種　・(　　)　・図示による	
		*フローリングブロックの樹種、厚さ、幅及び長さ　・図示による　・(　　)	
		*フローロング裏面の不陸緩衝材　※ 合成樹脂発泡シート　・(　　)　・図示による	
	6.11.6　現場塗装仕上げ	*下地調整及び塗装　下地調整　※ 6.11.7による　・図示による　・(　　)	
		塗装　・図示による　・(　　)	
	12節　畳敷き		
	6.12.2　材　料	*畳の種別　・A種(畳表の記号:　　)・B種　・C種(畳床の記号:　　)・D種(畳床の記号:　　)	[表6.12.1]
		*衝撃緩和型畳の畳表　・C1　・C2　・図示による	
	13節　せっこうﾎﾞｰﾄﾞ等張り		
	6.13.2　材　料	*ボード類の種類、厚さ等　※ 図示による	
		ボード表面の化粧張り仕上等　※ 図示による	
		*普通合板　品名、単板の樹種名　※図示による　・(　　)	
		厚さ　※5.5mm　・図示による　・(　　)	
		板面の品質　[広葉樹の場合]※2等以上　[針葉樹の場合]※C－D以上　・図示による	
		*天然木化粧合板　厚さ、化粧板に使用する単板の樹種名　※ 図示による　・(　　)	
		*特殊加工化粧合板　品目、厚さ、接着の程度、単板の樹種名、化粧加工の方法　※図示による　・(　　)	
		*防虫処理　※図示による　・(　　)	
	6.13.3　工　法	*天井のボードの重ね張り(ロックウール吸音板を除く)　・図示による　・(　　)	
		*合板の張付け種別　・A種　・B種	[表6.13.3]
		*せっこうボードの目地工法の種類　・継目処理工法　・突付け工法　・目透し工法	[表6.13.5]
		*せっこうボードのエッジの種類(突き付け工法及び目透し工法の場合)　・ベベルエッジ　・スクェアエッジ　・図示による	

章	項目	特記事項	備考
6 内装改修工事	14節　壁紙張り		
	6.14.2　材　料	*壁紙の種類　※ 図示による　・(　　)	
		*防火性能　・図示による　・(　　)	
	6.14.3　施　工	*ﾓﾙﾀﾙ面及びせっこうﾌﾟﾗｽﾀｰ面の素地ごしらえ　種別　・A種　※ B種	[表6.14.1]
		*ｺﾝｸﾘｰﾄ面の素地ごしらえ　種別　・A種　※ B種	[表6.14.2]
		*せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面の素地ごしらえ及びけい酸カルシウム板面の素地ごしらえ	
		種別　・A種　※ B種	[表6.14.3]
	15節　モルタル塗り		
	6.15.3　材　料	*モルタル　・現場調合材料　・既調合材料(　　)　・図示による	
		*既製目地材　・使用する(形状:　　)　・使用しない　・図示による	
	6.15.5　下地処理	*壁面の場合で、仕上げ厚又は全塗り厚が6.15.4(3)の規定を満足しない場合　・図示による	
	6.15.6　工　法	*床の目地割り　※ 目地割2㎡程度、最大目地間隔3m程度　・(　　)　・図示による	
		種類　※ 押し目地　・(　　)　・図示による	
	16節　タイル張り		
	6.16.2　施工一般	*伸縮目地の位置　※ 縦横4m以内ごと(床タイル)　・(　　)　・図示による	
		*タイルの見本焼き・有　※無　試験張り　・有　※無	
	6.16.3　ｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙによるﾀｲﾙ張り	*タイル　・ ※ 図示による	
		適用箇所 / 形状 / 寸法 / 耐凍害性 / 耐滑り性 / 標準色/特別色 / タイル張り工法	
		*役物　・有　・無	
		*張付けモルタル　既調合モルタル　・(　　)　・図示による	
		*下地ﾓﾙﾀﾙ塗りのｺﾝｸﾘｰﾄ素地面の下地処理　・目荒し工法　・(　　)　・図示による	
		*壁タイル張りの工法　内装タイル　・密着張り　・改良圧着張り	
		ユニットタイル(内装タイル以外)　・マスク張り　・モザイクタイル張り	
	6.16.4　有機系接着剤によるﾀｲﾙ張り	*タイル　・ ※ 図示による	
		適用箇所 / 形状 / 寸法 / 耐凍害性 / 耐滑り性 / 標準色/特別色 / タイル張り工法	
		*役物　・有　・無	
	17節　ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ材塗り		
	6.17.3　調合及び塗厚	*セルフレベリング材塗厚　・(　　)　・図示による	
7 塗装改修工事	2節　下地調整		
	7.2.1　施工一般	*RB種塗替えの場合の既存塗膜の撤去範囲　※ 劣化部分　・図示による	
	7.2.2　木部の下地調整	*木部の下地調整種別　・RA種　※ RB種[不透明塗料塗り]　・RC種　・図示による	[表7.2.1]
	7.2.3　鉄鋼面の下地調整	*鉄鋼面の下地調整種別　・RA種　※ RB種　・RC種　・図示による	[表7.2.2]
	7.2.4　亜鉛めっき鋼面の下地調整	*亜鉛めっき鋼面の下地調整種別　・RA種　※ RB種　・RC種　・図示による	[表7.2.3]
	7.2.5　ﾓﾙﾀﾙ面及びﾌﾟﾗｽﾀｰ面の下地調整	*ﾓﾙﾀﾙ面及びﾌﾟﾗｽﾀｰ面の下地調整種別　・RA種　※ RB種　・RC種　・図示による	[表7.2.4]
		ひび割れ部の補修　・(　　)　・図示による	
	7.2.6　ｺﾝｸﾘ面、ALC面、押出成形ｾﾒﾝﾄ面の下地調整	*ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ALCﾊﾟﾈﾙ面の下地調整種別[DP塗り以外]　・RA種　※ RB種　・RC種　・図示による	[表7.2.5]
		ひび割れ部の補修　・(　　)　・図示による	
		*ｺﾝｸﾘｰﾄ面[DP塗り]、押出成形ｾﾒﾝﾄ板面の下地調整種別　・RA種　・RB種　・RC種　・図示による	[表7.2.6]
		ひび割れ部の補修　・(　　)　・図示による	
	7.2.7　せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面,その他ﾎﾞｰﾄﾞ面の下地調整	*せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面及びその他ﾎﾞｰﾄﾞ面の下地調整種別　・RA種　※ RB種　・RC種　・図示による	[表7.2.7]
	3節　素地ごしらえ		
	7.3.2　木部の素地ごしらえ	*木部の素地ごしらえ種別　不透明塗料塗りの場合　※ A種　・B種　・図示による	[表7.3.1]
		透明塗料塗りの場合　・A種　※ B種　・図示による	
	7.3.3　鉄鋼面の素地ごしらえ	*鉄鋼面の素地ごしらえ種別　DP塗り以外　・A種　・B種　※ C種　・図示による	[表7.3.2]
		DP塗り　・A種　※ B種　・C種　・図示による	
	7.3.4　亜鉛めっき鋼面の素地ごしらえ	*亜鉛めっき鋼面の素地ごしらえ種別　・A種　・B種　・図示による	[表7.3.3]
	7.3.5　ﾓﾙﾀﾙ面及びﾌﾟﾗｽﾀｰ面の素地ごしらえ	*ﾓﾙﾀﾙ面及びﾌﾟﾗｽﾀｰ面の素地ごしらえ種別　・A種　※ B種　・図示による	[表7.3.4]
	7.3.6　ｺﾝｸﾘ面、ALC面、押出成形ｾﾒﾝﾄ面の素地ごしらえ	*ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ALCﾊﾟﾈﾙ面の素地ごしらえ種別[DP塗り以外]　・A種　※ B種　・図示による	[表7.3.5]
		*ｺﾝｸﾘｰﾄ面[DP塗り]、押出成形ｾﾒﾝﾄ板面の素地ごしらえ種別　・A種　・B種　・図示による	[表7.3.6]
	7.3.7　せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面,その他ﾎﾞｰﾄﾞ面の素地ごしらえ	*せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面及びその他ﾎﾞｰﾄﾞ面の素地ごしらえ種別　・A種　※ B種　・図示による	[表7.3.7]
	4節　錆止め塗料塗り		
	7.4.2　塗料種別	*鉄鋼面錆止め塗料種別[EP-G塗りの場合]　・A_2種　※ B_2種　・図示による	[表7.4.1]
		*亜鉛めっき鋼面錆止め塗料種別[SOP塗りの場合]　鋼製建具等　※ A_2種　・B_2種　・C_2種　・図示による	[表7.4.2]
		その他　・A_2種　※ B_2種　・C_2種　・図示による	
	7.4.3　錆止め塗料塗り	*鉄鋼面錆止め塗料塗り	
		[SOP、EP-G塗り、及び錆止め塗装のままの場合]　見え掛り部(新規)　※ A種　・B種　・C種　・図示による	[表7.4.3]
		見え隠れ部(新規)　・A種　※ B種　・C種　・図示による	
		塗替え　・A種　・B種　※ C種　・図示による	
		*鉄鋼面錆止め塗料塗り[DP塗り(新規)の場合]　※ A種　・B種　・C種　・図示による	[表7.4.4]
		*亜鉛めっき鋼面錆止め塗料塗り[SOP及びEP-G塗りの場合]　鋼製建具等　※ A種　・B種　・C種　・図示による	[表7.4.5]
		その他　・A種　※ B種　・C種　・図示による	
		塗替え　・A種　・B種　※ C種　・図示による	
	5節　合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り(SOP)		
	7.5.2　木部SOP	*種別　[新規]　・図示による　屋外　※ A種　・B種　・C種	[表7.5.1]
		屋内　・A種　※ B種　・C種	
		[塗替え]　・A種　※ B種　・C種　・図示による	
	7.5.3　鉄鋼面SOP	*種別　・A種　※ B種　・C種　・図示による	[表7.5.2]

株式会社 市川三千男建築設計事務所	今池小学校校舎改修第1期及び保全主体工事		図面番号
一級建築士登録 第202334号 早瀬　賞次	建築改修工事特記仕様書　6／10	縮尺	A-6
検図 / 製図	設計		

章	項目	特記事項	備考
7章 塗装改修工事	7.5.4 亜鉛めっき鋼面SOP	＊種別 鋼製建具塗替え ※ A種 ・B種 ・C種 ・図示による それ以外の塗替え及び新規塗り ・A種 ※ B種 ・C種 ・図示による	[表7.5.3]
	6節 クリヤラッカー塗り(CL)		
	7.6.2 クリヤラッカー塗り	＊種別 ・A種 ※ B種 ・図示による A種の場合、工程2の適用及び着色に用いる塗料の種類 ・溶剤形着色剤 ・油性染料着色剤 ・適用しない ・図示による	[表7.6.1]
	7節 アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		
	7.7.2 NAD	＊種別 ・A種 ※ B種 ・図示による	[表7.7.1]
	8節 耐候性塗料塗り(DP)		
	7.8.2 鉄鋼面DP	＊上塗り塗料の等級 ※ 1級 ・2級 ・3級	[表7.8.1]
	7.8.3 亜鉛めっき鋼面DP	＊上塗り塗料の等級 ※ 1級 ・2級 ・3級	[表7.8.2]
	7.8.4 ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面DP	＊種別 ・A-1種 ・A-2種 ・B-1種 ・B-2種 ・C-1種 ・C-2種 ・図示による	[表7.8.3]
	9節 つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)		
	7.9.2 ｺﾝｸﾘｰﾄ、押出成形ｾﾒﾝﾄ板、ﾓﾙﾀﾙ、せっこうﾌﾟﾗｽﾀｰ、せっこうﾎﾞｰﾄ面等EP-G	＊種別 ・A種 ※ B種 ・C種 ・図示による ＊塗替えのしみ止め ・図示による ・( ) ※[B種又はC種の場合]工程1の下塗りをしみ止めｼｰﾗｰ(塗料の製造所の指定するもの)とする	[表7.9.1]
	7.9.3 木部EP-G	＊種別 新規 ※ A種 ・B種 ・C種 ・図示による 塗替え ・A種 ※ B種 ・C種 ・図示による	[表7.9.2]
	7.9.4 鉄鋼面EP-G	＊種別 ・A種 ※ B種 ・C種 ・図示による	[表7.9.3]
	7.9.5 亜鉛めっき鋼面EP-G	＊種別 ※ A種 ・B種 ・C種 ・図示による	[表7.9.4]
	10節 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		
	7.10.2 合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り	＊種別 ・A種 ※ B種 ・C種 ・図示による ＊塗替えのしみ止め ・図示による ・( ) ※[B種又はC種の場合] 工程1の下塗りをしみ止めｼｰﾗｰ(塗料の製造所の指定するもの)とする	[表7.10.1]
	11節 ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ塗り(UC)		
	7.11.2 ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ塗り	＊種別 ・A種 ※ B種 ・図示による 工程1の着色の適用 ・溶剤形着色剤 ・油性染料着色剤 ・適用しない ・図示による	[表7.11.1]
	13節 木材保護塗料塗り(WP)		
	7.13.2 木材保護塗料塗り	＊種別 ・A種 ※ B種 ・図示による	[表7.13.1]
8章 耐震改修工事	1節 共通事項		
	＊本章適用上の注意	＊耐震改修工事標準図が添付されている場合はこれを優先する。	
	8.1.2 基本要求品質	＊受注者は、レディーミクストコンクリートを用いる場合の工場選定は以下による。 (1)ＪＩＳマーク表示認証製品を製造している工場（工業標準化法の一部を改正する法律（平成16年6月9日公布）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により製品にＪＩＳ マーク表示する認証を受けた製品を製造している工場）で、かつ、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者（コンクリート主任技士等）が常駐しており、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる、全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場（以下「 適マークを取得した工場という。）から選定し、JIS A 5308（ﾚﾃﾞｨｰﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ）に適合するものを用いなければならない。 (2)ＪＩＳマーク表示認証製品を製造し、適マークを取得した工場が工事現場近くに見当たらない場合は、使用する工場について、設計図書に指定したコンクリートの品質が得られることを確かめたうえ、その資料により監督職員の確認を得なければならない。なお、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者（コンクリート主任技士等）が常駐しており、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる工場から選定しなければならない。	
	8.1.3 コンクリートの種類	＊コンクリートの類別 ※ Ⅰ類 ・Ⅱ類 ・大臣認定コンクリート( ) ＊コンクリートの種類 ・普通コンクリート ・軽量コンクリート	[表8.1.1]
	8.1.4 コンクリートの品質	＊設計基準強度(Fc) ・普通コンクリート( )N/mm^2 ・軽量コンクリート( )N/mm^2 ・図示による ＊コンクリートの荷卸し地点におけるスランプ ※ 表8.1.2による ・( ) ・図示による ＊合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ ・A種 ※ B種 ・C種 ・図示による ＊コンクリートの仕上がりの平たんさの種別 ・a種 ・ b種 ・c種 ・図示による	[表8.1.4] [表8.1.5]
	8.1.5 鉄骨製作工場	＊鉄骨製作工場の加工能力等 ・( ) ・図示による	
	8.1.6 鉄骨製作工場における施工管理技術者	＊施工管理技術者の配置 ※ 必要 ・不要	
	2節 材 料		
	8.2.1 鉄 筋	＊鉄筋種類等 ※ 図示による ・( )	[表8.2.1]
	8.2.2 溶接金網	＊鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径 ※ 図示による ・( )	
	8.2.4 あと施工アンカー	＊あと施工アンカー ・金属系アンカー ・接着系アンカー ・図示による ＊金属系アンカーの仕様 引張耐力、せん断耐力 ・図示による ・( ) ｱﾝｶｰ本体の径、埋込み長さ ・図示による ・( ) セット方式 ※ 本体打込み式改良型 ・( ) ・図示による 接合筋の種類、径、長さ ・図示による ・( ) ＊接着系アンカーの仕様 引張耐力、せん断耐力 ・図示による ・( ) アンカーの種類 ※ ｶﾌﾟｾﾙ方式回転･打撃式 ・( ) ・図示による ｱﾝｶｰ筋の径、埋込み長さ ・図示による ・( ) アンカー筋の種類 ・( ) ・図示による アンカー筋の新設壁内への定着長さ ・( ) ・図示による ＊あと施工アンカーの性能確認試験 ・行う ・行わない	
	8.2.5 ｺﾝｸﾘｰﾄの材料及び調合	＊ｾﾒﾝﾄの種類 ※ 普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ ・高炉ｾﾒﾝﾄ(A種) ・ｼﾘｶｾﾒﾝﾄ(A種) ・ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄ(A種) ・ｴｺｾﾒﾝﾄ ・( ) ・図示による ＊高炉ｾﾒﾝﾄB種の適用箇所 ・( ) ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄB種の適用箇所 ・( ) ＊骨材の種類 ﾌｪﾛﾆｯｹﾙｽﾗｸﾞ細骨材 ・使用 ※ 使用しない 銅ｽﾗｸﾞ細骨材 ・使用 ※ 使用しない 電気炉酸化ｽﾗｸﾞ骨材 ・使用 ※ 使用しない 再生骨材H(ｴｺｾﾒﾝﾄ使用)・使用 ※ 使用しない ＊砕石、砕砂、ﾌｪﾛﾆｯｹﾙｽﾗｸﾞ骨材、銅ｽﾗｸﾞ細骨材、電気炉酸化ｽﾗｸﾞ骨材、再生骨材H、砂利、砂のｱﾙｶﾘｼﾘｶ反応性区分 ※ A ・B ＊混和剤 種類 ・図示による ・AE剤 ・AE減水剤 ・高性能AE減水剤 ・( ) 混和材 種類 ・ﾌﾗｲｱｯｼｭ(Ⅰ種) ・ﾌﾗｲｱｯｼｭ(Ⅱ種) ・ﾌﾗｲｱｯｼｭ(Ⅳ種) ・高炉ｽﾗｸﾞ微粉末 ・ｼﾘｶﾌｭｰﾑ ・膨張材 ・図示による ＊構造体強度補正値(S) ・図示による ※ 表8.2.4による ＊8.2.5(5)(ｲ)(ﾛ)①～③以外の混和材料 使用方法及び使用量 ※ 図示による ・( )	[表8.2.3]
	8.2.6 構造体用ﾓﾙﾀﾙの調合	＊ﾓﾙﾀﾙの圧縮強度 ・( ) ・図示による フロー値 ・( ) ・図示による	
	8.2.7 型枠の材料	＊せき板の材料 ※ 8.2.7(1)による ・( ) ・図示による 合板の厚さ ※ 12mm ・( ) ・図示による ＊ラス型枠については、下記の仕様により使用できるものとする。 1）使用可能部位 独立基礎、地中梁(ただし、見えがかり部、ピット内部は合板型枠とする。) 2）鉄筋の最小かぶり厚さ ラス型枠を使用した部分の鉄筋の最小かぶり厚さは、公共建築工事標準仕様書(建築工事編)5.3.6表に示す数値＋10mmするものとする。 3）コンクリートのスランプ及び打込み スランプは15cm又は18cmとする。バイブレーターを使用するときには、ラス型枠に直接当てないように注意する。 4）その他 各メーカーで仕様が異なるため、それぞれの施工要領書等で確認する。	

章	項目	特記事項	備考
8章 耐震改修工事		＊スリーブの材種 ・鋼管 ・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管 ・溶融亜鉛めっき鋼板 ・つば付き鋼板 ・図示による	[表8.2.6]
	8.2.8 鋼 材	＊種類、形状、寸法 ※ 図示による ・( )	
	8.2.9 高力ボルト	＊種類 ※ トルシア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト ・溶融亜鉛めっき高力ボルト ・図示による ねじの呼び ※ 図示による ・( )	
	8.2.10 溶接材料	＊8.2.10(1)、(2)以外の溶接材料 ・( ) ・図示による	
	8.2.11 スタッド	＊スタッドの種類 ・( ) ・図示による	
	8.2.12 柱底均しﾓﾙﾀﾙ及びｸﾞﾗｳﾄ材	＊柱底均しモルタル ※ 無収縮モルタル(8.2.12(1)による) ・( ) ・図示による	
	8.2.13 連続繊維ｼｰﾄ及び含浸接着樹脂等	＊材料、工法、引張強度、ヤング係数 ・図示による ・( )	
	8.2.14 鋼材の材料試験等	＊板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験 ・行う ・行わない	
	8.2.15 基礎工事に用いる材料	＊砂利地業に使用する砂利 ・再生クラッシャラン ・切込砂利 ・切込砕石 ・図示による ＊砂地業に使用する砂 ・山砂 ・川砂 ・砕砂 ・( ) ・図示による ＊捨コンクリート地業に使用するコンクリート ※表8.1.1のコンクリート ・図示による ・( ) ＊杭の材料 ※ 図示による ・( ) ＊杭に継手を設ける場合の継手の箇所数、材料、工法等 ※ 図示による ・( )	
	3節 鉄筋の加工及び組立		
	8.3.2 加 工	＊90° 未満の折曲げの内法直径 ・( )	
	8.3.4 継手及び定着	＊種類 ※ 図示による ・重ね継手 ・ガス圧接継手 ・機械式継手 ・溶接継手 ＊継手位置 ※ 図示による ＊耐力壁の鉄筋の重ね継手長さ ※ 40d(軽量ｺﾝｸﾘｰﾄの場合50d)又は表8.3.2の重ね継手の長さのいずれか大きい値 ・図示による ＊先組み工法等で、柱及び梁の主筋にうち、隣り合う継手を同一箇所に設ける場合の継手の位置 ・図示による ・( ) ＊鉄筋の定着長さ ※ 表8.3.4による ・図示による ・( ) 定着長さを確保できない場合の折曲げ定着の方法 ※ 8.3.4(5)(ｲ)による ・図示による ・( ) 機械式定着工法の適用箇所及び種類 ・図示による ・( ) ＊帯筋組立の形、継手及び定着 ※ 図示による ・( )	
	8.3.5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔	＊鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ ※ 表8.3.6による ・図示による ・( )	
	8.3.7 壁の配筋及び補強	＊壁の配筋 ・( ) ・図示による ＊壁開口部の補強 ・( ) ・図示による	
	8.3.8 ガス圧接	＊超音波探傷試験 ※ 行う ・行わない	
	4節 鉄筋の機械式･溶接継手		
	8.4.2 機械式継手	＊適用箇所、性能、種類、鉄筋相互のあき ※ 図示による ・( ) ＊施工完了後の試験 外観試験 試験項目、試験方法 ・( ) ・図示による 不合格となった場合の措置 ・( ) ・図示による 超音波測定試験 試験対象 ・( ) ・図示による 不合格となった場合の措置 ・( ) ・図示による	
	8.4.3 溶接継手	＊適用箇所、性能、工法、鉄筋相互のあき ※ 図示による ・( ) ＊施工完了後の試験 外観試験 試験項目、試験方法 ・( ) ・図示による 不合格となった場合の措置 ・( ) ・図示による 超音波測定試験 試験対象 ・( ) ・図示による 不合格となった場合の措置 ・( ) ・図示による	
	7節 ｺﾝｸﾘｰﾄの運搬･打込･締固		
	8.7.7 養 生	＊普通エコセメント使用時の湿潤養生の期間 ( )日以上	
	8.7.8 型枠工事	＊外部に面するコンクリートの打増し厚さ ( )mm ・図示による ＊シアコネクタをセパレーターとして使用する場合 ・( ) ・図示による ＊普通エコセメント使用時の型枠の最小存置期間 ・( )	
	9節 軽量コンクリート		
	8.9.1 一般事項	＊軽量コンクリートの適用箇所 ※ 図示による ・( )	
	8.9.2 種類及び品質	＊軽量コンクリートの種類 ・1種 ・2種 気乾単位容積質量 ・( )t/m^3 ＊スランプ ※ 21cm ・( ) ・図示による	[表8.9.1]
	10節 暑中コンクリート		
	8.10.2 材料及び調合	＊構造体強度補正値(S) ※表8.10.1による ・図示による ・( )	
	11節 無筋コンクリート		
	8.11.1 一般事項	＊コンクリートの種類 ※ 普通コンクリート ・図示による ・( ) ＊設計基準強度 ※ 18N/mm^2 ・図示による ・( ) ＊スランプ ・15cm 18cm ・( ) ・図示による	
	12節 あと施工アンカー工事		
	8.12.4 穿 孔	＊埋込み配管等の探査の方法 ・( )	
	8.12.7 施工確認試験	＊ｱﾝｶｰ施工後の確認試験 ※ 引張試験機による引張試験 ・( ) 1ロット ※ 1日に施工されたものの径及び仕様ごと ・( ) 試験の箇所数 ※ 1ロットに対して3本 ・( ) 確認強度 ・( ) ・図示による	
	13節 鉄骨工作		
	8.13.2 鉄骨の工作図	＊高力ﾎﾞﾙﾄ、普通ﾎﾞﾙﾄ及びｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄの縁端距離、ﾎﾞﾙﾄ間隔、ｹﾞｰｼﾞ等 ※ 図示による ・( )	
	8.13.8 ボルト孔	＊母屋又は胴縁の取付けに使用する普通ﾎﾞﾙﾄ孔径 ※ ねじの呼び径+1.0mm ・図示による ・( )	
	8.13.10 仮 組	＊仮組の実施 ・行う ※ 行わない	
	14節 高力ボルト接合		
	8.14.2 摩擦面の性能･処理	＊すべり試験 ※ 実施しない ・実施する(試験方法等:) ・図示による	
	8.14.7 締付け	＊ﾅｯﾄ回転法の場合で、「JIS形高力ﾎﾞﾙﾄ長さ」＞「ねじの呼びの5倍」の場合の回転量 ※ 図示による ・( )	
	15節 溶接接合		
	8.15.3 技能資格者	＊技量付加試験 ・行う ※ 行わない ・図示による	
	8.15.4 溶接の準備	＊開先の形状 ※ 図示による ・( )	
	8.15.7 溶接施工	＊ｴﾝﾄﾞﾀﾌﾞを切断する箇所及び切断範囲 ※ 図示による ・( ) 切断面の仕上げ ※ ｸﾞﾗｲﾝﾀﾞｰ仕上[粗さ100μmRz程度以下,ﾉｯﾁ深さ1mm程度以下] ・図示による ・( ) ＊完全溶込み溶接 板厚が異なる場合における低応力高サイクル疲労を受ける部位 ※ 図示による ・( ) スカラップの形状 ※図示による ・( )	

株式会社 市川三千男建築設計事務所	今池小学校校舎改修第1期及び保全主体工事		図面番号
一級建築士登録 第202334号 早瀬 賞次	建築改修工事特記仕様書 7／10	縮尺	A-7
検図 / 製図	設 計		

章	項目	特記事項	備考
8章 耐震改修工事	8.15.12 溶接部の試験	＊「鉄骨造の継手又は仕口の構造方法を定める件」第二号に関する試験方法等　・図示による　・(　　) ＊「鉄骨精度検査基準」の付表3「溶接」に関する試験方法等　・図示による　・(　　) ＊完全溶込み溶接部の超音波探傷試験　※ 行う　・行わない	
	17節 鉄骨の錆止め塗装		
	8.17.2 塗装の範囲	＊耐火被覆材の接着する面の塗装範囲　※ 図示による　・(　　) 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲　※ 8.17.2(1)(ｱ)～(ｵ)以外の範囲　・図示による　・(　　)	
	8.17.4 塗料の種別	＊SRC造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内面　・図示による　※ 表7.4.1のA_s種　・(　　) ＊耐火被覆材が接着する面　・(　　)・図示による	
	18節 耐火被覆		
	8.18.2 耐火被覆の種類等	＊耐火被覆の種類　[※ 図示による　・耐火材吹付け　・耐火板張り ・耐火材巻付け　・ﾗｽ張りﾓﾙﾀﾙ塗り　・耐火塗料　・(　　)] ＊材料及び工法等　※ 図示による　・(　　)	
	8.18.3 耐火被覆の性能、品質等	＊耐火被覆の耐火性能　※ 図示による　・(　　)	
	20節 溶融亜鉛めっき工法		
	8.20.5 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合	＊摩擦面の処理方法等　・ブラスト処理　・りん酸塩処理　・(　　)　・図示による	
	21節 現場打ちRC壁の増設工事		
	8.21.2 既存部分の撤去等	＊既存仕上の撤去範囲　※ 本工事に支障となる最小限の範囲　・図示による　・(　　) ＊工事に支障となる設備機器、配管等の撤去、移設　・図示による　・(　　) ＊既存構造体の撤去範囲　※ 図示による　・(　　) ＊はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置　※ 図示による　・(　　)	
	8.21.3 既存部分の処理	＊打継ぎ面となる範囲の既存構造体コンクリート面の目荒しの程度　※ 図示による　・(　　)	
	8.21.6 鉄筋の加工及び組立	＊割裂補強筋の仕様　※ 図示による　・(　　)	
	8.21.8 コンクリートの打込み	＊コンクリート打込み工法　・流込み工法　・圧入工法　・図示による　・(　　)	
	8.21.9 既設構造体との取合い	＊既存構造体と増設壁との取合いの処理方法　※ グラウト材の注入　・図示による　・(　　)	
	8.21.10 仕上げ	＊増設壁工事後の仕上げ　※ 図示による　・(　　)	
	22節 鉄骨ﾌﾞﾚｰｽの設置工事		
	8.22.2 既存部分の撤去等	＊既存仕上の撤去範囲　※ 本工事に支障となる最小限の範囲　・図示による　・(　　) ＊工事に支障となる設備機器、配管等の撤去、移設　・図示による　・(　　) ＊既存構造体の撤去範囲　※ 図示による　・(　　) ＊はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置　※ 図示による　・(　　)	
	8.22.3 既存部分の処理	＊目荒しの程度　※ 図示による　・(　　)	
	8.22.7 既存構造体との取合い	＊割裂補強筋の仕様　※ 図示による　・(　　)	
	8.22.9 仕上げ	＊ﾌﾞﾚｰｽ設置工事後の仕上げ　※ 図示による　・(　　)	
	23節 柱補強工事		
	8.23.2 既存部分の撤去等	＊既存仕上の撤去範囲　※ 本工事に支障となる最小限の範囲　・図示による　・(　　) ＊工事に支障となる設備機器、配管等の撤去、移設　・図示による　・(　　) ＊既存構造体の撤去範囲　※ 図示による　・(　　) ＊はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置　※ 図示による　・(　　)	
	8.23.3 既存部分の処理	＊目荒しの程度　※ 図示による　・(　　)	
	8.23.5 溶接金網巻工法及び溶接閉鎖ﾌｰﾌﾟ巻工法	＊コンクリート及び構造体用モルタルの打ち込み　・流込み工法　・圧入工法　・図示による	
	8.23.6 鋼板巻･帯板巻付工法	＊鋼板等の加工　柱頭及び柱脚に隙間を設ける場合　※ 図示による　・(　　)	
	8.23.7 仕上げ	＊補強工事後の仕上げ　※ 図示による　・(　　)	
	24節 連続繊維補強工事		
	8.24.4 既存部分の撤去等	＊既存仕上の撤去範囲　※ 本工事に支障となる最小限の範囲　・図示による　・(　　) ＊工事に支障となる設備機器、配管等の撤去、移設　・図示による　・(　　) ＊既存構造体の撤去範囲　※ 図示による　・(　　) ＊はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置　※ 図示による　・(　　)	
	8.24.6 施　工	＊下地処理　ひび割れ部の改修工法種類　・4.1.4による樹脂注入工法　・図示による　・(　　) 面取りの大きさ(柱及び梁の隅角部)　※ 図示による　・(　　) ＊引張強度試験　・行う(試験数量:　　)　・行わない ＊付着強度試験　・行う(試験数量:　　)　・行わない	
	8.24.7 仕上げ	＊補強工事後の仕上げ　※ 図示による　・(　　)	
	25節 耐震スリット新設工事		
	8.25.2 施　工	＊スリット幅及び深さ　※ 図示による　・(　　) ＊既存仕上の撤去範囲　※ 本工事に支障となる最小限の範囲　・図示による　・(　　) ＊工事に支障となる設備機器、配管等の撤去、移設　・図示による　・(　　) ＊充填材の挿入及び周囲補修等　耐火材の使用箇所及び仕様　※ 図示による　・(　　) 遮音材の使用箇所及び仕様　※ 図示による　・(　　) ＊既存部分の撤去部の補修　※ 撤去材と同一材で補修　・監督職員との協議による　・(　　)	
	26節 免震改修工事		
	8.26.5 既存部分の撤去等	＊既存部分がRC又はSRCの場合の既存仕上の撤去範囲　※ 本工事に支障となる最小限の範囲　・図示による ＊工事に支障となる設備機器、配管等の撤去、移設　・図示による　・(　　) ＊既存構造体の撤去範囲　※ 図示による　・(　　) ＊はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置　※ 図示による　・(　　) ＊既存杭の撤去範囲及び撤去方法　※ 図示による　・(　　)	
	8.26.6 既存部分の処理	＊打継ぎ面となる範囲の既存構造体コンクリート面の目荒しの程度　※ 図示による　・(　　) ＊既存杭の杭頭部等の処理　※ 図示による　・(　　)	
	8.26.7 支承材･減衰材	＊支承材又は減衰材の材質、諸元　※ 図示による　・(　　) ＊性能確認試験の項目及び数量　・(　　)　・図示による ＊製品検査における項目、内容、判定基準、検査頻度等　・図示による　・(　　)	
	8.26.10 支承材又は減衰材の設置	＊防錆処置　・(　　)　・図示による ＊支承材又は減衰材の設置位置の寸法許容差　・(　　)　・図示による ＊割裂補強筋の適用　・適用する　・適用しない ＊コンクリート打込み工法　・流込み工法　・圧入工法　・図示による	
	8.26.13 仕上げ	＊支承材又は減衰材設置後の仕上げ　・図示による　・(　　)	
	8.26.14 耐火被覆	＊支承材への耐火被覆の適用　・適用しない　・適用する（仕様:　　)　・図示による	
	8.26.15 免震EXP.J	＊免震部分周囲のｴｷｽﾊﾟﾝｼｮﾝｼﾞｮｲﾝﾄの仕様、工法等　※ 図示による　・(　　)	
	8.26.16 検　査	＊検査の項目及び数量　・(　　)　・図示による	
	8.26.17 維持管理要領	＊記載する項目　※ 8.26.17(2)による　・(　　) ＊地震計、下げ振り、けがき板、別置き試験体等の設置及び仕様　※ 図示による　・(　　)	

章	項目	特記事項	備考
8章 耐震改修工事	27節 制振改修工事		
	8.27.2 既存部分の撤去等	＊既存鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ及び既存鉄筋鉄骨ｺﾝｸﾘｰﾄの撤去等 既存仕上の撤去範囲　※ 本工事に支障となる最小限の範囲　・図示による　・(　　) 工事に支障となる設備機器、配管等の撤去、移設　・図示による　・(　　) 既存構造体の撤去範囲　※ 図示による　・(　　) はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置　※ 図示による　・(　　) ＊既存鉄骨の撤去範囲及び撤去方法　※ 図示による　・(　　) ＊既存鉄骨の処置　※ 図示による　・(　　)	
	8.27.3 既存部分の処理	＊打継ぎ面となる範囲の既存構造体コンクリート面の目荒しの程度　※ 図示による　・(　　)	
	8.27.4 減衰材	＊減衰材の材質、諸元　※ 図示による　・(　　) ＊性能確認試験の項目及び数量　・(　　)　・図示による ＊製品検査における項目、内容、判定基準、検査頻度等　・図示による　・(　　)	
	8.27.6 減衰材の設置	＊防錆処置　・(　　)　・図示による　設置位置の寸法許容差　・図示による　・(　　) ＊割裂補強筋の適用　・適用する(仕様　※図示による)　・適用しない ＊コンクリート打込み工法　・流込み工法　・圧入工法　・図示による	
	8.27.8 仕上げ	＊減衰材設置後の仕上げ　・図示による　・(　　)	
	8.27.9 検　査	＊検査の項目及び数量　・図示による　・(　　)	
	28節 土工事及び地業工事		
	8.28.2 既存杭の撤去等	＊既存杭の撤去範囲及び撤去方法　※ 図示による　・(　　) ＊既存杭の杭頭部等の処理　※ 図示による　・(　　) ＊既存杭の補強　※ 図示による　・(　　) ＊既存杭の健全性を確認する試験　・行う　・行わない	
	8.28.3 土工事	＊埋戻し及び盛土の材料、工法　・A種　・B種　・C種　・D種　・図示による　[表8.28.1] ＊処分にあたっては「リサイクルガイドライン」に基づき、適正に処理する。 ＊建設発生土の有無　・有　・無 ＊建設発生土の処理　・構外搬出（関係法令に従い適切に処理） (搬出先名称（所在地）:　　) (片道運搬距離(km):　　)(片道運搬時間(時間):　　) (搬出先条件（土質試験、その他建設発生土の発生抑制や適正処分に必要な情報） :　　) ・場内敷き均し 建設発生土を構外へ搬出する場合は、搬出先等の承諾を得たうえで、搬出先及び処分状況(高さ、勾配等)がわかる写真並びに運搬を証明する書類等を監督職員に提出する。	
	8.28.4 地業工事	＊試験杭　位置　※ 図示による　本数　※ 図示による　・(　　)本　寸法　・(　　)m ＊試験杭の施工方法　※ 図示による　・(　　) ＊杭の載荷試験　・鉛直載荷試験　・水平載荷試験 試験杭の位置、本数、積載荷重　※ 図示による　・(　　) 8.28.4(2)(ｴ)以外の報告書の記載事項　・(　　) ＊地盤の載荷試験　・平板載荷試験　・行わない 試験位置　※ 図示による　載荷荷重　※ 図示による　・(　　) 8.28.4(2)(ｴ)以外の報告書の記載事項　・(　　) ＊杭地業の工法　※ 図示による　・(　　) ＊支持層の位置、土質、杭の根入れ長さ、水平方向の位置ずれの精度　※ 図示による　・(　　) ＊杭の寸法　※ 図示による　・(　　) ＊技能資格者の技量及び溶接部の確認　・(　　)　・図示による ＊杭頭処理　※ 図示による　・(　　)　・無し ＊本杭の施工方法　※ 図示による　・(　　) ＊記録する施工状況等　・(　　)　・図示による ＊砂利及び砂地業　範囲　※ 図示による　厚さ　※ 60mm　・(　　)mm　・図示による ＊捨コンクリート　範囲　※ 図示による　厚さ　※ 50mm　・(　　)mm　・図示による	
9章 環境配慮改修工事	1節 石綿含有建材の除去工事		
	9.1.1 一般事項	＊大気汚染防止法に基づき、適正に対応すること ＊石綿含有建材除去後の仕上げ工事　※ 図示による　・(　　) ＊石綿粉じん濃度測定　・行う　○・行わない	

測定時期	測定場所	測定箇所数	備考
処理作業前	① 施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	注1）注4）
処理作業中	② セキュリティーゾーン入口	1点	空気の流れを確認 注1）
	③ 集じん･排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	1点	集じん･排気装置の性能確認 注1）
	④ 施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	注1）
処理作業後 隔離シート撤去前	⑤ 処理作業室（隔離された区域）内	2点 注2）	注3）

注1）速報値で10f/L以上検出された場合は、直ちに作業を中止し、その原因を確認すること。
注2）各施工箇所ごとの室面積が10㎡以下の場合は1点、50㎡までは2点、300㎡以下までは3点とする。
300㎡を超えるものは、300㎡ごとに1測定点を追加する。
注3）粉じん測定は、粉じん飛散抑制剤を散布した翌日とし、速報値で10f/L以下であることを確認した後、シートの撤去を行うこと。
注4）処理作業前の測定については、監督員との協議による。

＊石綿則第6条による隔離措置と「同等以上の効果を有する措置」により除去等作業を行う場合、上表のうち、①及び④を実施する。
＊粉じん濃度測定結果報告書の提出部数　※ 2部　・(　　部)

9.1.2 除去工事共通事項	＊石綿作業主任者は、法令に基づき、労働者の指揮、作業方法の指導等、必要な措置を行うこと。 特に、主たる工事が石綿対策工事の場合は、自社所属の石綿作業主任者を選任すること。 ＊監督職員等の保護具、保護衣等は、受注者が無償で準備すること。	

株式会社 市川三千男建築設計事務所	今池小学校校舎改修第1期及び保全主体工事		図面番号
一級建築士登録 第202334号 早瀬　賞次	建築改修工事特記仕様書　8／10	縮尺	A-8
検図 / 製図	設　計		

章	項目	特記事項	備考
9章 環境配慮改修工事	9.1.3 石綿含有吹付け材の除去	＊除去工法 ※ 図示による ・9.1.3(2)(ｱ)による ・( ) ＊除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・固形化 ・図示による ＊除去した石綿含有吹付け材等の処分方法 ・9.1.3(3)(ｴ)(a)による ・9.1.3(3)(ｴ)(b)による	
	9.1.4 石綿含有保温材等の除去	＊除去工法 ※ 図示による ・( ) ＊除去した石綿含保温材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・固形化 ・図示による ＊除去した石綿含有保温材等の処分方法 ・9.1.3(3)(ｴ)(a)による ・9.1.3(3)(ｴ)(b)による	
	9.1.5 石綿含有成形板等の除去	＊養生シート ・使用する ・使用しない ＊除去した石綿含有成形板（石綿含有せっこうﾎﾞｰﾄﾞを除く）の処分 ・埋立処分 ・中間処分 ・図示による	
	9.1.6 石綿含有仕上塗材の除去	＊除去方法 ※ 図示による ・( ) ＊除去した石綿含有成形板の処分 ・埋立処分 ・中間処分 ・図示による ＊汚泥としての処理の必要有無 ・無 ・有( )	
	2節 外断熱改修工事		
	9.2.2 材 料	＊断熱材の種類及び厚さ ※ 図示による ・( ) ＊外装材の種類及び防火性能 ※ 図示による ・( )	
	9.2.3 既存外壁の処置	＊仕上材の撤去 ※ 図示による ・( ) ＊下地面の清掃 ※ 図示による ・( ) ＊断熱材設置部分の下地に欠損部がある場合の改修工法の種類 ※ 図示による ・( )	(4.1.4)
	9.2.4 工 法	＊建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ・( ) ＊不陸等の下地調整 ※ 図示による ・( ) ＊断熱材の施工 ※ 図示による ・( ) ＊外装材の施工 ※ 図示による ・( ) ＊通気層の有無、厚さ ※ 図示による ・( ) ＊外装材の外壁への取り付け ※ 図示による ・( )	
	3節 断熱・防露改修工事		
	9.3.2 断熱材打込み工法	＊断熱材の種類及び厚さ ※ 図示による ・( )	
	9.3.3 断熱材現場発泡工法	＊断熱材の種類 ・図示による ・( ) ・A種1 ・A種1H ＊吹付け厚さ ・( )㎜ ・図示による	
	9.3.4 断熱材後張り工法	＊断熱材の種類及び厚さ ※ 図示による ・( ) 断熱材に石膏ボード等を張り付けたパネルを使用する場合 ※ 図示による ・( ) ＊工法 後張りした断熱材に直接ﾎﾞｰﾄﾞの張付けを行う場合の断熱材への張付け工法 ※ 図示による ・( ) 断熱材に石膏ボード等を張り付けたパネルを使用する場合 ※ 図示による ・( )	
	4節 屋上緑化改修工事		
	9.4.2 材 料	＊芝及び地被類の種類等 ※ 図示による ・( ) ＊見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※ 図示による ・( )	
	9.4.3 工 法	＊建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ※ 図示による ・( ) ＊かん水装置の設置及び種類 ※ 図示による ・( ) ＊既存保護層等の撤去工法 ※ 図示による ・( )	
	9.4.4 新植芝及び地被類の枯補償	＊枯補償の期間 ※ 引渡しの日から1年 ・( )	
	5節 透水性アスファルト舗装改修工事		
	9.5.2 既存舗装の撤去及び再利用	＊既存舗装の撤去 ・行わない ・行う ※ 図示による ・( ) ＊既存舗装の再利用 ・行わない ・行う ※ 図示による ・( )	
	9.5.3 路 床	＊凍上抑制層の適用及び厚さ ※ 図示による ・( ) ＊透水性舗装に用いるフィルター層厚さ ※ 図示による ・( ) ＊路床安定処理の適用及び方法 ※ 図示による ・( ) ＊盛土材料の種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・図示による ・( ) [表8.28.1] ＊凍上抑制層の材料 ※ 図示による ・( ) ＊砂の粒度試験 ・行わない ・行う ＊路床安定処理用添加材料 ・普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ ・高炉ｾﾒﾝﾄB種 ・ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄB種 [表9.5.2] ・図示による ・生石灰特号 ・生石灰1号 ・消石灰特号 ・消石灰1号 ＊添加材料による路床安定処理 CBR ※図示による ・( ) ＊路床土のCBR試験 ・行わない ・行う ＊路床締固め度試験 ・行わない ・行う ＊現場CBR試験 ・行わない ・行う	
	9.5.4 路 盤	＊路盤の厚さ ※ 図示による ・( ) ＊路盤材料 種別 ・図示による ・( ) [表9.5.3]	
	9.5.5 舗装の構成及び仕上り	＊舗装の構成 ※ 図示による ・( ) ＊舗装の平たん性 ※ 著しい不陸がないもの ・( )	
	9.5.9 試 験	＊開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない	
その他事項	特定建設資材の再資源化等	＊建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律[（平成12年法律第104号）以下「建設リサイクル法」という。]に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、別表1又は2、及び3の積算条件を設定しているが、工事請負契約書の「解体工事に要する費用」等に定める事項は契約締結時に発注者と受注者の間で確認されたものであるため、発注者が積算上条件明示した別表の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。ただし、現場条件の変更等、受注者の責によるものではない事項については、この限りでない。また、受注者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条第1項に基づく報告として、監督職員に「再資源化等報告書」を提出すること。「再資源化等報告書」は、https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kensetsu-kikaku/kenchiku-kijyun.html[建築工事事務の手引・関連様式]から入手可能。 （注）別表4については積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお受注者の提示する施設と異なる場合においても、設計変更の対象としない。 ＊別表1 建築物に係る解体工事 工程ごとの作業内容及び解体方法 工程 / 作業内容 / 分別・解体等の方法 ・建築設備、内装材等 / ・有 ・無 / ※ 手作業 ・手作業と機械作業の併用 ・屋根ふき材 / ・有 ・無 / ※ 手作業 ・手作業と機械作業の併用 ・外装材、上部構造部材 / ・有 ・無 / ・手作業 ※ 手作業と機械作業の併用 ・基礎、基礎ぐい / ・有 ・無 / ・手作業 ※ 手作業と機械作業の併用 ・その他 ( ) / ・有 ・無 / ・手作業 ・手作業と機械作業の併用	

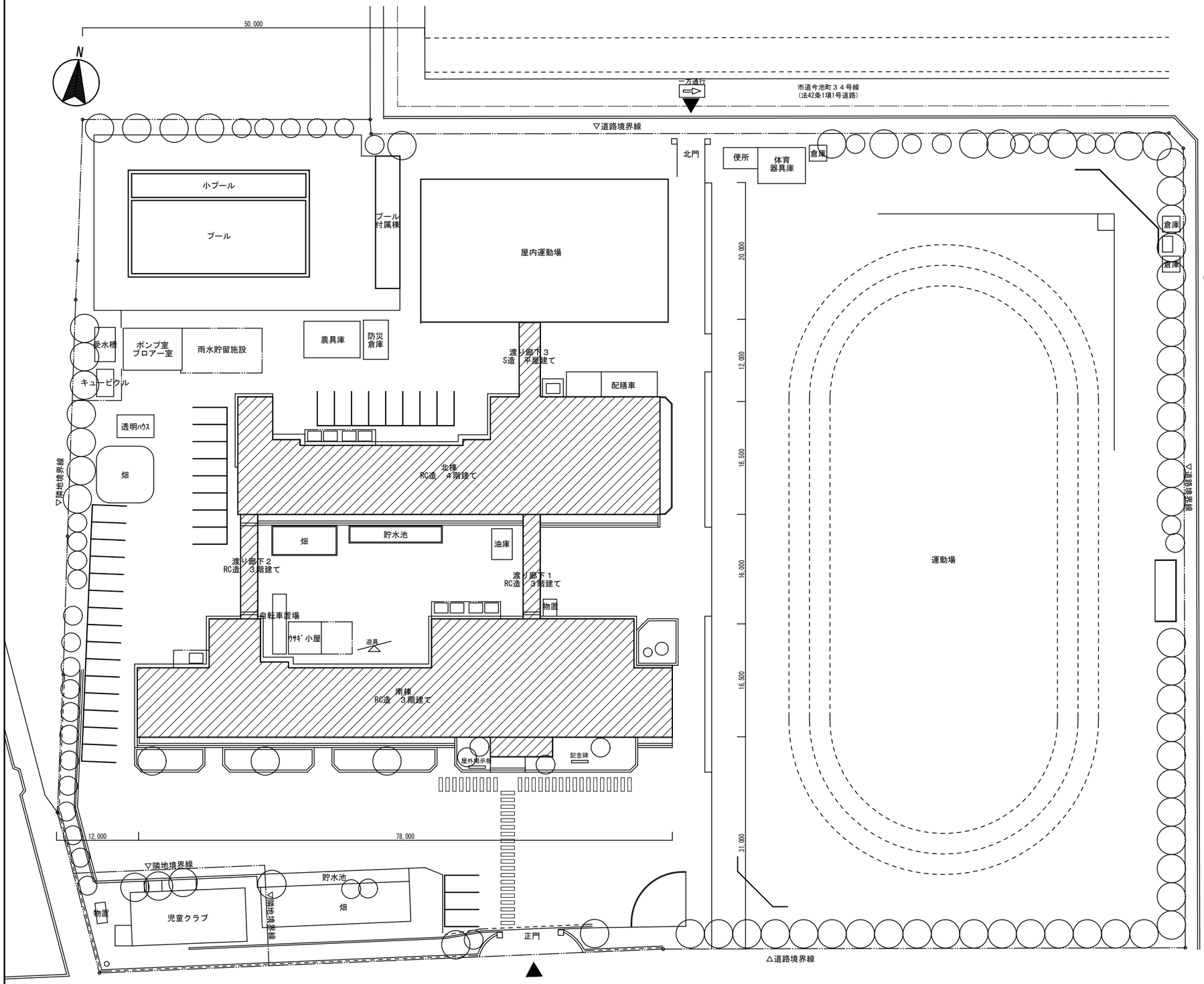
章	項目	特記事項	備考
その他事項		＊別表2 建築物に係る新築工事等（新築・増築・修繕・模様替） 工程ごとの作業内容及び解体方法 工程 / 作業内容 / 分別・解体等の方法 ・造成等 / ・有 ・無 / ・手作業 ・手作業と機械作業の併用 ・基礎、基礎ぐい / ・有 ・無 / ・手作業 ※ 手作業と機械作業の併用 ・上部構造部分、外装 / ・有 ・無 / ・手作業 ※ 手作業と機械作業の併用 ・屋根 / ・有 ・無 / ※ 手作業 ・手作業と機械作業の併用 ・建築設備、内装等 / ・有 ・無 / ※ 手作業 ・手作業と機械作業の併用 ・その他 ( ) / ・有 ・無 / ・手作業 ・手作業と機械作業の併用 ＊別表3 建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等（外構・工作物等） 工程ごとの作業内容及び解体方法 工程 / 作業内容 / 分別・解体等の方法 ・仮設 / ・有 ・無 / ※ 手作業 ・手作業と機械作業の併用 ・土工 / ・有 ・無 / ※ 手作業 ・手作業と機械作業の併用 ・基礎 / ・有 ・無 / ・手作業 ※ 手作業と機械作業の併用 ・本体工事 / ・有 ・無 / ※ 手作業 ・手作業と機械作業の併用 ・本体付属品 / ・有 ・無 / ※ 手作業 ・手作業と機械作業の併用 ・その他 (さく、照明器具) / ・有 ・無 / ※ 手作業 ・手作業と機械作業の併用 ＊別表4 再資源化等をする施設の名称及び所在地 廃棄物の種類 / 施設の名称 / 所在地 ・コンクリート / /
		・鉄及びコンクリートから成る建設資材 / /
		・アスファルト・コンクリート / /
		・木材 (・)発生土 / ・リサイクルプラント /
	化学物質を発散する建築材料等の使用制限の原則	本工事に使用する資材は、次の建築材料等の適正な選択による対策を講じること。 1）ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレン（以下「ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ等」という。）を発散する建築材料等の使用制限の原則 対策をとる建築材料等 / 使用制限の原則 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他木質建材 / ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ等を発散しないか、発散が極めて少ないJAS又はJISの規格品とする。 ② 家具、書架、実験台、その他の什器等 / ①⑤⑦に掲げる建築材料等を使用している場合には、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ等を発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 ③ ユリア樹脂板 / ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ等を発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 ④ 壁紙 / ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ等を発散しないか、発散が極めて少ないJAS又はJISの規格品とする。 ⑤ 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート及び幅木等の施工時に使用する接着剤 ⑥ 保温材、緩衝材、断熱材 ⑦ 塗料 ⑧ 仕上塗材 2）トルエン、キシレン及びエチルベンゼン（以下「トルエン等」という。）を含有する塗料及び接着剤の使用制限の原則 対策をとる建築材料等 / 使用制限の原則 ① 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート及び幅木等の施工時に使用する接着剤 / トルエン等の含有量が少ないJAS又はJISの規格品とする。 ② 塗料 3）クロルピリホス、ダイアジノン及びフェノブカルブ（以下「ｸﾛﾙﾋﾟﾘﾎｽ等」という。）を含有する防腐・防蟻剤の使用制限 対策をとる建築材料等 / 使用制限 木材保存（木材の防腐・防蟻処理）剤 / クロルピリホス等を含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防腐・防蟻処理等は工場で行い、十分乾燥した後に現場へ搬入する。 4）可塑剤を使用している建築材料等の使用制限の原則 対策をとる建築材料等 / 使用制限の原則 ① 壁紙用接着剤 / フタル酸ジ－n－ブチル及びフタル酸ジ－2－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているJAS又はJISの規格品とする。 ② 木工用接着剤 / フタル酸ジ－n－ブチル及びフタル酸ジ－2－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。
	工事で使用する資材・機材	本工事に使用する資材・機材は、令和7年版国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の各標準仕様書、本特記仕様書、並びに図面で指定された品質、性能を有するもののほか、以下のものとする。 1）（一社)公共建築協会の「建築材料・設備器材等品質性能評価事業」により評価を受けた建築材料・設備機材等（以下「評価名簿登載品」という）。ただし、評価書の「納入地区及びアフターサービス地区」に当該工事場所が含まれる場合に限る。 2）（一財)ベターリビングが認定した優良住宅部品（BL部品）。ただし、現場においてBLマーク表示が確認できるものに限る。 3）その他、各標準仕様書の仕様規定及び試験方法に適合することが証明書等で確認でき、監督職員の承諾を得られたもの。 （定期的なﾒﾝﾃﾅﾝｽが必要になる機材については、ﾒﾝﾃﾅﾝｽ(ｱﾌﾀｰｻｰﾋﾞｽ)の体制についても監督職員に承諾が得られること。） なお「評価名簿登載品」は、（一社)公共建築協会の「建築材料・設備器材等品質性能評価事業」の評価書の写しを提出することにより、その評価を受けたこと及びメンテナンスの体制があることについて証明することができる。

株式会社 市川三千男建築設計事務所	今池小学校校舎改修第1期及び保全主体工事		図面番号
一級建築士登録 第202334号 早瀬 賞次	建築改修工事特記仕様書 9／10	縮尺	A-9
検図 / 製図	設計		

章	項目	特記事項	備考
その他事項	8.28.3　土工事	＊埋戻し及び盛土の材料、工法　・A種　・B種　・C種　・D種　・図示による ＊処分にあたっては「リサイクルガイドライン」に基づき、適正に処理する。 ＊建設発生土の有無　・有　・無 ＊建設発生土の処理　・構外搬出（関係法令に従い適切に処理） （搬出先名称（所在地）：　三水工業(株)（安城市　新田町稲穂83-9） （片道運搬距離(km)：　1.4km　　）（片道運搬時間(時間)：　4分程度　） （搬出先条件（土質試験、その他建設発生土の発生抑制や適正処分に必要な情報）	［表8.28.1］
	南海トラフ地震防災対策推進地域における対応	1）受注者は、本工事の施工条件、施工内容を踏まえ、南海トラフ地震臨時情報【巨大地震警戒、巨大地震注意】の発表時における、後発地震による揺れの影響が大きい作業又は津波による影響を受ける作業に対する措置の内容及び津波避難を含む作業員等の安全確保の方法について施工計画書に記載するものとする。なお、南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域における工事にあっては、津波避難に関して施工計画書に記載するものとする。 2-1）本工事の施工場所に住民事前避難対象地域が含まれる場合 受注者は、南海トラフ地震臨時情報【巨大地震警戒】が気象庁から発表された場合には、契約約款第21条の規定に基づく発注者からの一時中止の通知があったものとして、住民事前避難対象地域での工事を中断し、直ちに退避するものとし、警戒する措置が解除されるまでの間（1週間）は当該箇所での工事を一時中止するものとする。また、住民事前避難対象地域以外の施工場所についても、本工事の施工条件、施工内容を踏まえ、あらかじめ定めた施工計画書の措置内容に基づき、後発地震による揺れの影響が大きい作業又は津波による影響を受ける作業について、警戒する措置が解除されるまでの間（1週間）は一時中止するものとする。その他の作業について、受注者は、改めて後発地震又は津波に備え作業の一時中止か継続を判断するものとし、その結果を、監督職員に連絡し、その後の対応について監督職員の指示を受けるものとする。工事等を継続する場合に受注者は、本工事等に必要な安全対策の措置を速やかに講じ、建築工事安全施工技術指針等に基づき適切に作業員等の安全確保に努めなければならない。 2-2）本工事の施工場所に住民事前避難対象地域が含まれない場合 受注者は、南海トラフ地震臨時情報【巨大地震警戒】が気象庁から発表された場合には、本工事の施工条件、施工内容を踏まえ、あらかじめ定めた施工計画書の措置内容に基づき、後発地震による揺れの影響が大きい作業又は津波による影響を受ける作業について、契約約款第21条の規定に基づく発注者からの一時中止の通知があったものとして、警戒する措置が解除されるまでの間（1週間）は一時中止するものとする。その他の作業について、受注者は、改めて後発地震又は津波に備え作業の一時中止か継続を判断するものとし、その結果を、監督職員に連絡し、その後の対応について監督職員の指示を受けるものとする。工事等を継続する場合に受注者は、本工事等に必要な安全対策の措置を速やかに講じ、建築工事安全施工技術指針等に基づき適切に作業員等の安全確保に努めなければならない。 3）受注者は、南海トラフ地震臨時情報【巨大地震注意】が気象庁から発表された場合には、受注者は、本工事の施工条件、施工内容を踏まえ、改めて後発地震による揺れの影響が大きい作業又は津波による影響を受ける作業の一時中止か継続を判断するものとし、その結果を、監督職員に連絡し、その後の対応について監督職員の指示を受けるものとする。工事等を継続する場合に受注者は、本工事等に必要な安全対策の措置を速やかに講じ、建築工事安全施工技術指針等に基づき適切に作業員等の安全確保に努めなければならない。 4）受注者は、南海トラフ地震臨時情報を受けて措置を行った場合においては、実施した内容について監督職員に報告するものとする。 5）なお、南海トラフ地震臨時情報の発表があった場合は、後発地震又は津波の発生に備えるため必要に応じて、受注者は施工計画書の記載にかかわらず、工事の一時中止について監督職員と協議できるものとする。	

章	項目	特記事項	備考

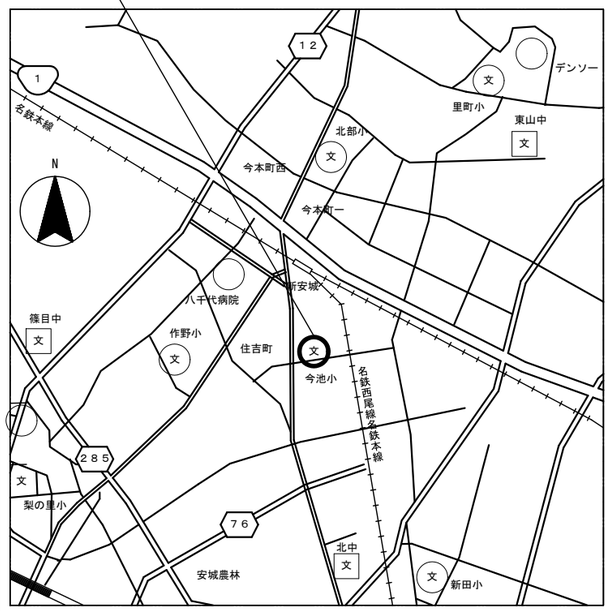
株式会社 市川三千男建築設計事務所	今池小学校校舎改修第1期及び保全主体工事		図面番号
一級建築士登録 第202334号 早瀬　賞次	建築改修工事特記仕様書　10／10	縮尺	A-10
検図 / 製図	設計		



配置図　1/300

:改修する建物を示す

工事場所：今池小学校
安城市今池町二丁目1番52号



案内図　1/2500

■工事概要

工事名	今池小学校校舎改修第1期及び保全主体工事
主要用途	小学校
工事種別	改修工事
工事内容	
①教室改修工事:普通教室の内壁、正面、背面家具等改修工事	
②廊下改修工事:廊下の内壁改修	
③階段室改修工事:階段室の内壁改修、階段手摺の設置	
④天井改修工事:照明器具更新(別途電気工事)部分及び上記付随工事に伴う改修	
⑤間仕切り改修工事:114条区画改修	
⑥職員玄関改修工事:下足入れ撤去新設、床、壁及びﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ改修、外構ｽﾛｰﾌﾟ設置	
⑦その他工事	
⑧防水改修:ﾊﾞﾙｺﾆｰ、庇、梁型	
⑨外壁改修工事:外壁補修及び塗装塗替工事	
⑩建具保全改修:金物取替、防火扉更新及び新設	
⑪教室転用改修(ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰ教室→普通教室)	
⑫空調設備工事:教室転用改修に伴うパッケージ空調機の増設	
※校舎改修工事①～⑥	

■建物概要

地名・地番	愛知県安城市今池町二丁目1-52
敷地面積	19,996.03㎡
都市計画区域	都市計画区域内
用途地域	第一種住居地域
法定建ぺい率/容積率	60%　/　200%
高さ制限	なし
日影規制	測定面:4m/4時間/2.5時間
防火指定	建築基準法第22条区域

■面積表

建築面積	3,068.260㎡
延べ面積	6,727.695㎡

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５-３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

設　計

整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年　月　日	A1 1/300・2500 A3 1/600・5000	案内図、配置図、工事概要	A — 11

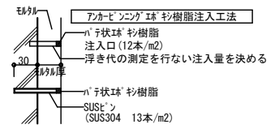
外部仕上表

[　　] ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材を示す

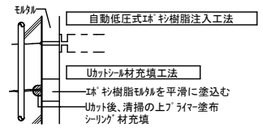
	部　位	改　修　前	改　修　後
北棟	屋上	平場：ｳﾚﾀﾝ塗膜防水絶縁工法（X-1）、立上り・笠木：ｳﾚﾀﾝ塗膜防水密着工法（X-2） 見付：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 目地切@2150 上裏：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	平場・立上り・笠木：既設のまま 見付：水洗い、劣化部補修、ｼｰﾗｰ処理の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設、 目地：ｼｰﾘﾝｸﾞ（PU-2）20×20 新設 上裏：剥離、劣化部補修の上、ｼﾘｺﾝﾄｯﾌﾟｺｰﾄ 新設
	外壁	壁：ﾓﾙﾀﾙ刷毛引 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付 壁：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 [吹付ﾀｲﾙ] 壁：小口ﾀｲﾙ貼、二丁掛ﾀｲﾙ貼 柱型・梁型：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付 梁型(天端)：防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	壁：水洗い、劣化部補修、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設 壁：水洗い、劣化部補修、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設 壁：水洗い、劣化部補修の上透明樹脂外壁防水(大関化学ｸﾘｱｺｰﾄeco同等品) 新設 柱型・梁型：水洗い、劣化部補修、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設 床：水洗い、下地調整材(ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄ)塗布の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2） 新設
	巾木	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ仕上 GL+600迄	水洗い、劣化部補修
	ﾊﾞﾙｺﾆｰ	床：防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　目地切@2150 手摺壁：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付 手摺壁側面：防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 手摺壁天端・笠木・巾木：防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 上裏：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	床：水洗い、下地調整材(ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄ)塗布の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2）防滑仕様 新設 目地：ｼｰﾘﾝｸﾞ（PU-2）10×10充填、補強ﾃｰﾌﾟ処理 手摺壁：水洗い、劣化部補修、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設 手摺側面：水洗い、劣化部補修、ｼｰﾗｰ処理の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設 手摺壁天端・笠木・巾木：水洗い、下地調整材(ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄ)塗布の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2） 新設 上裏：剥離、劣化部補修の上、ｼﾘｺﾝﾄｯﾌﾟｺｰﾄ 新設
	屋根1 （昇降口）	平場：ｳﾚﾀﾝ塗膜防水絶縁工法（X-1）、立上り：ｳﾚﾀﾝ塗膜防水密着工法（X-2） 笠木：ｱﾙﾐ笠木 見付：ALCﾊﾟﾈﾙの上 [吹付ﾀｲﾙ] 上裏：ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0の上 ｾﾗﾐｯｸ化粧板t=4.0	平場・立上り：既設のまま 笠木：既設のまま 見付：水洗い、劣化部補修、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設 上裏：既設のまま
	竪樋	VP100φ OP(支持金物@1000内外共) 撤去 鋳鉄製中継ﾄﾞﾚﾝ　ﾓﾙﾀﾙ防水用100φ	ｶﾗｰVP100φ（掴み金物：ｽﾃﾝﾚｽ製@1000内外共）新設 ﾉﾝﾀｰﾙｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料塗替
	屋根2 （配膳室）	平場：ｳﾚﾀﾝ塗膜防水絶縁工法（X-1）、立上り・笠木：ｳﾚﾀﾝ塗膜防水密着工法（X-2） 見付：ﾚﾘｰﾌ型枠　ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 [吹付ﾀｲﾙ] 上裏：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	平場・立上り：既設のまま 見付：水洗い、劣化部補修、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設 上裏：剥離、劣化部補修の上、ｼﾘｺﾝﾄｯﾌﾟｺｰﾄ 新設
南棟	屋上	平場：ｳﾚﾀﾝ塗膜防水絶縁工法（X-1）、立上り・笠木：ｳﾚﾀﾝ塗膜防水密着工法（X-2） 見付：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 目地切@2150 上裏：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	平場：既設のまま、立上り､笠木：既設のまま 見付：水洗い、劣化部補修、ｼｰﾗｰ処理の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設 上裏：剥離、劣化部補修の上、ｼﾘｺﾝﾄｯﾌﾟｺｰﾄ 新設
	外壁	壁：ﾓﾙﾀﾙ刷毛引 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付 壁：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 [吹付ﾀｲﾙ] 壁：小口ﾀｲﾙ貼、二丁掛ﾀｲﾙ貼 柱型・梁型：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付 梁型(天端)：防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	壁：水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設 壁：水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設 壁：水洗い、劣化部補修の上透明樹脂外壁防水(大関化学ｸﾘｱｺｰﾄeco同等品) 新設 柱型・梁型：水洗い、劣化部補修、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設 床：水洗い、下地調整材(ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄ)塗布の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2） 新設
	巾木	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ仕上 GL+600迄	水洗い、劣化部補修
	ﾊﾞﾙｺﾆｰ	床：防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ　目地切@2150 手摺壁：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付 手摺壁側面：防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 手摺壁天端・笠木・巾木：防水ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 上裏：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	床：水洗い、下地調整材(ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄ)塗布の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2）防滑仕様 新設 目地：ｼｰﾘﾝｸﾞ（PU-2）10×10充填、補強ﾃｰﾌﾟ処理 手摺壁：水洗い、劣化部補修、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設 手摺側面：水洗い、劣化部補修、ｼｰﾗｰ処理の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設 手摺壁天端・笠木・巾木：水洗い、下地調整材(ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄ)塗布の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2） 新設 上裏：剥離、劣化部補修の上、ｼﾘｺﾝﾄｯﾌﾟｺｰﾄ 新設
	竪樋	VP100φ OP(支持金物@1000内外共) 撤去 鋳鉄製中継ﾄﾞﾚﾝ　ﾓﾙﾀﾙ防水用100φ	ｶﾗｰVP100φ（掴み金物：ｽﾃﾝﾚｽ製@1000内外共）新設 ﾉﾝﾀｰﾙｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料塗替
	屋根3 （図書室）	平場・立上り：ｱｽﾌｧﾙﾄ露出防水 撤去、既設ﾄﾞﾚﾝ 撤去 笠木：ｱﾙﾐ笠木（L=2000） 見付：ALCﾊﾟﾈﾙの上 [吹付ﾀｲﾙ] 上裏：ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6の上 ｾﾗﾐｯｸ化粧板t=4	平場・立上り：水洗い、ｴﾎﾟｷｼ系ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄ仮防水材の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2） 新設、改修用ﾄﾞﾚﾝ 新設 笠木：ｼﾞｮｲﾝﾄ部分（MS-2）20×20 新設 見付：水洗い、劣化部補修、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設 上裏：既設のまま
	屋根4 （玄関）	平場：ｳﾚﾀﾝ塗膜防水絶縁工法（X-1）、立上り・笠木：ｳﾚﾀﾝ塗膜防水密着工法（X-2） 見付：ﾚﾘｰﾌ型枠　ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 [吹付ﾀｲﾙ] 上裏：ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ	平場・立上り・笠木：既設のまま 見付：水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設 上裏：既設のまま
	屋根5 （職員玄関）	平場：ｳﾚﾀﾝ塗膜防水絶縁工法（X-1）、立上り・笠木：ｳﾚﾀﾝ塗膜防水密着工法（X-2） 見付：ﾚﾘｰﾌ型枠　ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 [吹付ﾀｲﾙ] 上裏：ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0の上 ｾﾗﾐｯｸ化粧板t=4.0	平場・立上り・笠木：既設のまま 見付：水洗い、劣化部補修、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設 上裏：既設のまま
	屋根6 （ｽﾀｼﾞｵ・放送室）	平場：ｳﾚﾀﾝ塗膜防水絶縁工法（X-1）、立上り・笠木：ｳﾚﾀﾝ塗膜防水密着工法（X-2） 見付：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 目地切@2150 上裏：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	平場・立上り・笠木：既設のまま 見付：水洗い、劣化部補修、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設 上裏：剥離、劣化部補修の上、ｼﾘｺﾝﾄｯﾌﾟｺｰﾄ 新設
	その他	EXP.J：ｼｰﾘﾝｸﾞ 15×15撤去 換気ﾊﾟｲﾌﾟVU50φｴﾙﾎﾞ防虫網付@4300	EXP.J：ｼｰﾘﾝｸﾞ(MS-2)15×15 新設 既設のまま
渡り廊下１、２	屋根	平場：ｳﾚﾀﾝ塗膜防水絶縁工法（X-1）、立上り・笠木：ｳﾚﾀﾝ塗膜防水密着工法（X-2）	平場・立上り・笠木：既設のまま
	巾木	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ仕上 GL+600迄	水洗い、劣化部補修
	外壁	壁：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付、ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 壁(ALC壁)：ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付 柱型：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	壁：水洗い、劣化部補修、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設 壁(ALC壁)：水洗い、劣化部補修、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設 柱型：水洗い、劣化部補修、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設
	庇	平場・立上り・笠木：防水ﾓﾙﾀﾙ、既設ﾄﾞﾚﾝ 撤去 見付・上裏：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	平場・立上り：水洗い、ｴﾎﾟｷｼ系ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄ仮防水材の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2） 新設、改修用ﾄﾞﾚﾝ 新設 見付：水洗い、劣化部補修、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設 上裏：剥離、劣化部補修の上、ｼﾘｺﾝﾄｯﾌﾟｺｰﾄ 新設
	小庇	天端・見付：防水ﾓﾙﾀﾙ 上裏：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	天端・見付：水洗い、ｴﾎﾟｷｼ系ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄ仮防水材の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2） 新設 上裏：剥離、劣化部補修の上、ｼﾘｺﾝﾄｯﾌﾟｺｰﾄ 新設
	竪樋	VP50φ OP(支持金物@1000内外共) 撤去、既設ﾄﾞﾚﾝ 撤去	ｶﾗｰVP50φ（掴み金物：ｽﾃﾝﾚｽ製@1000内外共）新設、改修用ﾄﾞﾚﾝ 新設

既設塗膜等の除去及び下地処理

ﾓﾙﾀﾙ面浮き		ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法
ひび割れ（ﾘｼﾝ面）	1.0mm以上	Uｶｯﾄｼｰﾙ材充填工法
ひび割れ(複層塗材面)	1.0mm以上	自動低圧式ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法
ひび割れ(ｺﾝｸﾘｰﾄ面) ひび割れ(ﾓﾙﾀﾙ面)	0.2mm以上～ 1.0mm未満	自動低圧式ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法
欠損・鉄筋爆裂　小		自動低圧式ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法



・SUSﾋﾟﾝの長さは既設ﾓﾙﾀﾙ厚調査の上決定する事
（SUSﾋﾟﾝの長さ=ﾓﾙﾀﾙ厚+30mm）



外壁仕上塗材ｱｽﾍﾞｽﾄ含有分析調査結果

令和6年1月 調査

部　位	仕上材	結　果
南棟・渡り廊下１・北棟東　外壁	ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	検出されず
南棟・渡り廊下１・北棟東　外壁	複層塗材	下地調整材含有あり
渡り廊下１　外壁ALC	ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	検出されず
北棟西・渡り廊下２　外壁	ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	検出されず

外壁塗膜付着力強度試験結果

令和6年2月 調査

棟	試験実施箇所	仕上材	結果
1	南棟　東面①	ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	○基準値を上回る
2	南棟　東面②	ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	○基準値を上回る
3	南棟　西面①	ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	○基準値を上回る
4	南棟　西面②	ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	○基準値を上回る
5	南棟　南面①	ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	×基準値を下回る
6	南棟　南面②	ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	○基準値を上回る
7	南棟　北面①	ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	○基準値を上回る
8	南棟　北面②	ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	○基準値を上回る
9	北棟東　東面①	ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	○基準値を上回る
10	北棟東　東面②	ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	○基準値を上回る
11	北棟東　西面①	ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	○基準値を上回る
12	北棟東　西面②	ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	○基準値を上回る
13	北棟東　南面①	ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	○基準値を上回る
14	北棟東　南面②	ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	○基準値を上回る
15	北棟東　北面②	ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	○基準値を上回る
16	北棟東　北面②	ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	○基準値を上回る

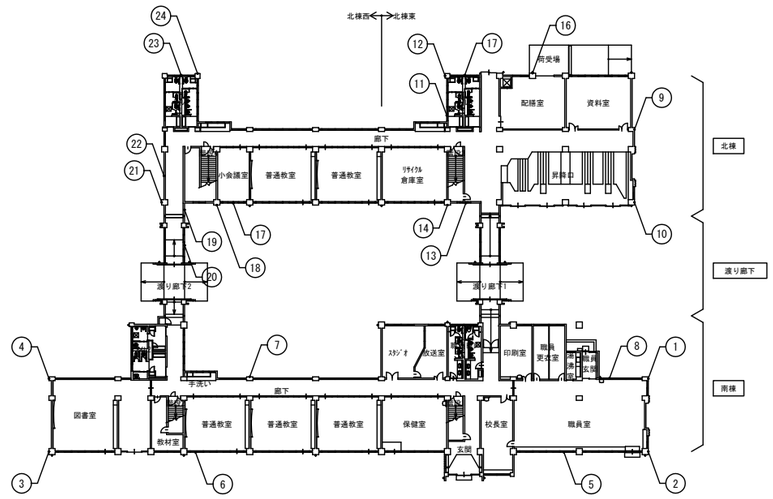
※各棟毎の平均値が基準値(0.7N/mm2)を上回るため、既設塗膜の上に再塗装とする。

外壁塗膜付着力強度試験結果

令和6年2月 調査

棟	試験実施箇所	仕上材	結果
17	北棟西　南面①	ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	○基準値を上回る
18	北棟西　南面②	ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	○基準値を上回る
19	北棟西　東面①	ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	○基準値を上回る
20	北棟西　東面②	ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	○基準値を上回る
21	北棟西　西面①	ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	○基準値を上回る
22	北棟西　西面②	ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	○基準値を上回る
23	北棟西　北面①	ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	○基準値を上回る
24	北棟西　北面①	ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	○基準値を上回る

※各棟毎の平均値が基準値(0.7N/mm2)を上回るため、既設塗膜の上に再塗装とする。



共通事項

特記事項

1. 既設ｼｰﾘﾝｸﾞ（打継部、目地部、建具廻り、金物取合、EXP.J廻り等）は、全て打ち替えとする。
2. 外壁・軒裏・上裏・屋上・笠木・立上り等は浮き・ｸﾗｯｸ等の劣化部の補修を行うこと。
   （施工前に調査を行い、結果を監督員に報告すること。）
3. 特記なき限り、塗装改修・塗装仕上壁の改修等は、公共建築改修工事標準仕様書にある通り、必要な撤去・下地調整を行うものとする。
4. 外壁面（吹付面、打放面、軒裏）は水洗い10～15MPa（下地調整RB種）すること。
5. バルコニー平場・立上り・笠木、鉄部面、タイル面は水洗い10～15MPaすること。
6. ALC板 t=100は水洗い10～15MPaを行うこと。
7. 外壁面の設備配管・ﾌﾞﾙﾎﾞｯｸｽ類については、下地調整RB種の上、DP(ﾌｧ素)塗替とする。
8. ｳﾚﾀﾝ塗膜防水のﾄｯﾌﾟｺｰﾄは全て遮熱（高反射）ｼﾘｺﾝ系とすること。
9. ｳﾚﾀﾝ塗膜防水はﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀｲﾌﾟとし、防滑性については5号ｹｲ砂を基本とすること。
10. 外壁の塗装についてはﾛｰﾗｰ塗（ﾏｽﾁｯｸ）を基本とする。
11. 可とう形改修塗材RE【弾性】上塗り材は「超低汚染・超耐候無機複合弾性ふっ素樹脂塗料」とする。仕上形状はさざ波状とする。

○外部建具改修

1. 金物等（戸車、外れ止め、ｸﾚｾﾝﾄ、ｵﾍﾞﾚｰﾀｰ、ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ、錠前、ﾊﾝﾄﾞﾙ）の更新を行うこと。
2. ｶﾞﾗｽ留めｼｰﾘﾝｸﾞの改修(両面)を行うこと。（既設がｶﾞｽｹｯﾄであってもｼｰﾘﾝｸﾞで改修すること）
3. 鋼製建具は下地調整RB種の上、DP（ﾌｧ素）塗替を行うこと。

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５－３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬 貴次

設　計	整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事
	年　月　日	A1 NS A3 NS	外部仕上表

NO. A ― 12

内部仕上表

＜　＞内表記は既設仕上を示す

※改修前・後の詳細仕様については、平面詳細図及び展開図を参照とする。内部仕上材・下地材（作り付け家具を含む、接着剤とも）は全てF☆☆☆☆及び規制対象外品を使用する。使用材料は全て無石綿とする。

□ ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材として適切な処理を行うこと

階数	室名	区分	床	仕上	巾木（特記なき限り H100）	H	仕上	腰壁	仕上	壁(柱型、梁型)	仕上	天井	仕上	H	備考
南棟１階	職員玄関	改修前	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸt=15　一部撤去 人研真鍮目地切　撤去	OSW －	木製　撤去 人研ぎ　撤去	100	OP －	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	吹付ﾀｲﾙ	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	吹付ﾀｲﾙ	GB-Dt=9.0	－	2500 2650	下足箱 撤去、傘立て 撤去
		改修後	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸt=15　一部新設 100角ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀｲﾙ　新設 ｽﾛｰﾌﾟ部：防滑性VSt=2.5　新設	OSW － －	ﾋﾞﾆﾙ巾木　新設	100	－	塗替	ﾄｯﾌﾟｺｰﾄ	塗替	複層塗材E (小粒仕上)	既設のまま	－	2500 2650	下足箱 新設、傘立て 新設
	普通教室 (A-type)	改修前	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸt=15　一部撤去(ﾓﾙﾀﾙ下地共)	OSW	木製	100	OP	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	AEP	壁・柱型・梁型一部：ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 梁型：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	AEP ﾋﾙ石吹付	GB-Dt=9.0 一部撤去	－	3050	曲面黒板 撤去、背面黒板 撤去、掲示板 撤去、掃除具入 撤去、 教師用戸棚 撤去、生徒用ﾛｯｶｰ 撤去、 付鴨居 撤去
		改修後	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸt=15 一部新設(ﾓﾙﾀﾙ下地共)	OSW	杉板 新設	100	WP	杉羽目板t=12　新設	WP	壁・柱型・梁型一部：塗替 壁：LGS65下地 GB-Rt=9.5+t=12.5 新設 梁型：既設のまま	EP-G EP-G －	GB-Dt=9.5 一部新設	－	3050	上下ｽﾗｲﾄﾞ式曲面黒板 新設、背面黒板 新設、掲示板 新設、掃除具入 新設、 ﾚｼﾞｽﾀｰｶﾞﾗﾘ 閉塞、教師用戸棚 新設、生徒用ﾛｯｶｰ、ﾌｯｸ 新設、
	図書室	改修前	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸt=15　一部撤去(ﾓﾙﾀﾙ下地共)	OSW	木製	100	OP	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	AEP	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	AEP	GB-Dt=9.0　撤去（下地共）114条区画部	－	3050	
		改修後	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸt=15 一部新設(ﾓﾙﾀﾙ下地共)	OSW	既設のまま	－	－	既設のまま	－	既設のまま	－	GB-Dt=9.5 新設（下地共）114条区画部	－	－	
	廊下	改修前	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸt=15　一部撤去(ﾓﾙﾀﾙ下地共)	OSW －	木製	100	OP	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 小口ﾀｲﾙ貼	AEP －	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 小口ﾀｲﾙ貼	AEP －	GB-Dt=9.0　撤去（下地共）114条区画部	－	2500	掲示板 一部撤去 消火器ｻｲﾝ、消火器転倒防止ﾌｯｸ　撤去
		改修後	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸt=15 一部新設(ﾓﾙﾀﾙ下地共)	OSW	杉板 新設	100	WP	杉羽目板t=12　新設 既設のまま	WP －	複層塗材E(小粒仕上) 新設 既設のまま	複層塗材E (小粒仕上) －	GB-Dt=9.5 新設（下地共）114条区画部	－	2500	掲示板　一部新設・一部ｸﾛｽ貼替 消火器ｻｲﾝ、消火器転倒防止ﾌｯｸ　新設、ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ 新設
南棟２階	普通教室 (A-type)	改修前	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸt=15　一部撤去(ﾓﾙﾀﾙ下地共)	OSW	木製	100	OP	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	AEP	壁・柱型・梁型一部：ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 梁型：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	AEP ﾋﾙ石吹付	GB-Dt=9.0 一部撤去	－	3050	曲面黒板 撤去、背面黒板 撤去、掲示板 撤去、掃除具入 撤去、 教師用戸棚 撤去、生徒用ﾛｯｶｰ 撤去、 付鴨居 撤去
		改修後	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸt=15 一部新設(ﾓﾙﾀﾙ下地共)	OSW	杉板 新設	100	WP	杉羽目板t=12　新設	WP	壁・柱型・梁型一部：塗替 壁：LGS65下地 GB-Rt=9.5+t=12.5 新設 梁型：既設のまま	EP-G EP-G －	GB-Dt=9.5 一部新設	－	3050	上下ｽﾗｲﾄﾞ式曲面黒板 新設、背面黒板 新設、掲示板 新設、掃除具入 新設、 ﾚｼﾞｽﾀｰｶﾞﾗﾘ 閉塞、教師用戸棚 新設、生徒用ﾛｯｶｰ 新設、
	普通教室 (B-type)	改修前	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸt=15　一部撤去(ﾓﾙﾀﾙ下地共)	OSW	木製	100	OP	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	AEP	壁・柱型・梁型一部：ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 梁型：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	AEP ﾋﾙ石吹付	GB-Dt=9.0 一部撤去	－	3050	曲面黒板 撤去、背面黒板 撤去、掲示板 撤去、掃除具入 撤去、 教師用戸棚 撤去、生徒用ﾛｯｶｰ 撤去、 付鴨居 撤去
		改修後	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸt=15 一部新設(ﾓﾙﾀﾙ下地共)	OSW	杉板 新設	100	WP	杉羽目板t=12　新設	WP	壁・柱型・梁型一部：塗替 壁：LGS65下地 GB-Rt=9.5+t=12.5 新設 梁型：既設のまま	EP-G EP-G －	GB-Dt=9.5 一部新設	－	3050	上下ｽﾗｲﾄﾞ式曲面黒板 新設、背面黒板 新設、掲示板 新設、掃除具入 新設、 ﾚｼﾞｽﾀｰｶﾞﾗﾘ 閉塞、教師用戸棚 新設、生徒用ﾛｯｶｰ、ﾌｯｸ 新設、
	廊下	改修前	VTt=2.0	－	木製	100	OP	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	AEP	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	AEP	GB-Dt=9.0 一部撤去	－	2500	掲示板 撤去　室名札 撤去 消火器ｻｲﾝ　撤去、消火器転倒防止ﾌｯｸ　撤去
		改修後	既設のまま	－	杉板 新設	100	WP	杉羽目板t=12　新設	WP	複層塗材E(小粒仕上) 新設	複層塗材E (小粒仕上)	GB-Dt=9.5 一部新設	－	2500	掲示板　新設・ｸﾛｽ貼替　室名札 新設 消火器ｻｲﾝ　新設、消火器転倒防止ﾌｯｸ　新設
南棟３階	普通教室 (A-type)	改修前	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸt=15　一部撤去(ﾓﾙﾀﾙ下地共)	OSW	木製	100	OP	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	AEP	壁・柱型・梁型一部：ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 梁型：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	AEP ﾋﾙ石吹付	GB-Dt=9.0 一部撤去	－	3050	曲面黒板 撤去、背面黒板 撤去、掲示板 撤去、掃除具入 撤去、 教師用戸棚 撤去、生徒用ﾛｯｶｰ 撤去、 付鴨居 撤去
		改修後	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸt=15 一部新設(ﾓﾙﾀﾙ下地共)	OSW	杉板 新設	100	WP	杉羽目板t=12　新設	WP	壁・柱型・梁型一部：塗替 壁：LGS65下地 GB-Rt=9.5+t=12.5 新設 梁型：既設のまま	EP-G EP-G －	GB-Dt=9.5 一部新設	－	3050	上下ｽﾗｲﾄﾞ式曲面黒板 新設、背面黒板 新設、掲示板 新設、掃除具入 新設、 ﾚｼﾞｽﾀｰｶﾞﾗﾘ 閉塞、教師用戸棚 新設、生徒用ﾛｯｶｰ、ﾌｯｸ 新設、
	普通教室 (B-type)	改修前	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸt=15　一部撤去(ﾓﾙﾀﾙ下地共)	OSW	木製	100	OP	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	AEP	壁・柱型・梁型一部：ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 梁型：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	AEP ﾋﾙ石吹付	GB-Dt=9.0 一部撤去	－	3050	曲面黒板 撤去、背面黒板 撤去、掲示板 撤去、掃除具入 撤去、 教師用戸棚 撤去、生徒用ﾛｯｶｰ 撤去、 付鴨居 撤去
		改修後	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸt=15 一部新設(ﾓﾙﾀﾙ下地共)	OSW	杉板 新設	100	WP	杉羽目板t=12　新設	WP	壁・柱型・梁型一部：塗替 壁：LGS65下地 GB-Rt=9.5+t=12.5 新設 梁型：既設のまま	EP-G EP-G －	GB-Dt=9.5 一部新設	－	3050	上下ｽﾗｲﾄﾞ式曲面黒板 新設、背面黒板 新設、掲示板 新設、掃除具入 新設、 ﾚｼﾞｽﾀｰｶﾞﾗﾘ 閉塞、教師用戸棚 新設、生徒用ﾛｯｶｰ、ﾌｯｸ 新設、
	廊下	改修前	VTt=2.0	－	木製	100	OP	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	AEP －	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	AEP	GB-Dt=9.0	－	2500	掲示板　撤去、 消火器ｻｲﾝ　撤去、消火器転倒防止ﾌｯｸ　撤去
		改修後	既設のまま	－	杉板 新設	100	WP	杉羽目板t=12　新設	WP	複層塗材E(小粒仕上) 新設	複層塗材E (小粒仕上)	GB-Dt=9.5 一部新設	－	2500	掲示板　一部新設・一部ｸﾛｽ貼替 消火器ｻｲﾝ　新設、消火器転倒防止ﾌｯｸ　新設、ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ 新設
南棟共通	階段室１、２	改修前	VSt=2.5(踊上、踏面共) ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸt=15(1F)	－	人研	100	－	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	吹付ﾀｲﾙ	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	吹付ﾀｲﾙ	段裏：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放　ﾊﾟｰﾗｲﾄ吹付 撤去 最上階：GB-Dt=9.0	－	最上階 2500	掲示板
		改修後	既設のまま	－	既設のまま	－	－	塗替	ﾄｯﾌﾟｺｰﾄ	塗替	ﾄｯﾌﾟｺｰﾄ	下地調整材C-1の上複層塗材E(小粒仕上) 新設 最上階：既設のまま	－	最上階 2500	掲示板 ｸﾛｽ貼替、樹脂被膜2段手摺 新設

凡例

共通事項

特記事項

１．ﾎﾞｰﾄﾞ類に使用する釘は、SUS製とする。
２．合板類に使用する釘は、SUS製ｽｸﾘｭｰﾋﾟｽとする。
３．塩ﾋﾞ製廻り縁の形状は、ｺ型とする。
４．天井下地は、すべて軽量鉄骨天井下地（外部 25形、内部 19形）とする。
５．使用する建材は、F☆☆☆☆認定品を使用する。
６．床ｼｰﾄ・床ﾀｲﾙ・ﾋﾞﾆﾙ巾木の類には、F☆☆☆☆認定接着剤を使用すること。
７．造り付家具等には、Ｆ☆☆☆☆認定建材及びF☆☆☆☆認定接着剤を使用し製作すること。
８．壁紙の類には、F☆☆☆☆認定接着剤を使用すること。
９．壁面改修範囲の鋼製建具・枠・盤は錆止め塗装+SOP塗替えとする。
１０．壁下地のLGSは特記なき限ｽﾗﾌﾞｽﾗﾌﾞ間とする。
１１．既設躯体と新設部の隙間は、ｼｰﾘﾝｸﾞ処理とする。
１２．壁面改修部の木部（建具額縁、掲示板枠など）はSOP塗替とする。
１３．撤去する石膏ﾎﾞｰﾄﾞ、VS、VTは使用年代よりｱｽﾍﾞｽﾄ含有のおそれがある建材とし適切に処理すること。
１４．普通教室内施工時は、椅子、机等をｼｰﾄ養生すること。またｶｰﾃﾝは撤去再取付とすること。
１５．特記なき限り、塗装改修・塗り仕上壁の改修等は公共建築改修標準仕様書により必要な撤去・下地調整を行うこと。
１６．ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗装（WP）は、大谷塗料　水性VATONﾌﾞﾗｽ同等品とする。
１７．VSは抗ｳｲﾙｽﾉｰﾌｯｸｽﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ(ﾛﾝｼｰﾙ工業)同等品とする。
１８．防滑性VSはNSﾌﾗｯﾃｨ(東リ)同等品とする。
１９．木枠及び木額縁は、特記なき限りSOP塗替えとする。
２０．1期で床と取り合う場合は部分的な改修を行い、2期以降で全面改修を行う。
２１．躯体壁・腰壁は、ひび割れ・浮きの補修を行った後改修する。
２２．消火器にはｻｲﾝ、転倒防止ﾌｯｸ(SUS製)を設けること。
２３．ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸは工場塗装品とする。
２４．掲示板用クロスは、スポンジエースSP731同等品とすること。
２５．掲示板の木下地は、たわにの等が生じないように十分な強度を確保し、堅固に固定すること。

略号

C	ｺﾝｸﾘｰﾄ	LGS	鋼製軽量鉄骨下地
M	ﾓﾙﾀﾙ	SSD	SUS製建具
SOP	合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗（F☆☆☆☆）	AD・AW	ｱﾙﾐ製建具
EP、AEP	合成樹脂ｴﾏﾙｼﾞｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗（F☆☆☆☆）	SD	鋼製建具
EP-G	艶有ｱｸﾘﾙ系ｴﾏﾙｼﾞｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗（F☆☆☆☆）	LSD	鋼製軽量建具
EP-T	合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ模様塗料塗（F☆☆☆☆）	SP	鋼製学校軽量建具
VP	ﾋﾞﾆﾙ系ﾍﾟｲﾝﾄ塗	WW・WD	木製建具
OP	ｵｲﾙﾍﾟｲﾝﾄ塗	ｹｲｶﾙ板	無石綿ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板
WP	自然保護塗料塗	GB-R	石こうﾎﾞｰﾄﾞ
CL	ｸﾘｱｰﾗｯｶｰ塗	GB-D	化粧石こうﾎﾞｰﾄﾞ
	ｵｲﾙｽﾃｲﾝﾌｯｸｽ仕上	GB-RH	硬質石こうﾎﾞｰﾄﾞ
OSW	ｳﾙﾄﾗｽﾃｲﾝﾌｯｸｽ	GB-F	強化石こうﾎﾞｰﾄﾞ
OSCL	ｵｲﾙｽﾃｲﾝ、ｸﾘｱｰﾗｯｶｰ塗	VS	長尺ﾋﾞﾆﾙｼｰﾄ（溶接張り）
OS	ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗	VT	ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾙ
UC	ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ塗	DR	岩綿吸音板

使用防火材

石膏ﾎﾞｰﾄﾞ（石膏ﾎﾞｰﾄﾞ GB-R)t=9.5：準不燃 QM-9828　t=12.5：不燃 NM-8619　t ＝15.0：不燃　NM－8612
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞ GB-F)t=21.0　t=12.5：不燃 NM-8615
硬質せっこうﾎﾞｰﾄﾞt=12.5：不燃 NM-9645
化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ GB-D)　t=9.5：準不燃 QM-9824
不燃化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ GB-D)(不燃積層せっこうﾎﾞｰﾄﾞ）t=9.5：不燃 NM-0441
ｸﾞﾗｽｳｰﾙ　不燃：NM-8605
珪酸ｶﾙｼｳﾑ板　不燃：NM-8576/8578
LGS+GB-RHt=9.5+GB-Ft=12.5、両面貼　耐火：FP060NP-0199
LGS+GB-F t=21+21、片面貼　耐火：FP060NP-0007
LGS+珪酸ｶﾙｼｳﾑ板 t=12+12、両面貼　耐火：FP060NP-9361
LGS+GB-F t=12.5+12.5、両面貼　耐火：FP060NP-0483

・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５－３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

設　計

整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年　月　日	A1 NS A3 NS	内部仕上表（１）	A ― 13

内部仕上表

＜　＞内表記は既設仕上を示す　　※改修前・後の詳細仕様については、平面詳細図及び展開図を参照とする。内部仕上材・下地材（作り付け家具を含む、接着剤とも）は全てF☆☆☆☆及び規制対象外品を使用する。使用材料は全て無石綿とする。　　アスベスト含有建材として適切な処理を行うこと

階数	室名	区分	床	仕上	巾木（特記なき限り H100）	H	仕上	腰壁	仕上	壁(柱型、梁型)	仕上	天井	仕上	H	備考
北棟１階	普通教室 (C-type)	改修前	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸt=15 一部撤去（ﾓﾙﾀﾙ下地共）	OSW	木製	100	OP	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ ｼﾅ合板t=5.5(木下地)　撤去	AEP OP	壁・柱型・梁型一部：ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 壁：ｼﾅ合板t=5.5(木下地)　撤去 梁型：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	AEP OP ﾋﾙ石吹付	GB-Dt=9.0　一部撤去	-	3050	曲面黒板 撤去、背面黒板 撤去、掲示板 撤去、掃除具入 撤去、 教師用戸棚 撤去、生徒用ﾛｯｶｰ 撤去、 付鴨居 撤去
		改修後	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸt=15 一部撤去（ﾓﾙﾀﾙ下地共）	OSW	杉板 新設	100	WP	杉羽目板t=12　新設	WP	壁・柱型・梁型一部：塗替 壁：LGS65下地 GB-Rt=9.5+t=12.5 新設 梁型：既設のまま	EP-G EP-G -	GB-Dt=9.5　一部新設	-	3050	上下ｽﾗｲﾄﾞ式曲面黒板 新設、背面黒板 新設、掲示板 新設、掃除具入 新設、 ﾚｼﾞｽﾀｰｶﾞﾗﾘ 閉塞、教師用戸棚 新設、生徒用ﾛｯｶｰ、ﾌｯｸ 新設、
	廊下	改修前	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸt=15	OSW -	木製	100	OP	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 小口ﾀｲﾙ貼	AEP 吹付ﾀｲﾙ -	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 小口ﾀｲﾙ貼	AEP 吹付ﾀｲﾙ -	GB-Dt=9.0　一部撤去	-	2500	掲示板 一部撤去　室名札 撤去 消火器ｻｲﾝ　撤去、消火器転倒防止ﾌｯｸ　撤去
		改修後	既設のまま	OSW	杉板 新設	100	WP	杉羽目板t=12　新設 杉羽目板t=12　新設 既設のまま	WP WP -	複層塗材E(小粒仕上) 新設 塗替 既設のまま	複層塗材E (小粒仕上) ｼﾘｺﾝﾄｯﾌﾟ -	GB-Dt=9.5　一部新設	-	2500	掲示板　一部新設・一部ｸﾛｽ貼替　室名札 新設 消火器ｻｲﾝ　新設、消火器転倒防止ﾌｯｸ　新設、ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ 新設
北棟２階	普通教室 (C-type)	改修前	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸt=15 一部撤去（ﾓﾙﾀﾙ下地共）	OSW	木製	100	OP	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ ｼﾅ合板t=5.5(木下地)　撤去	AEP OP	壁・柱型・梁型一部：ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 壁：ｼﾅ合板t=5.5(木下地)　撤去 梁型：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	AEP ﾋﾙ石吹付 OP	GB-Dt=9.0　一部撤去	-	3050	曲面黒板 撤去、背面黒板 撤去、掲示板 撤去、掃除具入 撤去、 教師用戸棚 撤去、生徒用ﾛｯｶｰ 撤去、 付鴨居 撤去
		改修後	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸt=15 一部撤去（ﾓﾙﾀﾙ下地共）	OSW	杉板 新設	100	WP	杉羽目板t=12　新設	WP	壁・柱型・梁型一部：塗替 壁：LGS65下地 GB-Rt=9.5+t=12.5 新設 梁型：既設のまま	EP-G EP-G	GB-Dt=9.5　一部新設	-	3050	上下ｽﾗｲﾄﾞ式曲面黒板 新設、背面黒板 新設、掲示板 新設、掃除具入 新設、 ﾚｼﾞｽﾀｰｶﾞﾗﾘ 閉塞、教師用戸棚 新設、生徒用ﾛｯｶｰ、ﾌｯｸ 新設、
	普通教室 (A-type)	改修前	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸt=15　一部撤去(ﾓﾙﾀﾙ下地共)	OSW	木製	100	OP	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	AEP	壁・柱型・梁型一部：ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 梁型：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	AEP ﾋﾙ石吹付	GB-Dt=9.0　一部撤去	-	3050	曲面黒板 撤去、背面黒板 撤去、掲示板 撤去、掃除具入 撤去、 教師用戸棚 撤去、生徒用ﾛｯｶｰ 撤去、 付鴨居 撤去
		改修後	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸt=15 一部撤去（ﾓﾙﾀﾙ下地共）	OSW	杉板 新設	100	WP	杉羽目板t=12　新設	WP	壁・柱型・梁型一部：塗替 壁：LGS65下地 GB-Rt=9.5+t=12.5 新設 梁型：既設のまま	EP-G EP-G	GB-Dt=9.5　一部新設	-	3050	上下ｽﾗｲﾄﾞ式曲面黒板 新設、背面黒板 新設、掲示板 新設、掃除具入 新設、 ﾚｼﾞｽﾀｰｶﾞﾗﾘ 閉塞、教師用戸棚 新設、生徒用ﾛｯｶｰ、ﾌｯｸ 新設、
	廊下	改修前	VTt=2.0	-	木製	100	OP	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	AEP -	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	AEP	GB-Dt=9.0	-	2500	掲示板　一部撤去 消火器ｻｲﾝ　撤去、消火器転倒防止ﾌｯｸ　撤去
		改修後	既設のまま	-	杉板 新設	100	WP	杉羽目板t=12　新設	WP	複層塗材E(小粒仕上) 新設	複層塗材E (小粒仕上)	GB-Dt=9.5　一部新設	-	2500	掲示板　一部新設・一部ｸﾛｽ貼替 消火器ｻｲﾝ　新設、消火器転倒防止ﾌｯｸ　新設、ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ 新設
北棟４階	廊下	改修前	VTt=2.0	-	木製	100	OP	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	AEP -	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	AEP	GB-Dt=9.0	-	2500	掲示板　一部撤去 消火器ｻｲﾝ　撤去、消火器転倒防止ﾌｯｸ　撤去
		改修後	既設のまま	-	杉板 新設	100	WP	杉羽目板t=12　新設	WP	複層塗材E(小粒仕上) 新設	複層塗材E (小粒仕上)	GB-Dt=9.5　一部新設	-	2500	掲示板　一部新設・一部ｸﾛｽ貼替 消火器ｻｲﾝ　新設、消火器転倒防止ﾌｯｸ　新設、ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ 新設
北棟共通	階段室３	改修前	VSt=2.5(蹴上、踏面共) ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸt=15(1F)	-	人研	100	-	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	吹付ﾀｲﾙ	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	吹付ﾀｲﾙ	段裏：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し　ﾊﾞｰﾗｲﾄ吹付 撤去 最上階：GB-Dt=9	-	最上階 2500	掲示板
		改修後	既設のまま	-	既設のまま	-	-	塗替	ﾄｯﾌﾟｺｰﾄ	塗替	ﾄｯﾌﾟｺｰﾄ	下地調整材G-1の上複層塗材E(小粒仕上) 新設 最上階：既設のまま	-	最上階 2500	掲示板 ｸﾛｽ貼替、樹脂被膜2段手摺 新設
	階段室４	改修前	VSt=2.5(蹴上、踏面共) ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸt=15(1F)	-	人研	100	-	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	吹付ﾀｲﾙ	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	吹付ﾀｲﾙ	段裏：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し　ﾊﾞｰﾗｲﾄ吹付 撤去 最上階：GB-Dt=9	-	最上階 2500	掲示板
		改修後	既設のまま	-	既設のまま	-	-	塗替	ﾄｯﾌﾟｺｰﾄ	塗替	ﾄｯﾌﾟｺｰﾄ	下地調整材G-1の上複層塗材E(小粒仕上) 新設 最上階：既設のまま	-	最上階 2500	掲示板 ｸﾛｽ貼替、樹脂被膜2段手摺 新設
渡り廊下	渡り廊下１、２	改修前	VTt=2.0 防滑性VSt=2.5(ｽﾛｰﾌﾟ部)	-	木製	100	OP	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	AEP	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ	AEP	GB-Dt=9.0	-	2500	掲示板　撤去
		改修後	既設のまま	-	杉板 新設	100	WP	杉羽目板t=12　新設	WP	複層塗材E(小粒仕上) 新設	複層塗材E (小粒仕上)	既設のまま	-	2500	掲示板　新設

凡例

共通事項

特記事項

1．ﾎﾞｰﾄﾞ類に使用する釘は、SUS製とする。
2．合板類に使用する釘は、SUS製ｽｸﾘｭｰﾋﾞｽとする。
3．塩ﾋﾞ製廻り縁の形状は、コ型とする。
4．天井下地は、すべて軽量鉄骨天井下地（外部 25形、内部 19形）とする。
5．使用する建材は、F☆☆☆☆認定品を使用する。
6．床ｼｰﾄ・床ﾀｲﾙ・ﾋﾞﾆﾙ巾木の類には、F☆☆☆☆認定接着剤を使用すること。
7．造り付家具等には、F☆☆☆☆認定建材及びF☆☆☆☆認定接着剤を使用し製作すること。
8．壁紙の類には、F☆☆☆☆認定接着剤を使用すること。
9．壁面改修範囲の鋼製建具・枠・盤は錆止め塗装+SOP塗替えとする。
10．壁下地のLGSは特記なき限ｽﾗﾌﾞｰｽﾗﾌﾞ間とする。
11．既設躯体と新設部の隙間は、ｼｰﾘﾝｸﾞ処理とする。
12．壁面改修部の木部（建具額縁、掲示板枠など）はSOP塗替とする。
13．撤去する石膏ﾎﾞｰﾄﾞ、VS、VTは使用年代よりｱｽﾍﾞｽﾄ含有のおそれがある建材とし適切に処理すること。
14．普通教室内施工時は、椅子、机等をｼｰﾄ養生すること。またｶｰﾃﾝは撤去再取付とすること。
15．特記なき限り、塗装改修・塗り仕上壁の改修等は公共建築改修標準仕様書により必要な撤去・下地調整を行うこと。
16．ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗装（WP）は、大谷塗料　水性VATONﾌﾟﾗｽ同等品とする。
17．VSは抗ｳｲﾙｽﾉｰﾜｯｸｽﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ(ﾛｼｰﾙ工業)同等品とする。
18．防滑性VSはNSﾌﾗｯﾃｨ(東リ)同等品とする。
19．木枠及び木額縁は、特記なき限りSOP塗替えとする。
20．1期で床と取り合う場合は部分的な改修を行い、2期以降で全面改修を行う。
21．躯体壁・腰壁は、ひび割れ・浮きの補修を行った後改修する。
22．消火器にはｻｲﾝ、転倒防止ﾌｯｸ(SUS製)を設けること。
23．ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸは工場塗装品とする。
24．掲示板用クロスは、スポンジエースSP731同等品とすること。
25．掲示板の木下地は、たわに等が生じないように十分な強度を確保し、堅固に固定すること。

略号

C	ｺﾝｸﾘｰﾄ	LGS	鋼製軽量鉄骨下地
M	ﾓﾙﾀﾙ	SSD	SUS製建具
SOP	合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗（F☆☆☆☆）	AD・AW	ｱﾙﾐ製建具
EP、AEP	合成樹脂ｴﾏﾙｼﾞｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗（F☆☆☆☆）	SD	鋼製建具
EP-G	艶有ｱｸﾘﾙ系ｴﾏﾙｼﾞｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗（F☆☆☆☆）	LSD	鋼製軽量建具
EP-T	合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ模様塗料塗（F☆☆☆☆）	SP	鋼製学校軽量建具
VP	ﾋﾞﾆﾙ系ﾍﾟｲﾝﾄ塗	WW・WD	木製建具
OP	ｵｲﾙﾍﾟｲﾝﾄ塗	ｹｲﾙ板	無石綿ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板
WP	自然保護塗料塗	GB-R	石こうﾎﾞｰﾄﾞ
CL	ｸﾘｱｰﾗｯｶｰ塗	GB-D	化粧石こうﾎﾞｰﾄﾞ
	ｵｲﾙｽﾃｲﾝﾌｯｸｽ仕上	GB-RH	硬質石こうﾎﾞｰﾄﾞ
OSW	ｳﾚﾀﾝｽﾃｲﾝﾌｯｸｽ	GB-F	強化石こうﾎﾞｰﾄﾞ
OSCL	ｵｲﾙｽﾃｲﾝ、ｸﾘｱｰﾗｯｶｰ塗	VS	長尺ﾋﾞﾆﾙ系ｼｰﾄ（溶接張り）
OS	ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗	VT	ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾙ
UC	ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ塗	DR	岩綿吸音板

使用防火材

石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(石膏ﾎﾞｰﾄﾞ GB-R)t=9.5：準不燃 QM-9828　t=12.5：不燃 NM-8619　t＝15.0：不燃　NM－8612
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞ GB-F)t=21.0　t=12.5：不燃 NM-8615
硬質せっこうﾎﾞｰﾄﾞt=12.5：不燃 NM-9645
化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ GB-D)　t=9.5：準不燃 QM-9824
不燃化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ GB-D)(不燃積層せっこうﾎﾞｰﾄﾞ)t=9.5：不燃 NM-0441
ｸﾞﾗｽｳｰﾙ　不燃：NM-8605
珪酸ｶﾙｼｳﾑ板　不燃：NM-8576/8578
LGS+GB-RHt=9.5+GB-Ft=12.5、両面貼　耐火：FP060NP-0199
LGS+GB-F t=21+21、片面貼　耐火：FP060NP-0007
LGS+珪酸ｶﾙｼｳﾑ板 t=12+12、両面貼　耐火：FP060NP-9361
LGS+GB-F t=12.5+12.5、両面貼　耐火：FP060NP-0483

・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

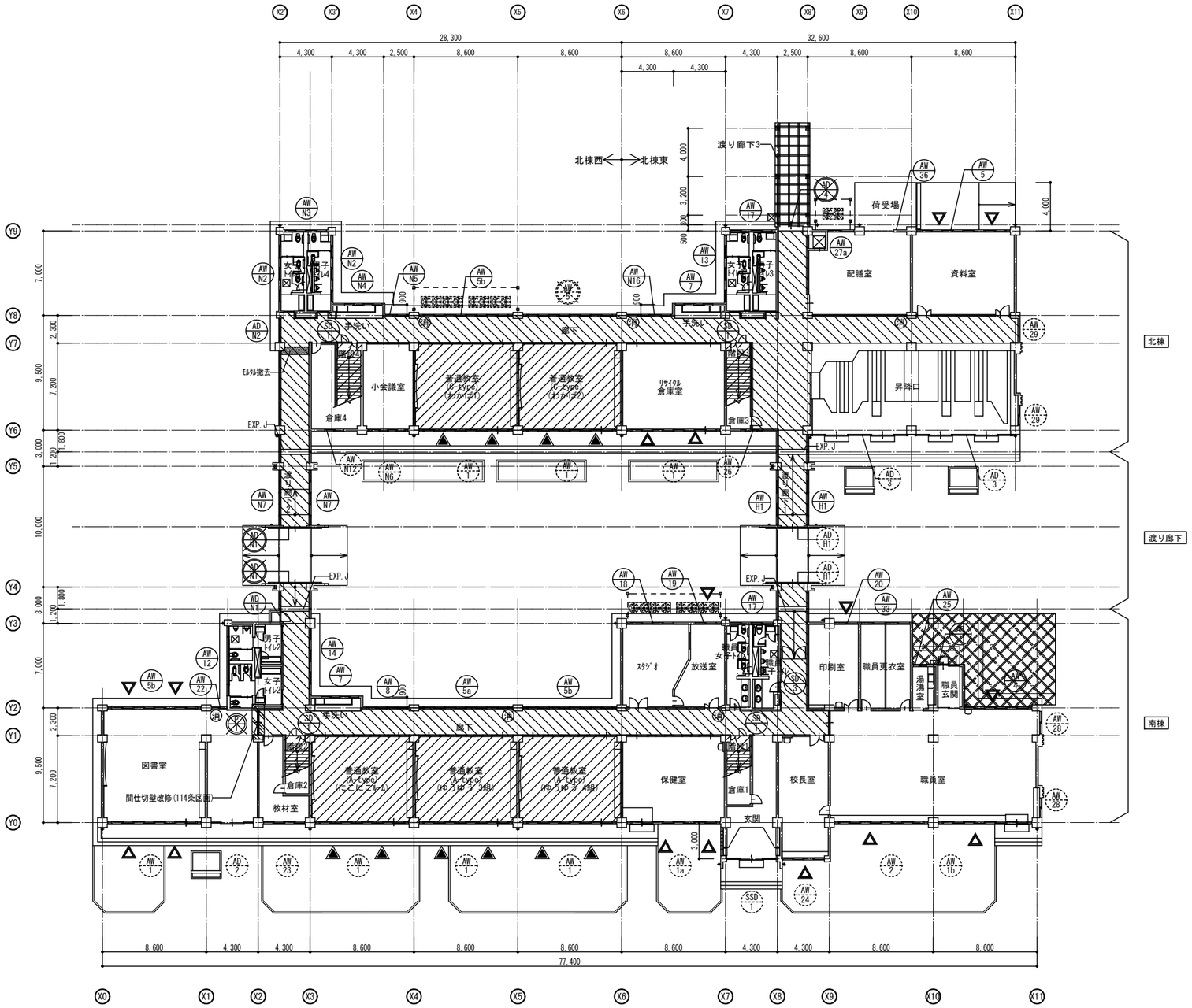
株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５－３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　賞次

設　計

整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年　月　日	A1 NS A3 NS	内部仕上表（２）	A ― 14

改修前　凡例				
	改修範囲	改修対象	1期主体工事+保全工事	
改修		教室改修	腰壁・壁改修 黒板・掲示板・ﾛｯｶｰ等改修	※夏休み工事
		廊下改修	腰壁・壁改修 掲示板改修	※夏休み工事
		階段室改修	壁改修・手摺改修 掲示板改修	※夏休み工事
		114区画改修	間仕切壁改修	※夏休み工事
		開放渡り廊下改修	鉄部塗装改修 床段差解消・建具改修	※夏休み工事
		職員玄関改修	床改修（ｽﾛｰﾌﾟ設置による段差解消） 壁改修、下足入・傘立て改修	※夏休み工事
		ﾊﾞﾙｺﾆｰ改修 庇改修	防水改修	
		外構改修	段差解消改修・スロープ新設	※夏休み工事

	改修しない建具
	改修建具
	撤去建具
	撤去建具(EV増築工事)
	ﾚｼﾞｽﾀｰｶﾞﾗﾘ：外部補修（ﾌﾟﾚｰﾄ塞ぎ）
	ﾚｼﾞｽﾀｰｶﾞﾗﾘ：内部補修（腰壁杉板張り） 外部補修（ﾌﾟﾚｰﾄ塞ぎ）
消	消火器ｻｲﾝ、転倒防止ﾌｯｸ撤去位置
	縦樋：VP100φ OP(支持金物@1000内外共) 撤去

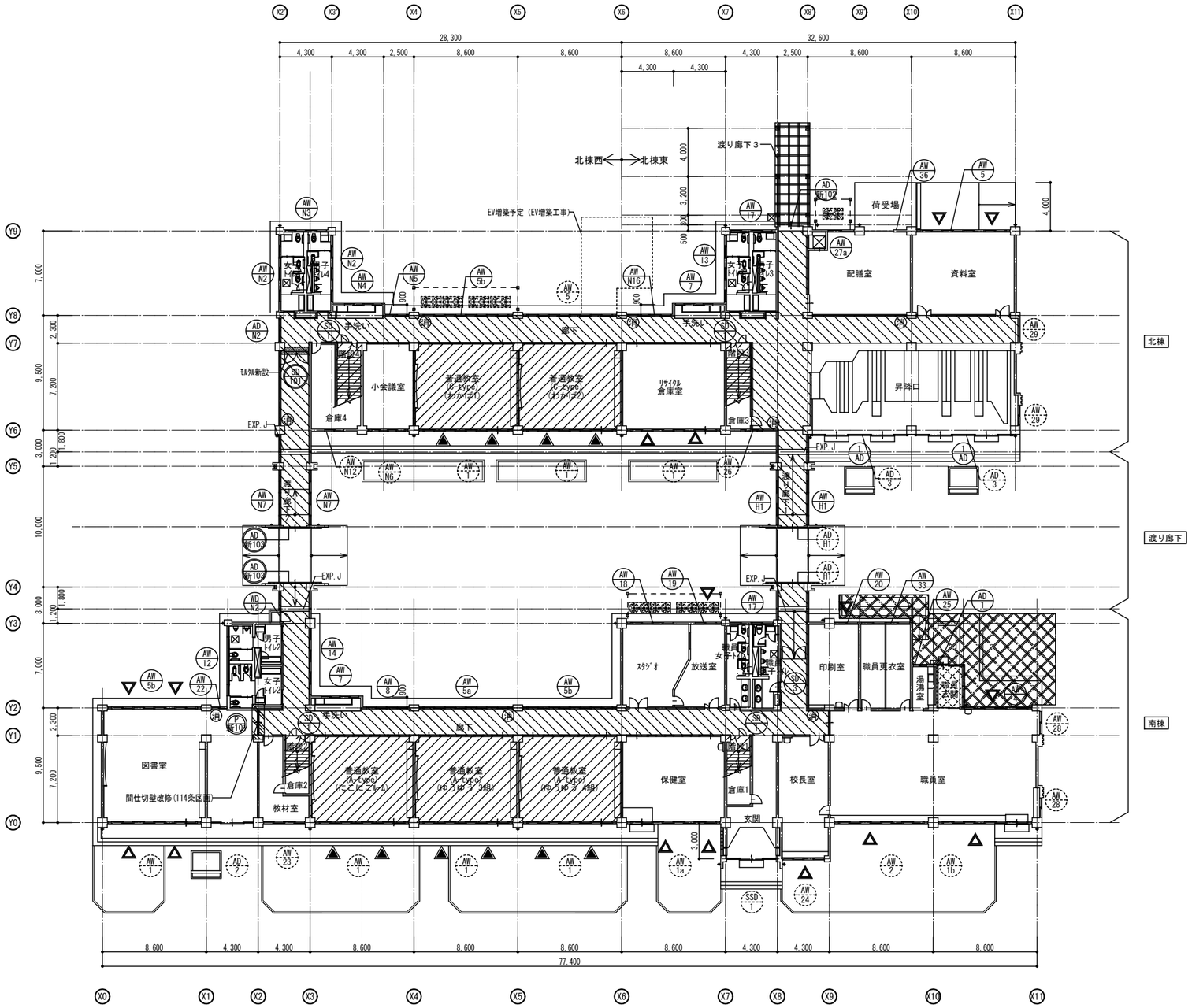


1階平面図（改修前）　1/200

・		・		株式会社 市川三千男建築設計事務所 ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS 名古屋市中区平和1丁目15-30　TEL(052)618-8211　FAX(052)618-8210 管理建築士・管理技術者　一級建築士 第202334号　早瀬　賞次	設　計	整理番号 年　月　日	縮　尺 A1 1/200 A3 1/400	今池小学校校舎改修第1期及び保全主体工事 1階平面図(改修前)・建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ	NO. A — 15
・		・						
・		・						
・		・						

改修後　凡例				
	改修範囲	改修対象	1期主体工事+保全工事	
改修		教室改修	腰壁・壁改修 黒板・掲示板・ﾛｯｶｰ等改修	※夏休み工事
		廊下改修	腰壁・壁改修 掲示板改修	※夏休み工事
		階段室改修	壁改修・手摺改修 掲示板改修	※夏休み工事
		114区画改修	間仕切壁改修	※夏休み工事
		開放渡り廊下改修	鉄部塗装改修 床段差解消・建具改修	※夏休み工事
		職員玄関改修	床改修（ｽﾛｰﾌﾟ設置による段差解消） 壁改修、下足入・傘立て改修	※夏休み工事
		ﾊﾞﾙｺﾆｰ改修 庇改修	防水改修	
		外構改修	段差解消改修・スロープ新設	※夏休み工事

	改修しない建具
	改修建具
	新設建具
	ﾚｼﾞｽﾀｰｶﾞﾗﾘ：外部補修（ﾌﾟﾚｰﾄ塞ぎ）
	ﾚｼﾞｽﾀｰｶﾞﾗﾘ：内部補修（腰壁杉板張り） 外部補修（ﾌﾟﾚｰﾄ塞ぎ）
消	消火器ｻｲﾝ、転倒防止ﾌｯｸ新設位置
	縦樋：ｶﾗｰVP100φ （支持金物：SUS製@1000内外共）新設

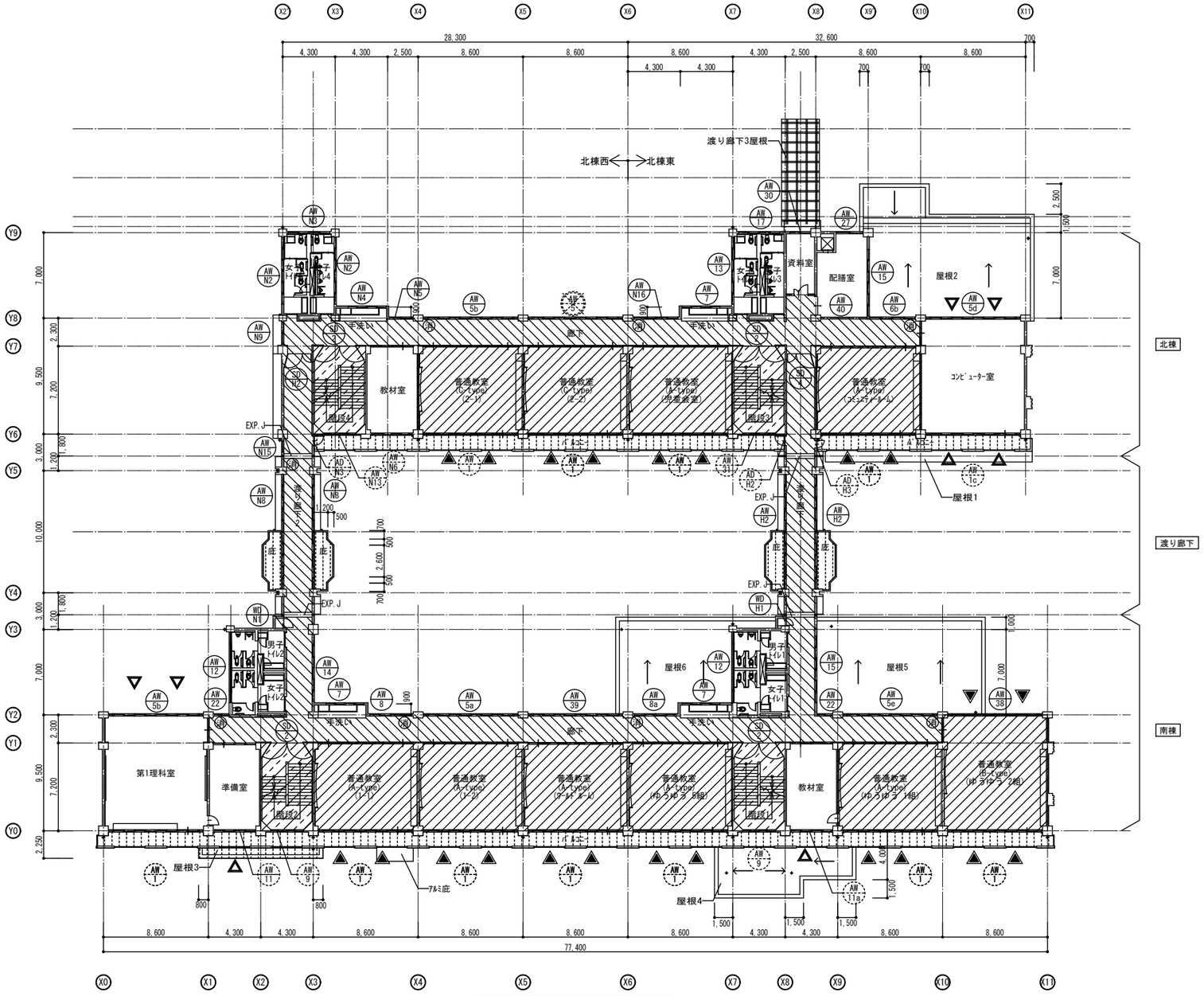


１階平面図（改修後）　1/200

・		・		株式会社 市川三千男建築設計事務所 ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS 名古屋市中区平和１丁目１５－３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210 管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　賞次	設　計	整理番号 年　月　日	縮　尺 A1 1/200 A3 1/400	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事 １階平面図(改修後)・建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ	NO. A ― 16
・		・							
・		・							
・		・							

改修前　凡例				
	改修範囲	改修対象	1期主体工事+保全工事	
改修		教室改修	腰壁・壁改修 黒板・掲示板・ﾛｯｶｰ等改修	※夏休み工事
		廊下改修	腰壁・壁改修 掲示板改修	※夏休み工事
		階段室改修	壁改修・手摺改修 掲示板改修	※夏休み工事
		開放渡り廊下改修	鉄部塗装改修	※夏休み工事
		ﾊﾞﾙｺﾆｰ改修 庇改修	防水改修	

	改修しない建具
	改修建具
	撤去建具
	撤去建具(EV増築工事)
	ﾚｼﾞｽﾀｰｶﾞﾗﾘ：外部補修（ﾌﾟﾚｰﾄ塞ぎ）
	ﾚｼﾞｽﾀｰｶﾞﾗﾘ：内部補修（腰壁杉板張り） 外部補修（ﾌﾟﾚｰﾄ塞ぎ）
消	消火器ｻｲﾝ、転倒防止ﾌｯｸ撤去位置
	縦樋：VP100φ OP(支持金物@1000内外共) 撤去

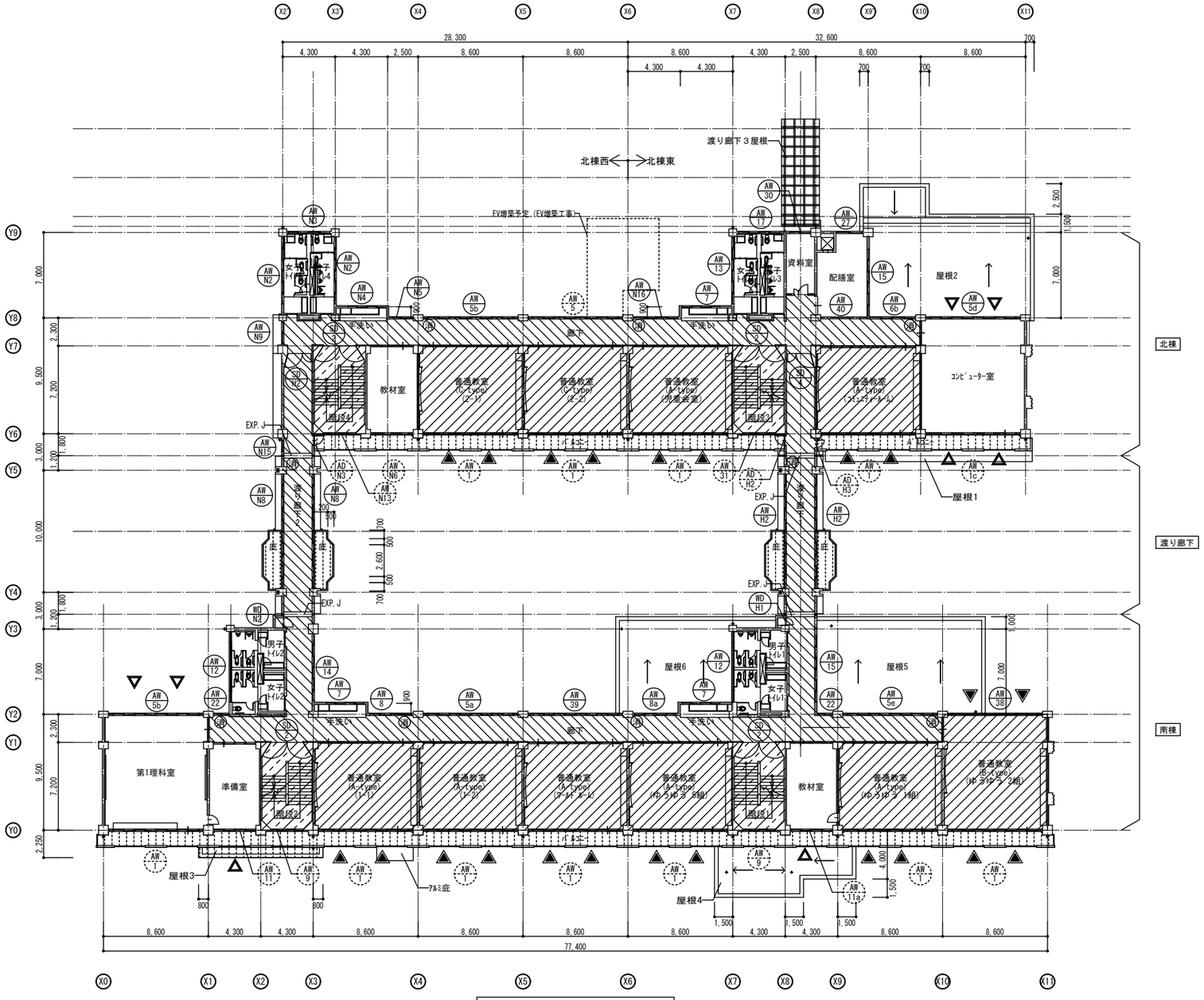


２階平面図（改修前）　1/200

				株式会社 市川三千男建築設計事務所 ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS 名古屋市中区平和１丁目１５－３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210 管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次	設　計	整理番号 年　月　日	縮　尺 A1 1/200 A3 1/400	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事 ２階平面図(改修前)・建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ	NO. A — 17

改修後　凡例				
	改修範囲	改修対象	1期主体工事+保全工事	
改修		教室改修	腰壁・壁改修 黒板・掲示板・ﾛｯｶｰ等改修	※夏休み工事
		廊下改修	腰壁・壁改修 掲示板改修	※夏休み工事
		階段室改修	壁改修・手摺改修 掲示板改修	※夏休み工事
		開放渡り廊下改修	鉄部塗装改修	※夏休み工事
		ﾊﾞﾙｺﾆｰ改修 庇改修	防水改修	

	改修しない建具
	改修建具
	新設建具
△	ﾚｼﾞｽﾀｰｶﾞﾗﾘ：外部補修（ﾌﾟﾚｰﾄ塞ぎ）
▲	ﾚｼﾞｽﾀｰｶﾞﾗﾘ：内部補修（腰壁杉板張り） 外部補修（ﾌﾟﾚｰﾄ塞ぎ）
消	消火器ｻｲﾝ、転倒防止ﾌｯｸ新設位置
	縦樋：ｶﾗｰVP100φ （支持金物：SUS製@1000内外共）新設

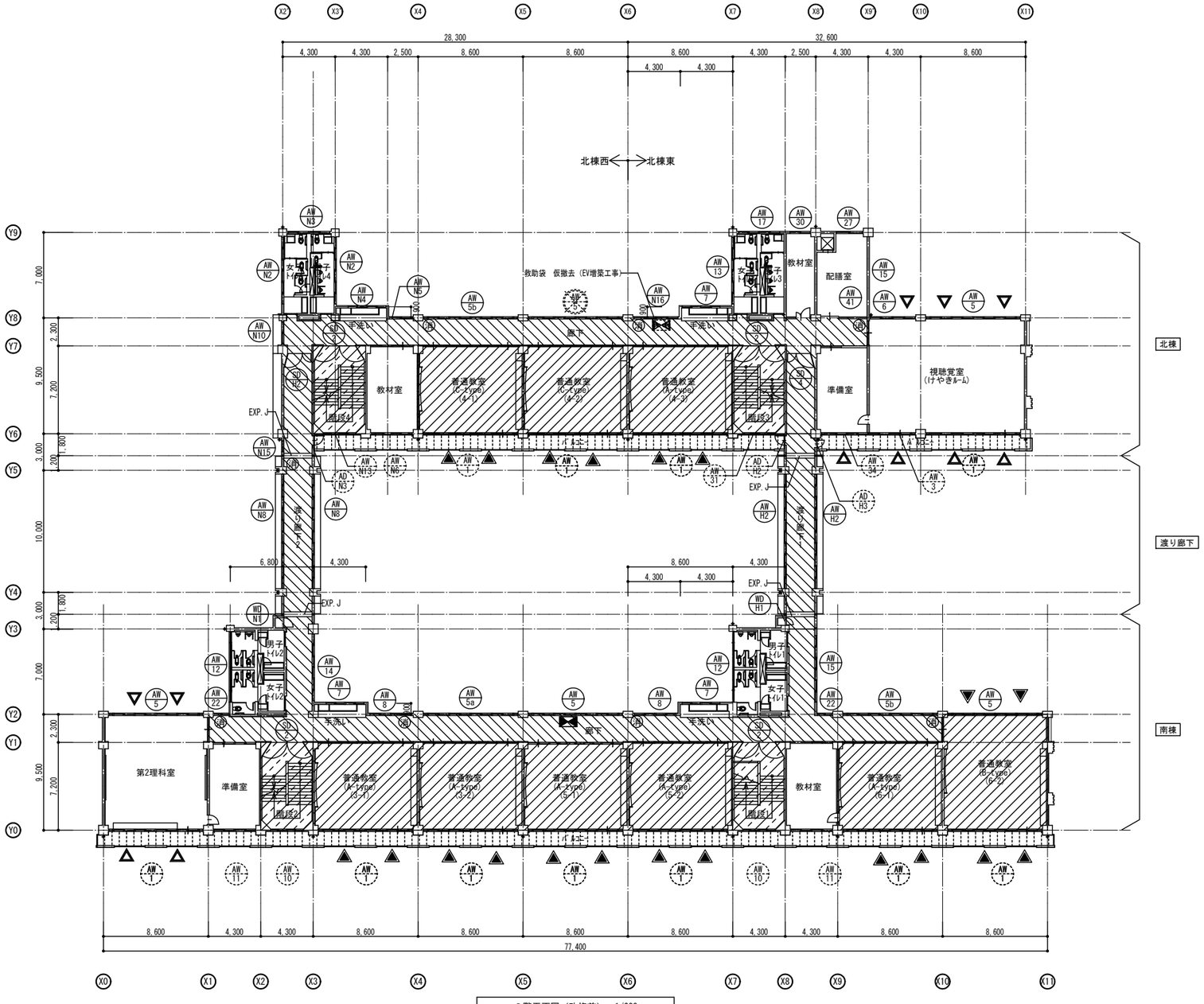


２階平面図（改修後）　1/200

株式会社 市川三千男建築設計事務所 ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS 名古屋市中区平和１丁目１５－３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210 管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次	設　計	整理番号 年　月　日	縮　尺 A1 1/200 A3 1/400	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事 ２階平面図(改修後)・建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ	NO. A — 18

改修前　凡例				
	改修範囲	改修対象	1期主体工事+保全工事	
改修		教室改修	腰壁・壁改修 黒板・掲示板・ﾛｯｶｰ等改修	※夏休み工事
		廊下改修	腰壁・壁改修 掲示板改修	※夏休み工事
		階段室改修	壁改修・手摺改修 掲示板改修	※夏休み工事
		ﾊﾞﾙｺﾆｰ改修 庇改修	防水改修	

	改修しない建具
	改修建具
	撤去建具
	撤去建具(EV増築工事)
	ﾚｼﾞｽﾀｰｶﾞﾗﾘ：外部補修（ﾌﾟﾚｰﾄ塞ぎ）
	ﾚｼﾞｽﾀｰｶﾞﾗﾘ：内部補修（腰壁杉板張り） 外部補修（ﾌﾟﾚｰﾄ塞ぎ）
	消火器ｻｲﾝ、転倒防止ﾌｯｸ撤去位置
	救助袋　仮撤去
	救助袋　仮撤去(EV増築工事)
	縦樋：VP100φ OP(支持金物@1000内外共) 撤去

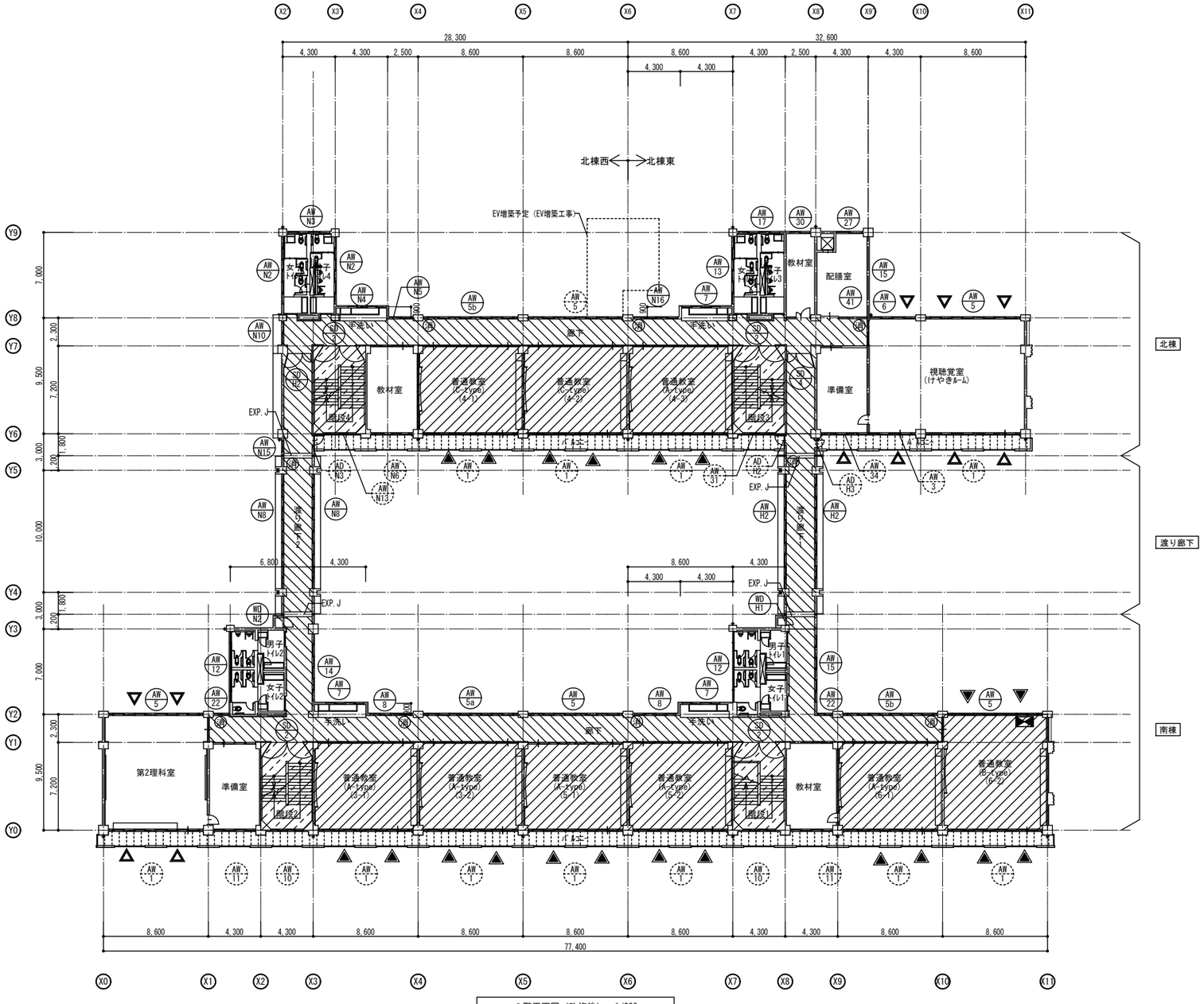


３階平面図（改修前）　1/200

・		・		株式会社 市川三千男建築設計事務所 ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS 名古屋市中区平和１丁目１５－３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210 管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　賞次	設　計	整理番号 年　月　日	縮　尺 A1 1/200 A3 1/400	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事 ３階平面図(改修前)・建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ	NO. A ― 19
・		・						
・		・						
・		・						

改修後　凡例				
	改修範囲	改修対象	1期主体工事+保全工事	
改修		教室改修	腰壁・壁改修 黒板・掲示板・ﾛｯｶｰ等改修	※夏休み工事
		廊下改修	腰壁・壁改修 掲示板改修	※夏休み工事
		階段室改修	壁改修・手摺改修 掲示板改修	※夏休み工事
		ﾊﾞﾙｺﾆｰ改修 庇改修	防水改修	

	改修しない建具
	改修建具
	新設建具
	ﾚｼﾞｽﾀｰｶﾞﾗﾘ：外部補修（ﾌﾟﾚｰﾄ塞ぎ）
	ﾚｼﾞｽﾀｰｶﾞﾗﾘ：内部補修（腰壁杉板張り） 外部補修（ﾌﾟﾚｰﾄ塞ぎ）
消	消火器ｻｲﾝ、転倒防止ﾌｯｸ新設位置
	救助袋　復旧
	縦樋：ｶﾗｰVP100φ （支持金物：SUS製@1000内外共）新設

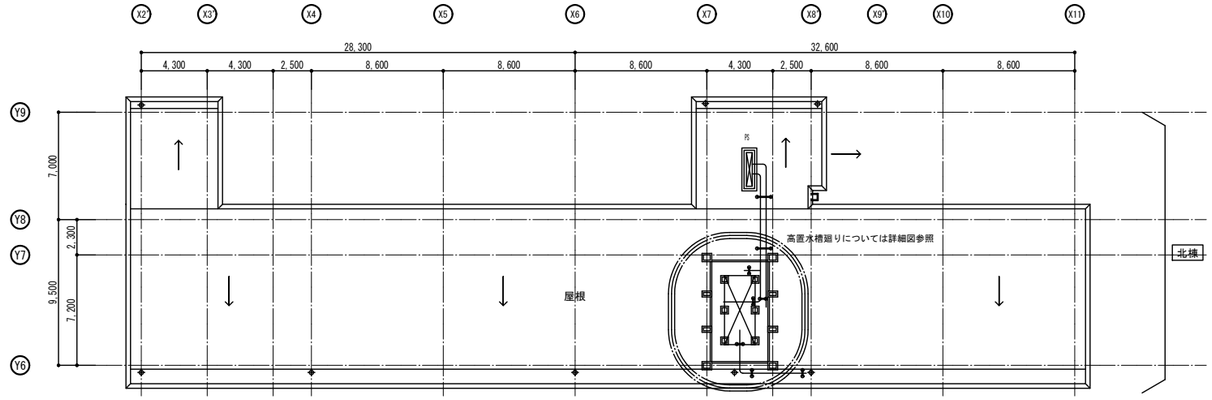


３階平面図（改修後）　1/200

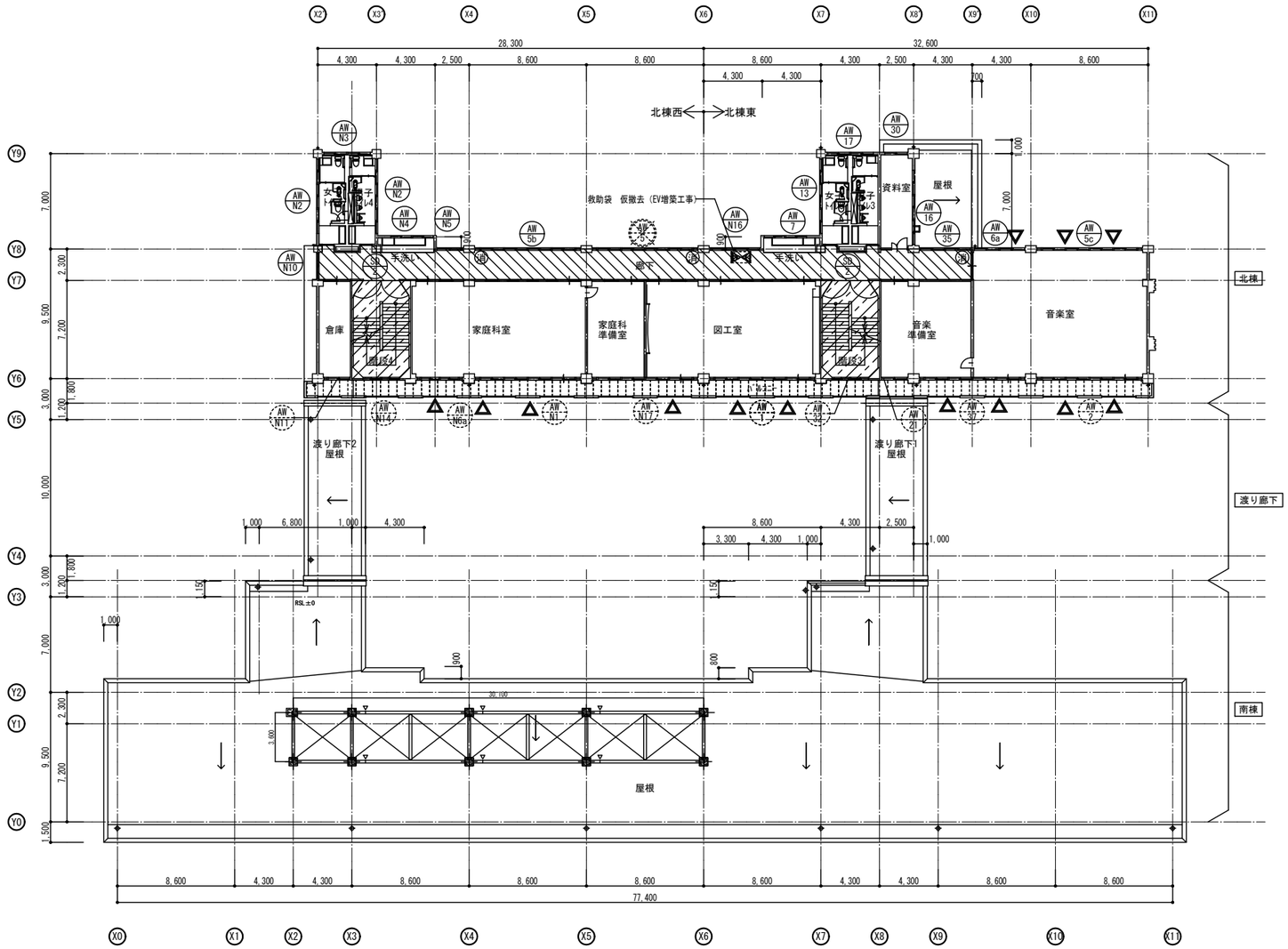
・		・		株式会社 市川三千男建築設計事務所 ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS 名古屋市中区平和１丁目１５-３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210 管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　賞次	設　計	整理番号 年　月　日	縮　尺 A1 1/200 A3 1/400	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事 ３階平面図(改修後)・建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ	NO. A — 20
・		・						
・		・						
・		・						

改修前　凡例				
	改修範囲	改修対象	1期主体工事+保全工事	
改修		廊下改修	腰壁・壁改修 掲示板改修	※夏休み工事
		階段室改修	壁改修・手摺改修 掲示板改修	※夏休み工事
		ﾊﾞﾙｺﾆｰ改修 庇改修	防水改修	

	改修しない建具
	改修建具
	撤去建具
	撤去建具(EV増築工事)
	ﾚｼﾞｽﾀｰｶﾞﾗﾘ：外部補修（ﾌﾟﾚｰﾄ塞ぎ）
	ﾚｼﾞｽﾀｰｶﾞﾗﾘ：内部補修（腰壁杉板張り） 外部補修（ﾌﾟﾚｰﾄ塞ぎ）
消	消火器ｻｲﾝ、転倒防止ﾌｯｸ撤去位置
	救助袋　仮撤去(EV増築工事)
	縦樋：VP100φ OP(支持金物@1000内外共) 撤去



R階平面図（改修前）　1/200



4階平面図（改修前）　1/200

・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５－３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬 貴次

設　計

整理番号

年　月　日

縮　尺　A1 1/200　A3 1/400

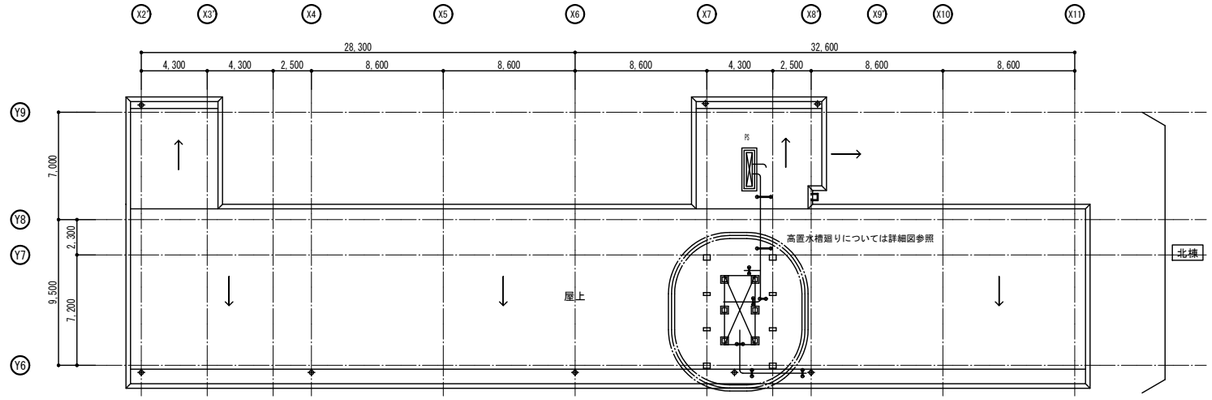
今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事

４階平面図(改修前)・建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ

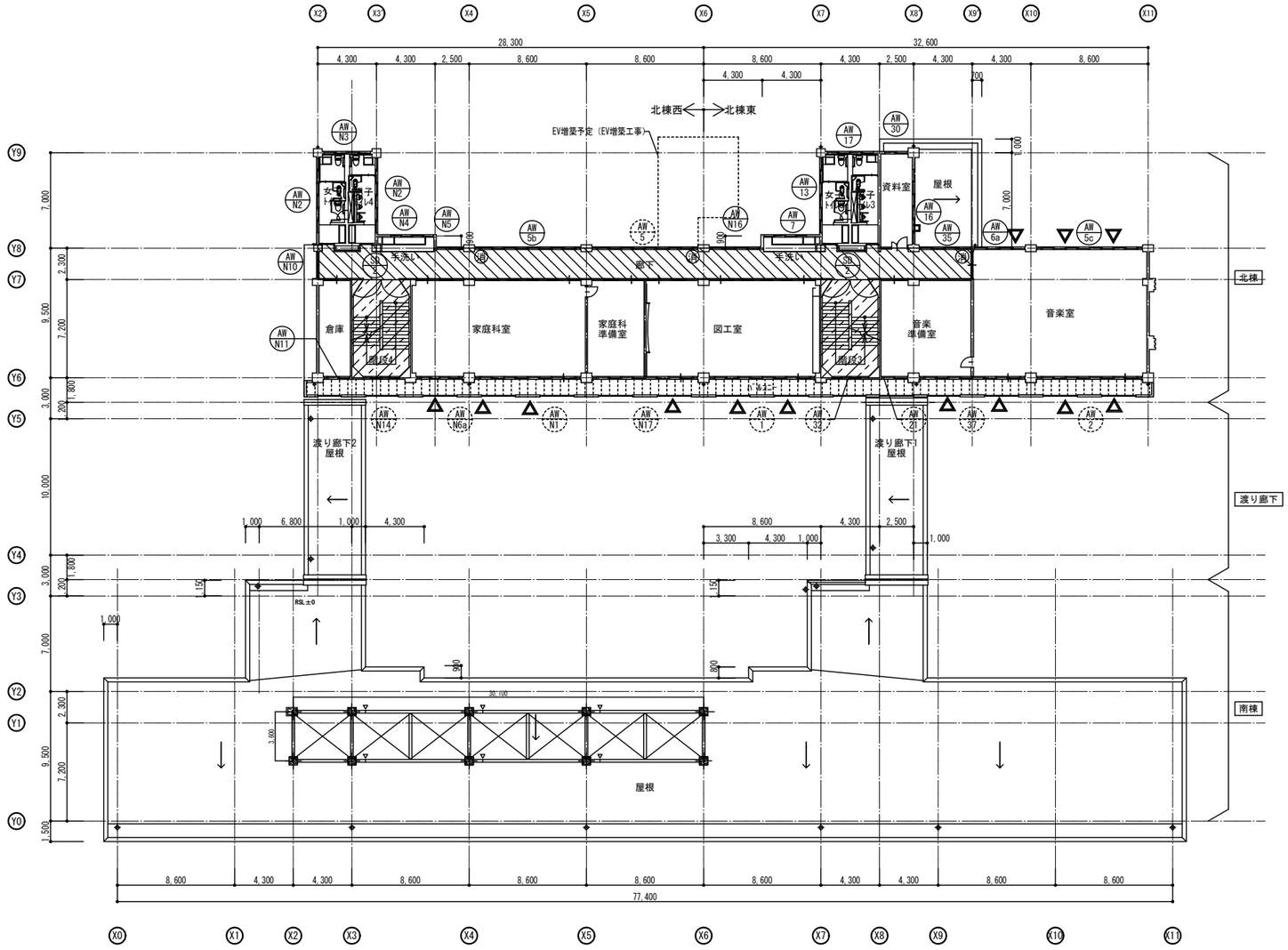
NO. A — 21

改修後　凡例				
	改修範囲	改修対象	1期主体工事+保全工事	
改修		廊下改修	腰壁・壁改修 掲示板改修	※夏休み工事
		階段室改修	壁改修・手摺改修 掲示板改修	※夏休み工事
		ﾊﾞﾙｺﾆｰ改修 庇改修	防水改修	

	改修しない建具
	改修建具
	新設建具
	ﾚｼﾞｽﾀｰｶﾞﾗﾘ：外部補修（ﾌﾟﾚｰﾄ塞ぎ）
	ﾚｼﾞｽﾀｰｶﾞﾗﾘ：内部補修（腰壁杉板張り） 外部補修（ﾌﾟﾚｰﾄ塞ぎ）
	消火器ｻｲﾝ、転倒防止ﾌｯｸ新設位置
	縦樋：ｶﾗｰVP100φ （支持金物：SUS製@1000内外共）新設



R階平面図（改修後）　1/200

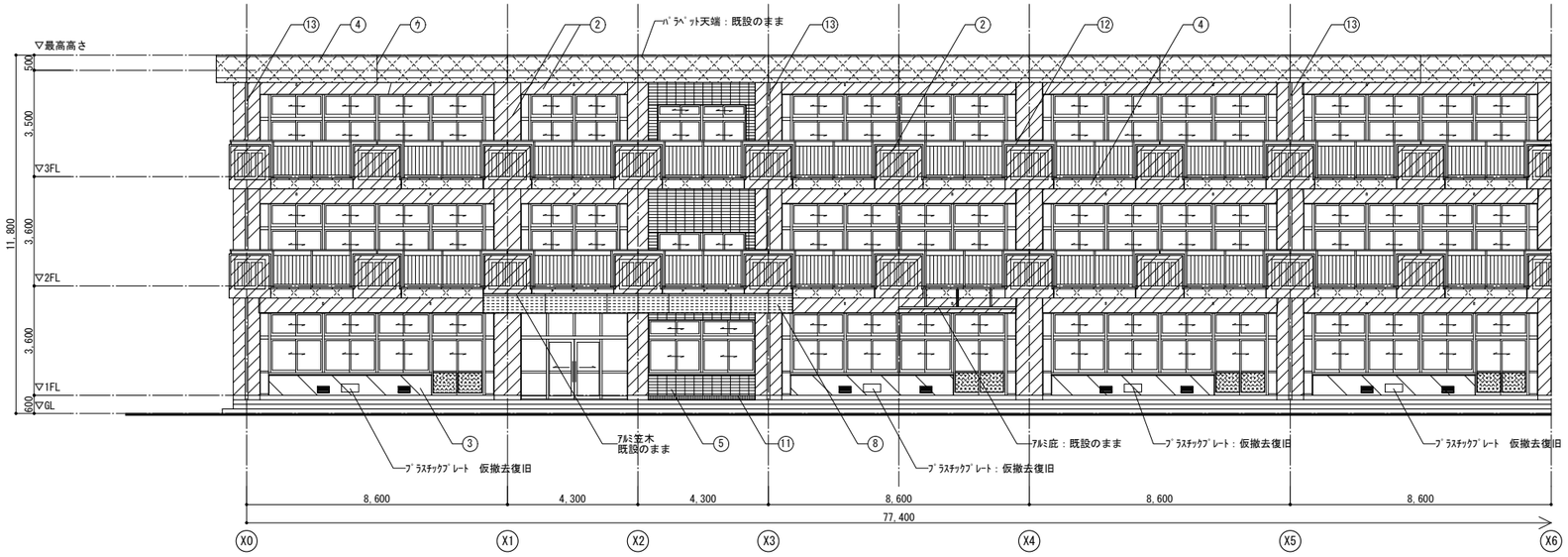


4階平面図（改修後）　1/200

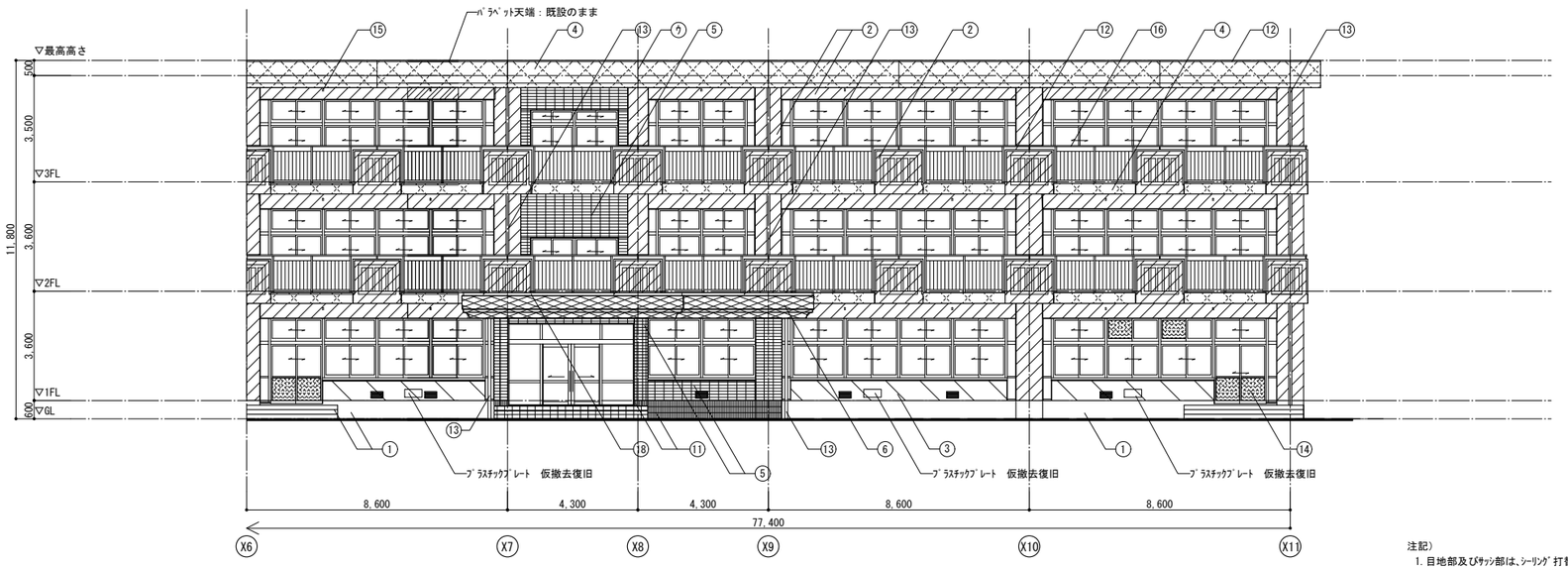
株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５－３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬 貴次

設　計

整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年　月　日	A1 1/200 A3 1/400	４階平面図(改修後)・建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ	A — 22



南棟　南立面図　1/100



南棟　南立面図　1/100

注記）
1. 目地部及びｻｯｼ部は、ｼｰﾘﾝｸﾞ打替(PU-2)15×15とする。
2. ｶﾞﾗｽは、既設ｶﾞｽｹｯﾄ(5×5)撤去の上ｶﾞﾗｽ止めｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)5×5(両面)新設とする。また、ｶﾞﾗｽ全面ｸﾘｰﾆﾝｸﾞを行うこと。
3. ｸﾗｯｸ・浮き・欠損部分等の数量については事前に監督員に報告して確認を受けること。
4. 外壁補修出来形施工報告書を提出すること。
5. 施工方法は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」に準拠し、施工計画書を監督員に提出し承諾を得ること。
6. 外壁補修にあたっては、事前の調査を行い適切な補修を行うこと。
図面に記載されていない部分についても適切な補修を行うこと。（数量は劣化調査の数量を参考とする。）
7. 既設室外機は、養生した上で外壁補修を行うこと。
8. 耐候性塗料DP塗りの等級は1級（ﾌｯ素）とする。
9. EXP.Jﾊﾟｰ固定用ﾋﾞｽの打替を1箇所当たり10本程度見込むこと。

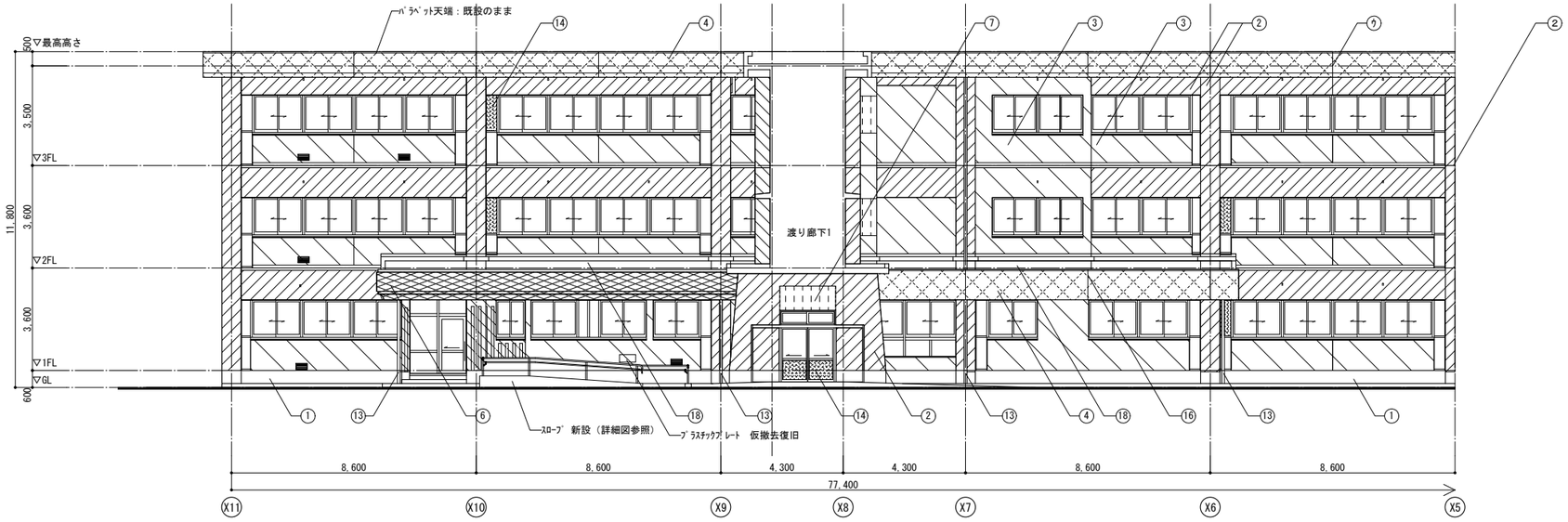
外部仕上　凡例　　ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材を示す

①	改修前	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ仕上 GL+600迄		⑤	改修前	小口ﾀｲﾙ貼		⑨	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 吹付ﾀｲﾙ		⑬	改修前	VP100φ OP(支持金物@1000内外) 撤去		⑰	改修前	VP50φ OP(支持金物@1000内外) 撤去		⑦	改修前	打継・伸縮目地 ﾎﾞﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞｼｰﾘﾝｸﾞ 15×15撤去	
	改修後	水洗い、劣化部補修			改修後	水洗い、劣化部補修の上、透明樹脂外壁防水（大関化学ｸﾘｱｺｰﾄeco同等品） 新設			改修後	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設			改修後	ｶﾗｰVP100φ（支持金物：SUS製@1000内外共）新設			改修後	ｶﾗｰVP50φ（支持金物：SUS製@1000内外共）新設			改修後	ｼｰﾘﾝｸﾞ(PU-2)15×15 新設	
②	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付		⑥	改修前	ﾚｰﾘｰﾌ型枠 ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 吹付ﾀｲﾙ		⑩	改修前	炻器質ﾀｲﾙ口150		⑭	改修前	ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=3.0		⑱	改修前	ｳﾚﾀﾝ塗膜防水		㋑	改修前	構造目地 ﾎﾞﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞｼｰﾘﾝｸﾞ 15×15撤去	
	改修後	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設			改修後	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設			改修後	既設のまま			改修後	既設のまま			改修後	既設のまま			改修後	ｼｰﾘﾝｸﾞ(PU-2)15×15 新設	
③	改修前	ﾓﾙﾀﾙ刷毛引 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付		⑦	改修前	ALCﾊﾟﾈﾙの上 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付 ﾊﾟﾈﾙ周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ 15×15 撤去		⑪	改修前	二丁掛ﾀｲﾙ貼		⑮	改修前	換気ﾊﾟｲﾌﾟVU50φｴﾙﾎﾞ防虫網付@4300						㋒	改修前	左官目地又はｺﾝｸﾘｰﾄ打放目地 15×10撤去	
	改修後	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設			改修後	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設 ﾊﾟﾈﾙ周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ 15×15（PU-2）新設			改修後	水洗い、劣化部補修の上、透明樹脂外壁防水（大関化学ｸﾘｱｺｰﾄeco同等品） 新設			改修後	既設のまま							改修後	ｼｰﾘﾝｸﾞ(PU-2)15×15 新設	
④	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 目地切@2150		⑧	改修前	ALCﾊﾟﾈﾙの上 吹付ﾀｲﾙ		⑫	改修前	防水ﾓﾙﾀﾙ		⑯	改修前	ｱﾙﾐ手摺						㋓	改修前	EXP.J周囲 15×15撤去	
	改修後	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設			改修後	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設			改修後	水洗い、下地調整材(ﾎﾞﾘﾏｰｾﾒﾝﾄ)塗布の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2） 新設			改修後	既設のまま							改修後	ｼｰﾘﾝｸﾞ(MS-2)15×15 新設	

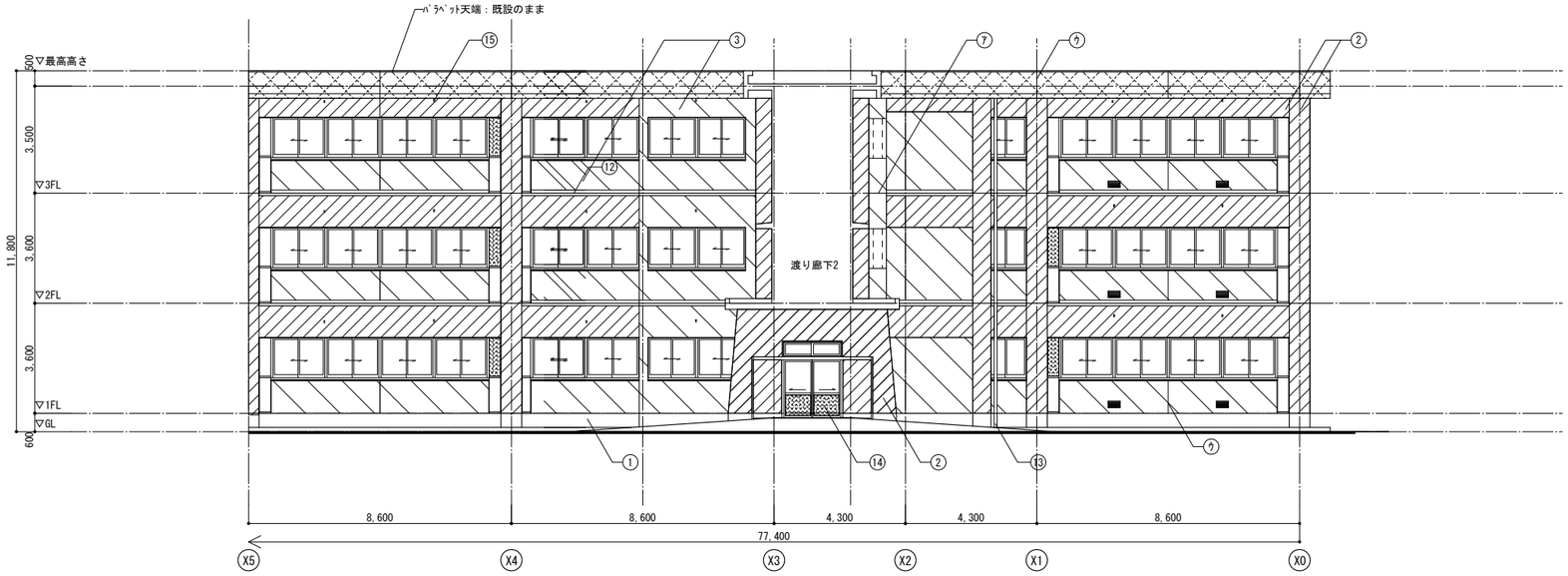
株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５－３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

設　計

整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/100 A3 1/200	南棟　南立面図	A — 23



南棟　北立面図　1/100



南棟　北立面図　1/100

外部仕上　凡例　　ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材を示す

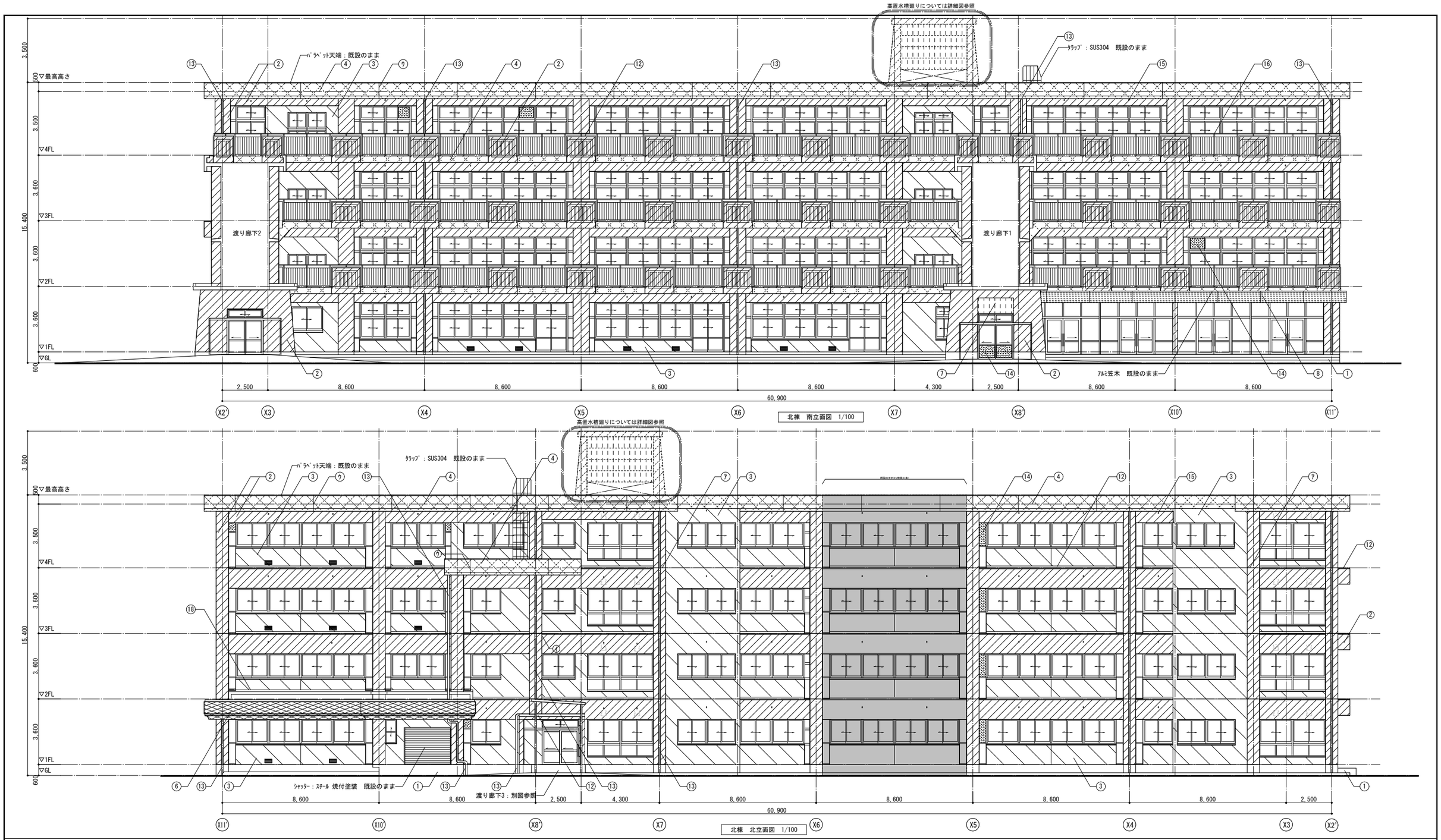
①	改修前	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ仕上 GL+600迄		⑤	改修前	小口ﾀｲﾙ貼		⑨	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 吹付ﾀｲﾙ		⑬	改修前	VP100φ OP(支持金物@1000内外) 撤去		⑰	改修前	VP50φ OP(支持金物@1000内外) 撤去		⑦	改修前	打継・伸縮目地 ﾎﾞﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞｼｰﾘﾝｸﾞ 15×15撤去	
	改修後	水洗い、劣化部補修			改修後	水洗い、劣化部補修の上、透明樹脂外壁防水（大関化学ｸﾘｱｺｰﾄeco同等品）新設			改修後	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設			改修後	ｶﾗｰVP100φ（支持金物：SUS製@1000内外共）新設			改修後	ｶﾗｰVP50φ（支持金物：SUS製@1000内外共）新設			改修後	ｼｰﾘﾝｸﾞ(PU-2)15×15 新設	
②	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付		⑥	改修前	ﾚﾘｰﾌ型枠 ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 吹付ﾀｲﾙ		⑩	改修前	炻器質ﾀｲﾙ□150		⑭	改修前	ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=3.0		⑱	改修前	ｳﾚﾀﾝ塗膜防水		㋑	改修前	構造目地 ﾎﾞﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞｼｰﾘﾝｸﾞ 15×15撤去	
	改修後	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設			改修後	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設			改修後	既設のまま			改修後	既設のまま			改修後	既設のまま			改修後	ｼｰﾘﾝｸﾞ(PU-2)15×15 新設	
③	改修前	ﾓﾙﾀﾙ刷毛引 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付		⑦	改修前	ALCﾊﾟﾈﾙの上 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付 ﾊﾟﾈﾙ周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ 15×15 撤去		⑪	改修前	二丁掛ﾀｲﾙ貼		⑮	改修前	換気ﾊﾟｲﾌﾟVU50φｴﾙﾎﾞ防虫網付@4300						㋒	改修前	左官目地又はｺﾝｸﾘｰﾄ打放目地 15×10撤去	
	改修後	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設			改修後	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設 ﾊﾟﾈﾙ周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ 15×15 (PU-2) 新設			改修後	水洗い、劣化部補修の上、透明樹脂外壁防水（大関化学ｸﾘｱｺｰﾄeco同等品） 新設			改修後	既設のまま							改修後	ｼｰﾘﾝｸﾞ(PU-2)15×15 新設	
④	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 目地切@2150		⑧	改修前	ALCﾊﾟﾈﾙの上 吹付ﾀｲﾙ		⑫	改修前	防水ﾓﾙﾀﾙ		⑯	改修前	ｱﾙﾐ手摺						㋓	改修前	EXP.J周囲 15×15撤去	
	改修後	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設 目地：ｼｰﾘﾝｸﾞ (PU-2) 20×20 新設			改修後	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設			改修後	水洗い、下地調整材(ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄ)塗布の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水 (X-2) 新設			改修後	既設のまま							改修後	ｼｰﾘﾝｸﾞ(MS-2)15×15 新設	

・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５-３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

設　計

整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/100 A3 1/200	南棟　北立面図	A — 24



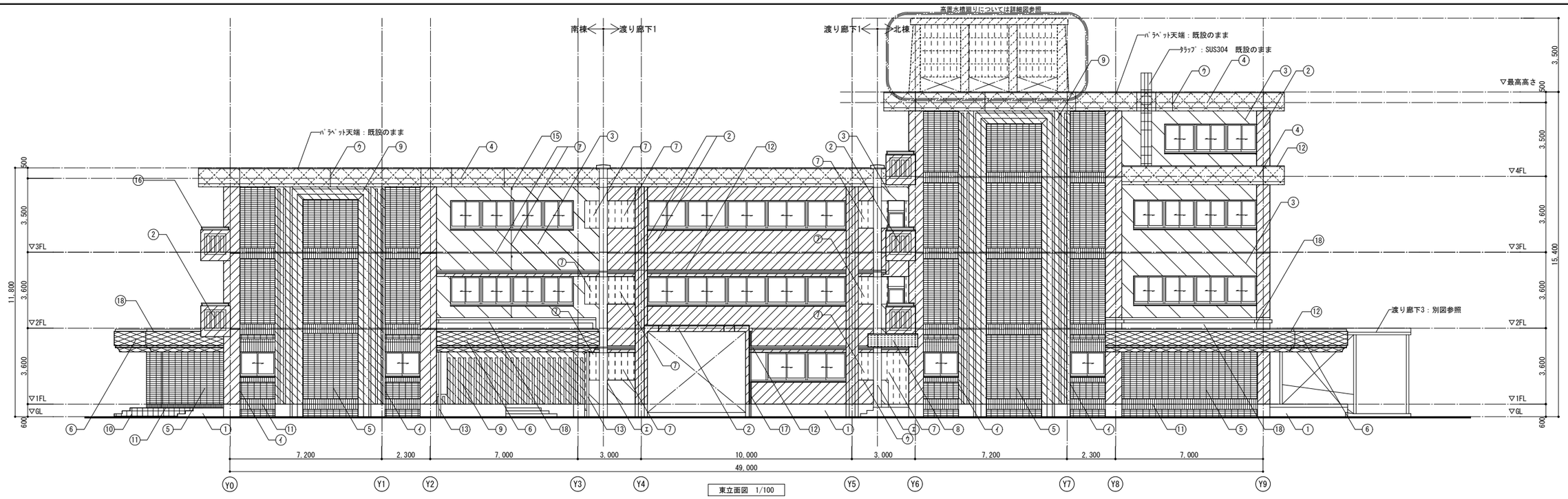
外部仕上　凡例　　ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材を示す

①	改修前	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ仕上 GL+600迄		⑤	改修前	小口ﾀｲﾙ貼		⑨	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 吹付ﾀｲﾙ		⑬	改修前	VP100φ OP(支持金物@1000内外) 撤去		⑰	改修前	VP50φ OP(支持金物@1000内外) 撤去		⑦	改修前	打継・伸縮目地 ﾎﾞﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞｼｰﾘﾝｸﾞ 15×15撤去	
	改修後	水洗い、劣化部補修			改修後	水洗い、劣化部補修の上、透明樹脂外壁防水（大関化学ｸﾘｱｺｰﾄeco同等品）新設			改修後	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設			改修後	ｶﾗｰVP100φ（支持金物：SUS製@1000内外共）新設			改修後	ｶﾗｰVP50φ（支持金物：SUS製@1000内外共）新設			改修後	ｼｰﾘﾝｸﾞ(PU-2)15×15 新設	
②	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付		⑥	改修前	ﾚﾘｰﾌ型枠　ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 吹付ﾀｲﾙ		⑩	改修前	炻器質ﾀｲﾙ口150		⑭	改修前	ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=3.0		⑱	改修前	ｳﾚﾀﾝ塗膜防水		㋑	改修前	構造目地 ﾎﾞﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞｼｰﾘﾝｸﾞ 15×15撤去	
	改修後	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設			改修後	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設			改修後	既設のまま			改修後	既設のまま			改修後	既設のまま			改修後	ｼｰﾘﾝｸﾞ(PU-2)15×15 新設	
③	改修前	ﾓﾙﾀﾙ刷毛引 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付		⑦	改修前	ALCﾊﾟﾈﾙの上 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付 ﾊﾟﾈﾙ周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ 15×15 撤去		⑪	改修前	二丁掛ﾀｲﾙ貼		⑮	改修前	換気ﾊﾞｲﾌﾟVU50φｴﾙﾎﾞ防虫網付@4300				改修対象範囲外		㋒	改修前	左官目地又はｺﾝｸﾘｰﾄ打放目地 15×10撤去	
	改修後	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設			改修後	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設 ﾊﾟﾈﾙ周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ 15×15（PU-2）新設			改修後	水洗い、劣化部補修の上、透明樹脂外壁防水（大関化学ｸﾘｱｺｰﾄeco同等品）新設			改修後	既設のまま							改修後	ｼｰﾘﾝｸﾞ(PU-2)15×15 新設	
④	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 目地切@2150		⑧	改修前	ALCﾊﾟﾈﾙの上 吹付ﾀｲﾙ		⑫	改修前	防水ﾓﾙﾀﾙ		⑯	改修前	ｱﾙﾐ手摺						㋓	改修前	EXP.J周囲 15×15撤去	
	改修後	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設 目地：ｼｰﾘﾝｸﾞ（PU-2）20×20 新設			改修後	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設			改修後	水洗い、下地調整材(ﾎﾞﾘﾏｰｾﾒﾝﾄ)塗布の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2） 新設			改修後	既設のまま							改修後	ｼｰﾘﾝｸﾞ(MS-2)15×15 新設	

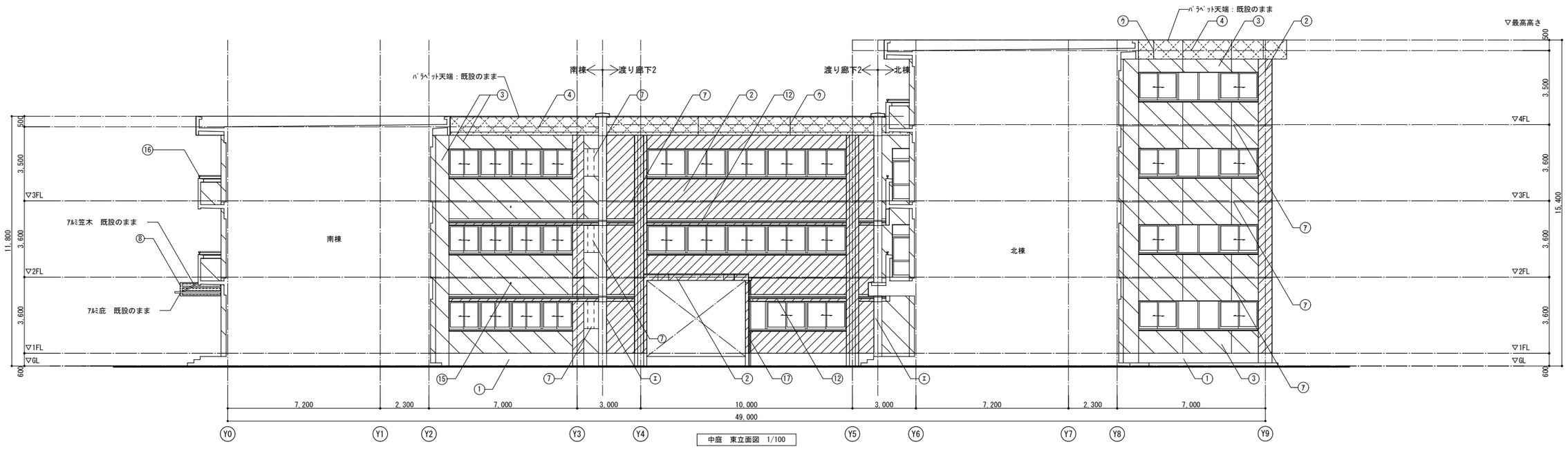
株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５－３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

設　計

整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/100 A3 1/200	北棟　南・北立面図	A — 25



東立面図　1/100



中庭　東立面図　1/100

外部仕上　凡例　　ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材を示す

①	改修前	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ仕上 GL+600迄	
	改修後	水洗い、劣化部補修	
②	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	
	改修後	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設	
③	改修前	ﾓﾙﾀﾙ刷毛引 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	
	改修後	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設	
④	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 目地切#2150	
	改修後	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設 目地：ｼｰﾘﾝｸﾞ (PU-2) 20×20 新設	
⑤	改修前	小口ﾀｲﾙ貼	
	改修後	水洗い、劣化部補修の上、透明樹脂外壁防水（大関化学ｸﾘｱｺｰﾄeco同等品）新設	
⑥	改修前	ﾚﾘｰﾌ型枠　ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 吹付ﾀｲﾙ	
	改修後	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設	
⑦	改修前	ALCﾊﾟﾈﾙの上 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付 ﾊﾟﾈﾙ周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ 15×15 撤去	
	改修後	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設 ﾊﾟﾈﾙ周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ 15×15 (PU-2) 新設	
⑧	改修前	ALCﾊﾟﾈﾙの上 吹付ﾀｲﾙ	
	改修後	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設	
⑨	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 吹付ﾀｲﾙ	
	改修後	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設	
⑩	改修前	炻器質ﾀｲﾙ□150	
	改修後	既設のまま	
⑪	改修前	二丁掛ﾀｲﾙ貼	
	改修後	水洗い、劣化部補修の上、透明樹脂外壁防水（大関化学ｸﾘｱｺｰﾄeco同等品）新設	
⑫	改修前	防水ﾓﾙﾀﾙ	
	改修後	水洗い、下地調整材(ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄ)塗布の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水 (X-2) 新設	
⑬	改修前	VP100φ OP(支持金物@1000内外) 撤去	
	改修後	ｶﾗｰVP100φ（支持金物：SUS製@1000内外共）新設	
⑭	改修前	ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=3.0	
	改修後	既設のまま	
⑮	改修前	換気ﾊﾟｲﾌﾟVU50φｴﾙﾎﾞ防虫網付@4300	
	改修後	既設のまま	
⑯	改修前	ｱﾙﾐ手摺	
	改修後	既設のまま	
⑰	改修前	VP50φ OP(支持金物@1000内外) 撤去	
	改修後	ｶﾗｰVP50φ（支持金物：SUS製@1000内外共）新設	
⑱	改修前	ｳﾚﾀﾝ塗膜防水	
	改修後	既設のまま	
⑦	改修前	打継・伸縮目地 ﾎﾞﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞｼｰﾘﾝｸﾞ 15×15撤去	
	改修後	ｼｰﾘﾝｸﾞ (PU-2) 15×15 新設	
イ	改修前	構造目地 ﾎﾞﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞｼｰﾘﾝｸﾞ 15×15撤去	
	改修後	ｼｰﾘﾝｸﾞ (PU-2) 15×15 新設	
ウ	改修前	左官目地又はｺﾝｸﾘｰﾄ打放目地 15×10撤去	
	改修後	ｼｰﾘﾝｸﾞ (PU-2) 15×15 新設	
エ	改修前	EXP. J周囲 15×15撤去	
	改修後	ｼｰﾘﾝｸﾞ (MS-2) 15×15 新設	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５-３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

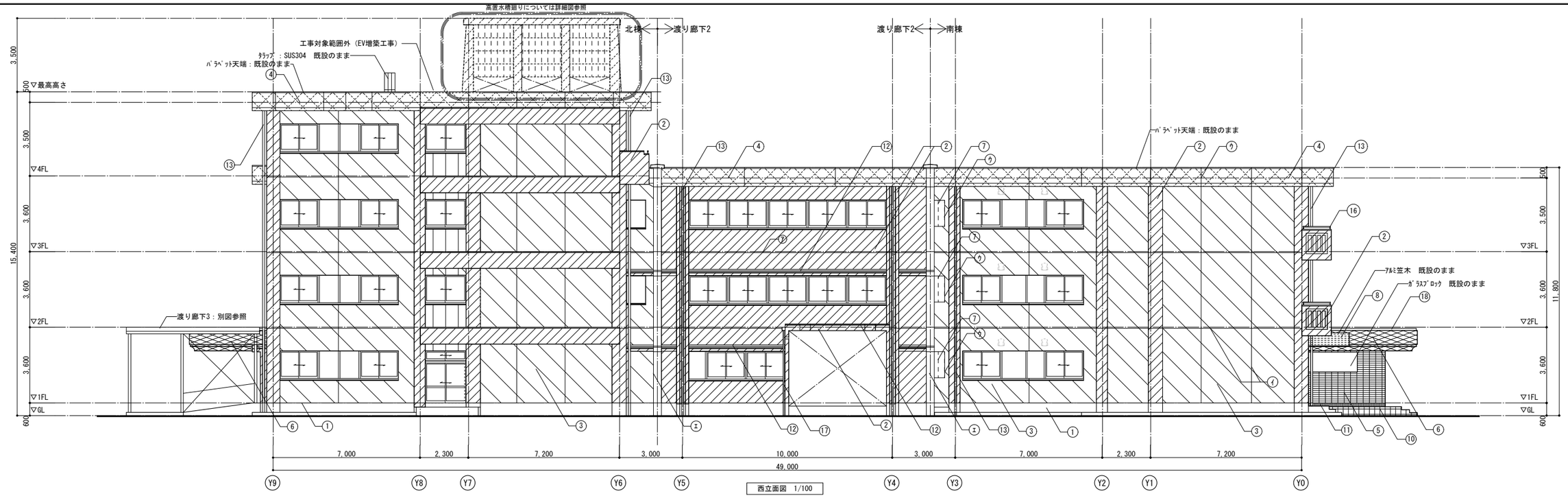
設　計

整理番号	縮　尺
年 月 日	A1 1/100 A3 1/200

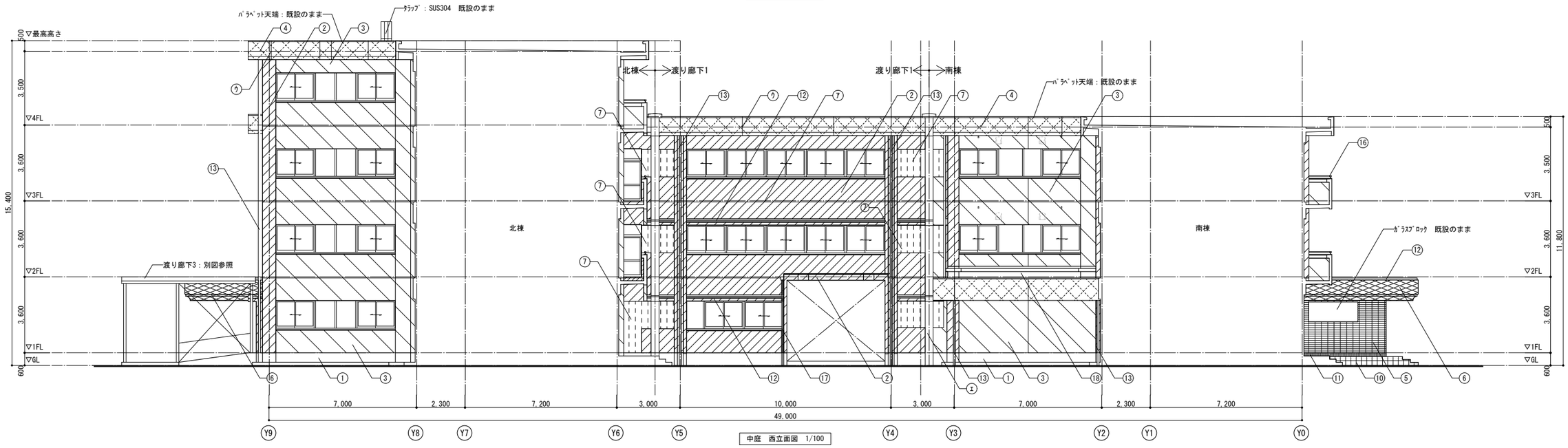
今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事

東・中庭東立面図

NO. A — 26



西立面図　1/100



中庭　西立面図　1/100

外部仕上　凡例　　ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材を示す

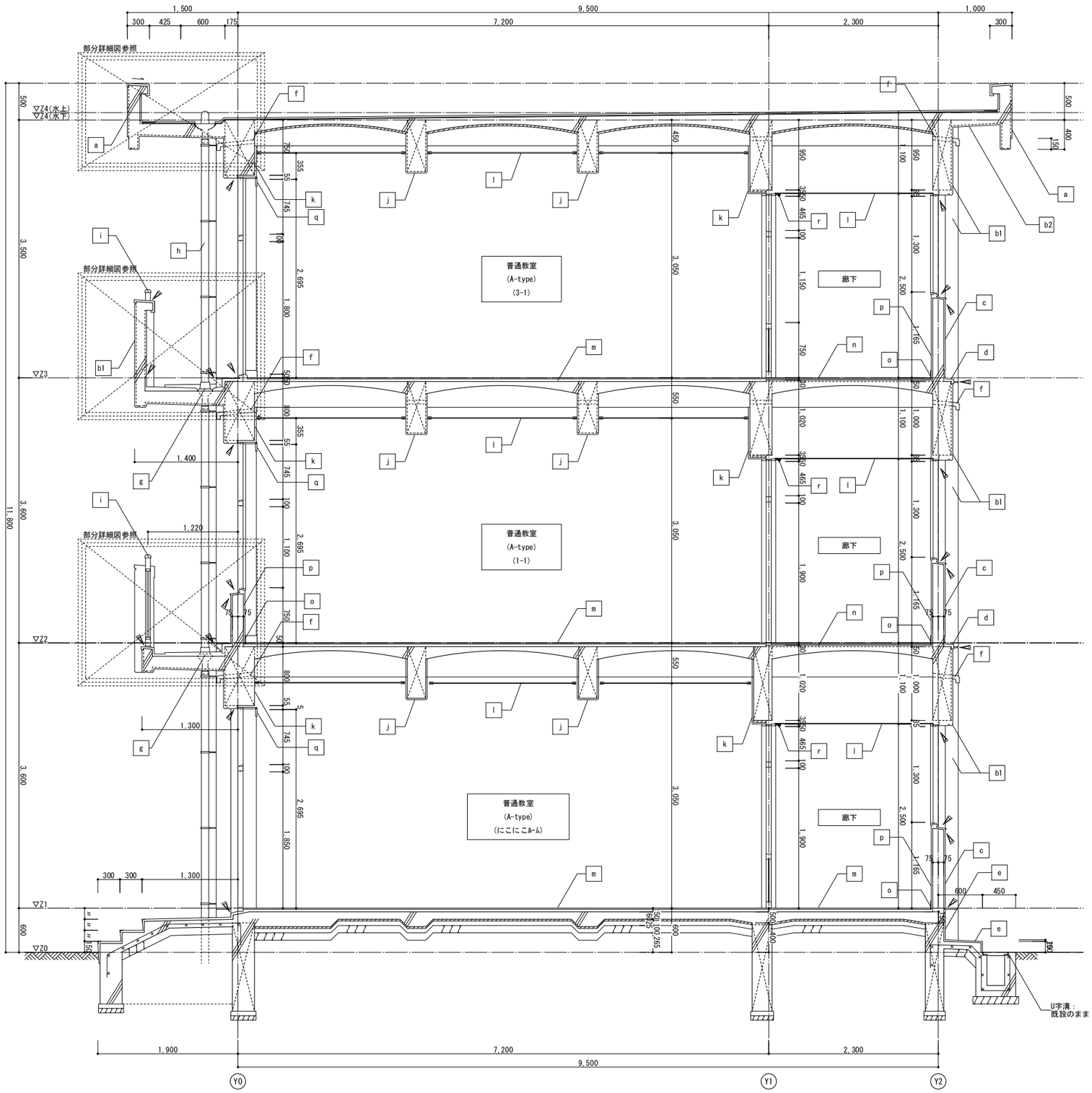
①	改修前	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ仕上 GL+600迄	
	改修後	水洗い、劣化部補修	
②	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	
	改修後	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設	
③	改修前	ﾓﾙﾀﾙ刷毛引 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	
	改修後	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設	
④	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 目地切@2150	
	改修後	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設 目地：ｼｰﾘﾝｸﾞ（PU-2）20×20 新設	
⑤	改修前	小口ﾀｲﾙ貼	
	改修後	水洗い、劣化部補修の上、透明樹脂外壁防水（大関化学ｸﾘｱｺｰﾄeco同等品）新設	
⑥	改修前	ﾚﾘｰﾌ型枠　ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 吹付ﾀｲﾙ	
	改修後	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設	
⑦	改修前	ALCﾊﾟﾈﾙの上 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付 ﾊﾟﾈﾙ周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ15×15 撤去	
	改修後	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設 ﾊﾟﾈﾙ周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ15×15（PU-2）新設	
⑧	改修前	ALCﾊﾟﾈﾙの上 吹付ﾀｲﾙ	
	改修後	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設	
⑨	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 吹付ﾀｲﾙ	
	改修後	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設	
⑩	改修前	炻器質ﾀｲﾙ□150	
	改修後	既設のまま	
⑪	改修前	二丁掛ﾀｲﾙ貼	
	改修後	水洗い、劣化部補修の上、透明樹脂外壁防水（大関化学ｸﾘｱｺｰﾄeco同等品）新設	
⑫	改修前	防水ﾓﾙﾀﾙ	
	改修後	水洗い、下地調整材(ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄ)塗布の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2）新設	
⑬	改修前	VP100φ OP(支持金物@1000内外) 撤去	
	改修後	ｶﾗｰVP100φ（支持金物：SUS製@1000内外共)新設	
⑭	改修前	ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=3.0	
	改修後	既設のまま	
⑮	改修前	換気ﾊﾟｲﾌﾟVU50φｴﾙﾎﾞ防虫網付@4300	
	改修後	既設のまま	
⑯	改修前	ｱﾙﾐ手摺	
	改修後	既設のまま	
⑰	改修前	VP50φ OP(支持金物@1000内外) 撤去	
	改修後	ｶﾗｰVP50φ（支持金物：SUS製@1000内外共)新設	
⑱	改修前	ｳﾚﾀﾝ塗膜防水	
	改修後	既設のまま	
⑦	改修前	打継・伸縮目地 ﾎﾞﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞｼｰﾘﾝｸﾞ 15×15撤去	
	改修後	ｼｰﾘﾝｸﾞ（PU-2）15×15　新設	
イ	改修前	構造目地 ﾎﾞﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞｼｰﾘﾝｸﾞ 15×15撤去	
	改修後	ｼｰﾘﾝｸﾞ（PU-2）15×15　新設	
ウ	改修前	左官目地又はｺﾝｸﾘｰﾄ打放目地 15×10撤去	
	改修後	ｼｰﾘﾝｸﾞ（PU-2）15×15　新設	
エ	改修前	EXP.J周囲 15×15撤去	
	改修後	ｼｰﾘﾝｸﾞ（MS-2）15×15　新設	

・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５-３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

設　計

整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/100 A3 1/200	東・中庭東立面図	A — 27



南棟矩計図　S=1/30

符号	既設仕上	改修仕上	符号	既設仕上	改修仕上
a	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 目地切@2150	水洗い、劣化部補修、ｼｰﾗｰ処理の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設 目地：ｼｰﾘﾝｸﾞ (PU-2) 20×20 新設	k	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ AEP	EP-G塗替
b1	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設	l	GB-Dt=9.0 一部撤去	GB-Dt=9.5 一部新設
b2	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付 (軒裏)	水洗い、劣化部補修の上、ｼﾘｺﾝﾄｯﾌﾟｺｰﾄ新設	m	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸt=15	既設のまま
c	ﾓﾙﾀﾙ刷毛引ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設	n	VTt=2.0	既設のまま
d	防水ﾓﾙﾀﾙ	水洗い、下地調整材(ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄ)塗布の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水 (X-2) 新設	o	巾木：木製	杉板 WP 新設
e	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ仕上 (GL+600迄)	水洗い、劣化部補修	p	内壁：ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃAEP	杉羽目板t=12 WP 新設
f	換気ﾊﾞｲﾌﾟVU50φｴﾙﾎﾞ防虫網付@4300	既設のまま	q	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ：木製	SOP塗替
g	鋳鉄製中継ﾄﾞﾚﾝ ﾓﾙﾀﾙ防水用100φ	改修用ﾄﾞﾚﾝ 新設 ﾄﾞﾚﾝｷｬｯﾌﾟ：ﾉﾝﾀｰﾙｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料塗替	r	-	ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ (天井付) 新設
h	VP100φ OP(支持金物@1000内外) 撤去	ｶﾗｰVP100φ (支持金物：SUS製@1000内外共)新設			
i	ｱﾙﾐ手摺	既設のまま			
j	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し ﾋﾙ石吹付	既設のまま	◁	ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	ｼｰﾘﾝｸﾞ新設

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和1丁目15-30 TEL (052)618-8211 FAX (052)618-8210
管理建築士・管理技術者 一級建築士 第202324号 早瀬 義次

設計

整理番号

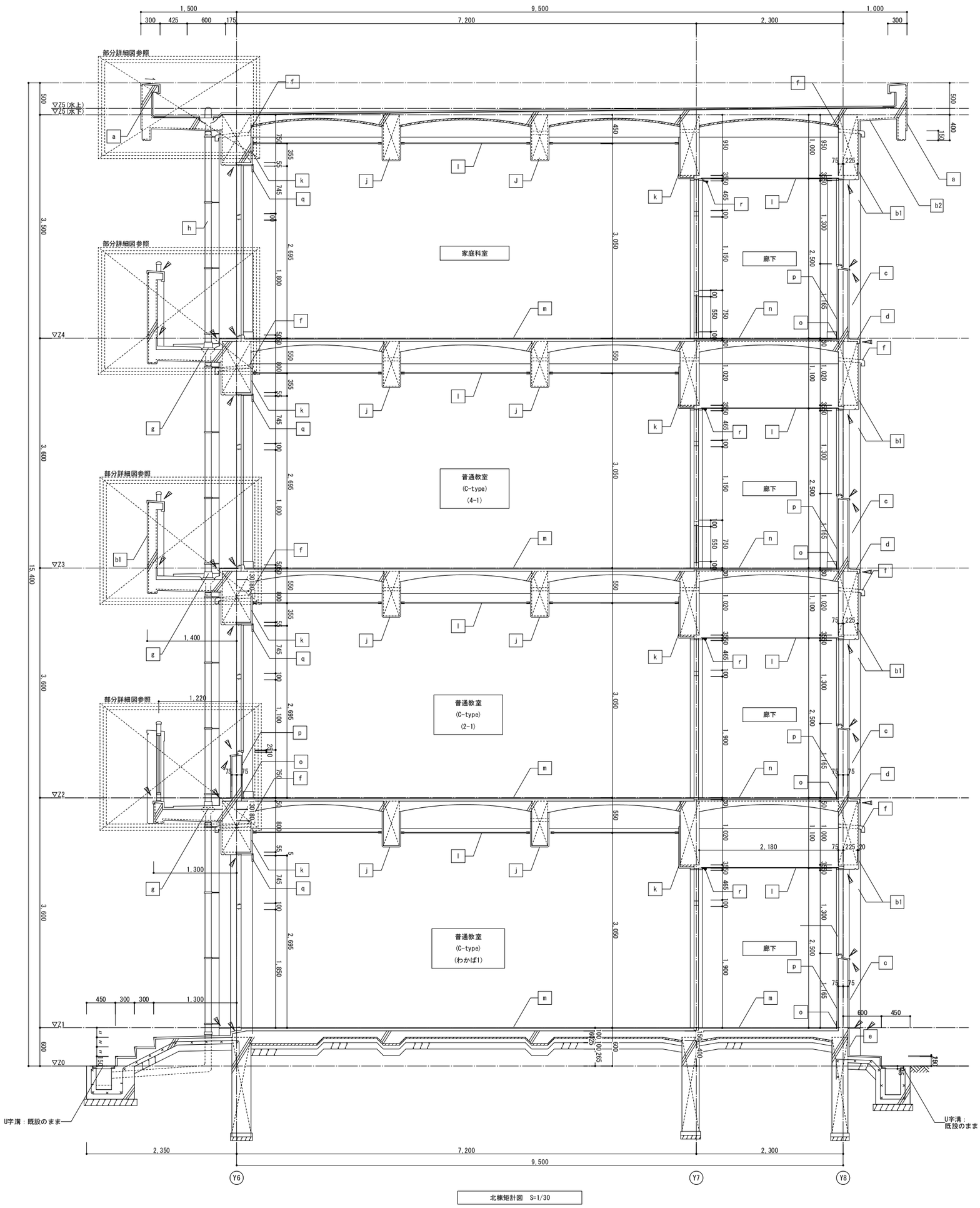
年 月 日

縮尺 A1 1/30 A3 1/60

今池小学校校舎改修第1期及び保全主体工事

南棟矩計図

NO. A — 28



北棟矩計図 S=1/30

符号	既設仕上	改修仕上	符号	既設仕上	改修仕上
a	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 目地切@2150	水洗い、劣化部補修、ｼｰﾗｰ処理の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設 目地：ｼｰﾘﾝｸﾞ (PU-2) 20×20 新設	k	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ AEP	EP-G塗替
b1	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設	l	GB-Dt=9.0 一部撤去	GB-Dt=9.5 一部新設
b2	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付 (軒裏)	水洗い、劣化部補修の上、ｼﾘｺﾝﾄｯﾌﾟｺｰﾄ新設	m	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸt=15	既設のまま
c	ﾓﾙﾀﾙ刷毛引ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設	n	VTt=2.0	既設のまま
d	防水ﾓﾙﾀﾙ	水洗い、下地調整材(ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄ)塗布の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水 (X-2) 新設	o	巾木：木製	杉板 WP 新設
e	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ仕上 (GL+600迄)	水洗い、劣化部補修	p	内壁：ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃAEP	杉羽目板t=12 WP 新設
f	換気ﾊﾞｲﾌﾟVU50φｴﾙﾎﾞ防虫網付@4300	既設のまま	q	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ：木製	SOP塗替
g	錆鉄製中継ﾄﾞﾚﾝ ﾓﾙﾀﾙ防水用100φ	改修用ﾄﾞﾚﾝ 新設 ﾄﾞﾚﾝｷｬｯﾌﾟ：ﾉﾝｿｰﾙｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料塗替	r	-	ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ 新設
h	VP100φ OP(支持金物@1000内外) 撤去	ｶﾗｰVP100φ (支持金物：SUS製@1000内外共)新設			
i	ｱﾙﾐ手摺	既設のまま			
j	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し ﾋﾙ石吹付	既設のまま	◁	ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	ｼｰﾘﾝｸﾞ新設

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和1丁目15-30 TEL(052)618-8211 FAX(052)618-8210
管理建築士・管理技術者 一級建築士 第202324号 早瀬 義次

設計

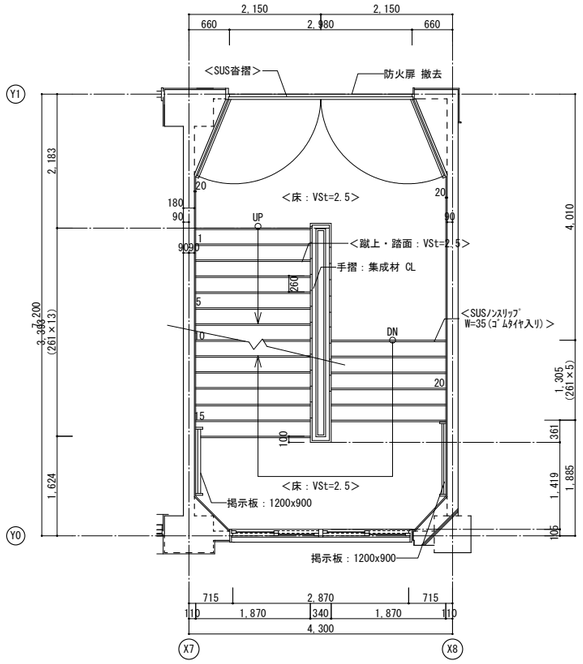
整理番号
年 月 日

縮尺 A1 1/30 A3 1/60

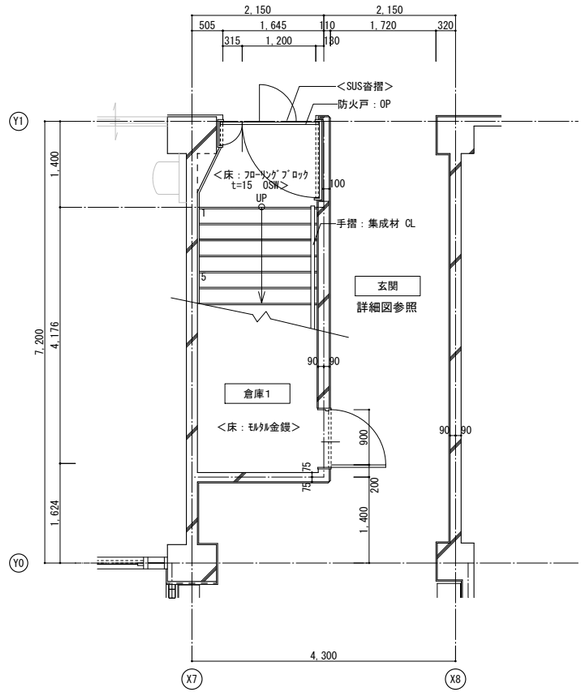
今池小学校校舎改修第1期及び保全主体工事

北棟矩計図

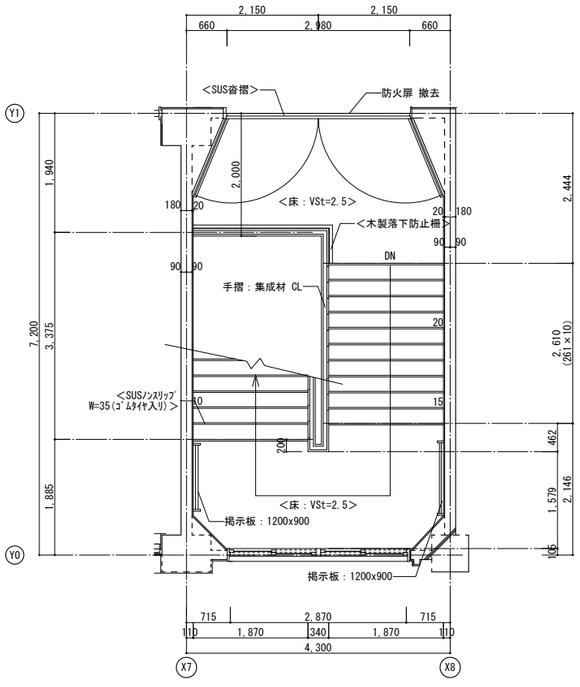
NO. A — 29



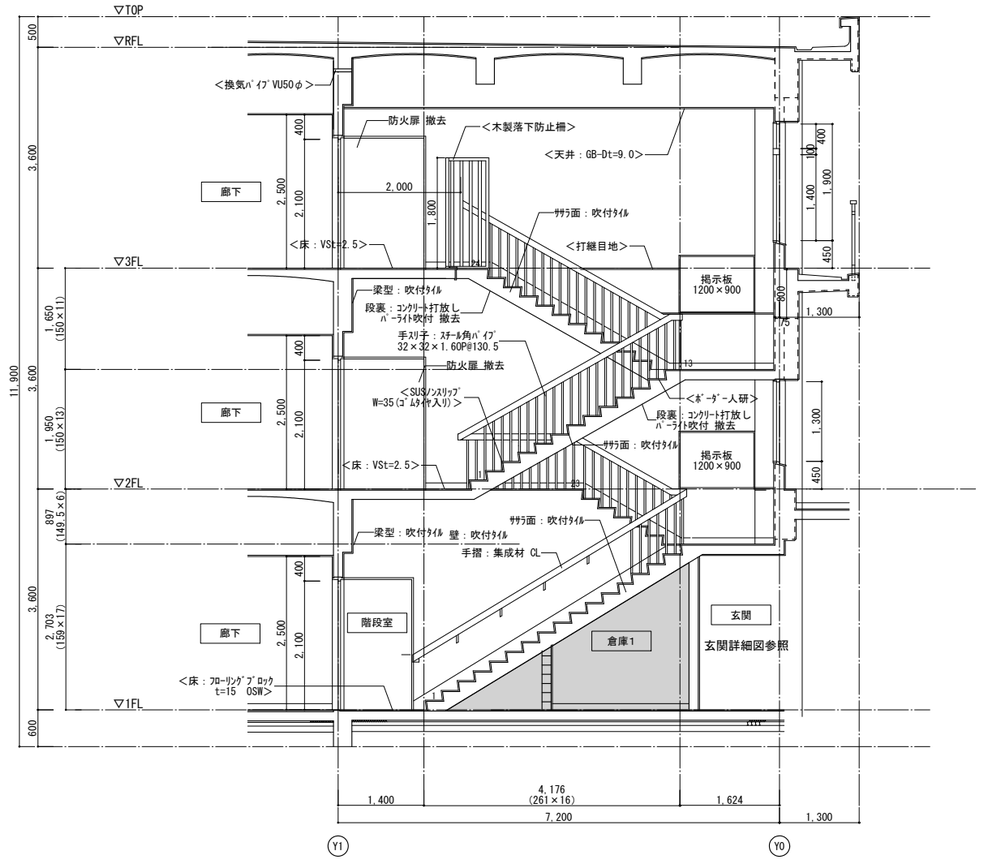
階段1 2階平面詳細図(改修前) 1/50



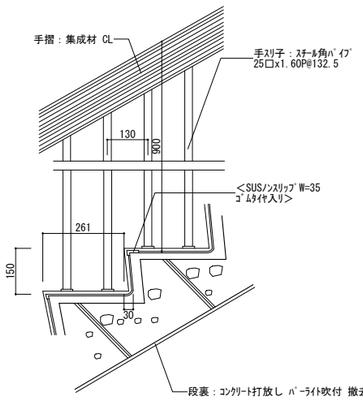
階段1 1階平面詳細図(改修前) 1/50



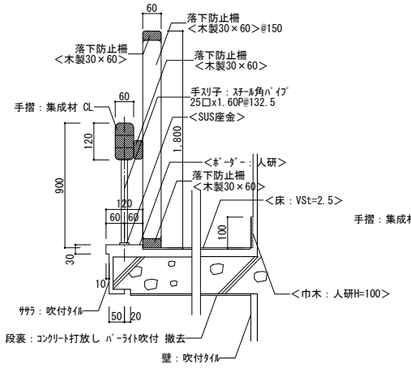
階段1 3階平面詳細図(改修前) 1/50



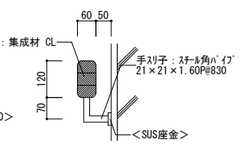
階段1 断面詳細図(改修前) 1/50



段割詳細図 1/10



手摺ﾎﾞｰﾀﾞｰ部分・落下防止柵詳細図 1/10



壁付手摺詳細図 1/10

壁付部分

A
D 展開方向 B
C

＜凡例＞

今回工事対象外

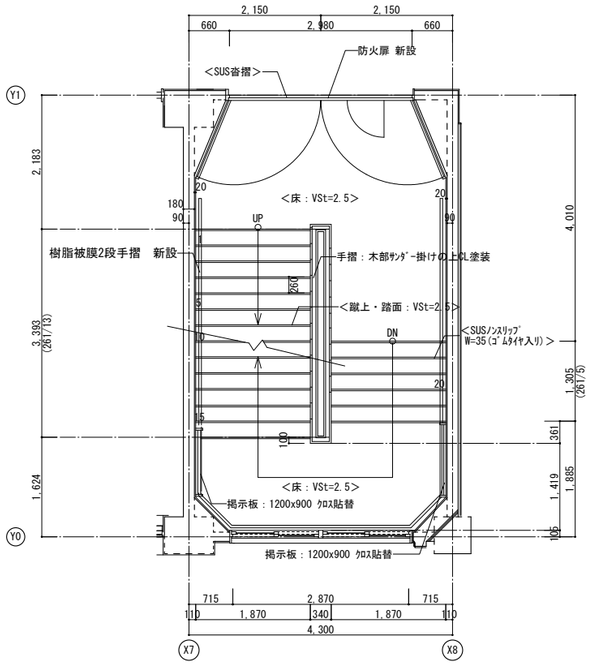
＜　＞ 既存のまま示す

・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

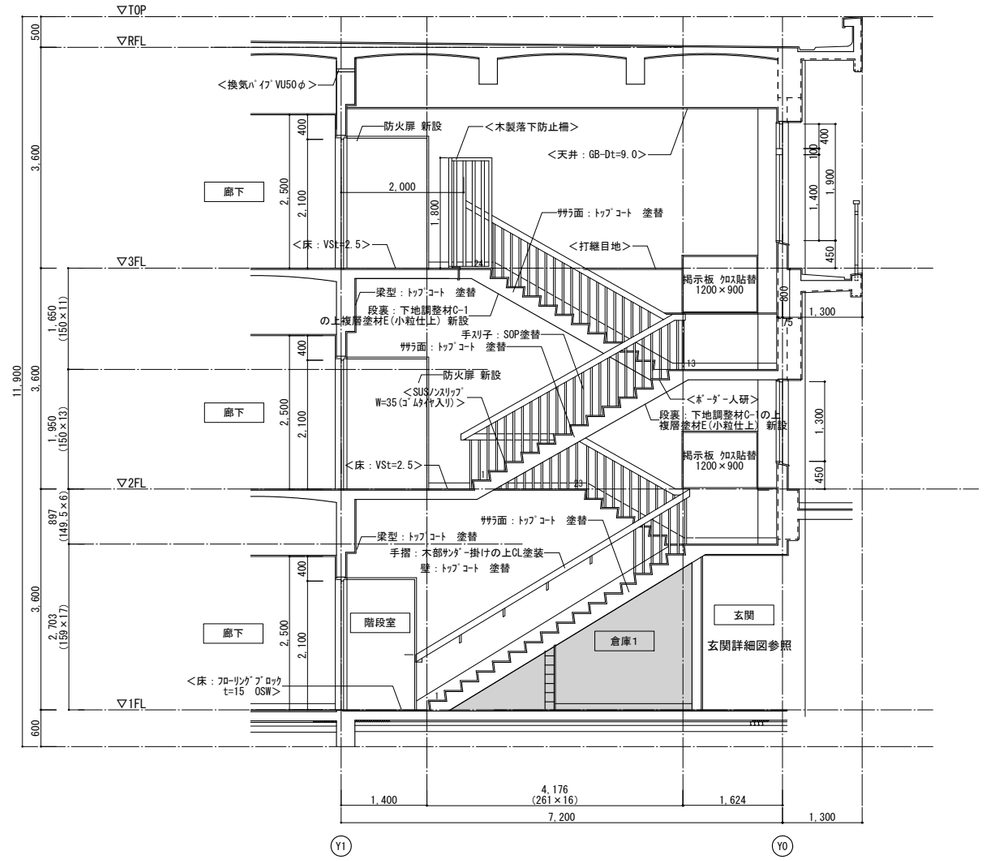
株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５－３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

設　計

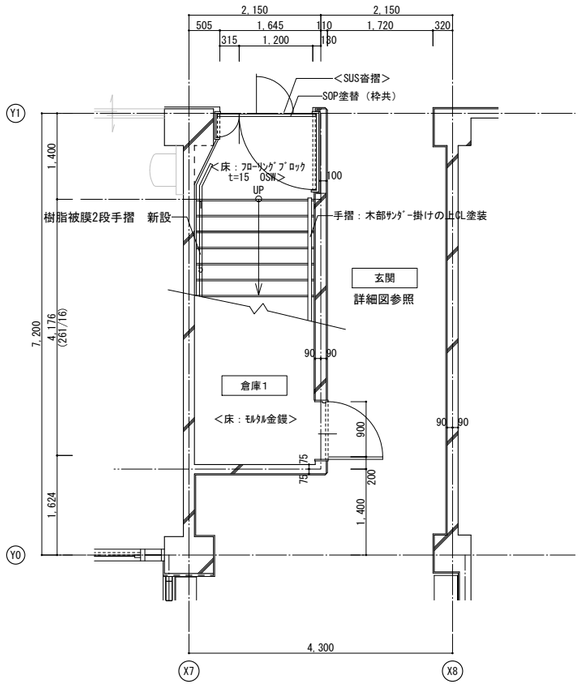
整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/10・50 A3 1/20・100	階段１　平面詳細図・断面詳細図（改修前）	A — 30



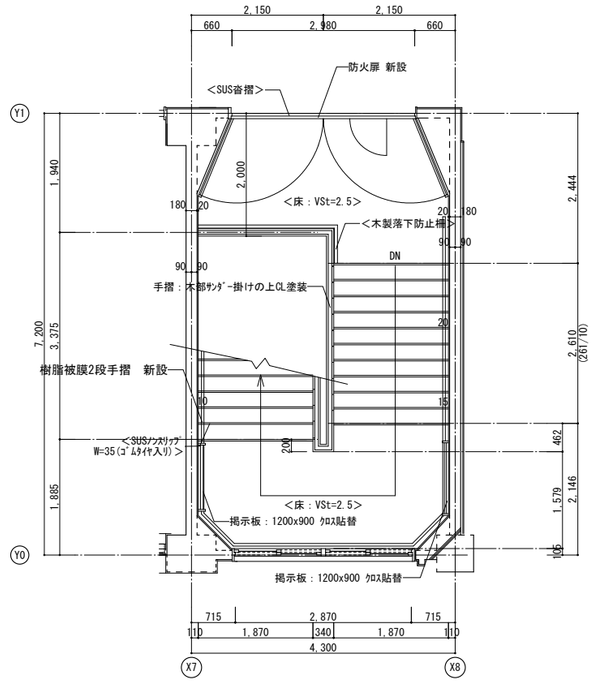
階段1 2階平面詳細図(改修後) 1/50



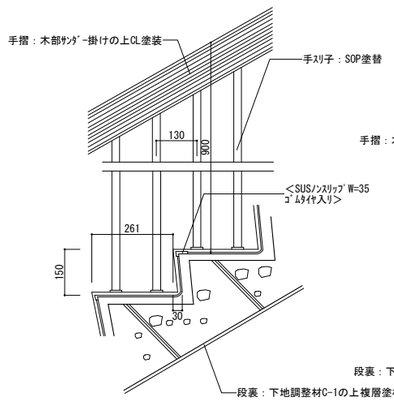
階段1 断面詳細図(改修前) 1/50



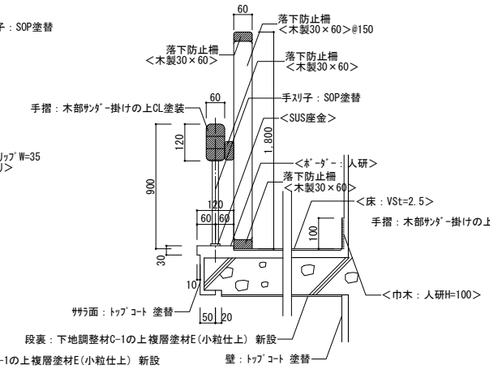
階段1 1階平面詳細図(改修後) 1/50



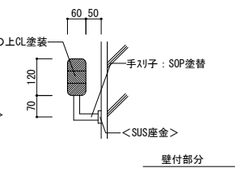
階段1 3階平面詳細図(改修後) 1/50



段割詳細図 1/10



手摺ﾎﾞｰﾀﾞｰ部分・落下防止桝詳細図 1/10



壁付手摺詳細図 1/10

A B C D 展開方向

<凡例>

今回工事対象外

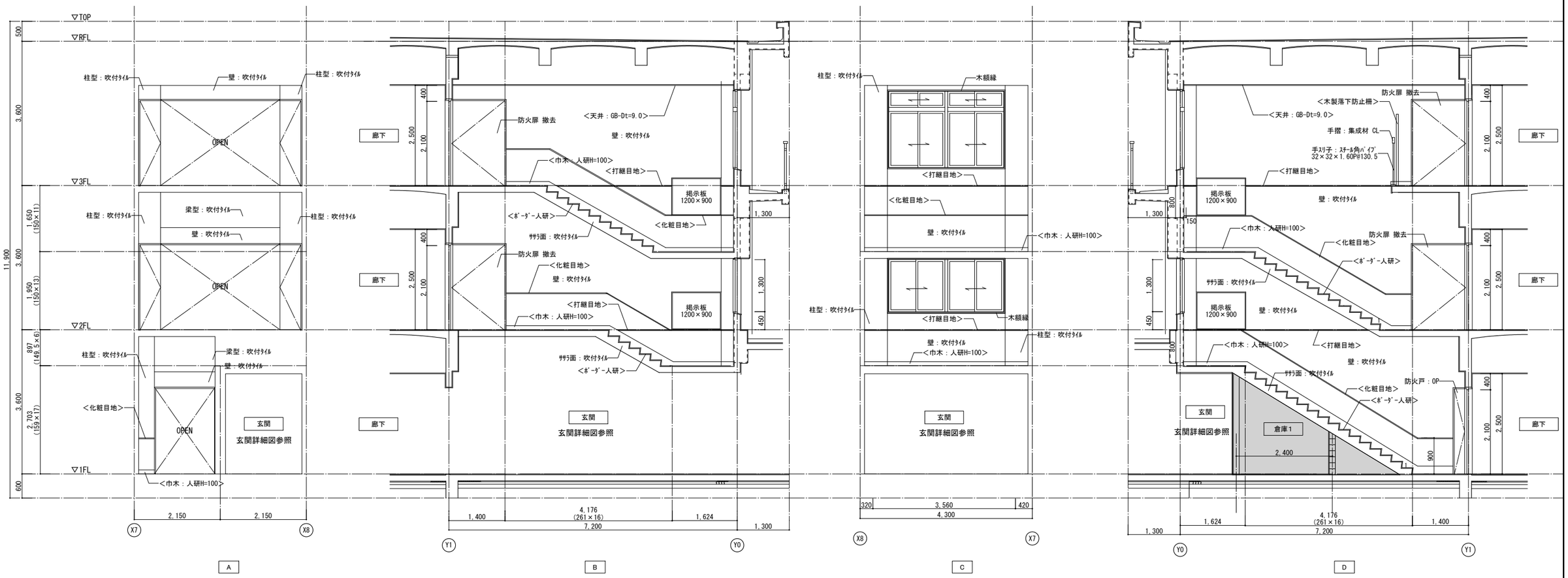
< > 既存のまま示す

・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５-３０ ＴＥＬ(052)618-8211 ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者 一級建築士 第 202334 号 早瀬 貴次

設 計

整理番号	縮 尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/10・50 A3 1/20・100	階段１ 平面詳細図・断面詳細図（改修後）	A — 31



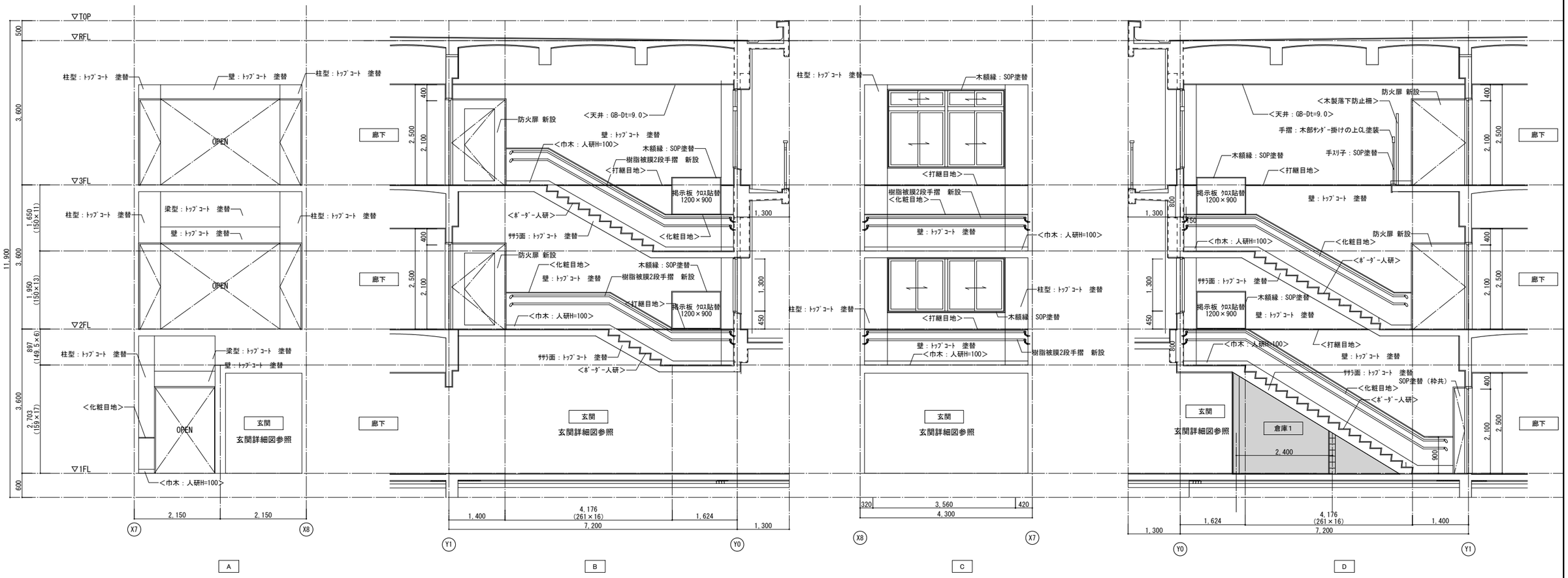
＜凡例＞

今回工事対象外

＜　　＞ 既存のまま示す

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ＩＣＨＩＫＡＷＡ ＭＩＣＨＩＯ ＡＲＣＨＩＴＥＣＴＳ
名古屋市中区平和１丁目１５-３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

設計	整理番号	縮尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
	年 月 日	A1 1/50 A3 1/100	階段１　展開図（改修前）	A — 32



＜凡例＞

今回工事対象外

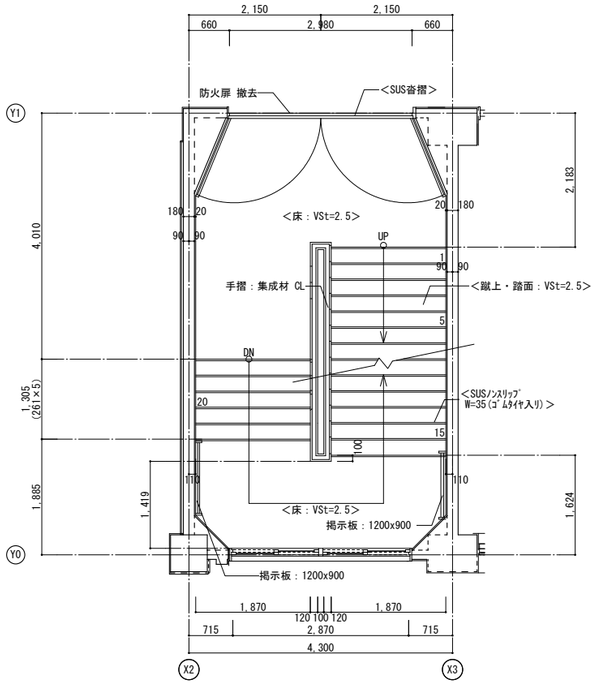
＜　　＞ 既存のまま示す

・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

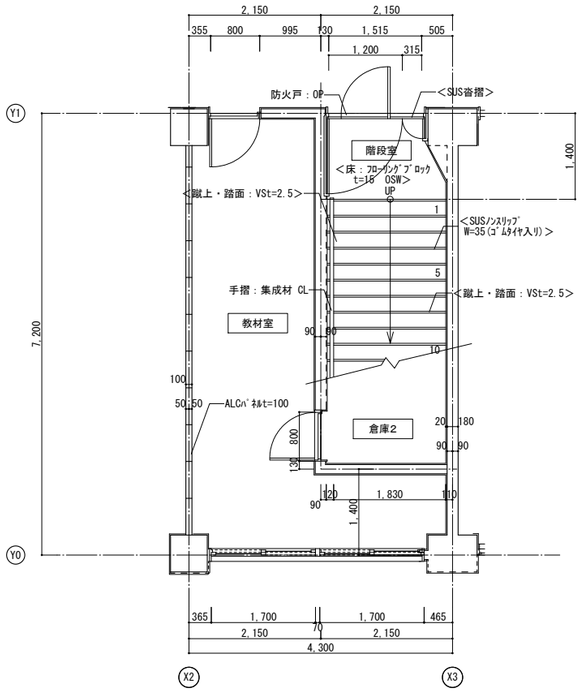
株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和1丁目15-30　TEL(052)618-8211　FAX(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

設　計

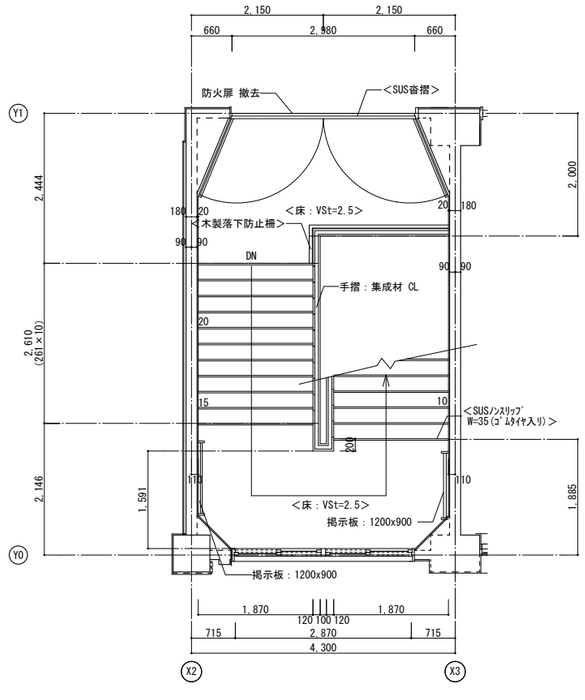
整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/50 A3 1/100	階段１　展開図（改修後）	A — 33



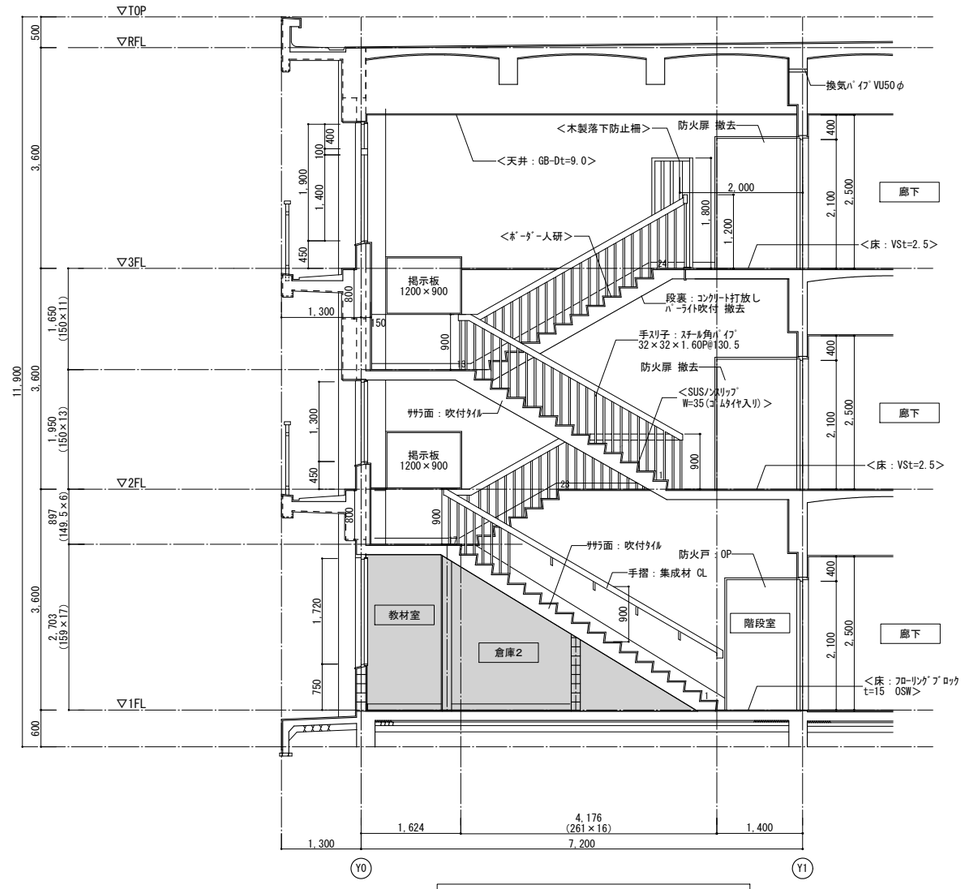
階段2 2階平面詳細図(改修前) 1/50



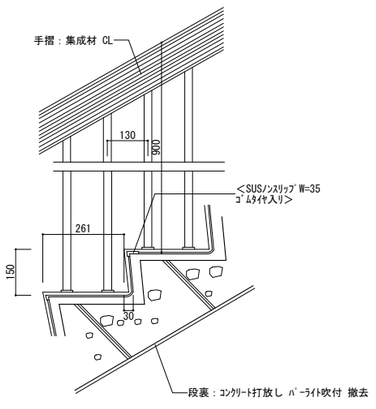
階段2 1階平面詳細図(改修前) 1/50



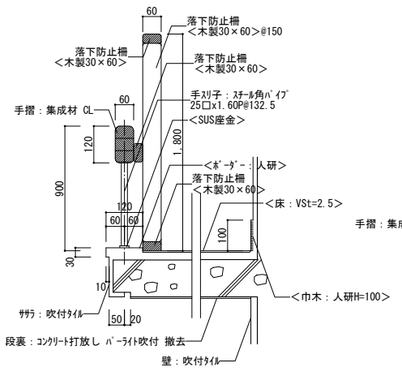
階段2 3階平面詳細図(改修前) 1/50



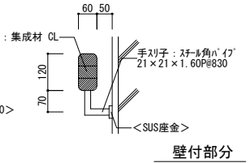
南棟西階段 断面詳細図(改修前) 1/50



段割詳細図 1/10



手摺ボーダー部分・落下防止柵詳細図 1/10



壁付部分

壁付手摺詳細図 1/10

<凡例>

今回工事対象外

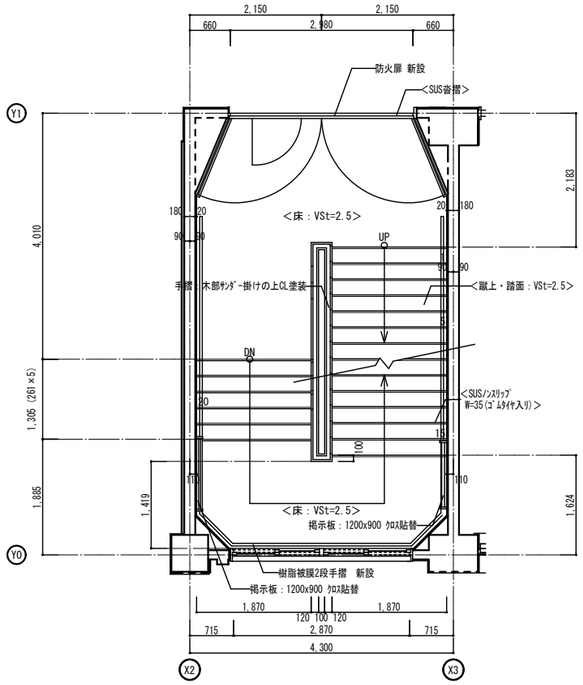
< > 既存のまま示す

・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

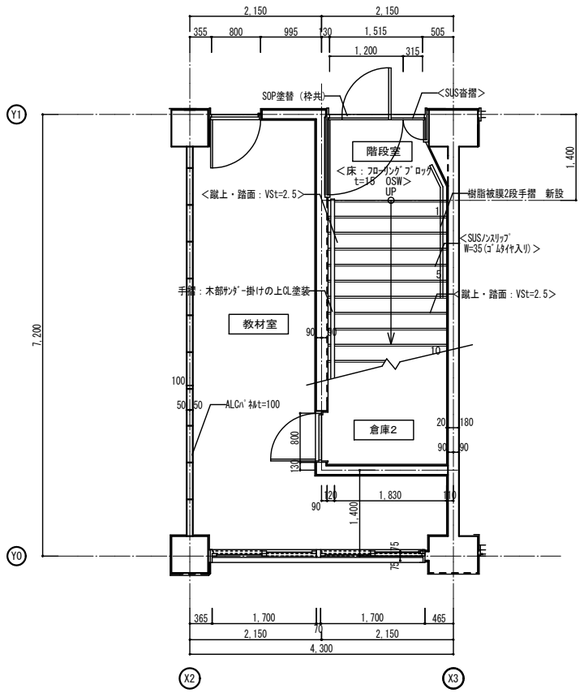
株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５-３０ TEL(052)618-8211 FAX(052)618-8210
管理建築士・管理技術者 一級建築士 第 202334 号 早瀬 貴次

設 計

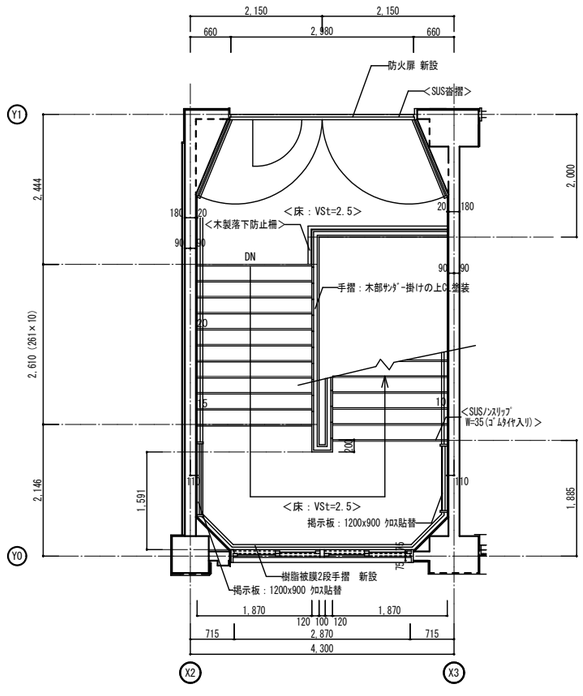
整理番号	縮 尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/50・10 A3 1/100・20	階段２ 平面詳細図・断面詳細図（改修前）	A — 34



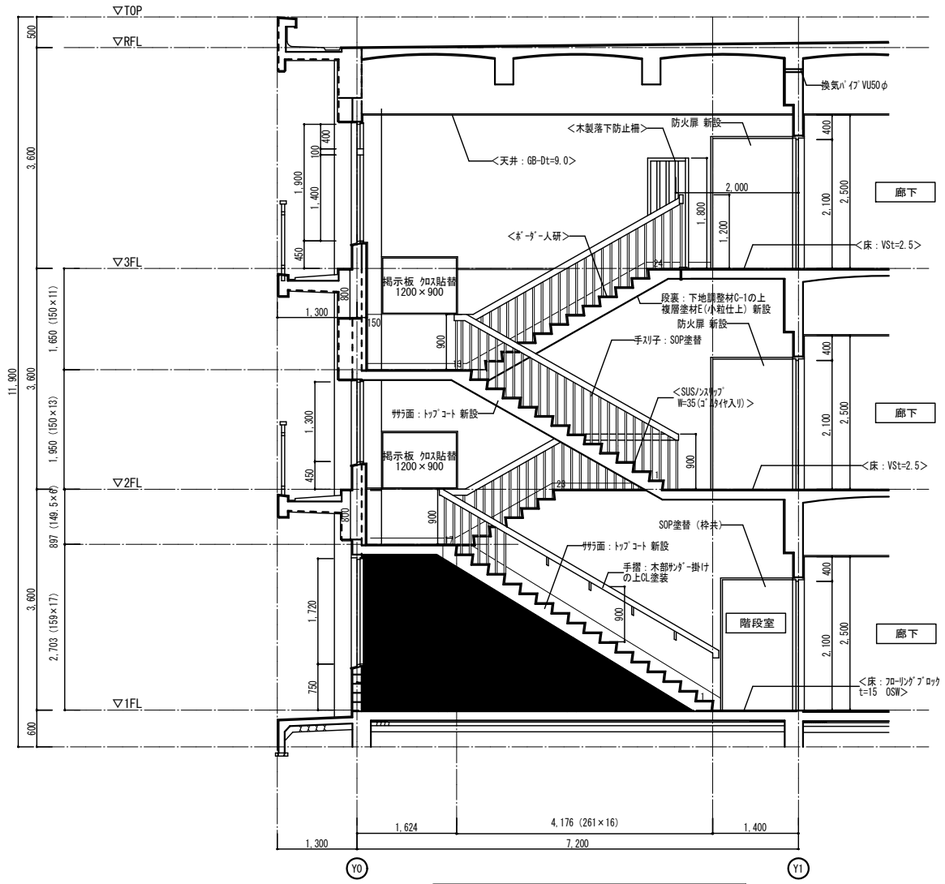
階段2 2階平面詳細図(改修前) 1/50



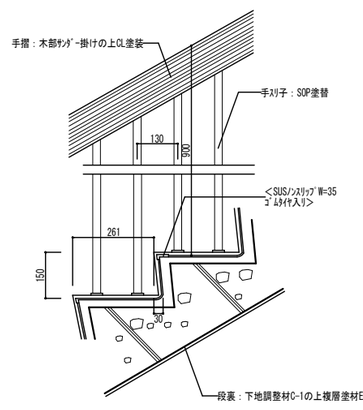
階段2 1階平面詳細図(改修前) 1/50



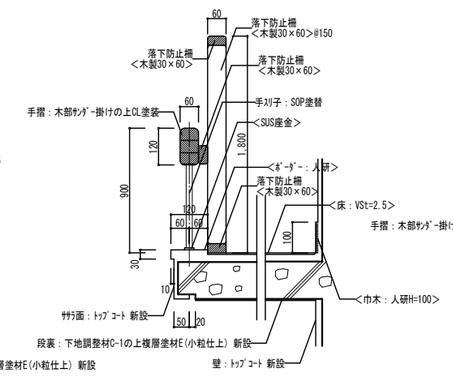
階段2 3階平面詳細図(改修前) 1/50



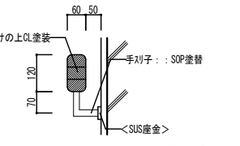
南棟西階段 断面詳細図(改修前) 1/50



段割詳細図 1/10



手摺ﾎﾞｰﾀﾞｰ部分・落下防止柵詳細図 1/10



壁付部分

壁付手摺詳細図 1/10

＜凡例＞

今回工事対象外

＜　＞ 既存のまま示す

・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５－３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬 貴次

設　計

整理番号

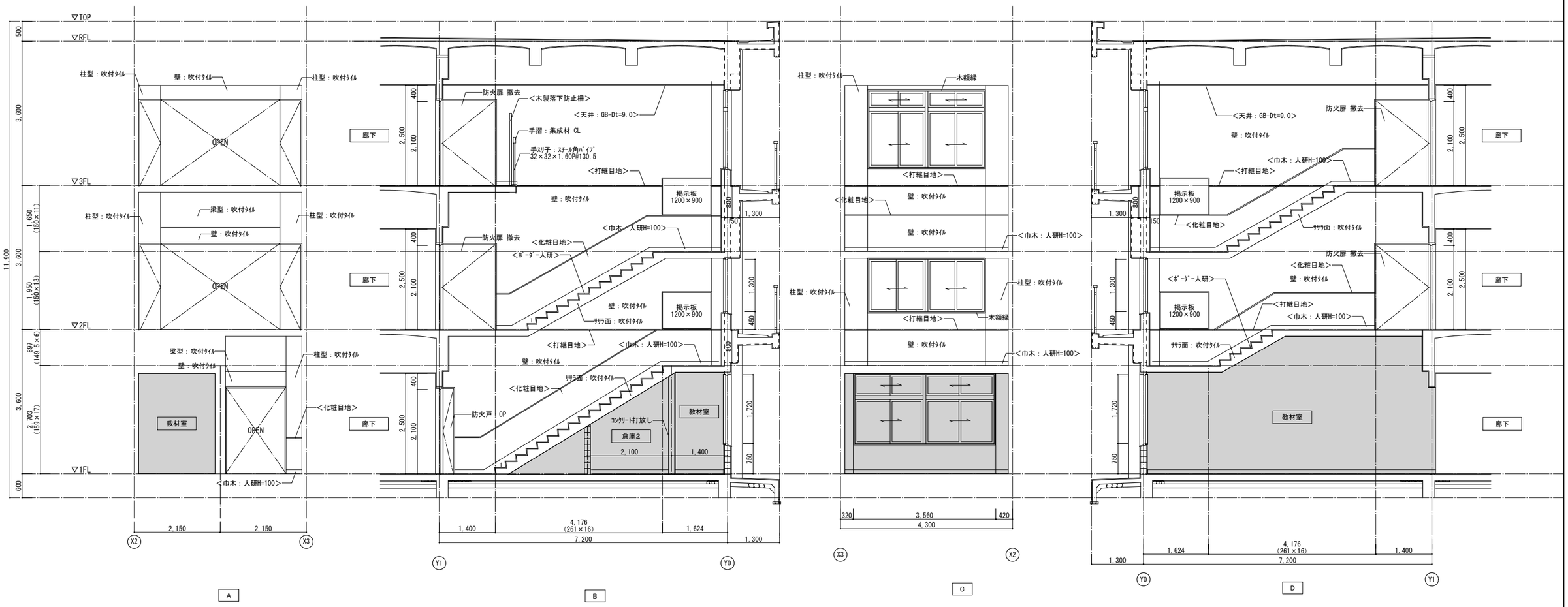
年　月　日

縮　尺　A1 1/50・10　A3 1/100・20

今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事

階段２　平面詳細図・断面詳細図（改修後）

NO. A — 35

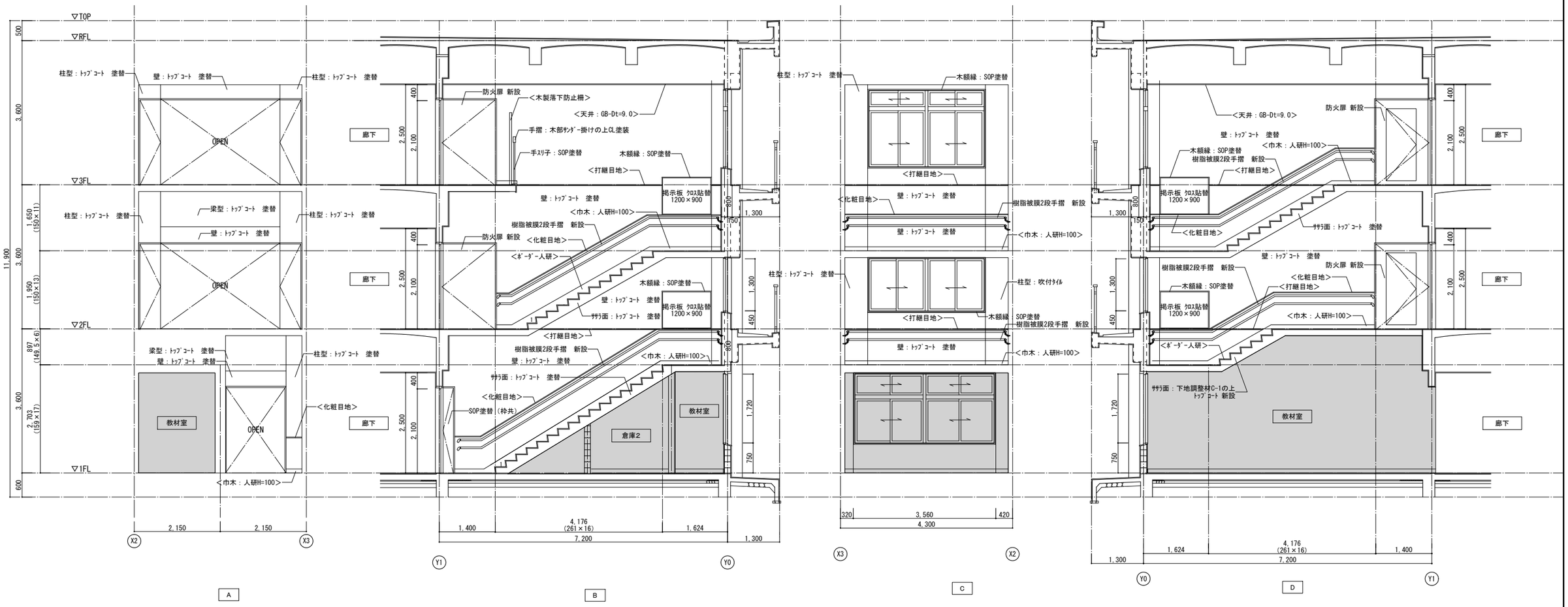


・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和1丁目15-30　TEL(052)618-8211　FAX(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第202334号　早瀬 貴次

設　計

整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/50 A3 1/100	階段２　展開図（改修前）	A — 36

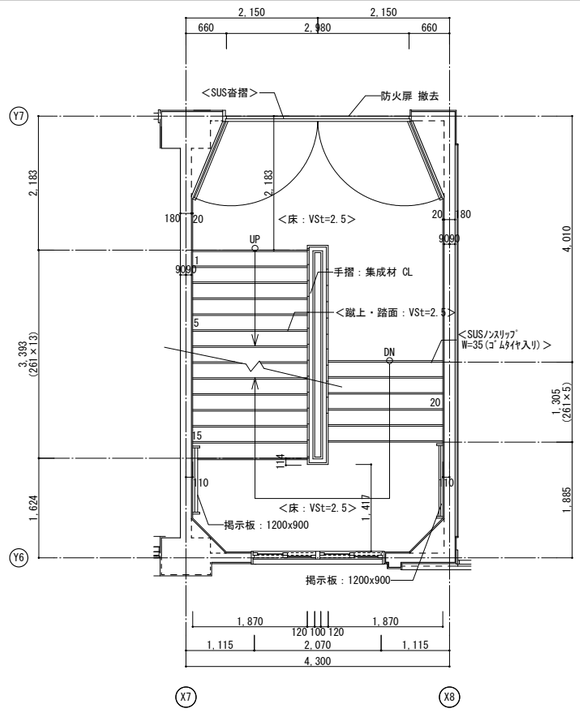


・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

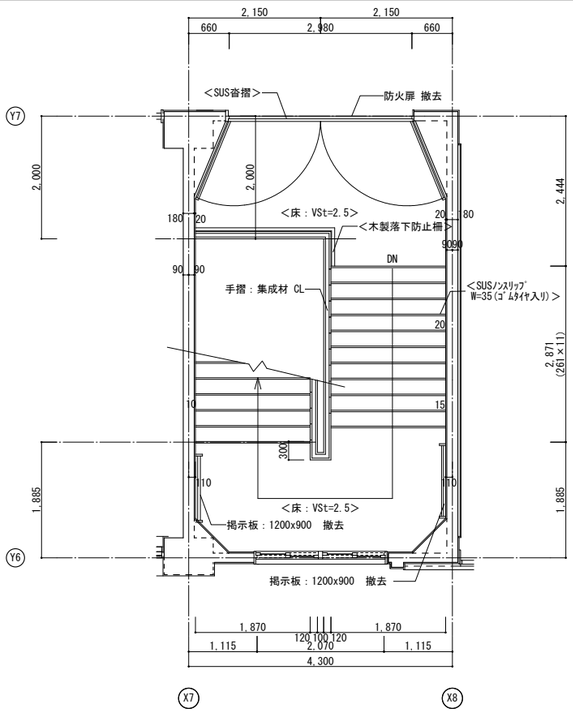
株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５－３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

設　計

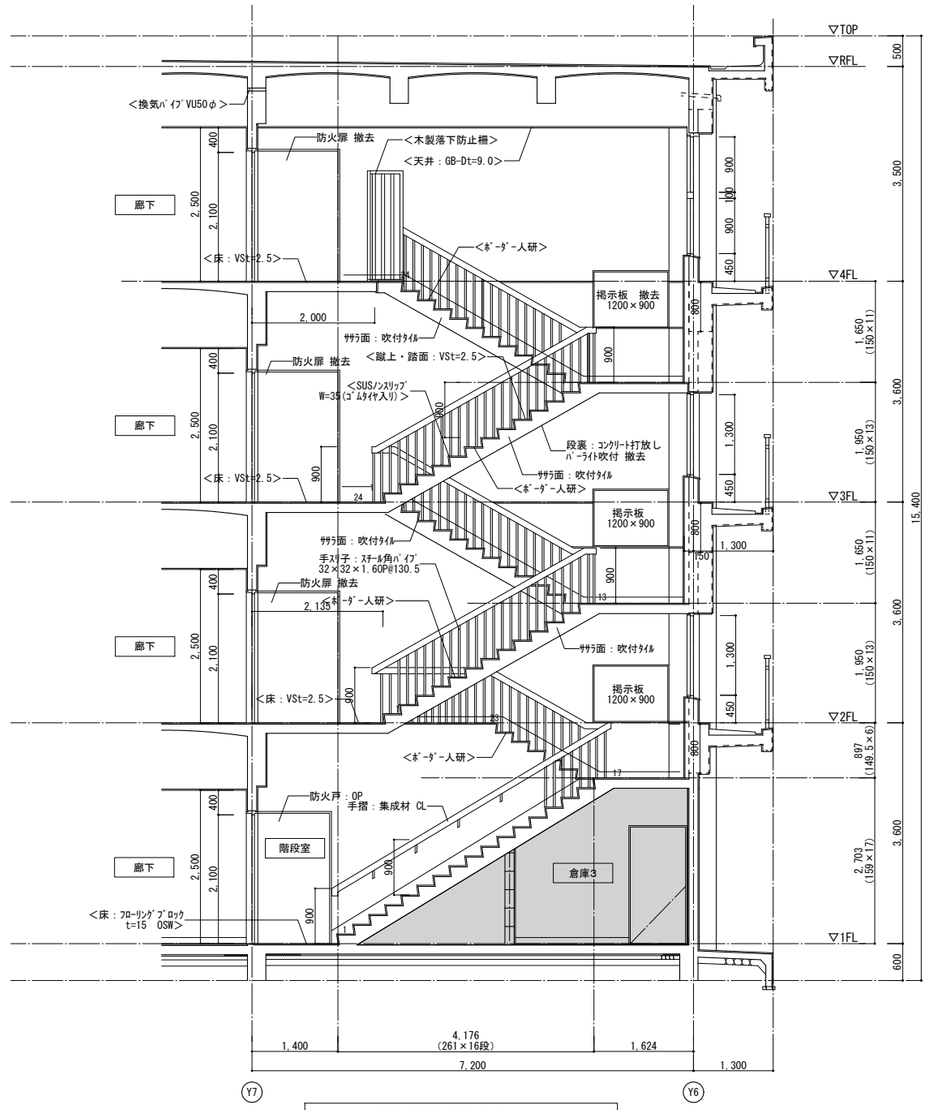
整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/50 A3 1/100	階段２　展開図（改修後）	A — 37



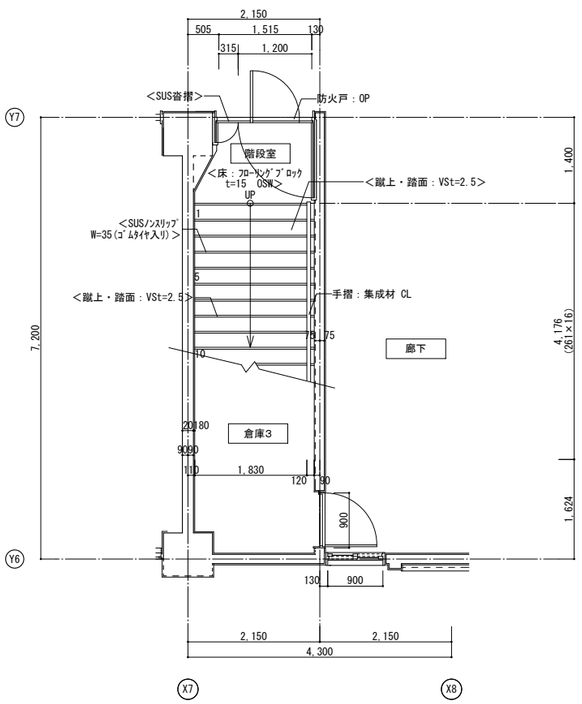
階段3 2階平面詳細図(改修前) 1/50



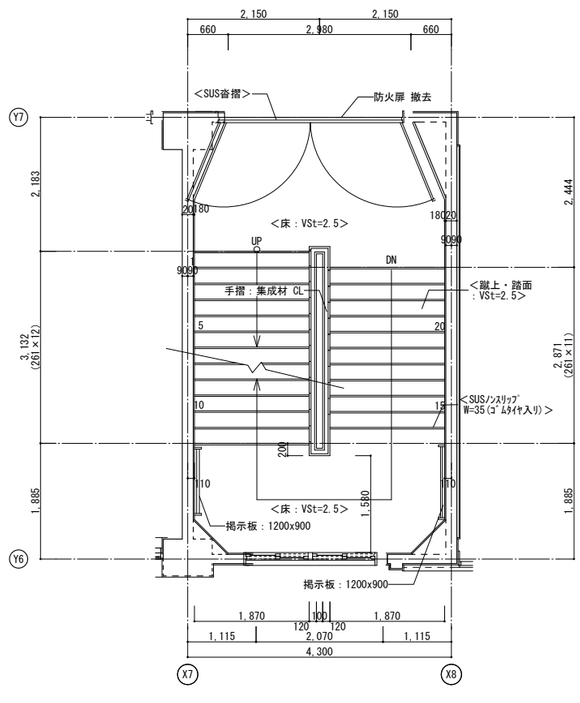
階段3 4階平面詳細図(改修前) 1/50



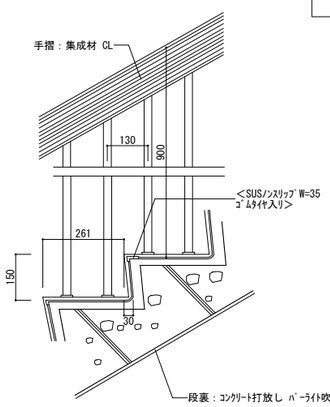
階段3 断面詳細図(改修前) 1/50



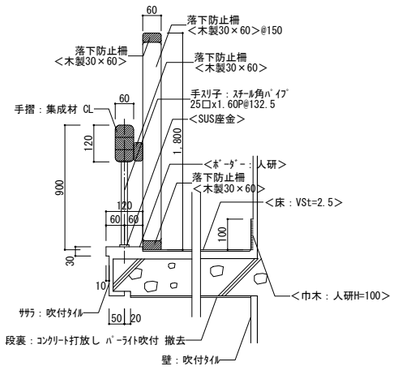
階段3 1階平面詳細図(改修前) 1/50



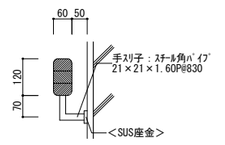
階段3 3階平面詳細図(改修前) 1/50



段割詳細図 1/10



手摺ボーダー部分・落下防止柵詳細図 1/10



壁付手摺詳細図 1/10

壁付部分

A
D 展開方向 B
C

<凡例>

今回工事対象外

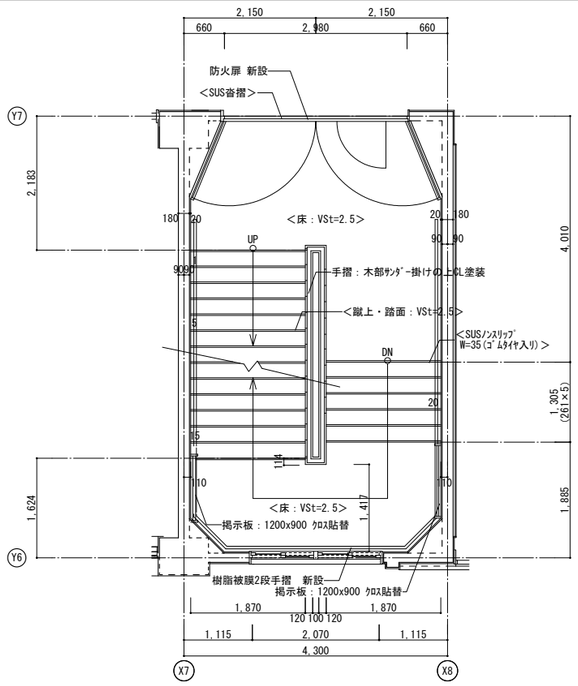
< > 既存のまま示す

・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

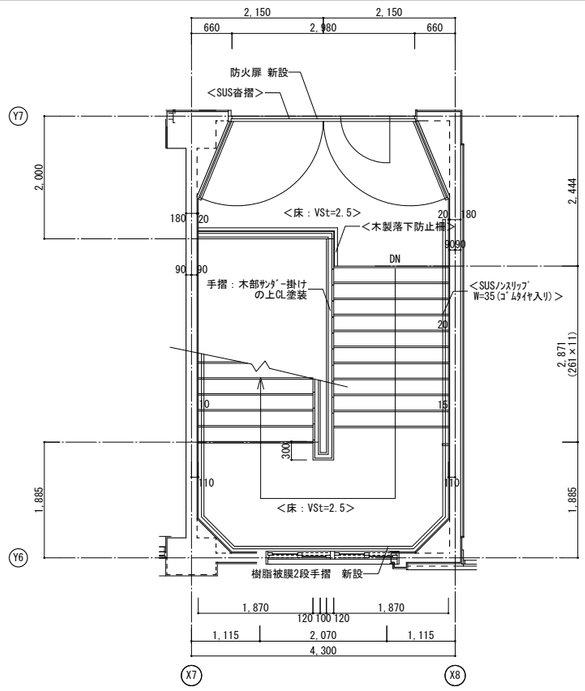
株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和1丁目15-30 TEL(052)618-8211 FAX(052)618-8210
管理建築士・管理技術者 一級建築士 第 202334 号 早瀬 貴次

設 計

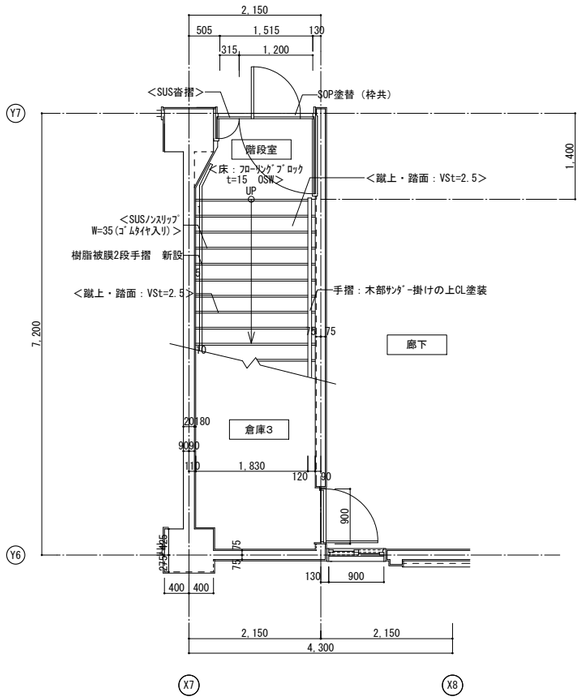
整理番号	縮 尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/50・10 A3 1/100・20	階段３ 平面詳細図・断面詳細図（改修前）	A — 38



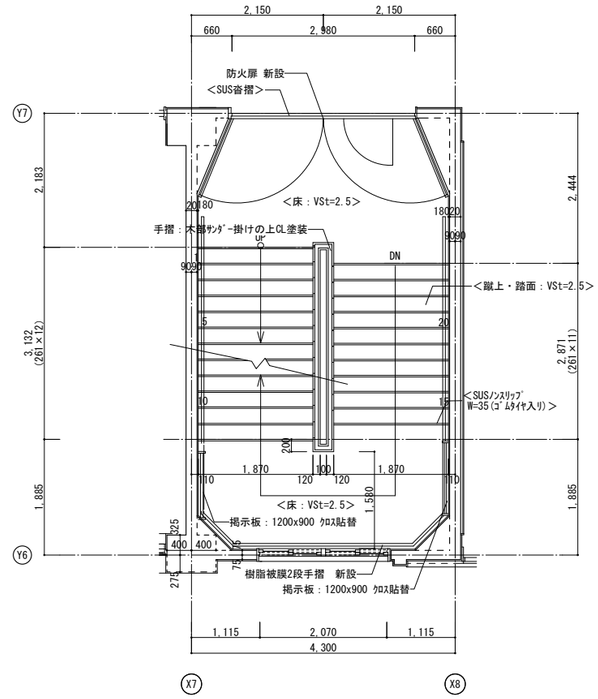
階段3 2階平面詳細図(改修前) 1/50



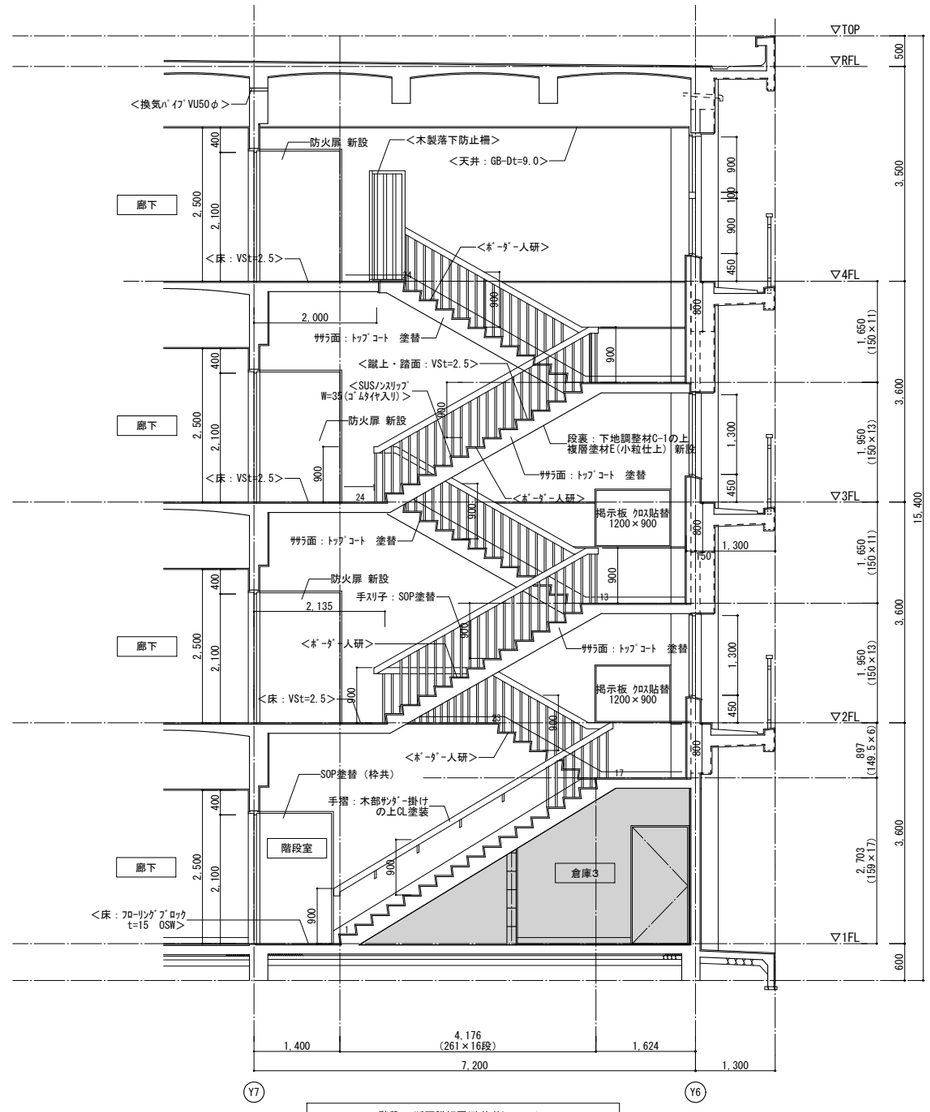
階段3 4階平面詳細図(改修前) 1/50



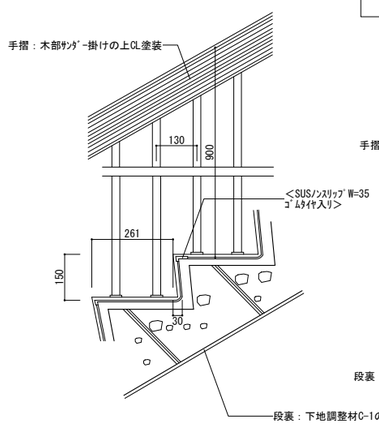
階段3 1階平面詳細図(改修前) 1/50



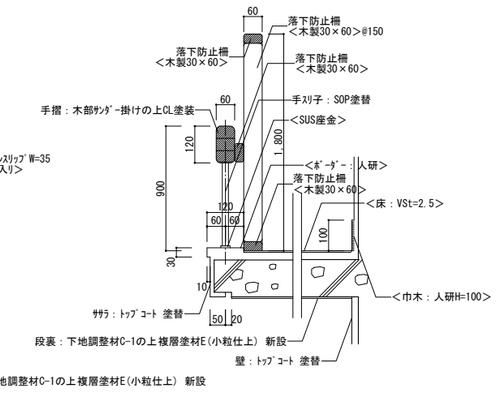
階段3 3階平面詳細図(改修前) 1/50



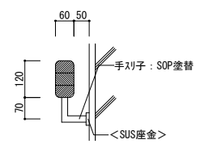
階段3 断面詳細図(改修前) 1/50



段割詳細図 1/10



手摺ﾎﾞｰﾀﾞｰ部分・落下防止柵詳細図 1/10



壁付手摺詳細図 1/10

壁付部分

A
D 展開方向 B
C

<凡例>

今回工事対象外

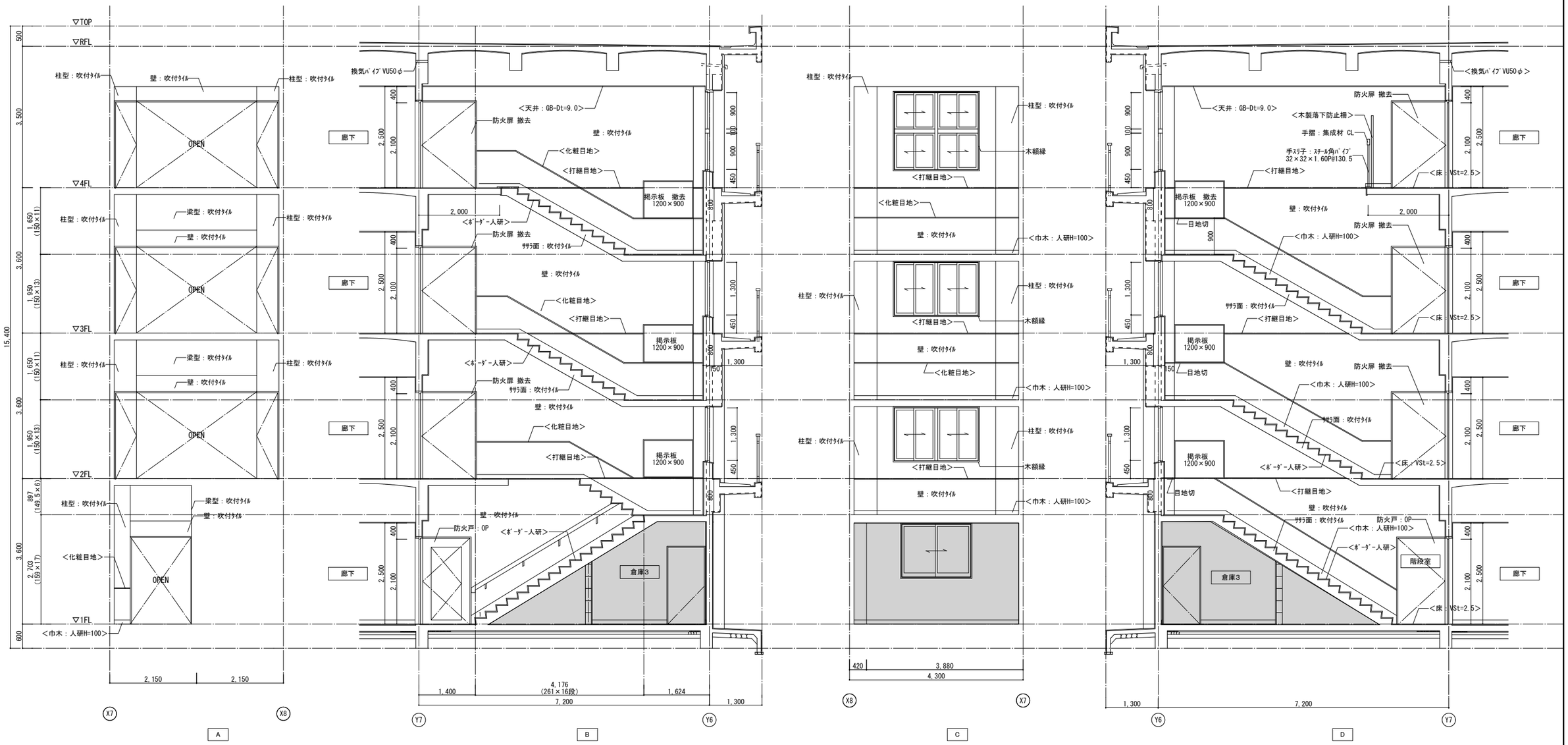
< > 既存のまま示す

・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５-３０ ＴＥＬ(052)618-8211 ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者 一級建築士 第 202334 号 早瀬 貴次

設 計

整理番号	縮 尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/50・10 A3 1/100・20	階段３ 平面詳細図・断面詳細図（改修後）	A — 39

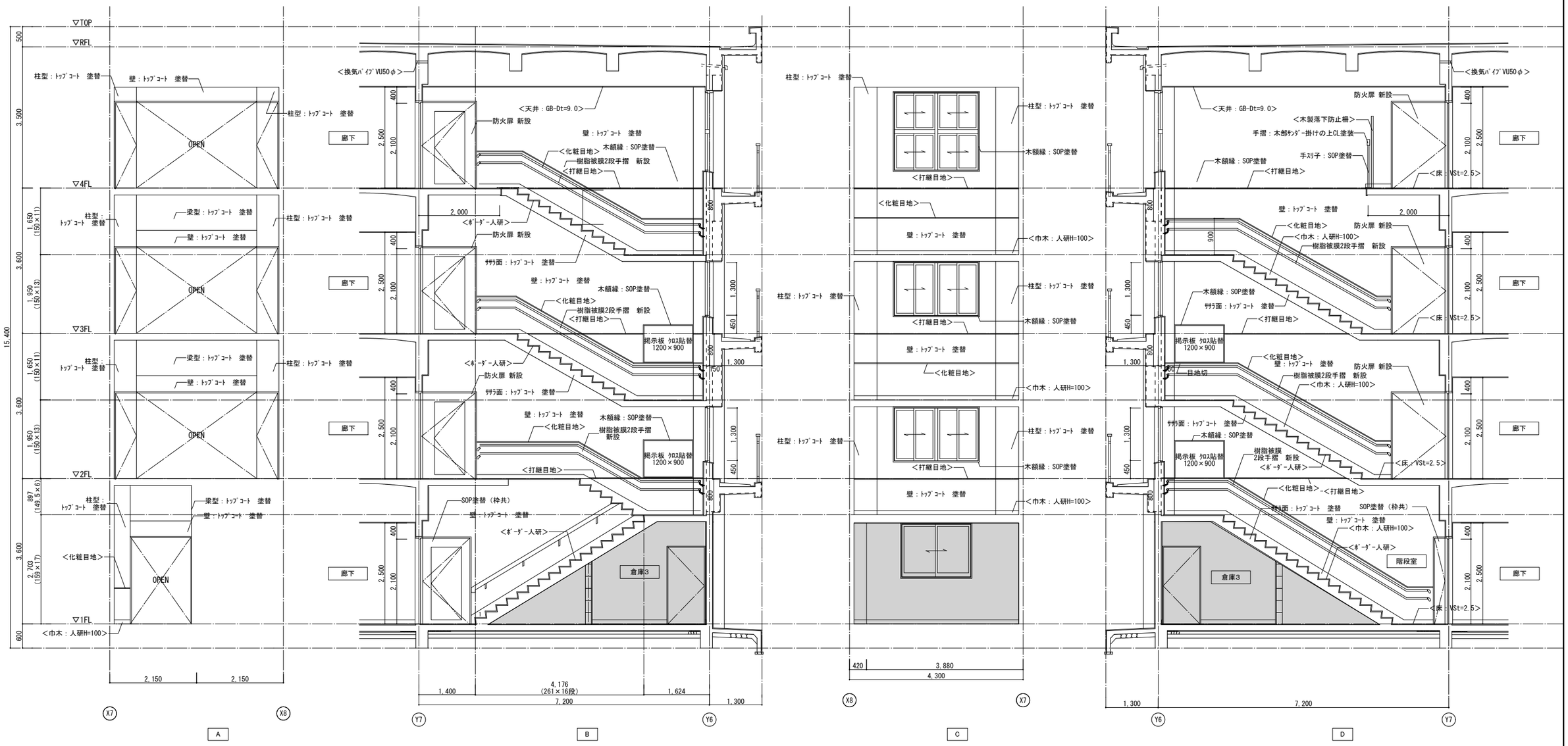


・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５－３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

設　計

整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/50 A3 1/100	階段３　展開図（改修前）	A — 40

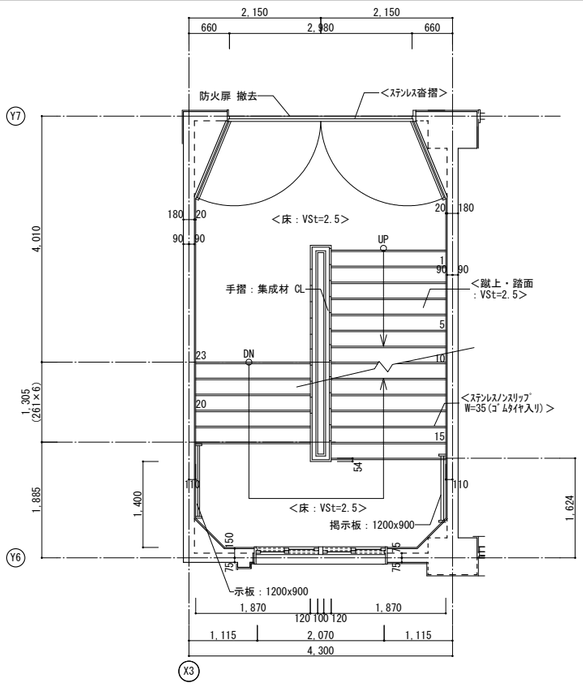


・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

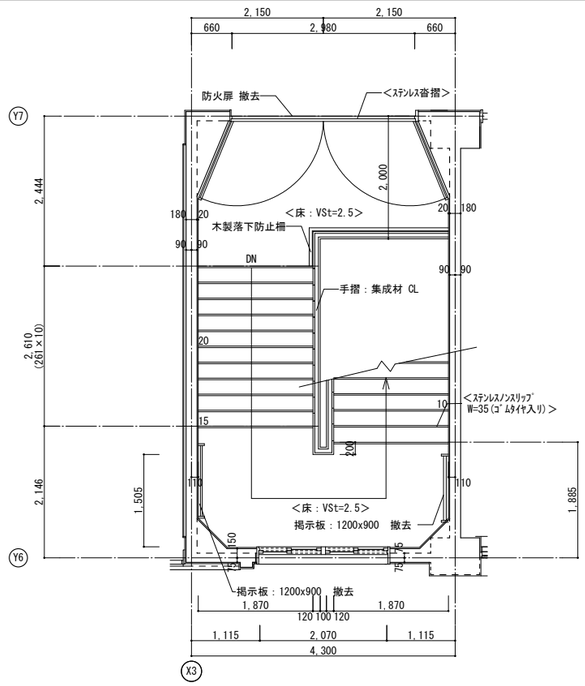
株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５－３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

設　計

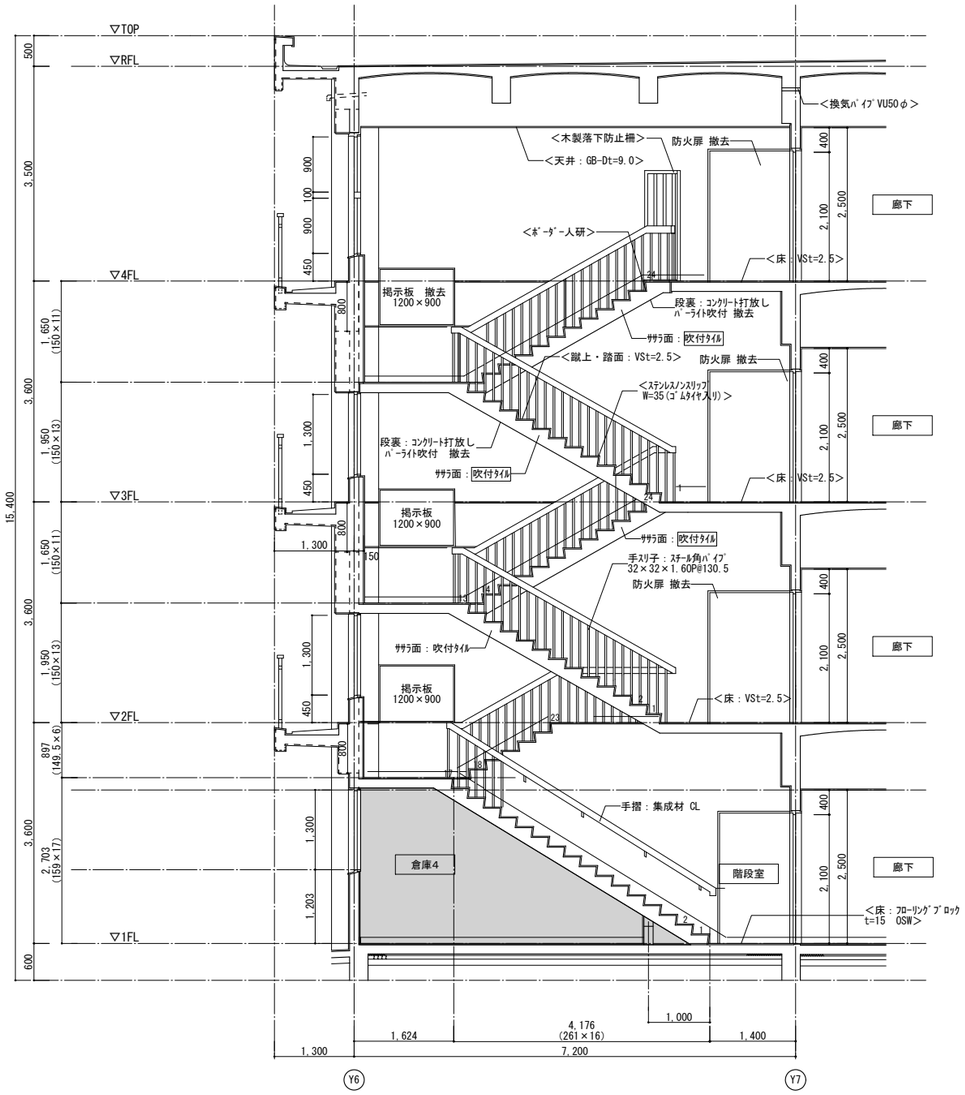
整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年　月　日	A1 1/50 A3 1/100	階段３　展開図（改修後）	A — 41



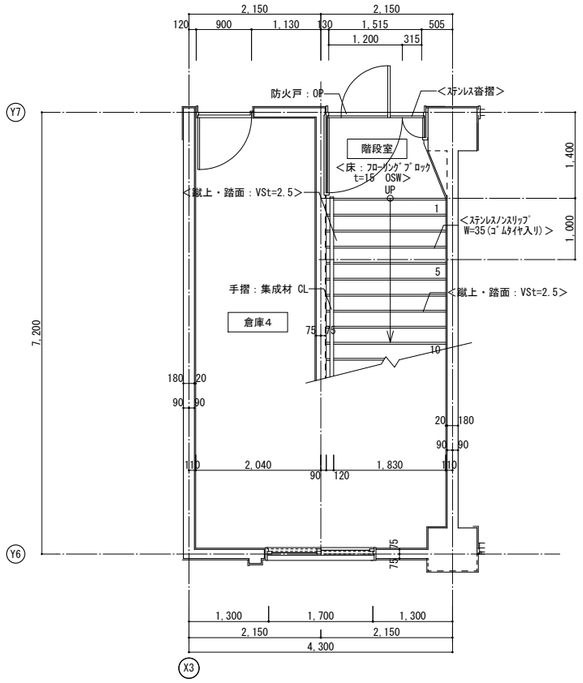
階段4 2階平面詳細図(改修前) 1/50



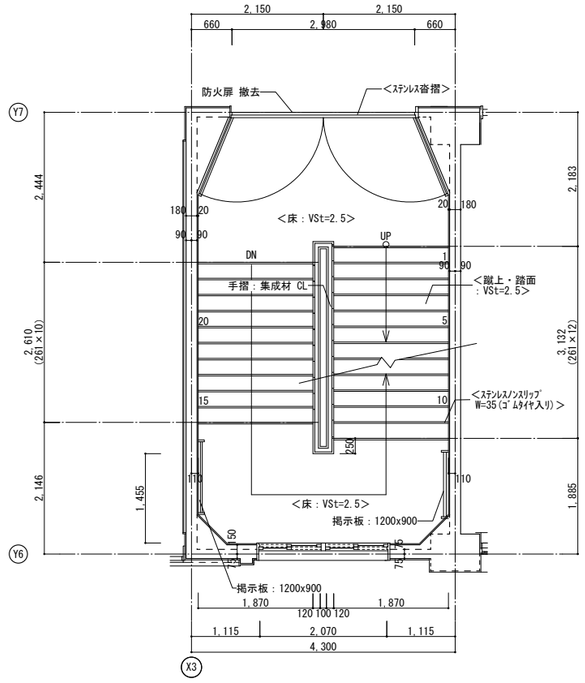
階段4 4階平面詳細図(改修前) 1/50



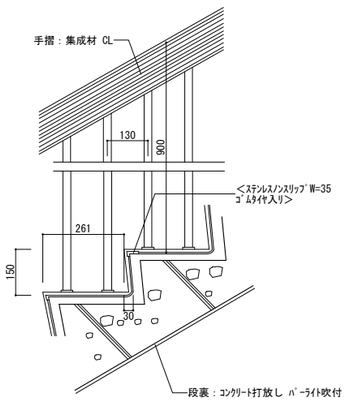
階段4 断面詳細図(改修前) 1/50



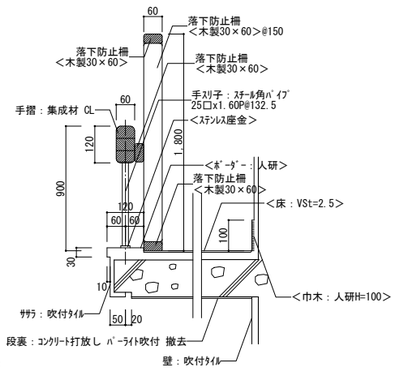
階段4 1階平面詳細図(改修前) 1/50



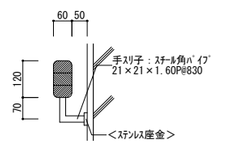
階段4 3階平面詳細図(改修前) 1/50



段割詳細図 1/10

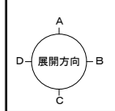


手摺ﾎﾞｰﾀﾞｰ部分・落下防止柵詳細図 1/10



壁付部分

壁付手摺詳細図 1/10



<凡例>

今回工事対象外　　アｽﾍﾞｽﾄ含有材 を示す

< > 既存のまま示す

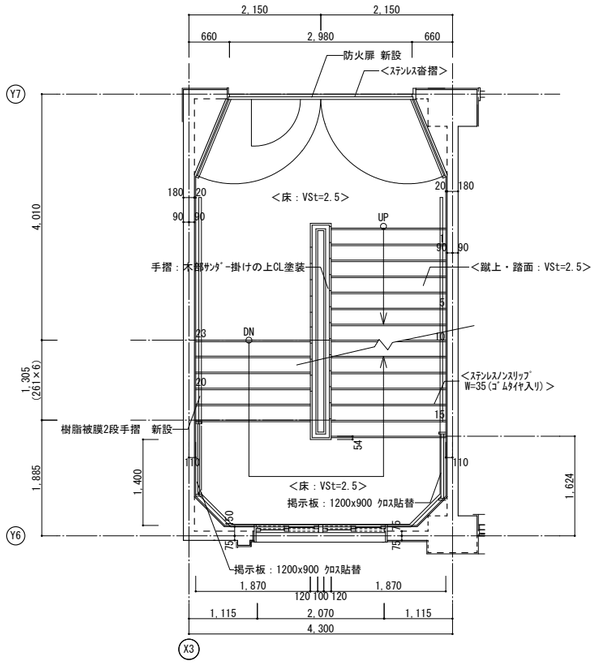
※壁にｱｽﾍﾞｽﾄが含有されているため、改修にあたって、対象部分を湿潤化し、ﾃﾞｨｽｸｸﾞﾗｲﾝﾀﾞｰやﾄﾞﾘﾙは、集塵装置付のものを使用すること。必要に応じてﾌﾞﾗｽﾁｯｸｼｰﾄ等で作業ｴﾘｱを養生すること。廃水はｳｴｽ等でふき取り、法令に基づき適正に処分すること。

・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

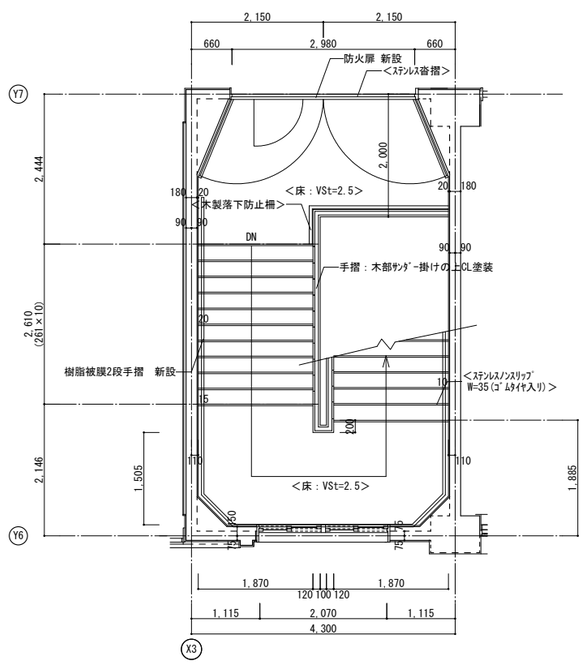
株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５－３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬 貴次

設　計

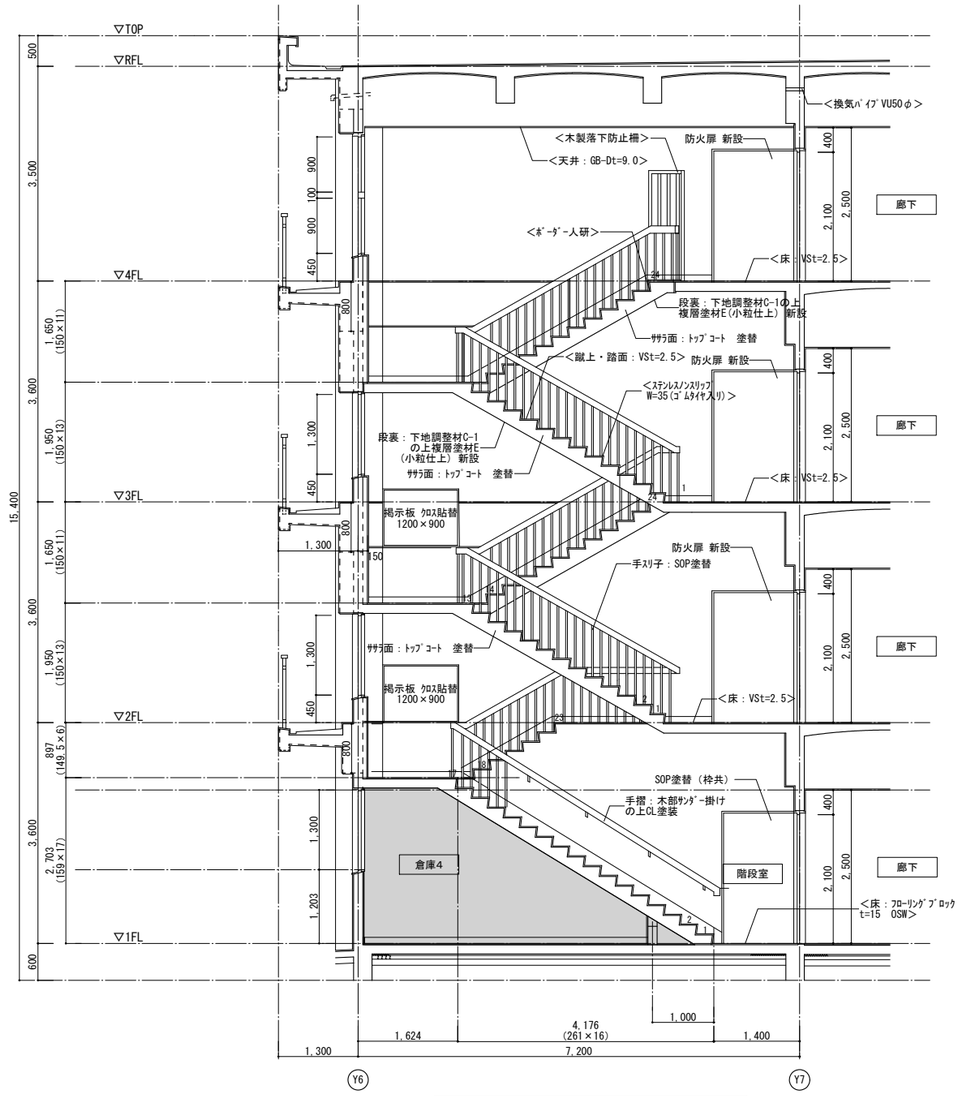
整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/50・10 A3 1/100・20	階段４　平面詳細図・断面詳細図（改修前）	A — 42



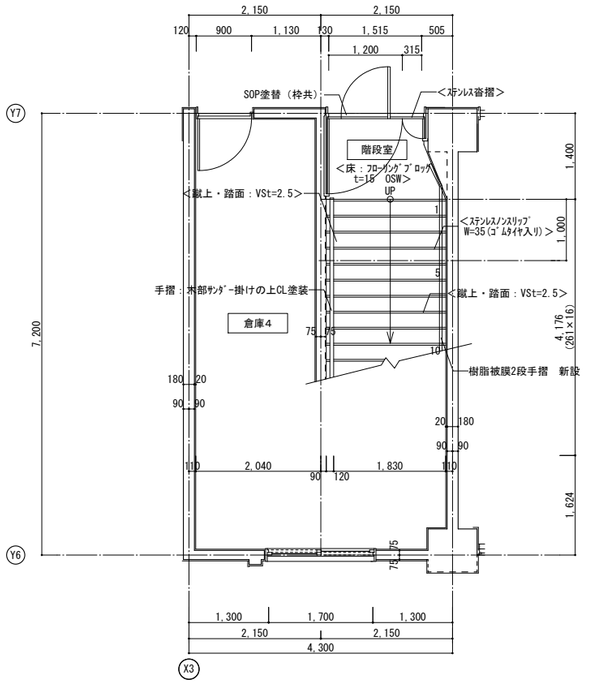
階段4 2階平面詳細図(改修前) 1/50



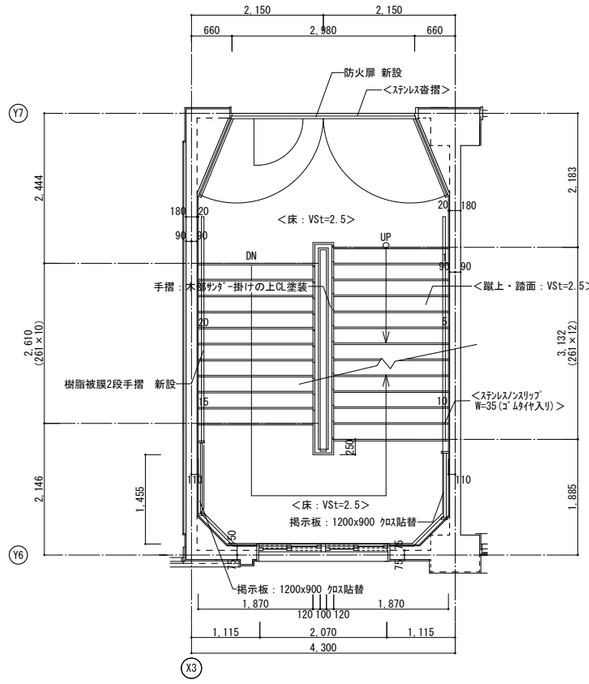
階段4 4階平面詳細図(改修前) 1/50



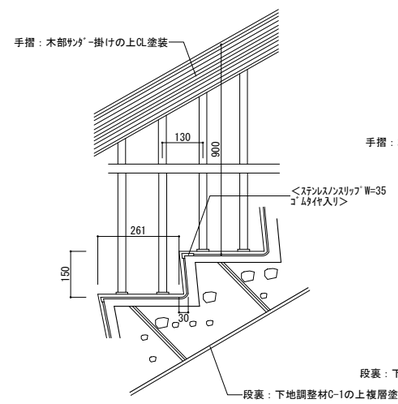
階段4 断面詳細図(改修前) 1/50



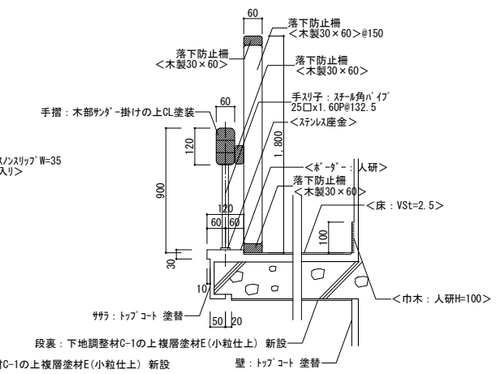
階段4 1階平面詳細図(改修前) 1/50



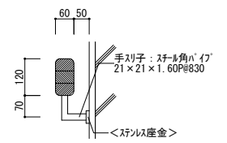
階段4 3階平面詳細図(改修前) 1/50



段割詳細図 1/10



手摺ﾎﾞｰﾀﾞｰ部分・落下防止柵詳細図 1/10



壁付部分

壁付手摺詳細図 1/10

A
D 展開方向 B
C

<凡例>

今回工事対象外

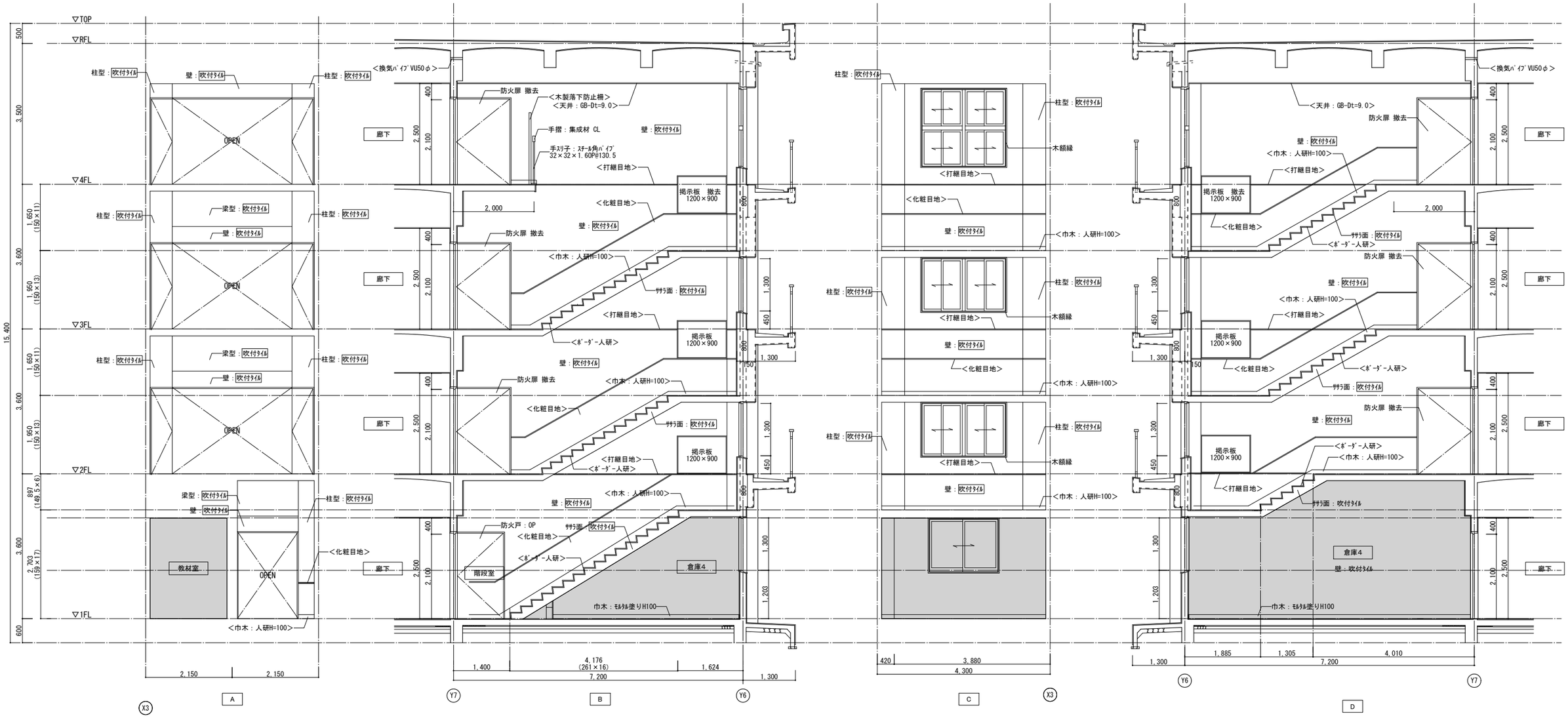
< > 既存のまま示す

・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和1丁目15-30 TEL(052)618-8211 FAX(052)618-8210
管理建築士・管理技術者 一級建築士 第202334号 早瀬 貴次

設計

整理番号	縮尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/50・10 A3 1/100・20	階段４ 平面詳細図・断面詳細図（改修後）	A — 43



アｽﾍﾞｽﾄ含有材 を示す

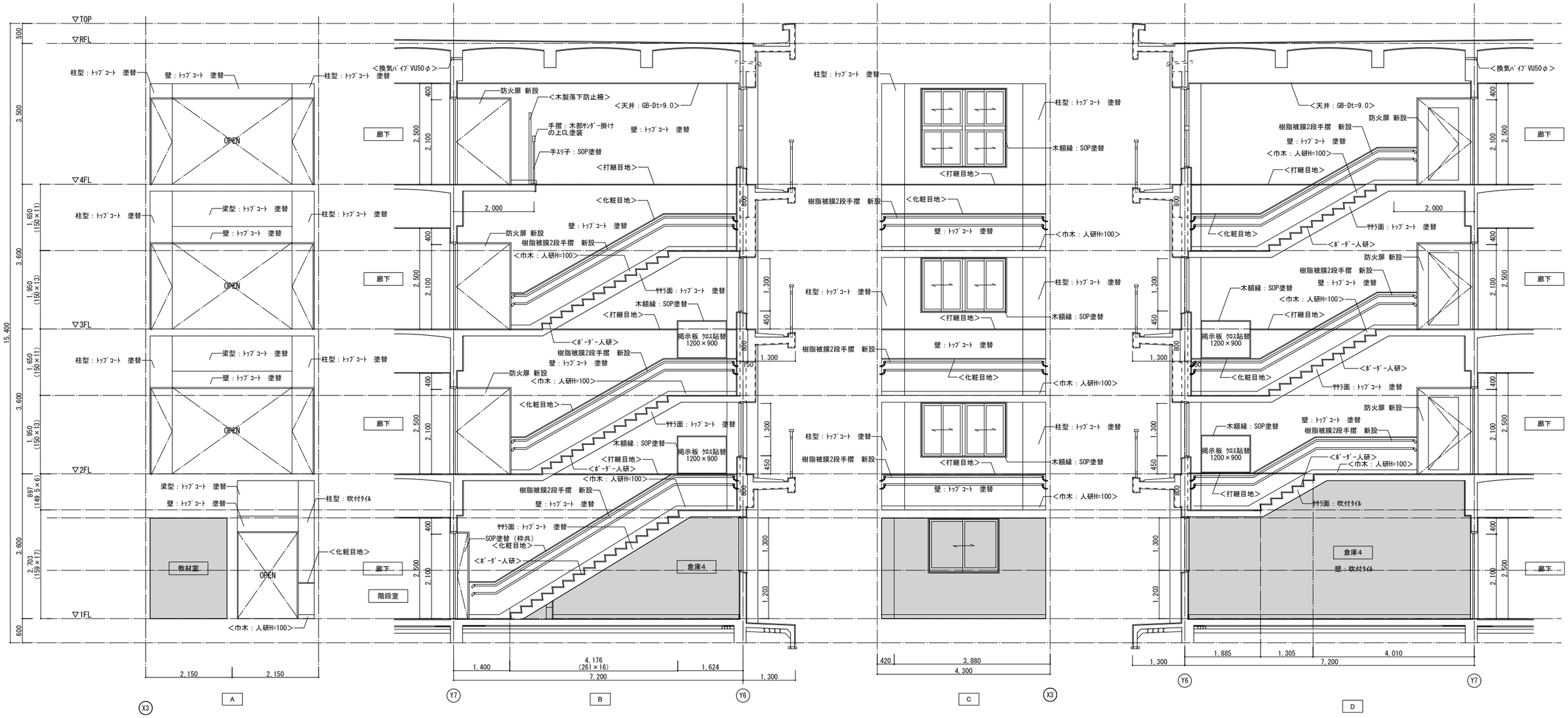
※壁にｱｽﾍﾞｽﾄが含有されているため、改修にあたって、対象部分を湿潤化し、ﾃﾞｨｽｸｸﾞﾗｲﾝﾀﾞｰやﾄﾞﾘﾙは、集塵装置付のものを使用すること。必要に応じてﾌﾟﾗｽﾁｯｸｼｰﾄ等で作業ｴﾘｱを養生すること。廃水はｳｴｽ等でふき取り、法令に基づき適正に処分すること。

・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５－３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

設　計

整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/50 A3 1/100	階段４　展開図（改修前）	A — 44



・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５－３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

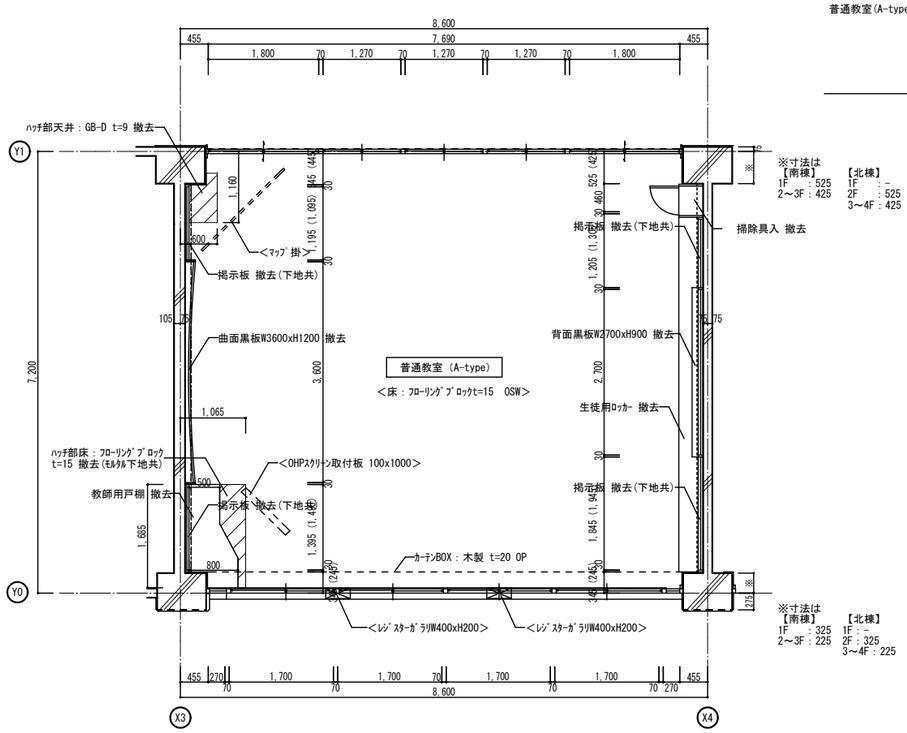
設　計

整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/50 A3 1/100	階段４　展開図（改修後）	A — 45

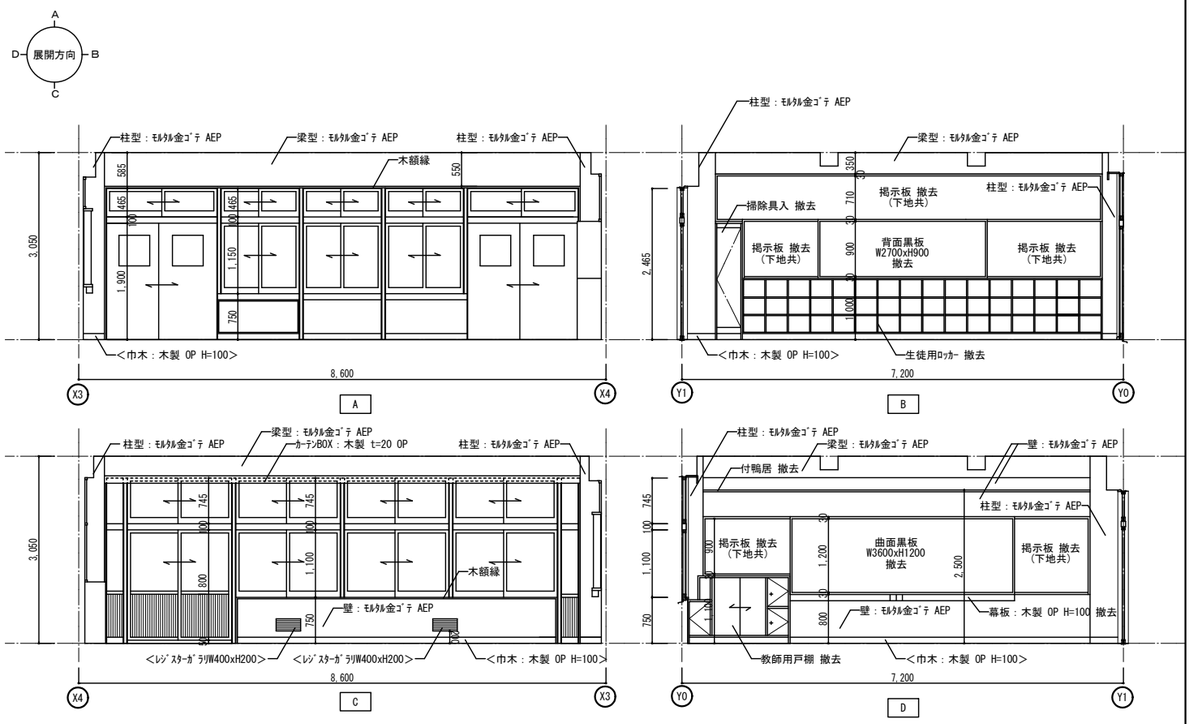
改修前

改修前　凡例	
	床,天井撤去範囲を示す
< >	既設のまま示す

普通教室(A-type)	北棟	1階	0箇所
		2階	2箇所
		3階	1箇所
		4階	0箇所
	南棟	1階	3箇所
		2階	5箇所
		3階	5箇所
	計		16箇所



普通教室 (A-type)　平面詳細図(改修前)　1/50

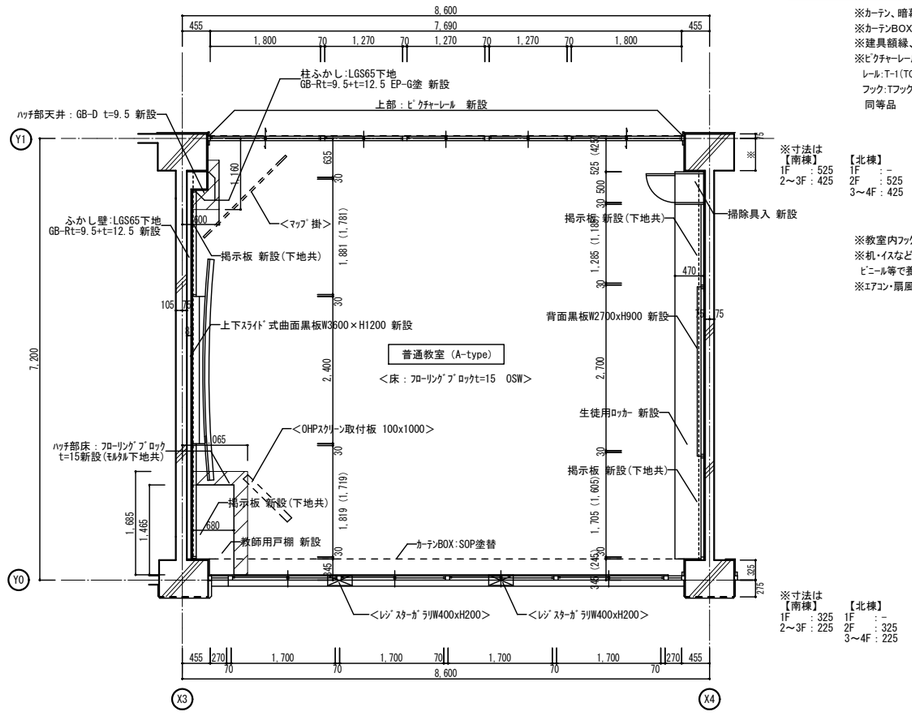


改修後

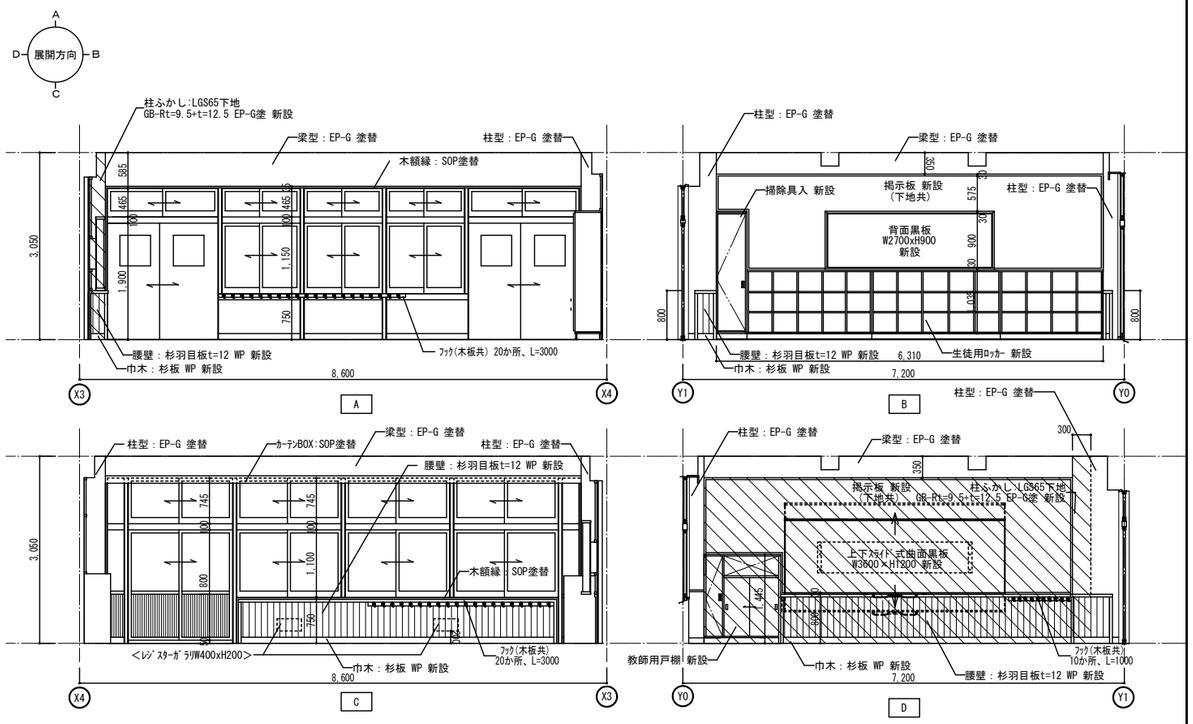
改修後　凡例	
	床,天井新設範囲を示す
	LGS65壁下地新設範囲を示す
< >	既設のまま示す

※ｶｰﾃﾝ、暗幕は　一時撤去再取付とする。
※ｶｰﾃﾝBOX内部は塗替えを行わない。
※建具額縁、木額縁はSOP塗替とする。
※ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙの仕様は下記とする。(各階共通
ﾚｰﾙ:T-1(TOSO)
ﾌｯｸ:Tﾌｯｸ(TOSO)
同等品

※教室内ﾌｯｸは計50箇所とする。
※机・ｲｽなどは学校にて中央に寄せるため、ﾋﾞﾆｰﾙ等で養生すること。
※ｴｱｺﾝ・扇風機等はﾋﾞﾆｰﾙ等で養生すること。



普通教室 (A-type)　平面詳細図(改修後)　1/50



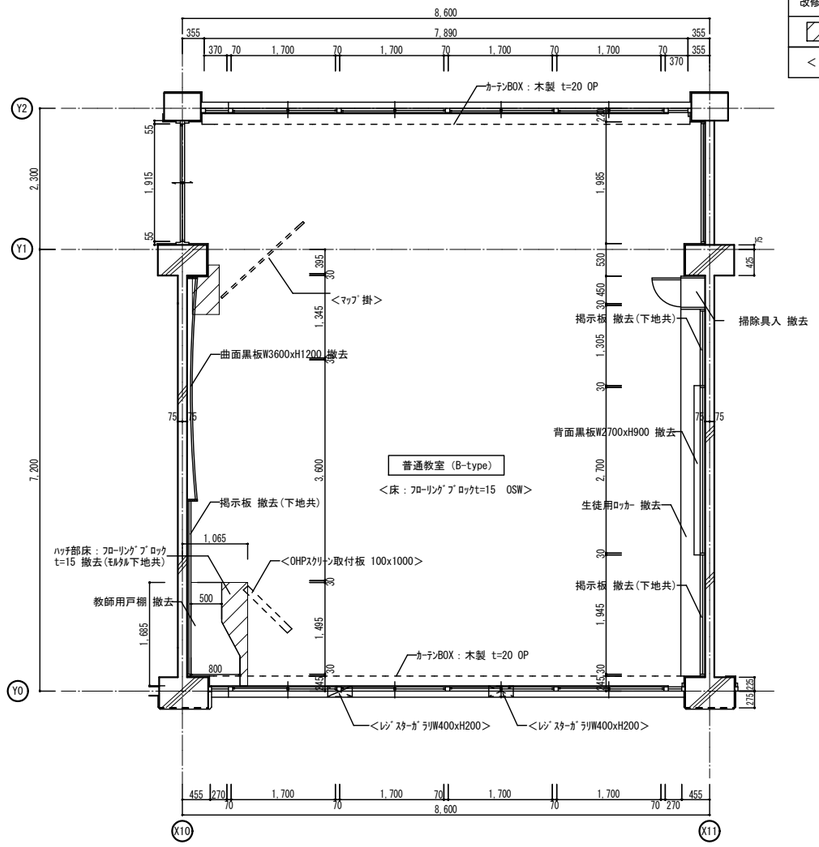
・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和1丁目15-30　TEL(052)618-8211　FAX(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第202334号　早瀬 貴次

設　計

整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年　月　日	A1 1/50 A3 1/100	普通教室 (A-type) 平面詳細図・展開図 (改修前後)	A ― 46

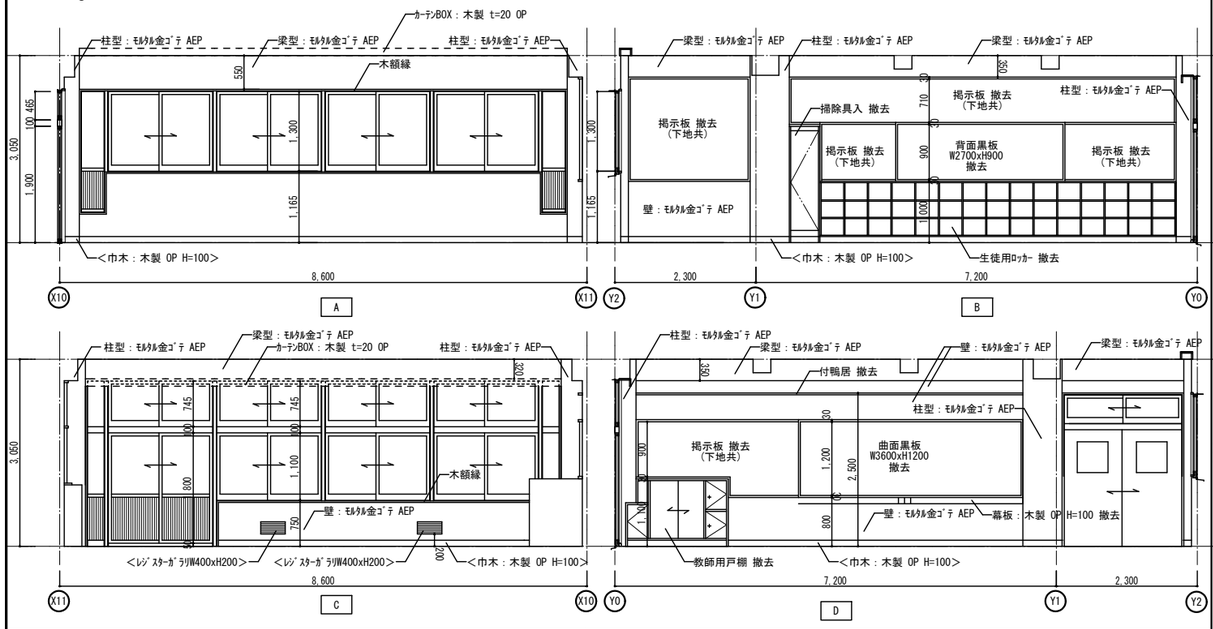
改修前



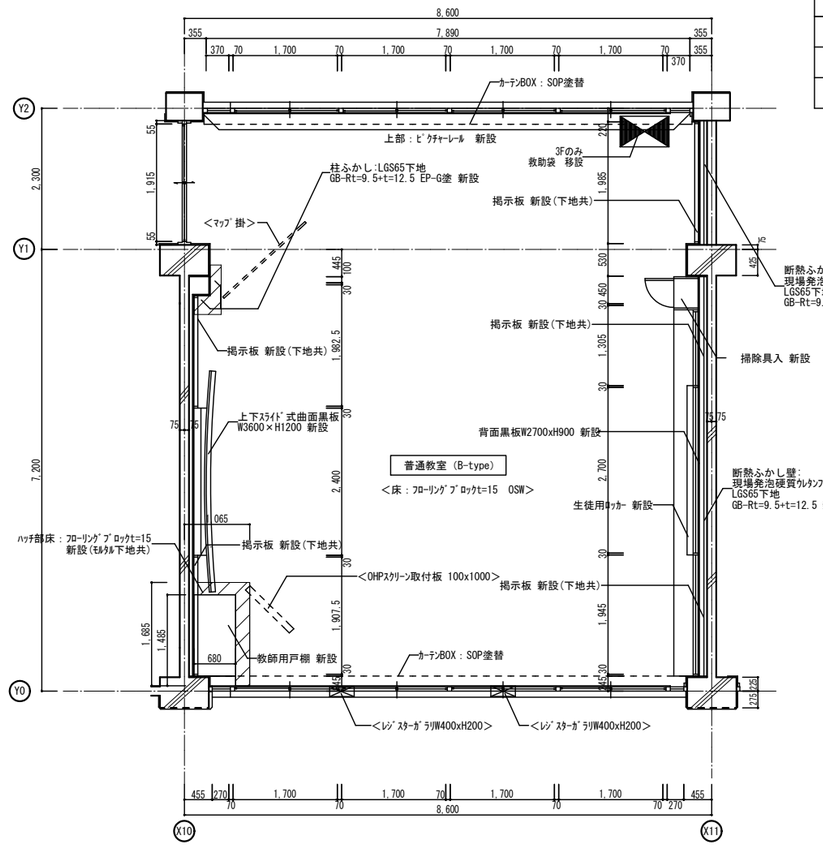
改修前 凡例	
	床,天井撤去範囲を示す
< >	既設のまま示す

普通教室(B-type)	北棟	1階	0箇所
		2階	0箇所
		3階	0箇所
		4階	0箇所
	南棟	1階	0箇所
		2階	1箇所
		3階	1箇所
	計		2箇所

普通教室 (B-type) 平面詳細図(改修前) 1/50



改修後

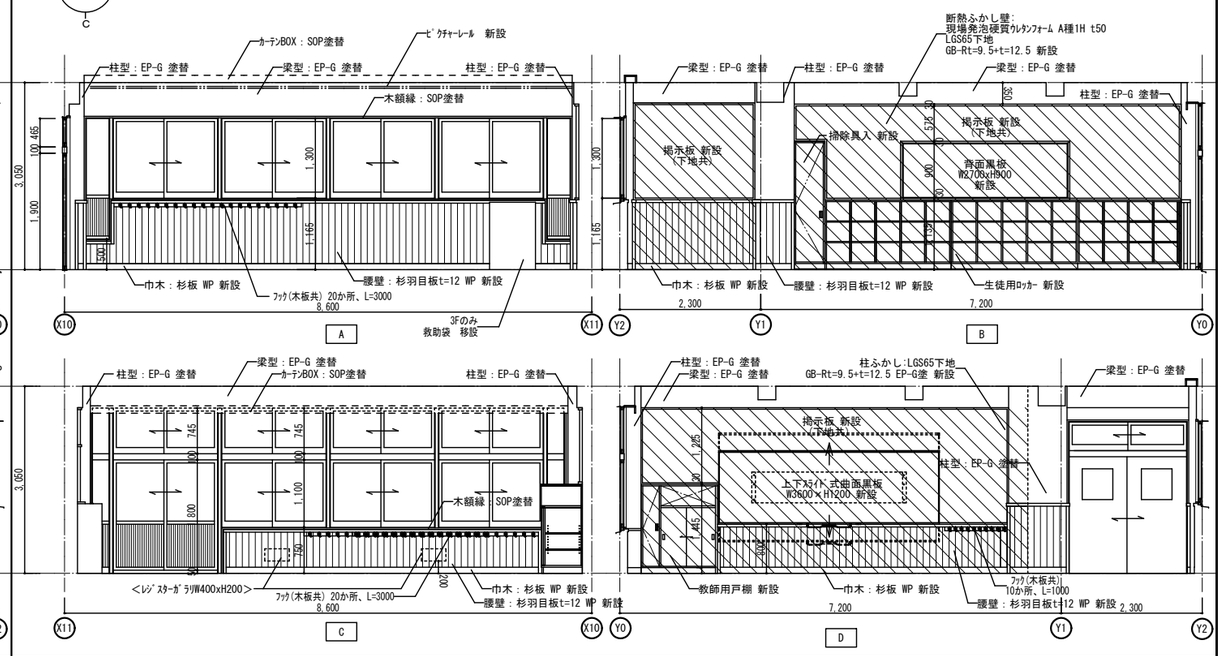


改修後 凡例	
	床,天井新設範囲を示す
	LGS65壁下地新設範囲を示す
< >	既設のまま示す

※カーテン、暗幕は 一時撤去再取付とする。
※カーテンBOX内部は塗替えを行わない。
※建具額縁、木額縁はSOP塗替とする。
※ピクチャーレールの仕様は下記とする。(各階共通)
レール:T-1(TOSO)
フック:Tフック(TOSO)
同等品

※教室内フックは計50箇所とする。
※机・イスなどは学校にて中央に寄せるため、ビニール等で養生すること。
※エアコン・扇風機等はビニール等で養生すること。

普通教室 (B-type) 平面詳細図(改修前) 1/50



株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５－３０ ＴＥＬ(052)618-8211 ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者 一級建築士 第 202334 号 早瀬 貴次

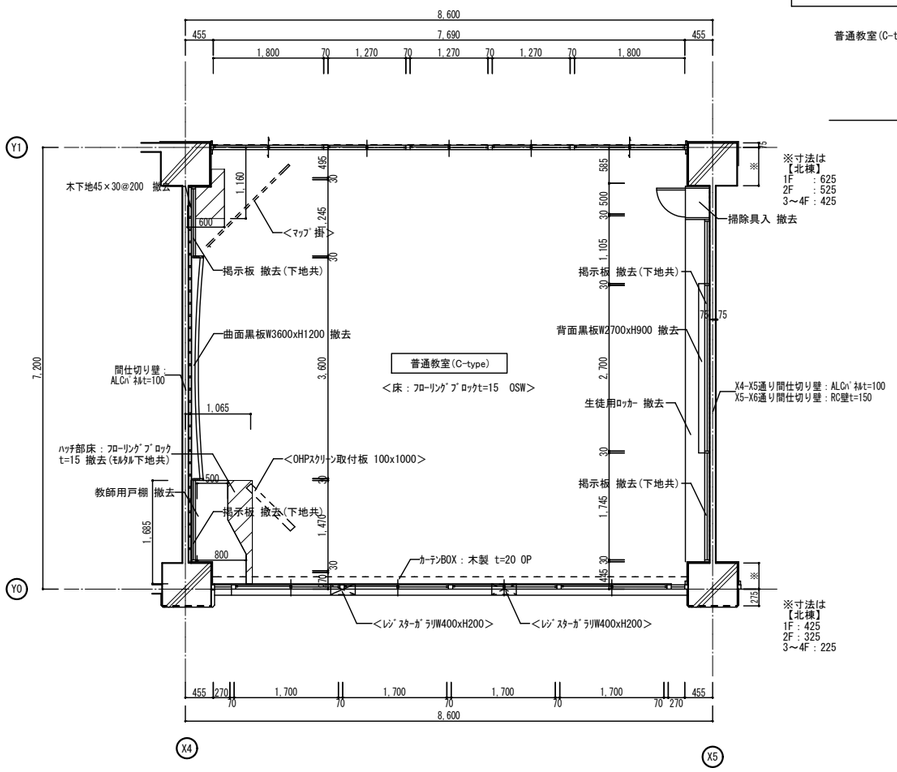
設 計

整理番号	縮 尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/50 A3 1/100	普通教室 (B-type) 平面詳細図・展開図 (改修前後)	A — 47

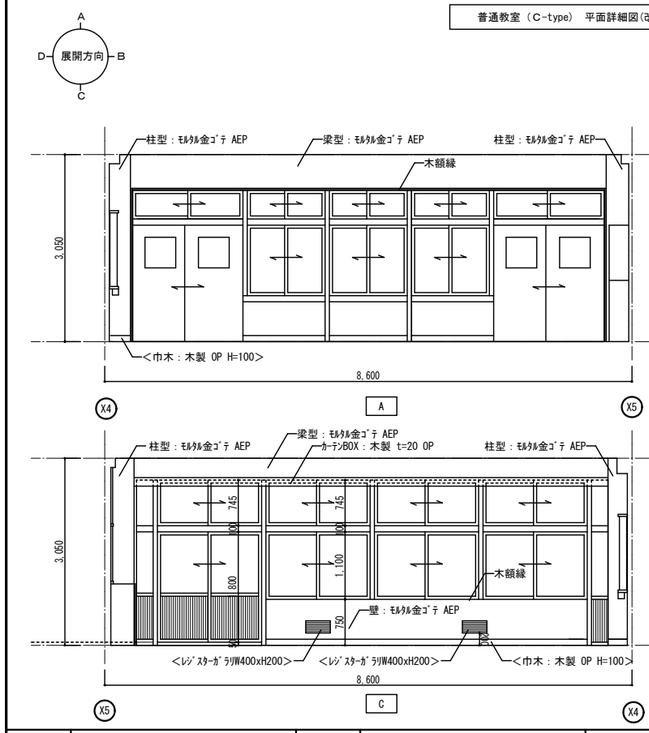
改修前

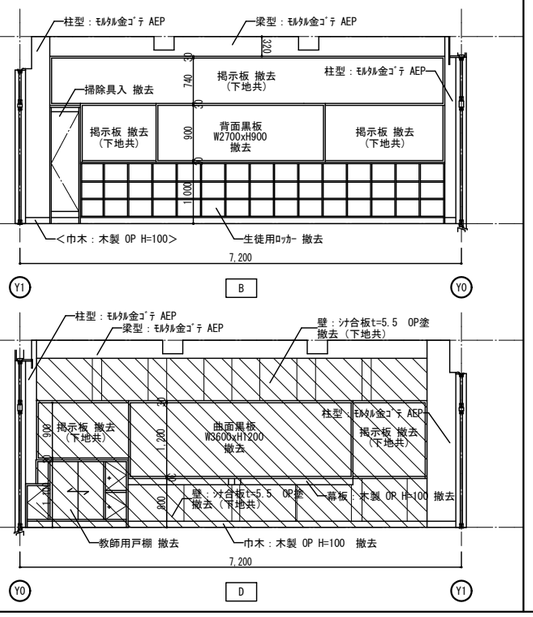
改修前　凡例	
	床,天井撤去範囲を示す
	壁撤去範囲を示す
< >	既設のまま示す

普通教室(C-type)	北棟	1階	2箇所
		2階	2箇所
		3階	2箇所
		4階	0箇所
	南棟	1階	0箇所
		2階	0箇所
		3階	0箇所
	計		6箇所



普通教室（C-type）　平面詳細図(改修前)　1/50



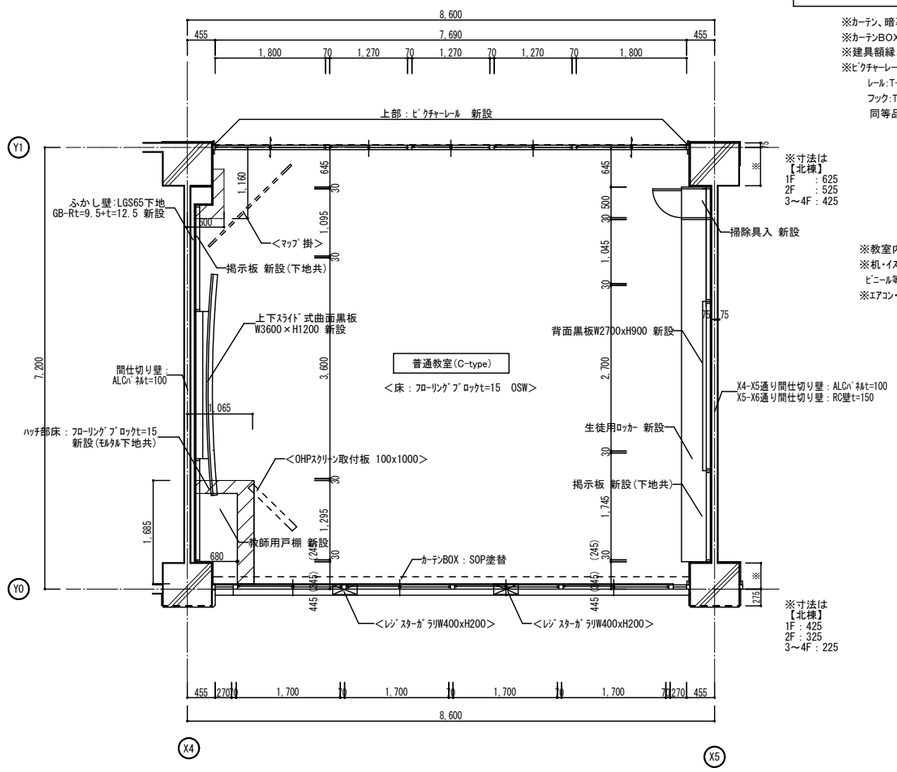


改修後

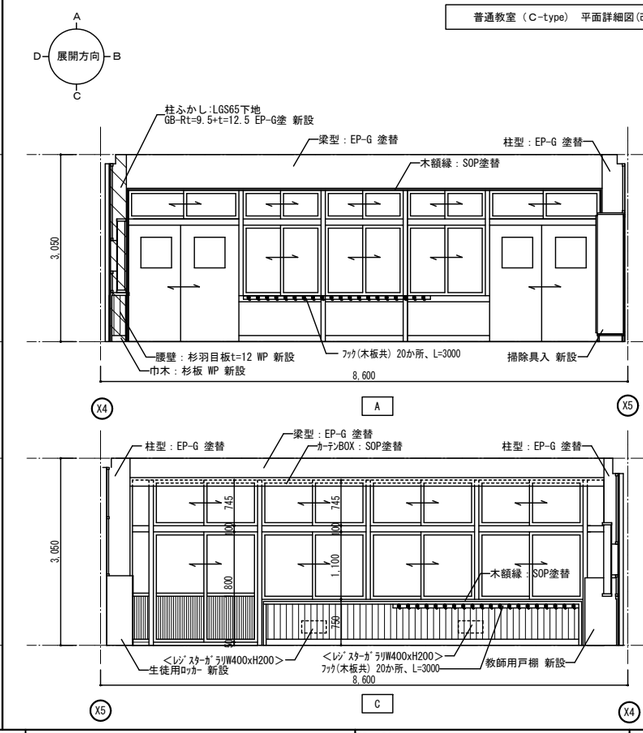
改修後　凡例	
	床,天井新設範囲を示す
	LGS65壁下地新設範囲を示す
< >	既設のまま示す

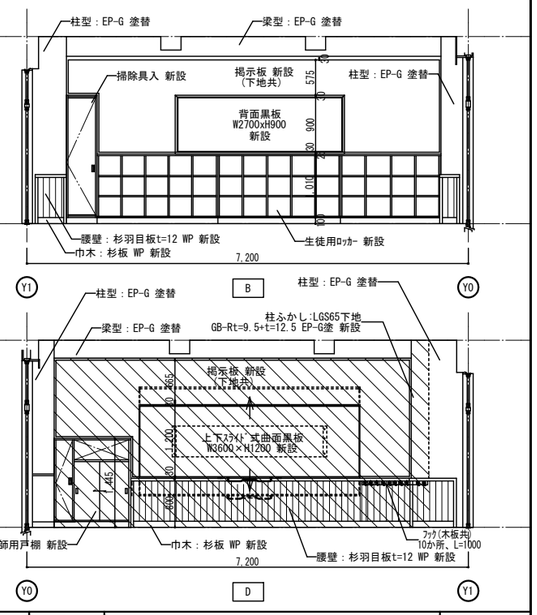
※ｶｰﾃﾝ、暗幕は　一時撤去再取付とする。
※ｶｰﾃﾝBOX内部は塗替えを行わない。
※建具額縁、木額縁はSOP塗替とする。
※ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙの仕様は下記とする。(各階共通)
ﾚｰﾙ:T-1(TOSO)
ﾌｯｸ:Tﾌｯｸ(TOSO)
同等品

※教室内ﾌｯｸは計50箇所とする。
※机・ｲｽなどは学校にて中央に寄せるため、ﾋﾞﾆｰﾙ等で養生すること。
※ｴｱｺﾝ・扇風機等はﾋﾞﾆｰﾙ等で養生すること。



普通教室（C-type）　平面詳細図(改修前)　1/50





・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５-３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

設　計

整理番号

年　月　日

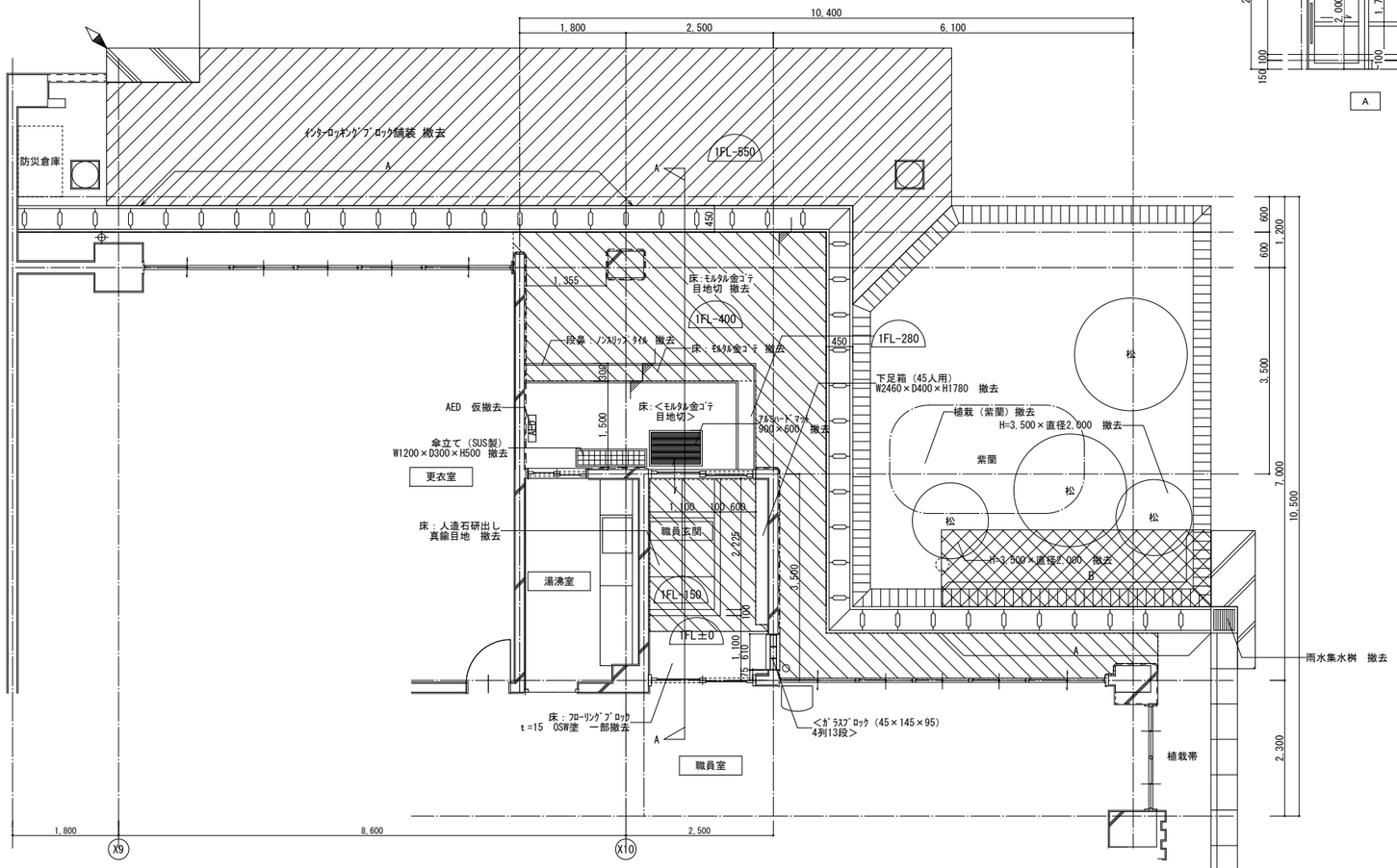
縮　尺
A1 1/50
A3 1/100

今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事

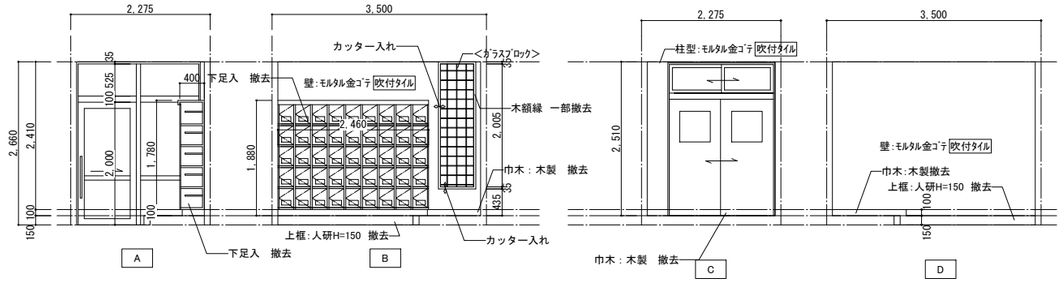
普通教室（C-type）平面詳細図・展開図（改修前後）

NO.
A ― 48

凡 例	名 称	凡 例	名 称
	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装 撤去範囲を示す	A	U字側溝撤去範囲を示す
	ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ舗装 撤去範囲を示す	B	ﾀｲﾙ擁壁撤去範囲を示す
	花壇（土舗装） 撤去範囲を示す		車道用ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装 撤去範囲を示す
	撤去範囲を示す		

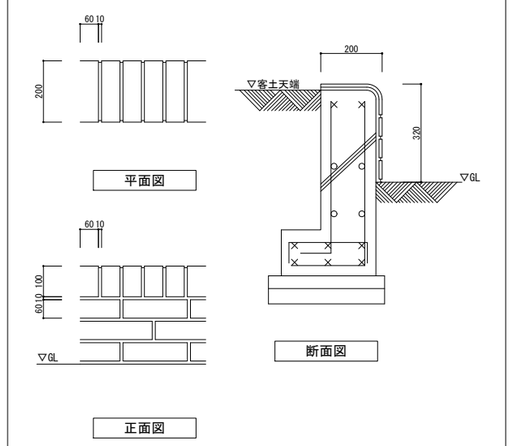


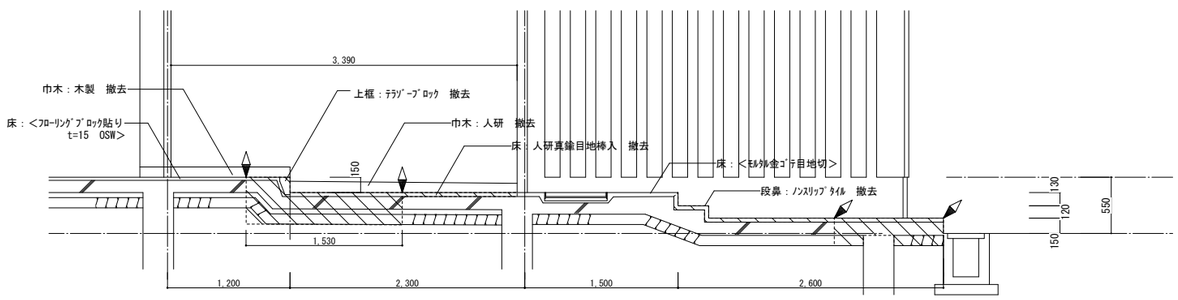
職員玄関 平面詳細図(改修前) 1/50



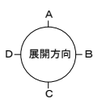
職員玄関 展開図(改修前) 1/50

ﾀｲﾙ擁壁 撤去及び新設詳細図 1/10





A-A 断面詳細図(改修前) 1/30



ｱｽﾍﾞｽﾄ含有材 を示す

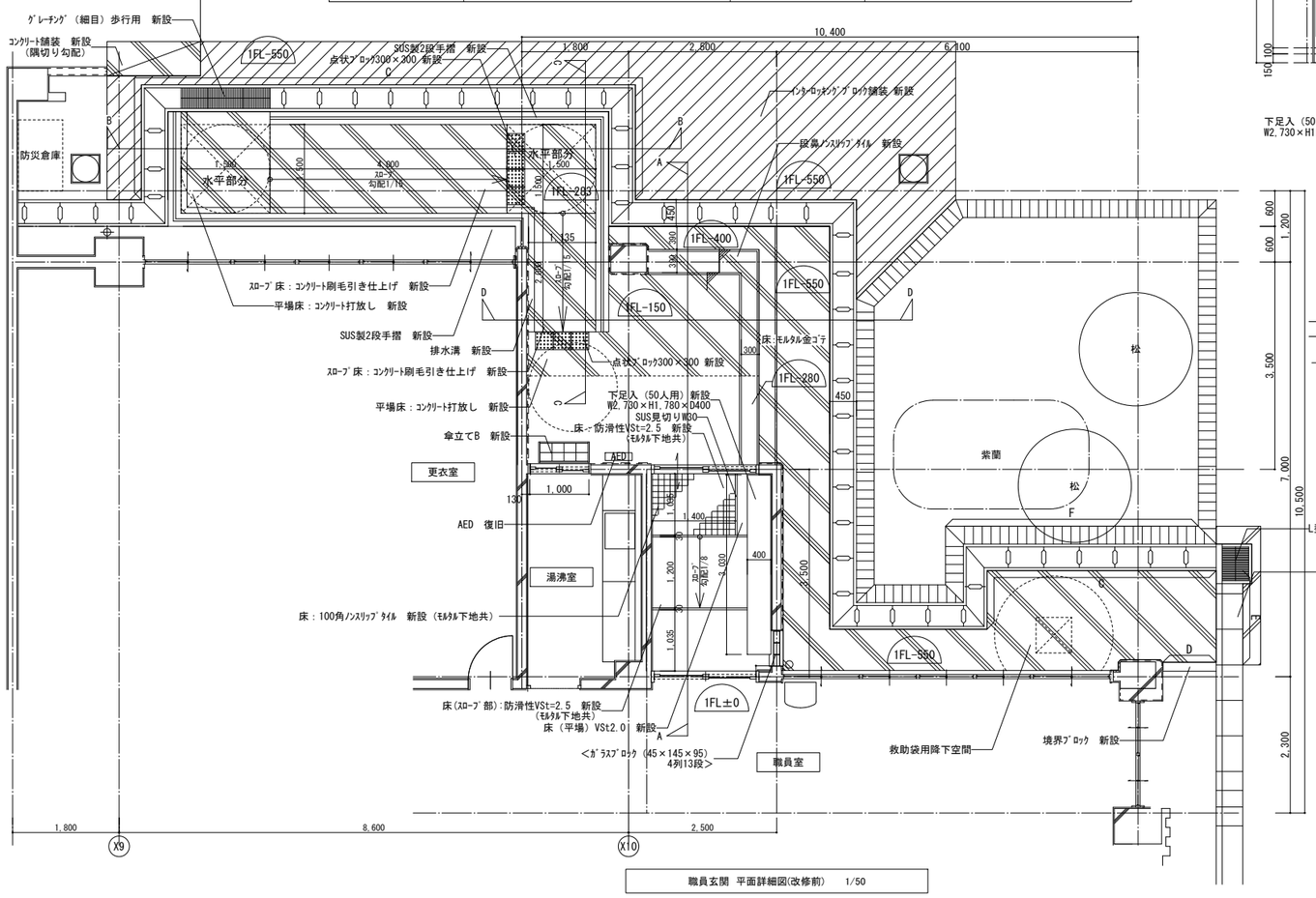
※壁にｱｽﾍﾞｽﾄが含有されているため、改修にあたって、対象部分を湿潤化し、ﾃﾞｨｽｸｸﾞﾗｲﾝﾀﾞｰやﾄﾞﾘﾙは、集塵装置付のものを使用すること。必要に応じてﾌﾞﾗｽﾁｯｸｼｰﾄ等で作業ｴﾘｱを養生すること。廃水はｳｴｽ等でふき取り、法令に基づき適正に処分すること。

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５－３０ ＴＥＬ(052)618-8211 ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者 一級建築士 第 202334 号 早瀬 賞次

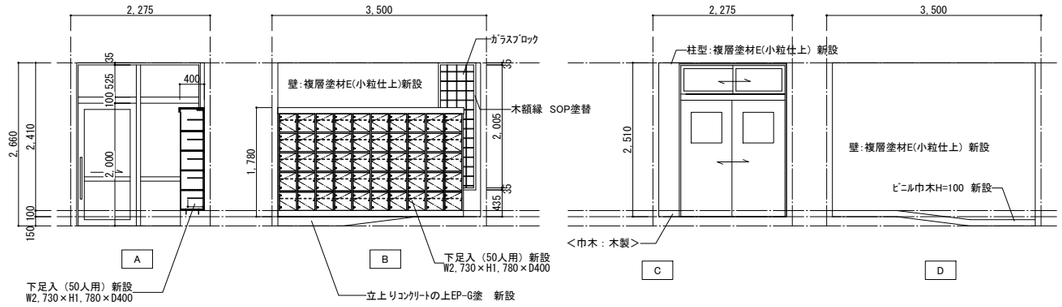
設 計

整理番号	縮 尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/30・50 A3 1/60・100	職員玄関 平面詳細図・展開図・断面図（改修前）	A — 49

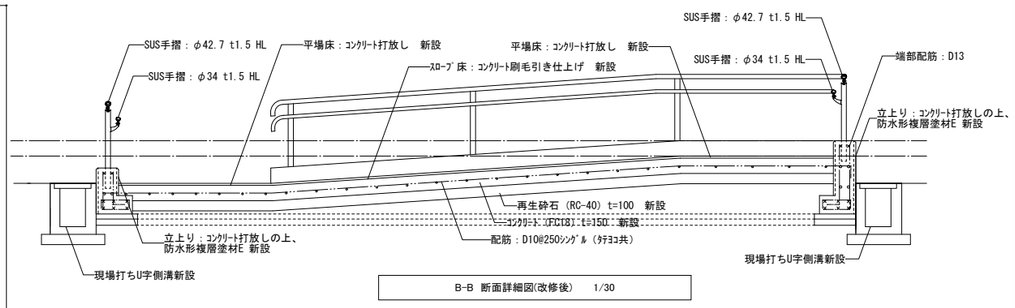
凡例	名称	凡例	名称
	コンクリート舗装 新設範囲を示す	D	境界ブロック新設を示す
	車道用アスファルト舗装 新設範囲を示す	E	L型側溝新設範囲を示す
	インターロッキングブロック新設範囲を示す	F	タイル擁壁新設範囲を示す
C	現場打ちU字側溝新設範囲を示す		



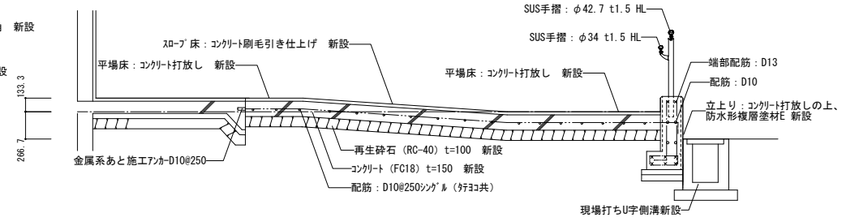
職員玄関 平面詳細図(改修前) 1/50



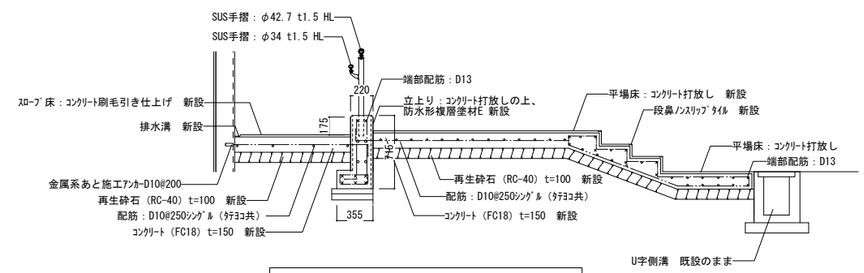
職員玄関 展開図(改修後) 1/50



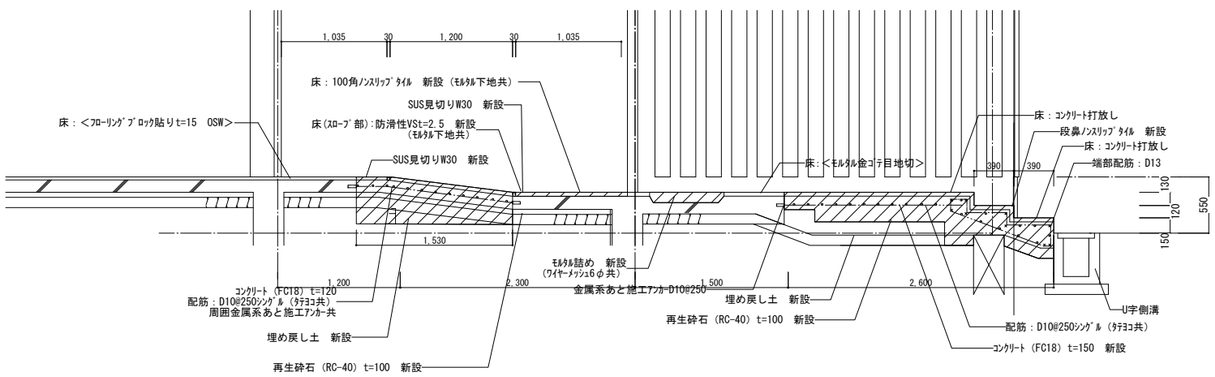
B-B 断面詳細図(改修後) 1/30



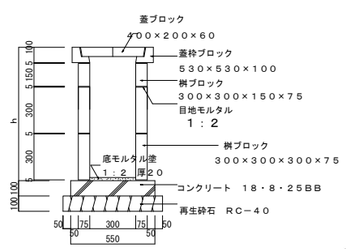
C-C 断面詳細図(改修後) 1/30



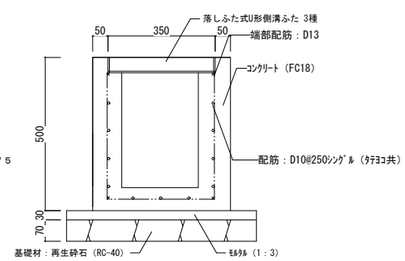
D-D 断面詳細図(改修後) 1/30



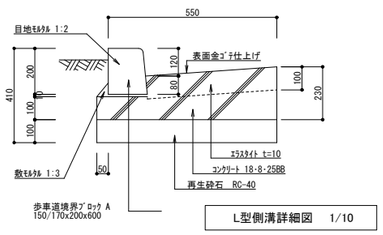
A-A 断面詳細図(改修後) 1/30



L型雨水枡詳細図 1/20



現場打ちU字側溝 1/10



L型側溝詳細図 1/10

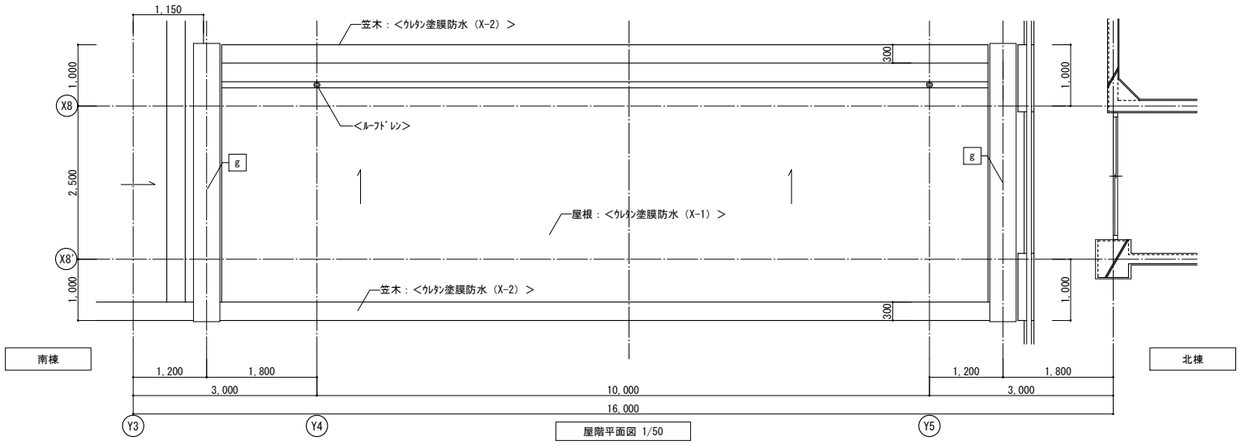
特記
1. 木枠カット箇所は小口までSOP塗とすること

・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和1丁目15-30 TEL(052)618-8211 FAX(052)618-8210
管理建築士・管理技術者 一級建築士 第202334号 早瀬 貴次

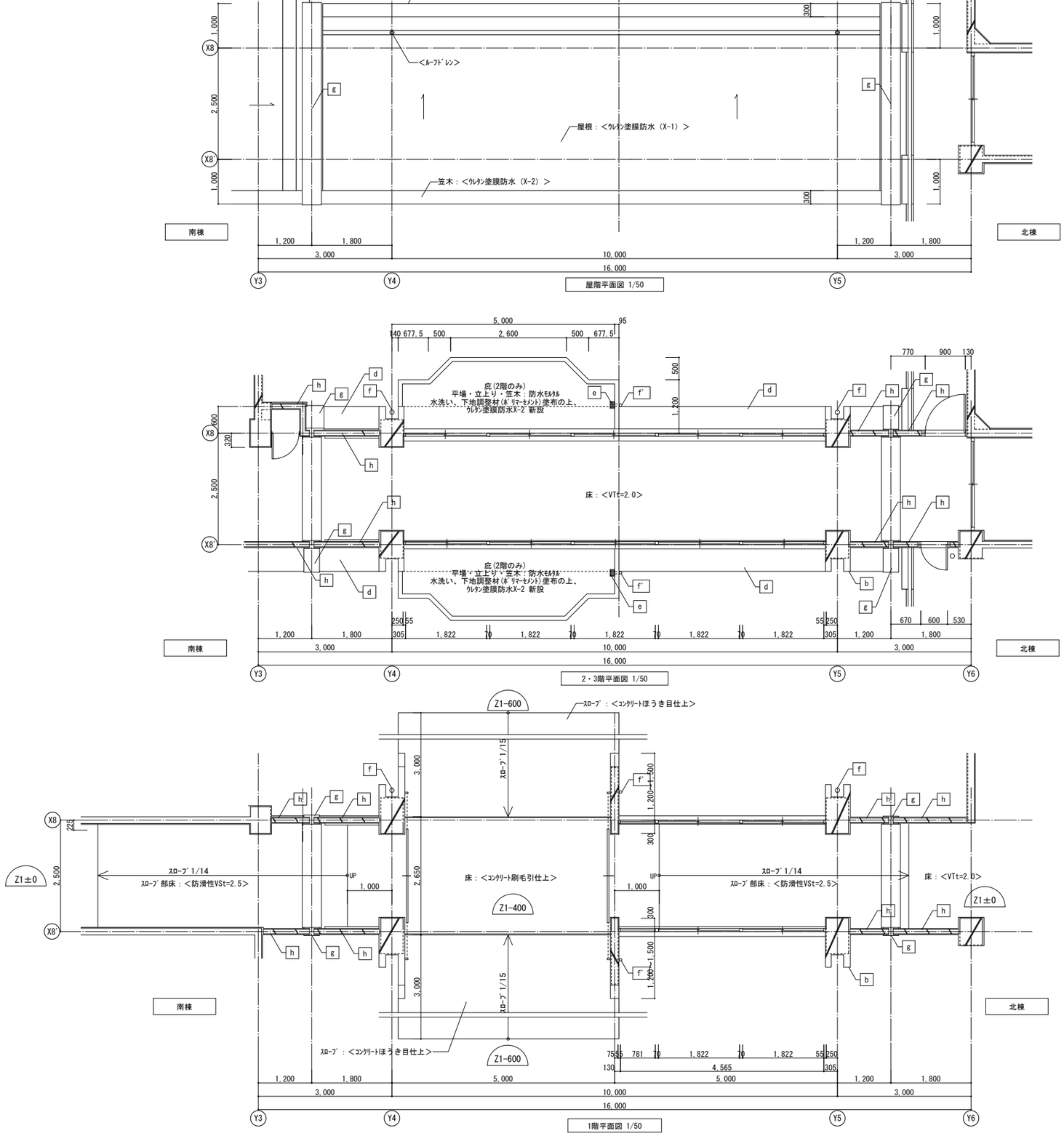
設 計

整理番号	縮 尺	今池小学校校舎改修第1期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/50 A3 1/100	職員玄関 平面詳細図・展開図・断面図（改修後）	A — 50

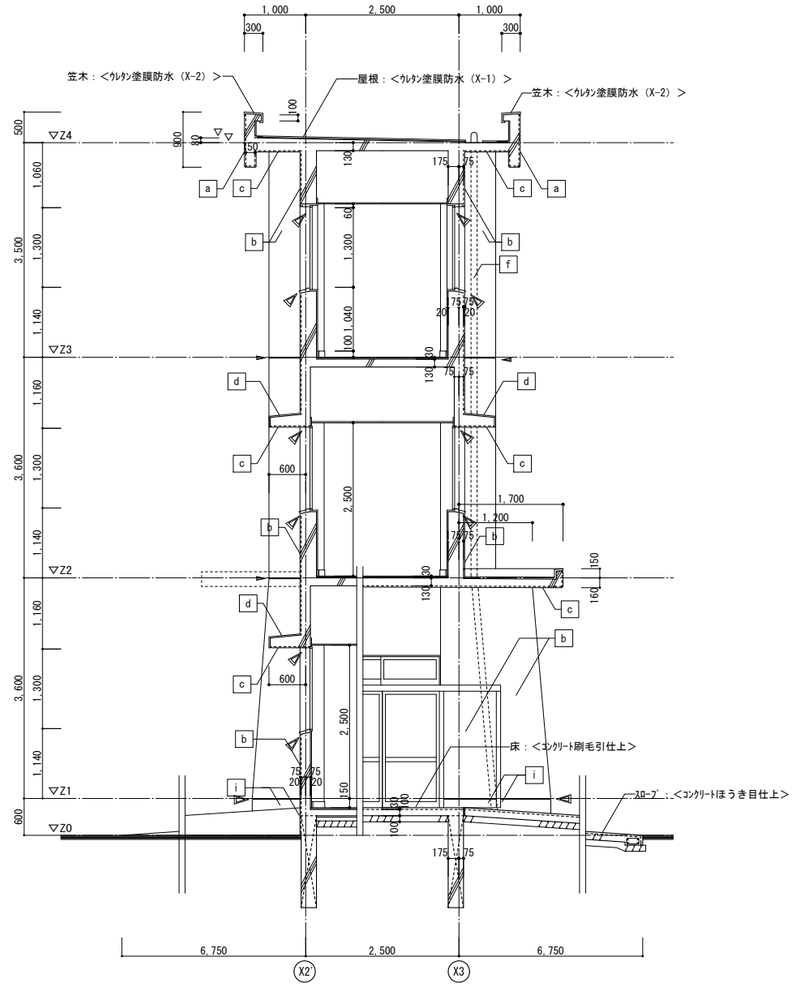


屋階平面図 1/50

2・3階平面図 1/50



1階平面図 1/50



矩計図 1/50

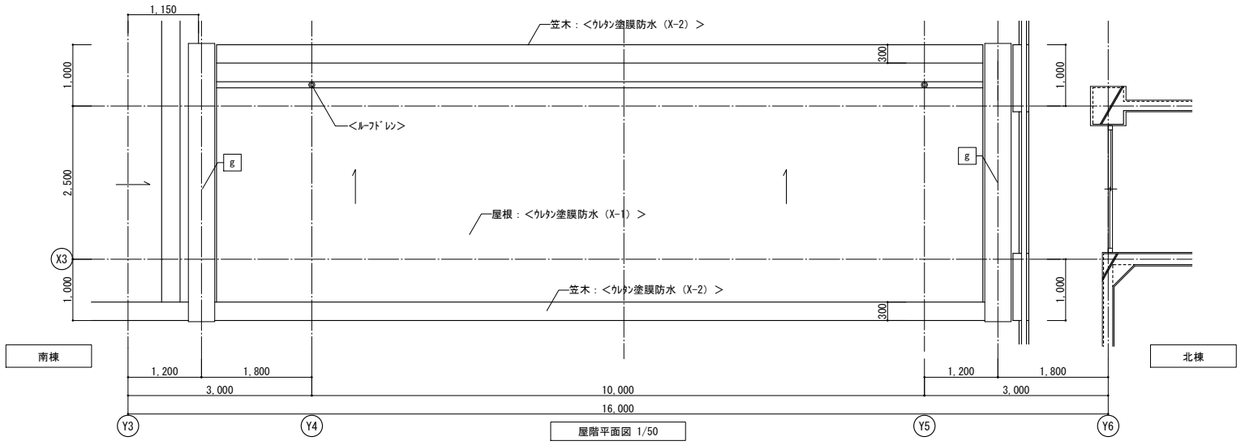
< > 既設のまま示す

符号	外部仕上（改修前）	外部仕上（改修後）
a	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 目地切@2150	水洗い、劣化部補修、ｼｰﾗｰ処理の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設、 目地：ｼｰﾘﾝｸﾞ（PU-2）20×20 新設
b	柱型・梁型：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	水洗い、劣化部補修、下地調整材(C-1)の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設
c	上裏：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 目地切 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	水洗い、劣化部補修の上、ｼﾘｺﾝﾄｯﾌﾟｺｰﾄ新設
d	防水ﾓﾙﾀﾙ	水洗い、下地調整材（ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄ）塗布の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2） 新設
e	横引ﾄﾞﾚﾝ50φ 撤去	改修用ﾄﾞﾚﾝ 新設
f	VP100φ OP（支持金物@1000内外） 撤去	ｶﾗｰVP100φ （支持金物：SUS製@1000内外共）新設
f'	VP50φ OP（支持金物@1000内外） 撤去	ｶﾗｰVP50φ （支持金物：SUS製@1000内外共）新設
g	EXP.Jｶﾊﾞｰ：周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ 15×15撤去	EXP.J：周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ(MS-2)15×15 新設
h	ALCﾊﾟﾈﾙの上 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	水洗い、劣化部補修、下地調整材(C-1)の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設 ﾊﾟﾈﾙ周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ15×15（PU-2）新設
i	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ仕上 GL+600迄	水洗い、劣化部補修
◁	ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	ｼｰﾘﾝｸﾞ新設

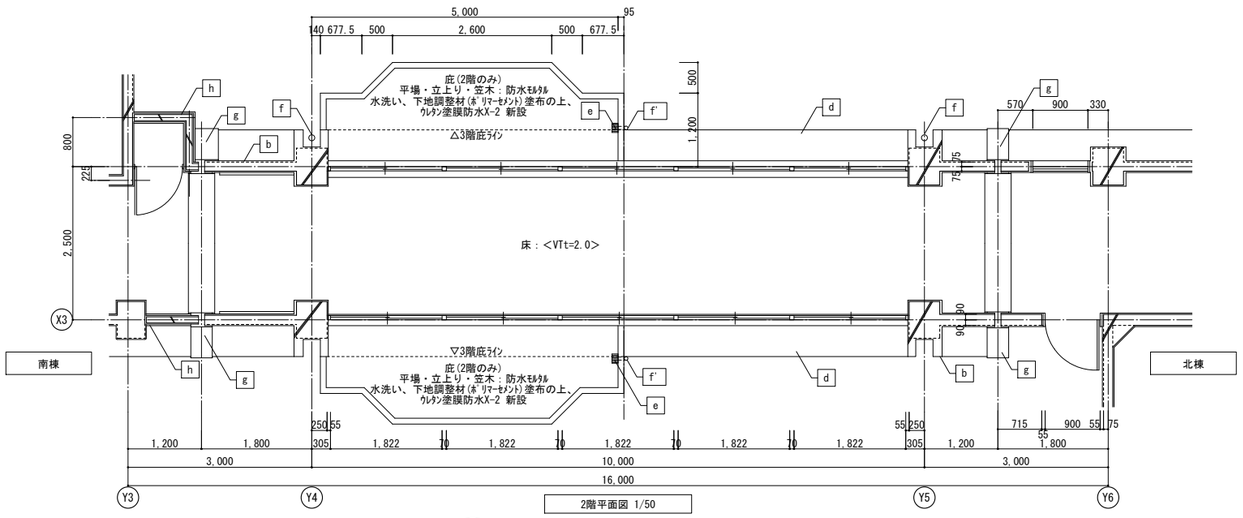
株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和1丁目15-30 TEL(052)618-8211 FAX(052)618-8210
管理建築士・管理技術者 一級建築士 第202334号 早瀬 貴次

設 計

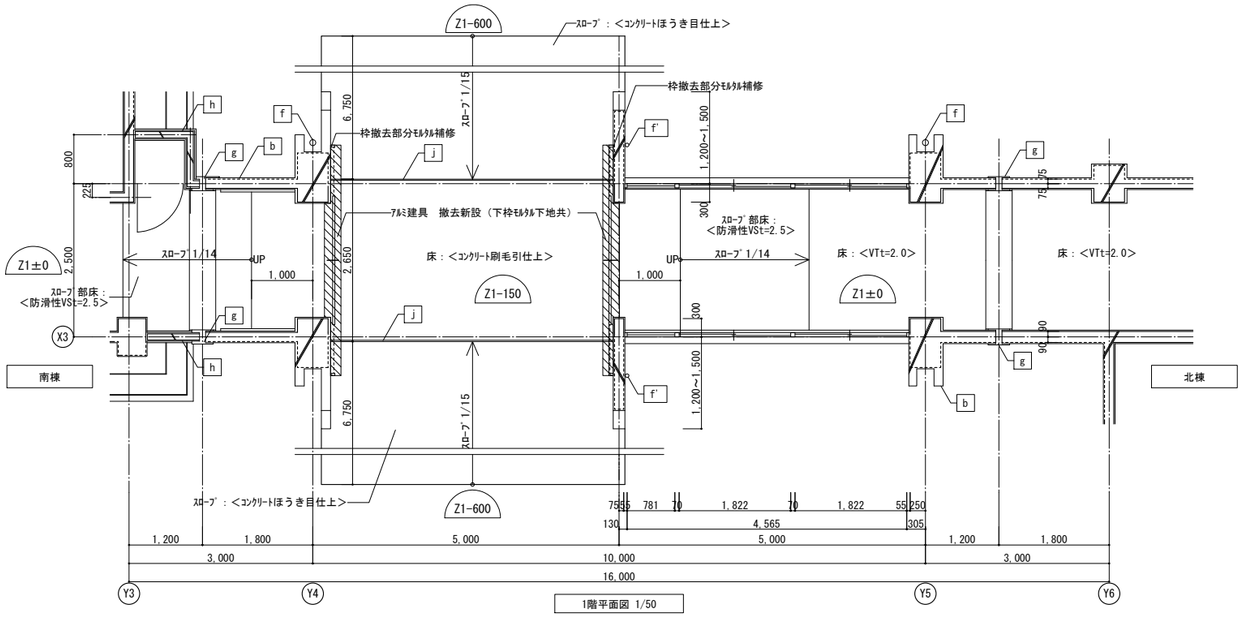
整理番号	縮 尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/50 A3 1/100	渡り廊下1 詳細図（改修前後）	A — 51



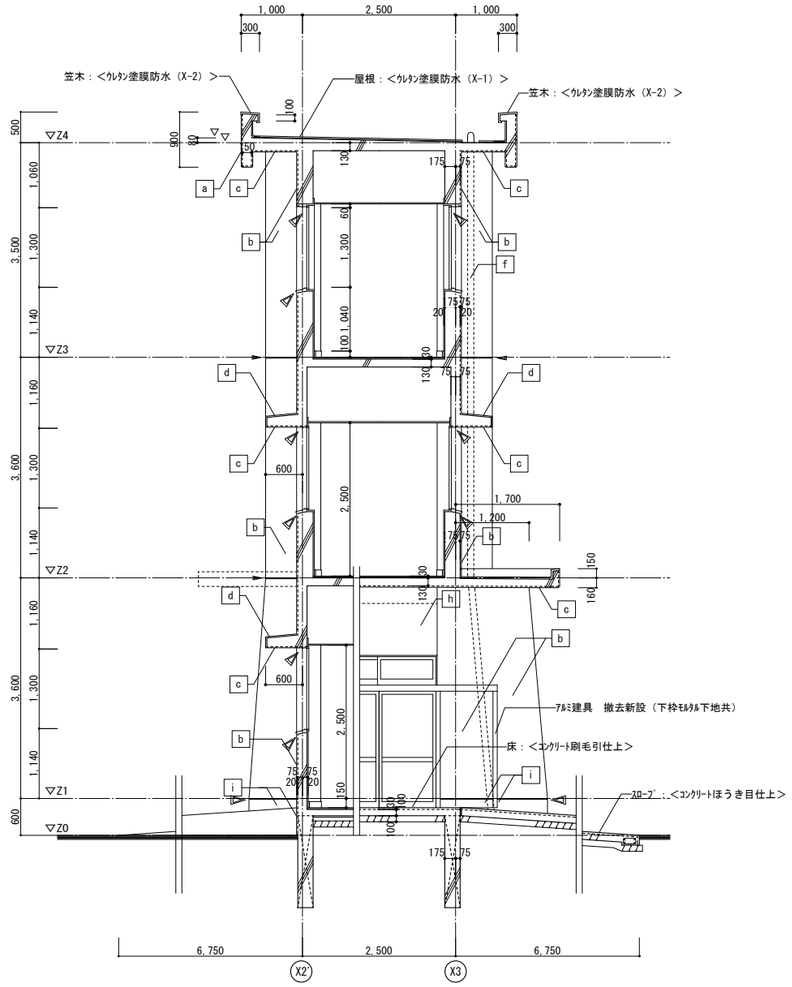
屋階平面図 1/50



2階平面図 1/50



1階平面図 1/50



矩計図 1/50

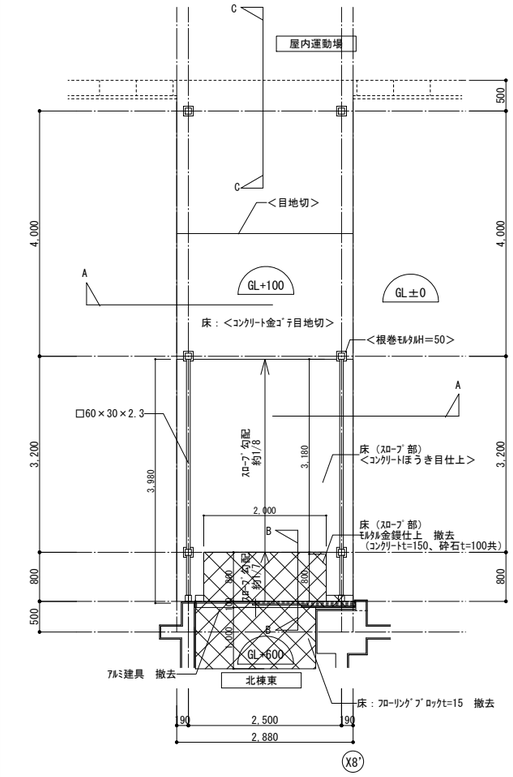
< >　既設のまま示す

符号	外部仕上（改修前）	外部仕上（改修後）
a	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 目地切@2150	水洗い、劣化部補修、ｼｰﾗｰ処理の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設、目地：ｼｰﾘﾝｸﾞ（PU-2）20×20 新設
b	柱型・梁型：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	水洗い、劣化部補修、下地調整材(C-1)の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設
c	上裏：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 目地切 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	水洗い、劣化部補修の上、ｼﾘｺﾝﾄｯﾌﾟｺｰﾄ新設
d	防水ﾓﾙﾀﾙ	水洗い、下地調整材(ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄ)塗布の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2） 新設
e	横引ﾄﾞﾚﾝ50φ 撤去	改修用ﾄﾞﾚﾝ 新設
f	VP100φ OP(支持金物@1000内外) 撤去	ｶﾗｰVP100φ（支持金物：SUS製@1000内外共)新設
f'	VP50φ OP(支持金物@1000内外) 撤去	ｶﾗｰVP50φ（支持金物：SUS製@1000内外共)新設
g	EXP.Jｶﾊﾞｰ：周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ（MS-2）15×15 撤去	EXP.J：周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ（MS-2）15×15 新設
h	ALCﾊﾟﾈﾙの上 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付	水洗い、劣化部補修、下地調整材(C-1)の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設 ﾊﾟﾈﾙ周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ15×15（PU-2）新設
i	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ仕上 GL+600迄	水洗い、劣化部補修
▨	ﾓﾙﾀﾙ撤去新設範囲を示す	ﾓﾙﾀﾙ新設範囲を示す
◁	ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	ｼｰﾘﾝｸﾞ新設

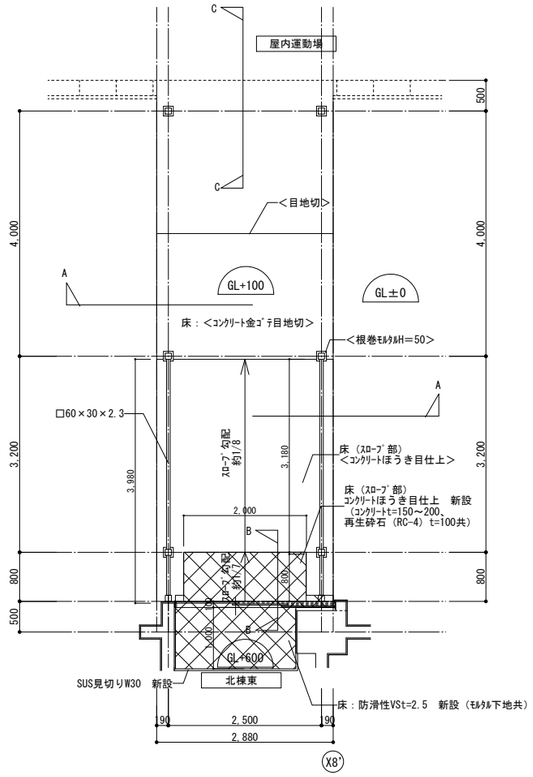
株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５-３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

設　計

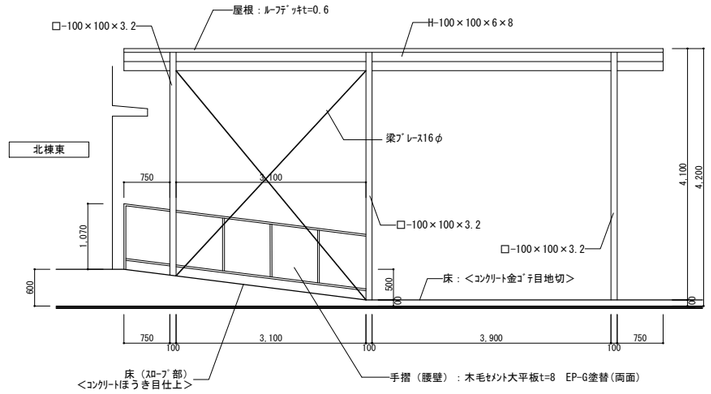
整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/50 A3 1/100	渡り廊下2　詳細図（改修前後）	A — 52



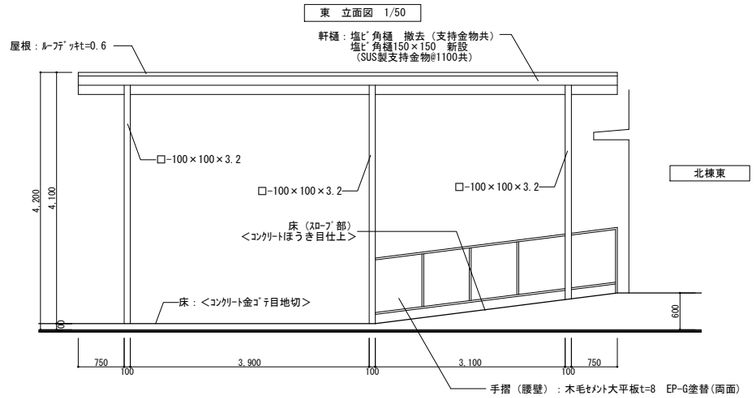
渡り廊下　平面図（改修前）　1/50



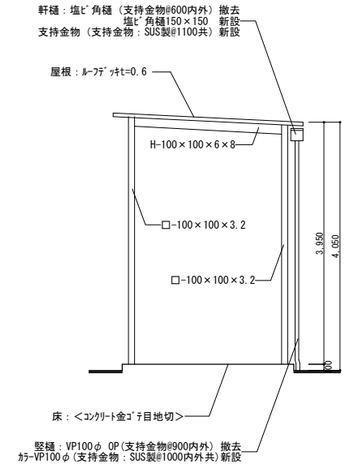
渡り廊下　平面図（改修後）　1/50



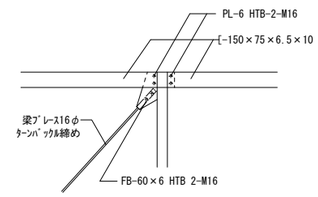
東　立面図　1/50



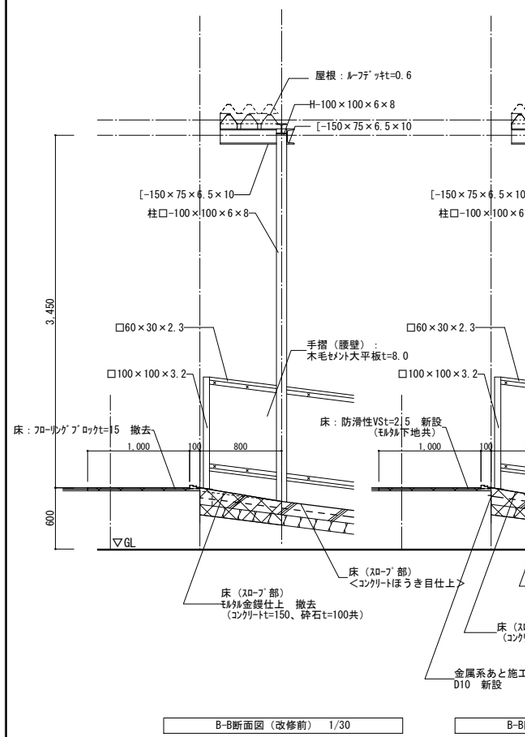
西　立面図　1/50



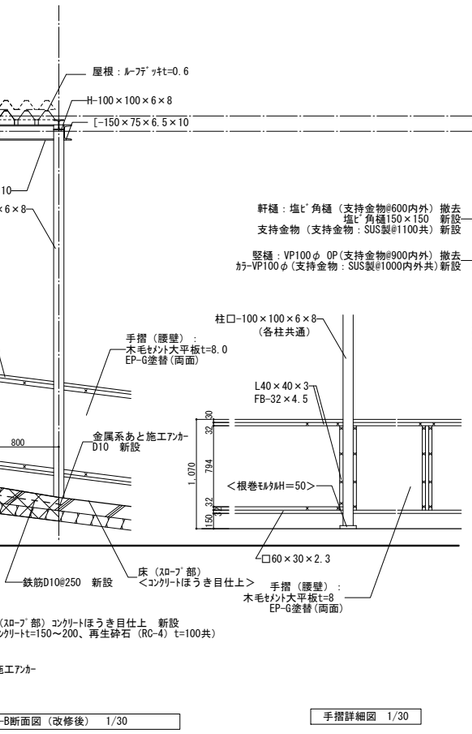
北　立面図　1/50



梁ﾌﾞﾚｰｽ詳細図　1/10

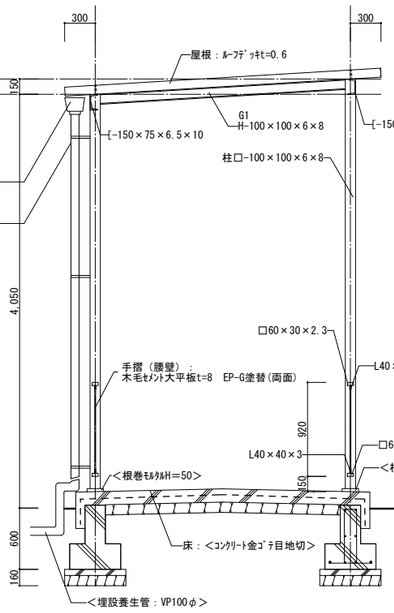


B-B断面図（改修前）　1/30

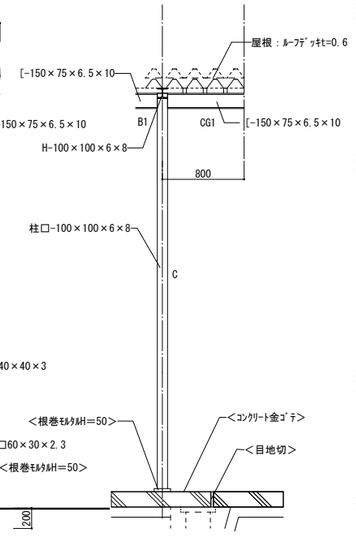


B-B断面図（改修後）　1/30

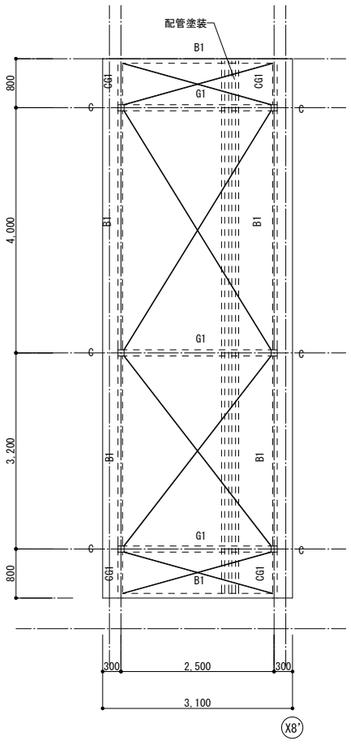
手摺詳細図　1/30



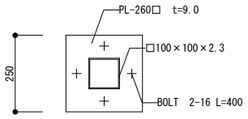
A-A断面図　1/30



C-C断面図　1/30



屋根伏図　1/50



手摺支柱柱脚部詳細図　1/10

柱　梁　リスト	
符　号	規　格
C	□-100×100×3.2
	H-100×100×6×8
CG1 B1	[-150×75×6.5×10
B2	[-125×65×6×8

【特記事項】

1. 特記なき限り鉄部はすべて水洗い、ｹﾚﾝ掛け（RB種）、下地調整錆止め塗装2回塗りの上、DP塗替（2回塗）とする。
2. 屋根：ﾙｰﾌﾃﾞｯｷt=0.6については両面塗装とする。
   ただし、取り外しは行わず、塗装可能な範囲で塗替とする。

凡例

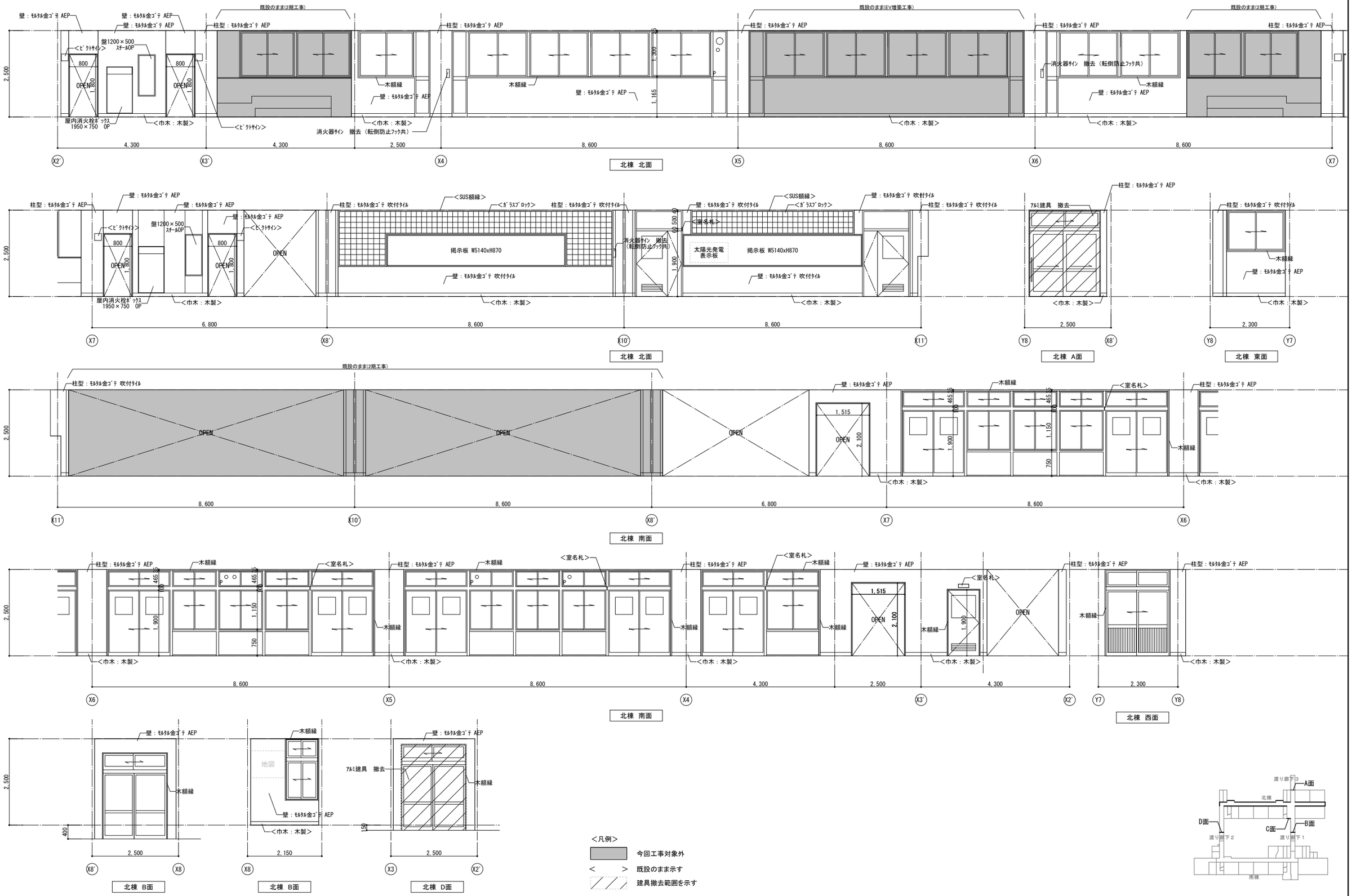
＜　　＞　既設のまま示す

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５－３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

設　計

整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/10,30,50 A3 1/20,60,100	渡り廊下3　詳細図	A　53

1階　廊下(北棟)　展開図(改修前)　1/50



＜凡例＞

今回工事対象外

＜　＞　既設のまま示す

建具撤去範囲を示す

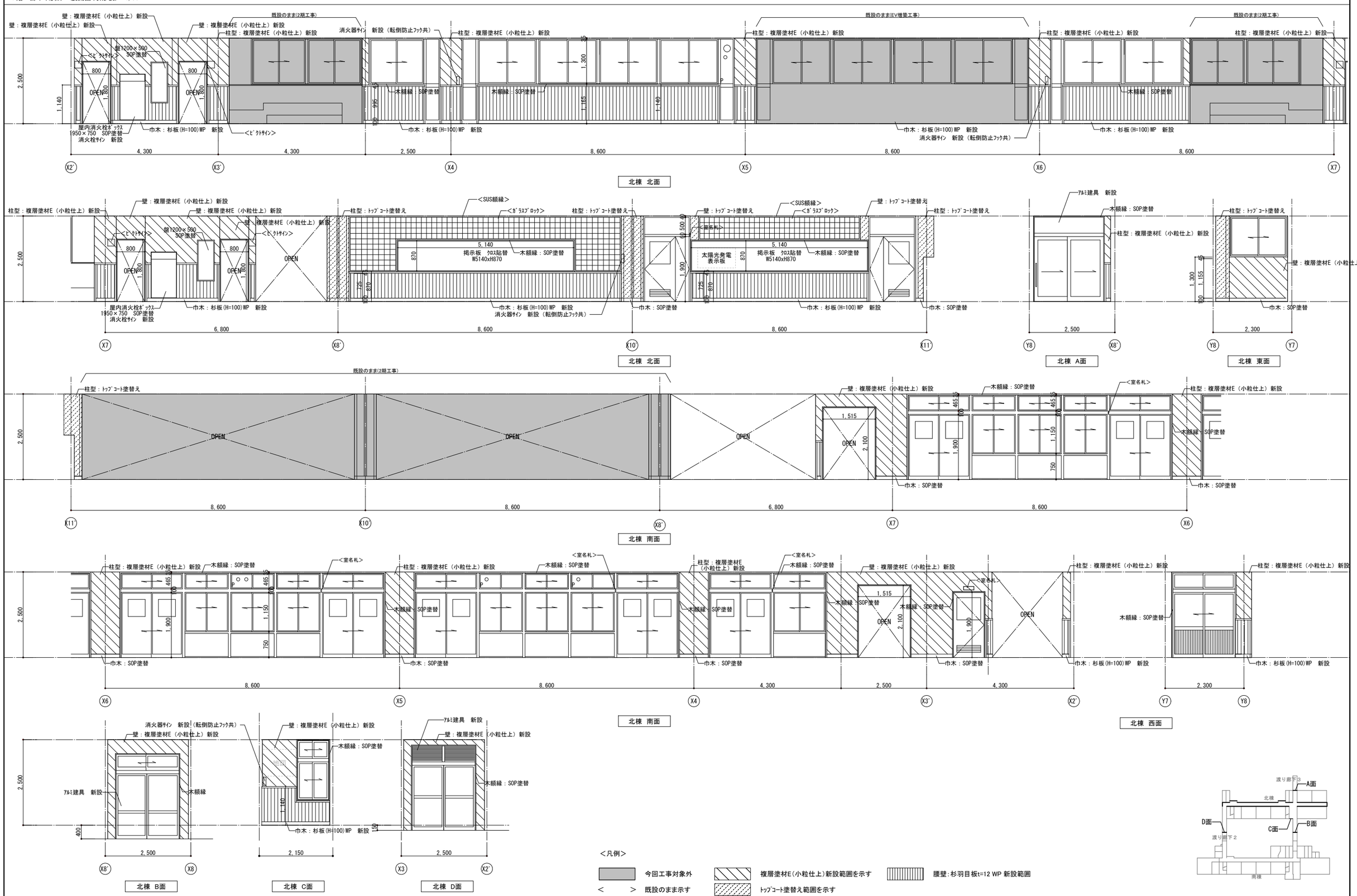
・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５－３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

設　計

整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/50 A3 1/100	１階廊下（北棟）　展開図（改修前）	A — 54

1階　廊下(北棟)　展開図(改修後)　1/50



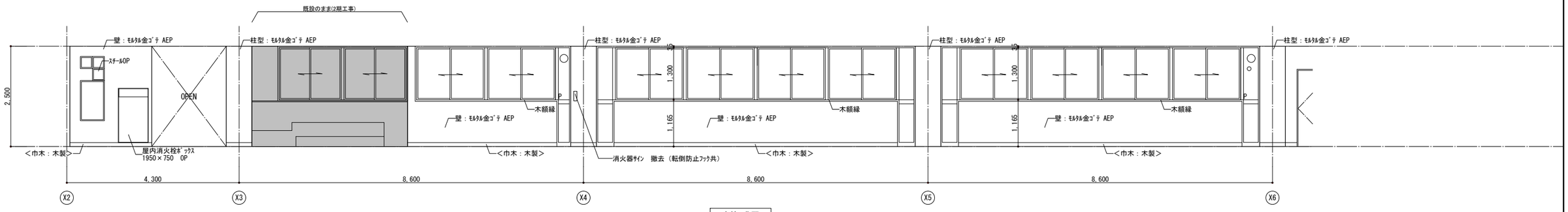
・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５-３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

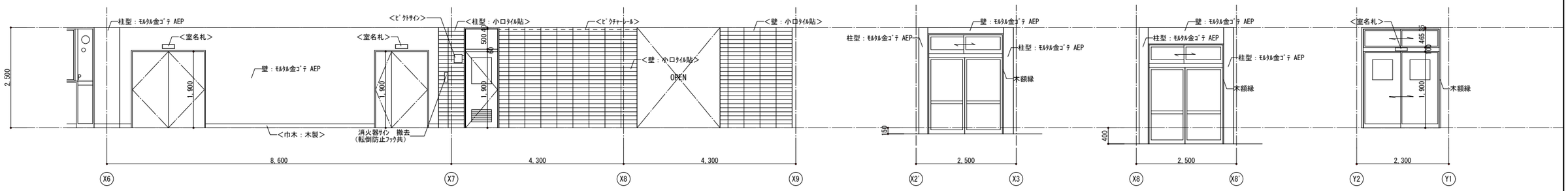
設　計

整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/50 A3 1/100	１階廊下（北棟）　展開図（改修後）	A — 55

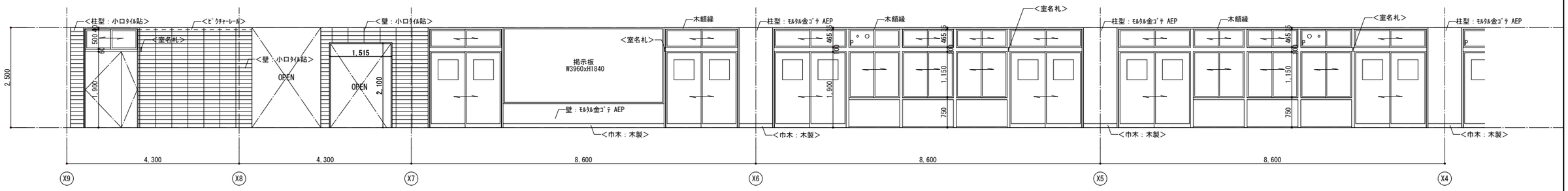
1階　廊下(南棟)　展開図(改修前)　1/50



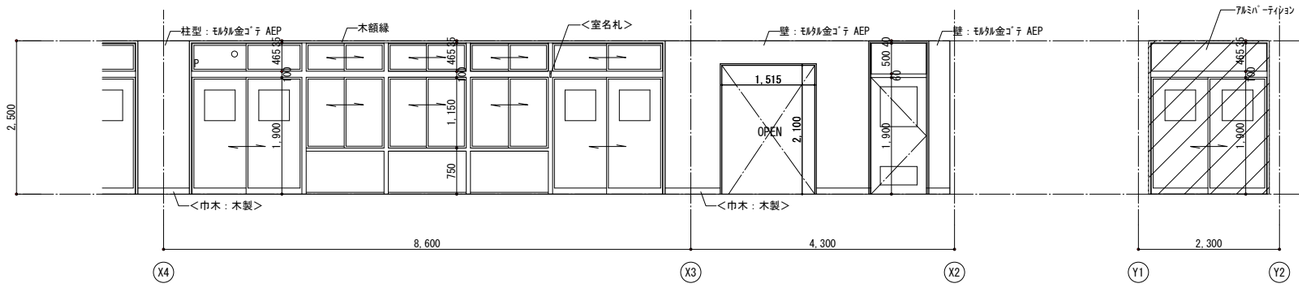
南棟　北面



南棟　北面　　南棟　A面　　南棟　A面　　南棟　東面

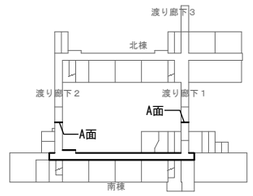


南棟　南面



南棟　南面

南棟　西面



<凡例>

今回工事対象外

< >　既設のまま示す

建具撤去範囲を示す

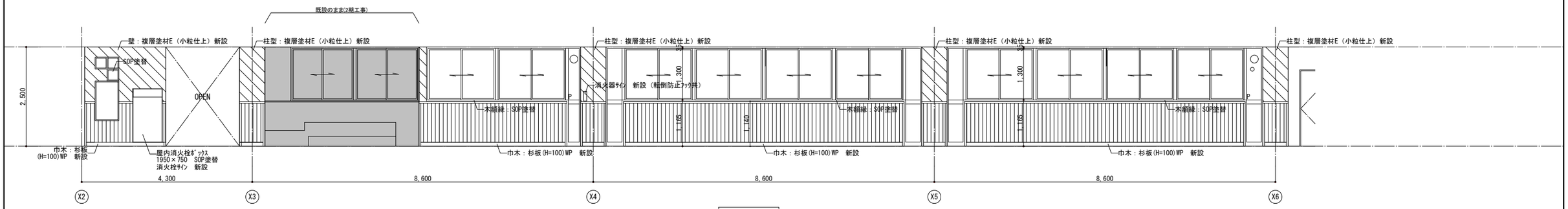
・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和1丁目15-30　TEL(052)618-8211　FAX(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

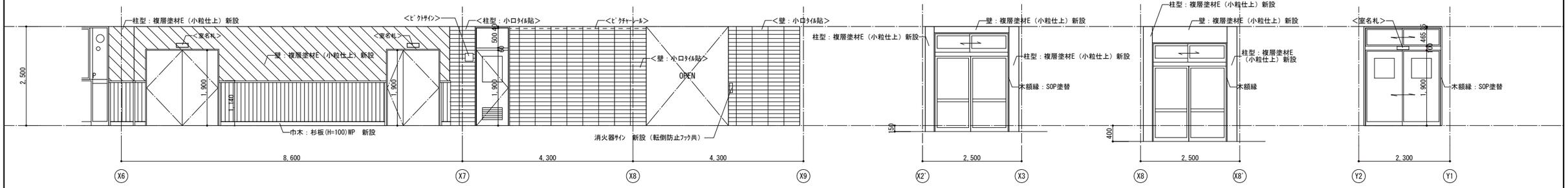
設　計

整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/50 A3 1/100	１階廊下（南棟）　展開図（改修前）	A — 56

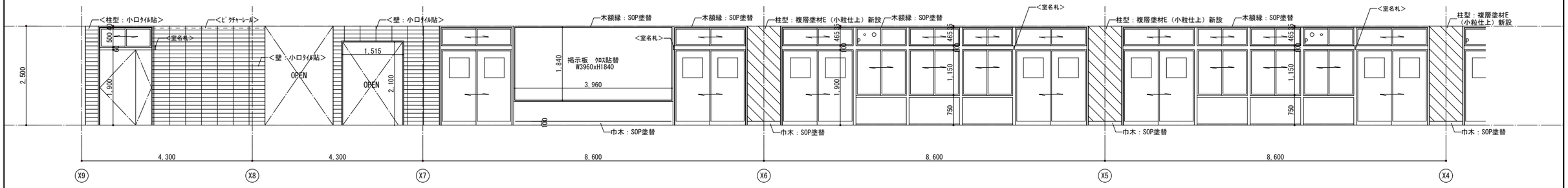
1階　廊下(南棟)　展開図(改修後)　1/50



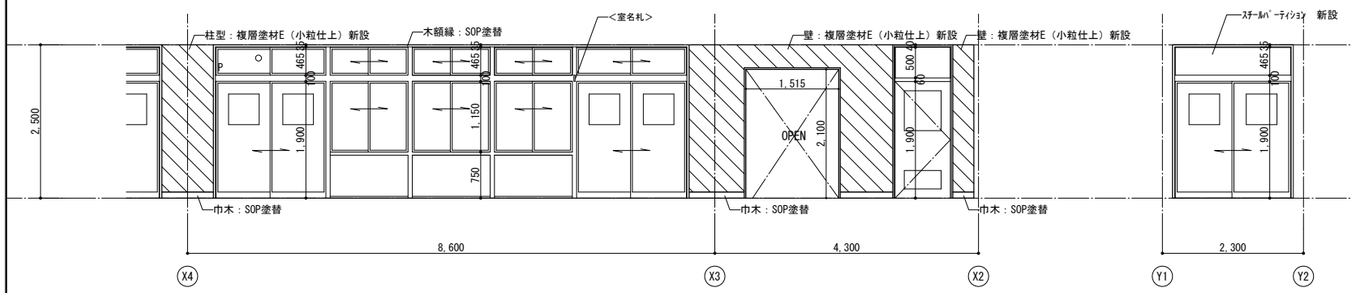
南棟　北面



南棟　北面　　南棟　A面　　南棟　A面　　南棟　東面

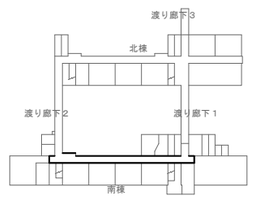


南棟　南面



南棟　南面

南棟　西面



<凡例>

今回工事対象外　　複層塗材E(小粒仕上)新設範囲を示す　　腰壁:杉羽目板t=12 WP 新設範囲

<　　>　既設のまま示す

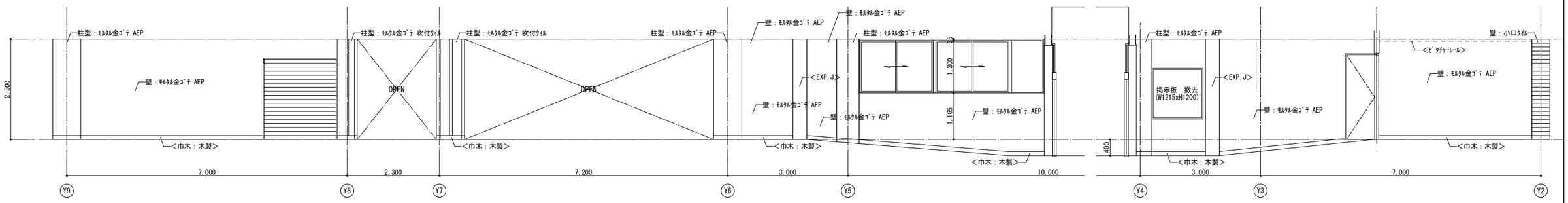
・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５-３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

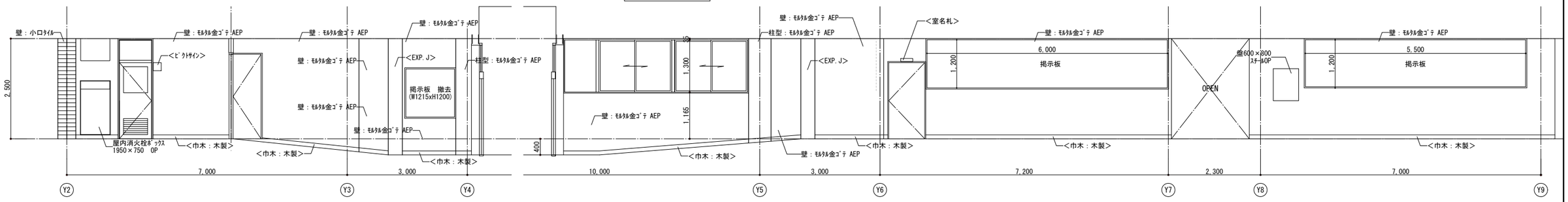
設　計

整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/50 A3 1/100	１階廊下（南棟）　展開図（改修後）	A — 57

1階　渡り廊下１　展開図(改修前)　1/50

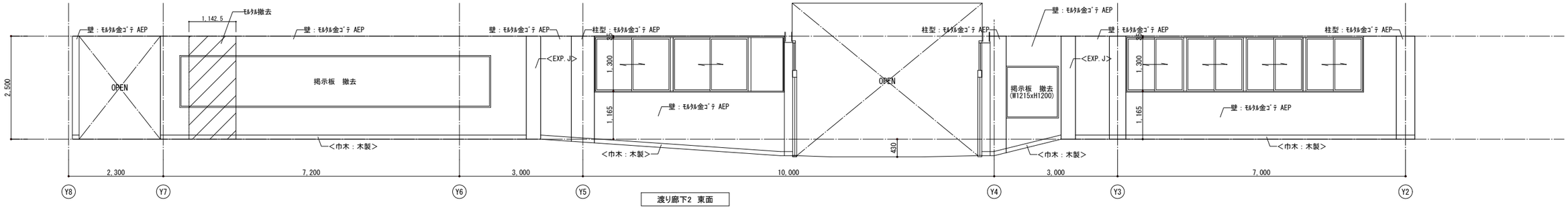


渡り廊下1　東面

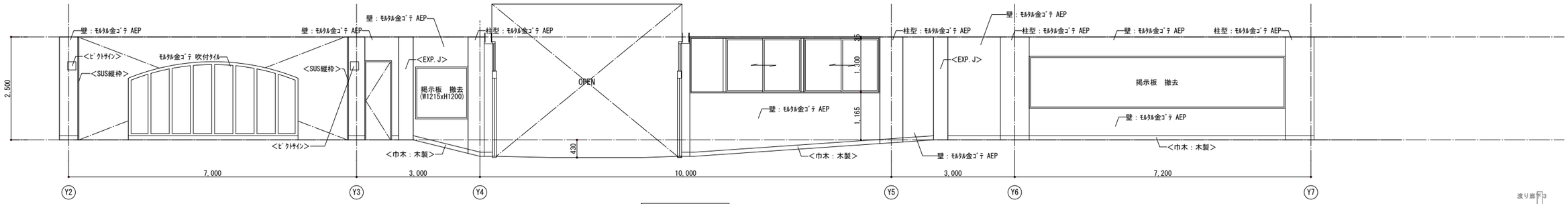


渡り廊下1　西面

1階　渡り廊下２　展開図(改修前)　1/50



渡り廊下2　東面



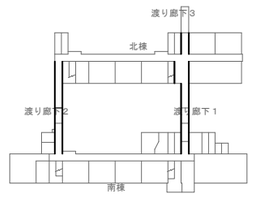
渡り廊下2　西面

＜凡例＞

今回工事対象外

＜　＞　既設のまま示す

モルタル撤去範囲を示す



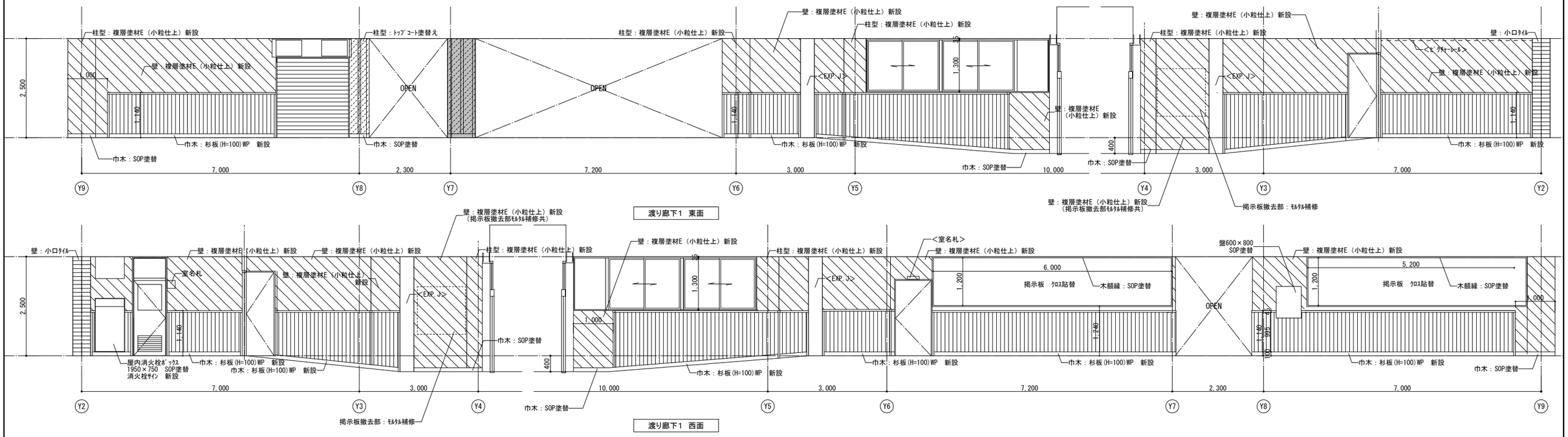
・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５-３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

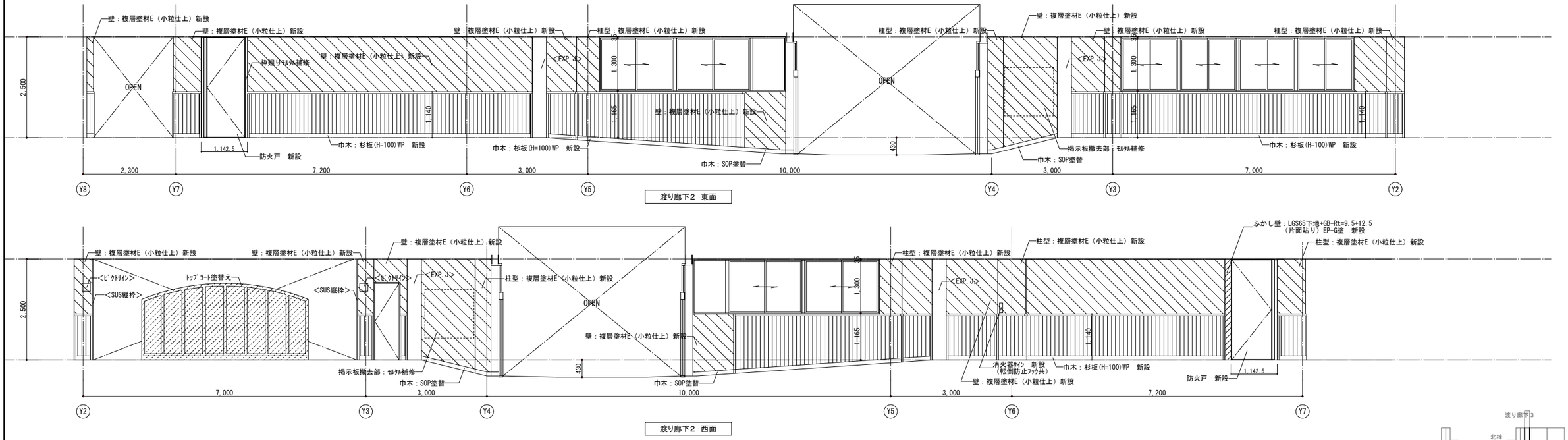
設　計

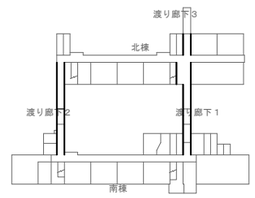
整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/50 A3 1/100	１階渡り廊下　展開図（改修前）	A — 58

1階　渡り廊下１　展開図(改修後)　1/50



1階　渡り廊下２　展開図(改修後)　1/50





＜凡例＞

- 今回工事対象外
- 複層塗材E(小粒仕上)新設範囲を示す
- 腰壁:杉羽目板t=12 WP 新設範囲
- ＜　＞ 既設のまま示す
- ﾄｯﾌﾟｺｰﾄ塗替え範囲を示す
- ふかし壁新設範囲を示す

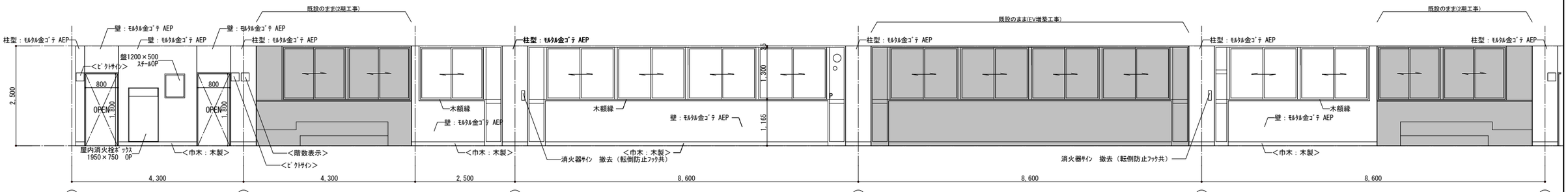
・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５－３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

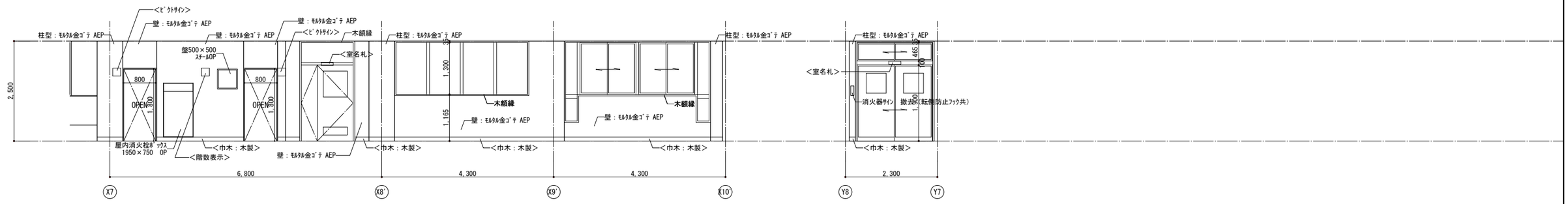
設　計

整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/50 A3 1/100	１階渡り廊下　展開図（改修後）	A — 59

2階　廊下(北棟)　展開図(改修前)　1/50

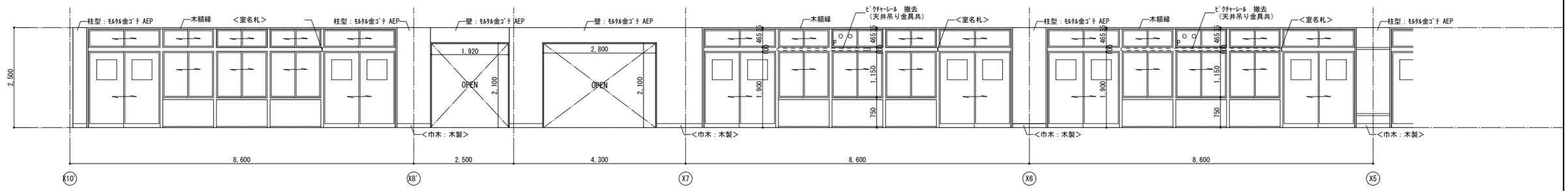


北棟　北面

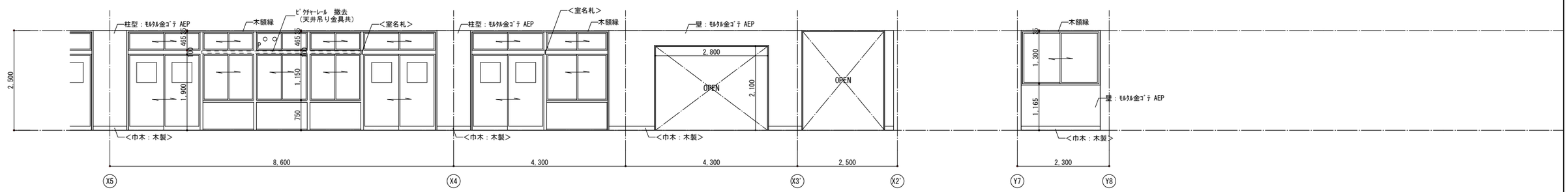


北棟　北面

北棟　東面

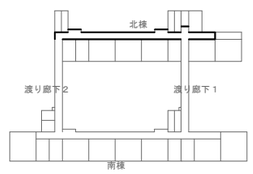


北棟　南面



北棟　南面

北棟　西面



＜凡例＞

今回工事対象外

＜　　＞　既設のまま示す

・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５－３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

設　計

整理番号

年 月 日

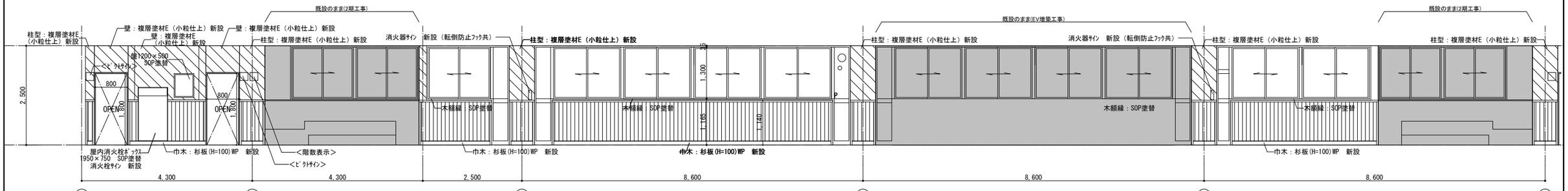
縮　尺　A1 1/50　A3 1/100

今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事

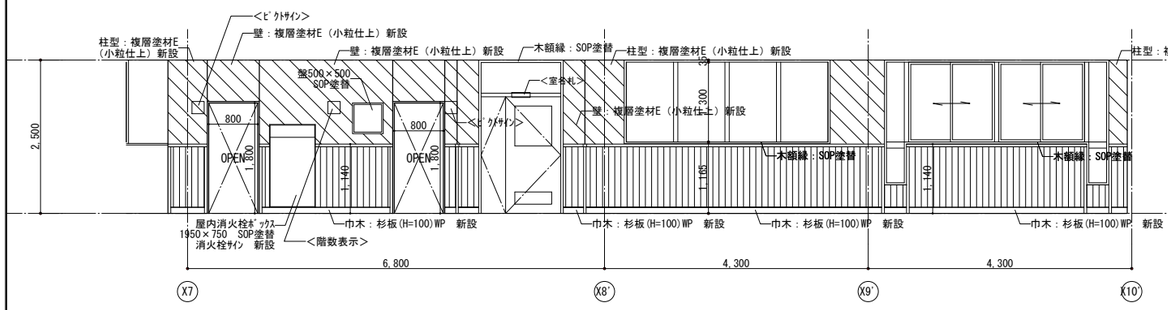
２階廊下（北棟）　展開図（改修前）

NO. A — 60

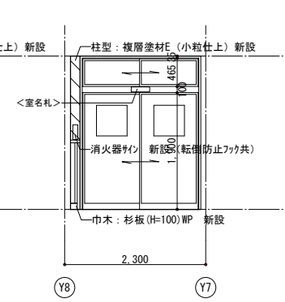
2階　廊下(北棟)　展開図(改修後)　1/50



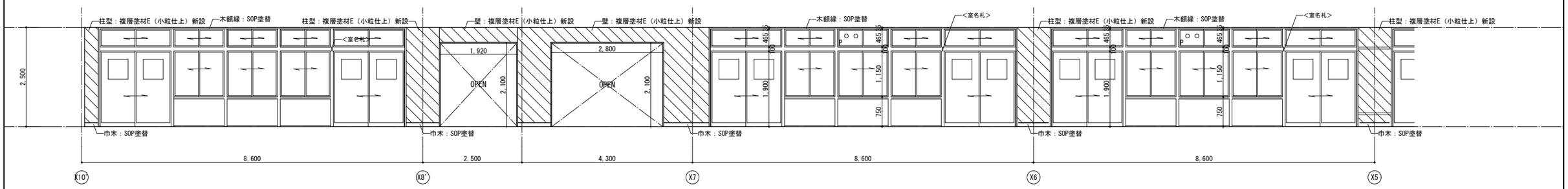
北棟　北面



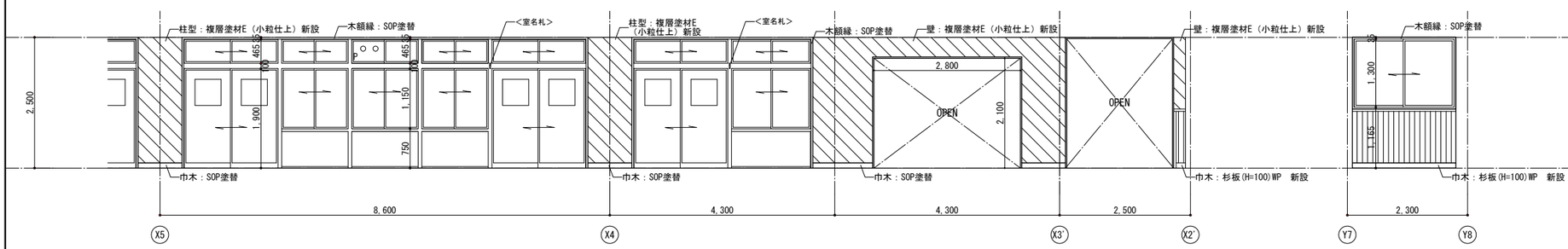
北棟　北面



北棟　東面

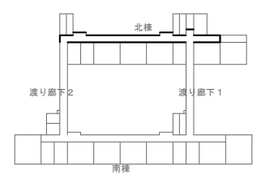


北棟　南面



北棟　南面

北棟　西面



＜凡例＞

今回工事対象外　　複層塗材E(小粒仕上)新設範囲を示す　　腰壁:杉羽目板t=12 WP 新設範囲

＜　＞ 既設のまま示す

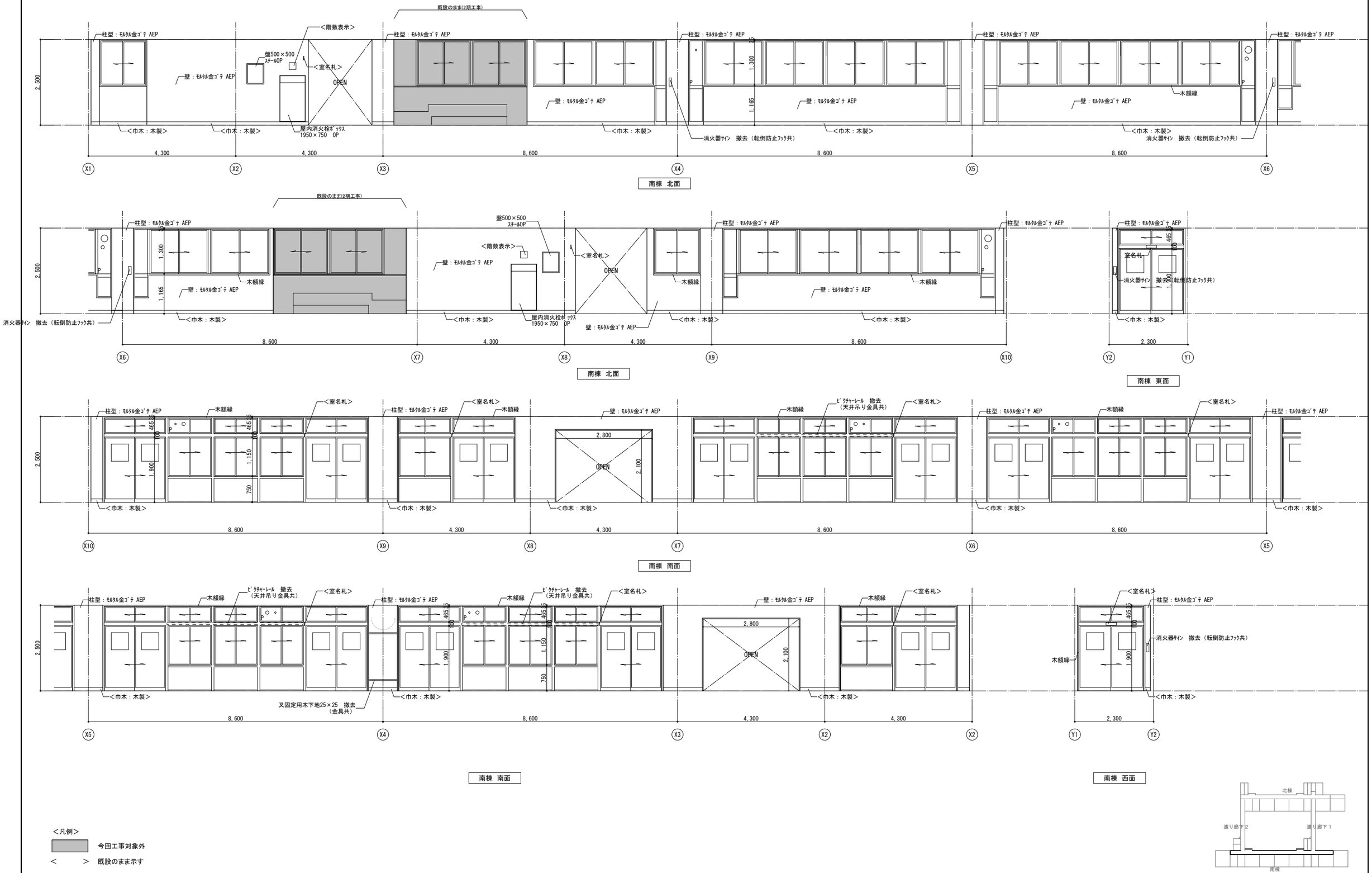
・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５－３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

設　計

整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/50 A3 1/100	２階廊下（北棟）　展開図（改修後）	A — 61

2階　廊下(南棟)　展開図(改修前)　1/50



<凡例>

今回工事対象外

<　　> 既設のまま示す

・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５－３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

設　計

整理番号

年 月 日

縮　尺

A1 1/50

A3 1/100

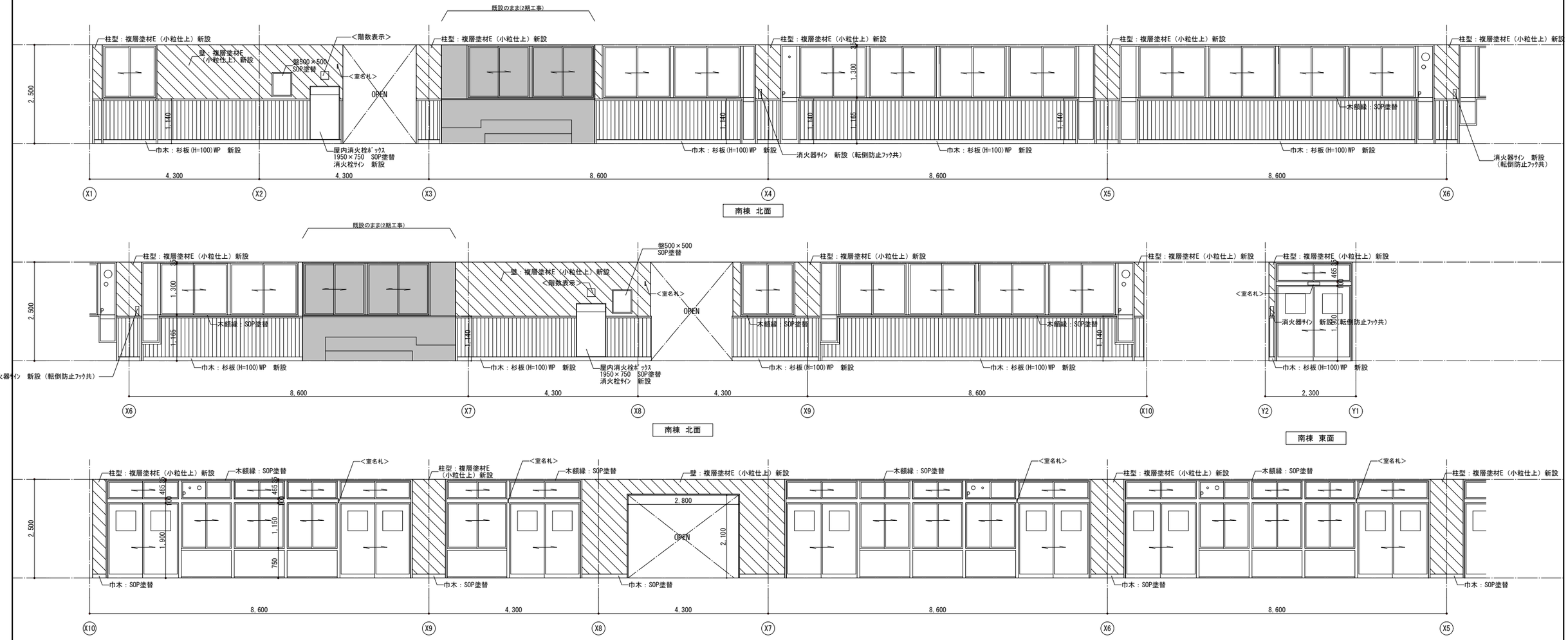
今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事

２階廊下（南棟）　展開図（改修前）

NO.

A — 62

2階　廊下(南棟)　展開図(改修後)　1/50

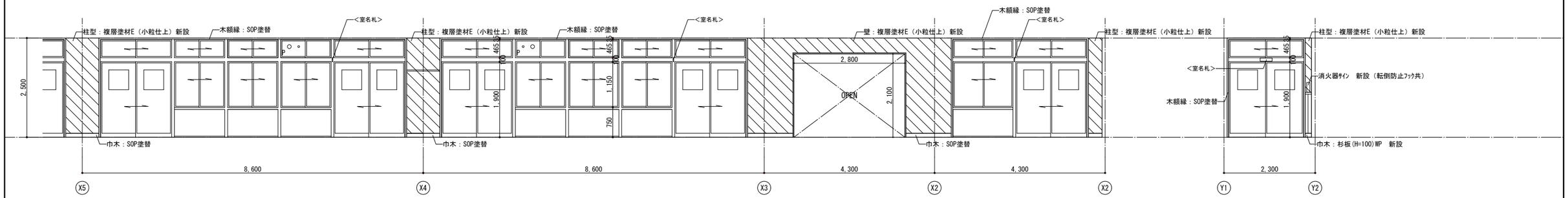


南棟　北面

南棟　北面

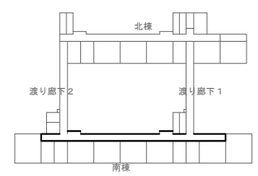
南棟　東面

南棟　南面



南棟　南面

南棟　西面



＜凡例＞

今回工事対象外　　複層塗材E(小粒仕上)新設範囲を示す　　腰壁:杉羽目板t=12 WP 新設範囲

＜　＞　既設のまま示す

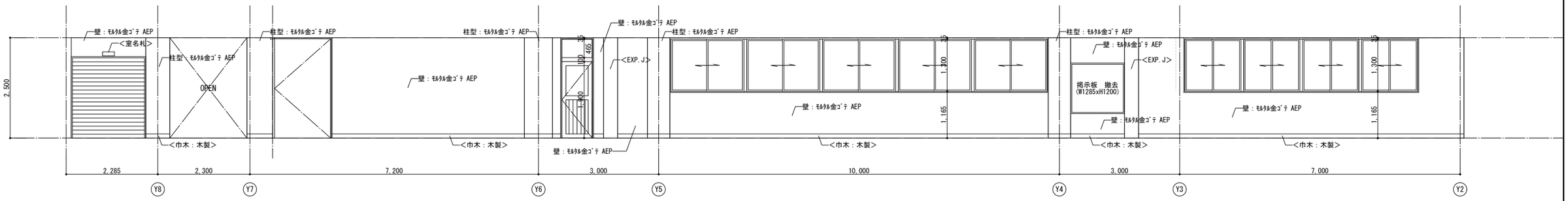
・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５－３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

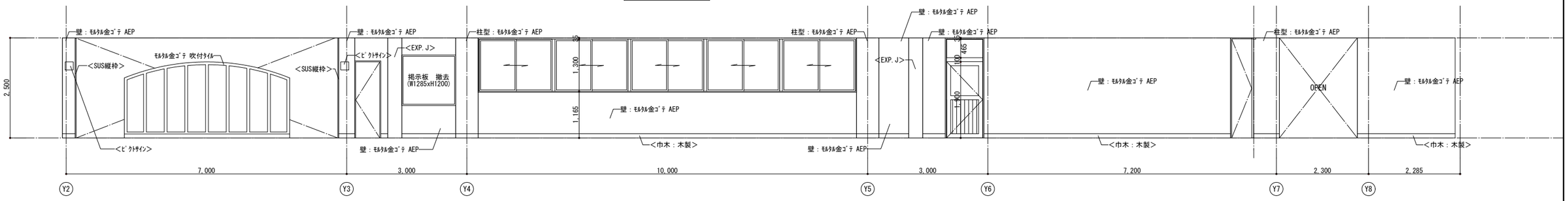
設　計

整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/50 A3 1/100	２階廊下（南棟）　展開図（改修後）	A — 63

2階　渡り廊下１　展開図(改修前)　1/50

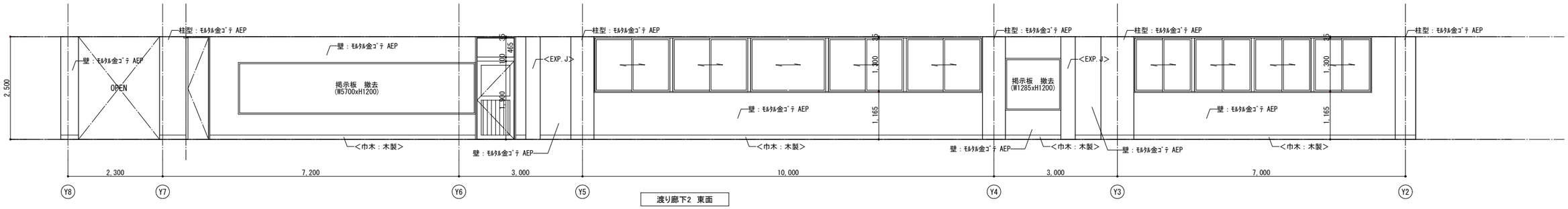


渡り廊下1　東面

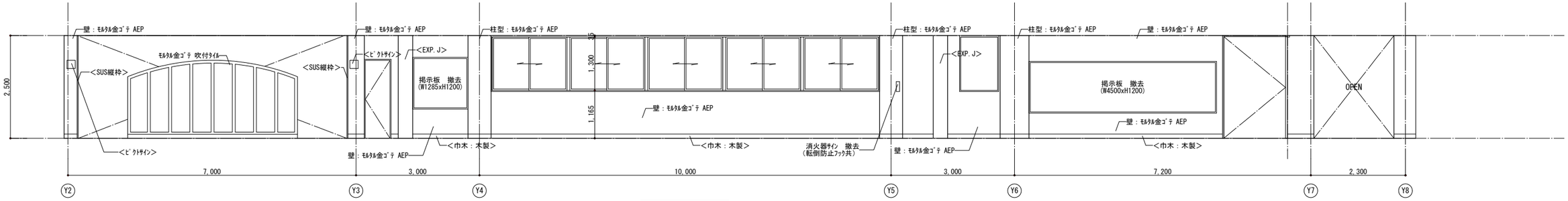


渡り廊下1　西面

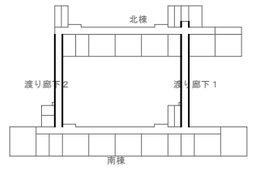
2階　渡り廊下２　展開図(改修前)　1/50



渡り廊下2　東面



渡り廊下2　西面



<凡例>

今回工事対象外

< >　既設のまま示す

・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５－３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

設　計

整理番号

年 月 日

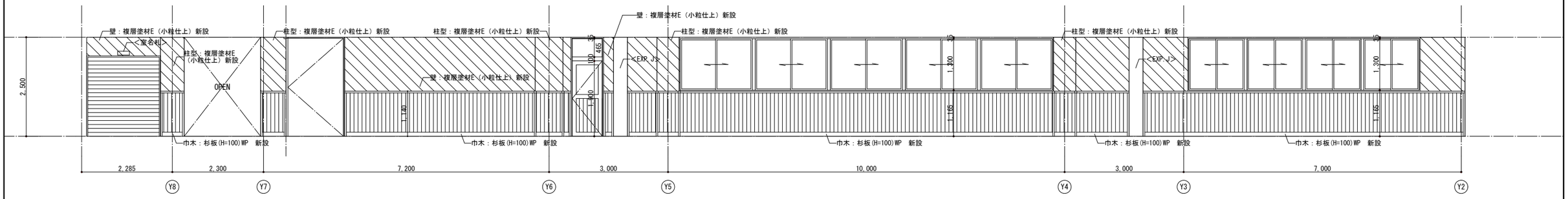
縮　尺
A1 1/50
A3 1/100

今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事

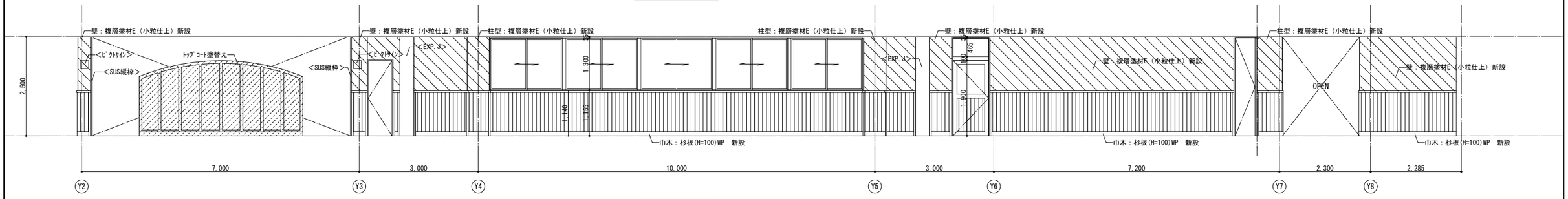
２階渡り廊下　展開図（改修前）

NO.
A — 64

2階　渡り廊下１　展開図(改修後)　1/50

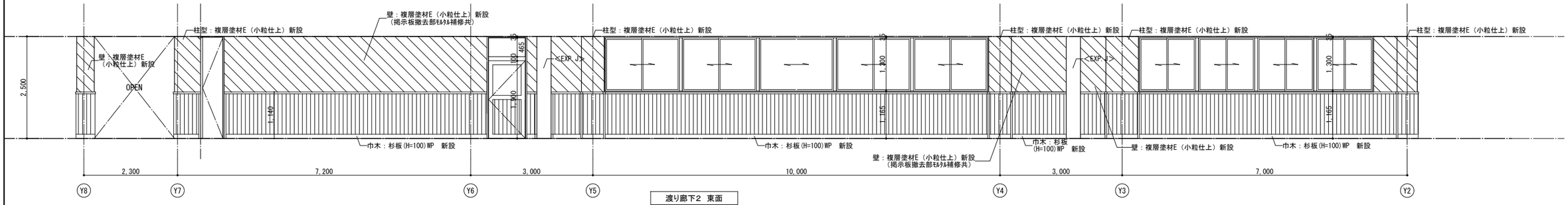


渡り廊下1　東面

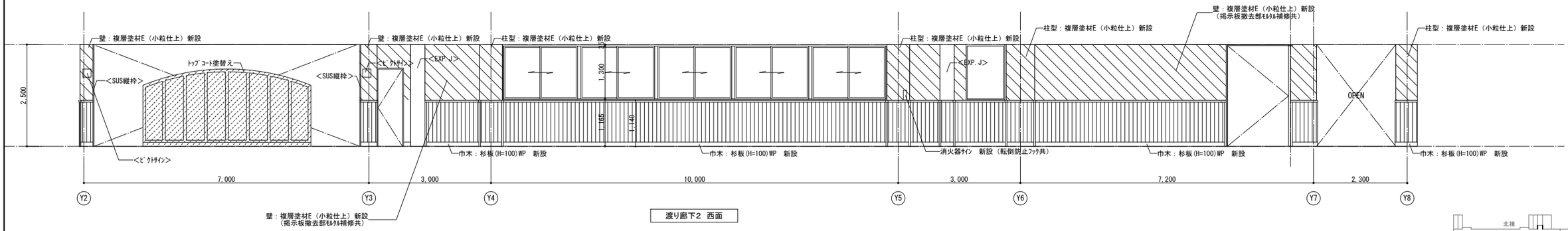


渡り廊下1　西面

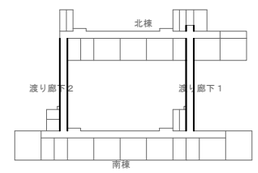
2階　渡り廊下２　展開図(改修後)　1/50



渡り廊下2　東面



渡り廊下2　西面



<凡例>

今回工事対象外

複層塗材E(小粒仕上)新設範囲を示す

腰壁:杉羽目板t=12 WP 新設範囲

< >　既設のまま示す

ﾄｯﾌﾟｺｰﾄ塗替え範囲を示す

・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５－３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

設　計

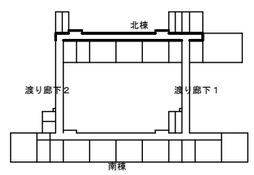
整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/50 A3 1/100	２階渡り廊下　展開図（改修後）	A — 65

3階　廊下(北棟)　展開図(改修前)　1/50

<凡例>

今回工事対象外

<　　>　既設のまま示す



・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５－３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

設　計

整理番号

年　月　日

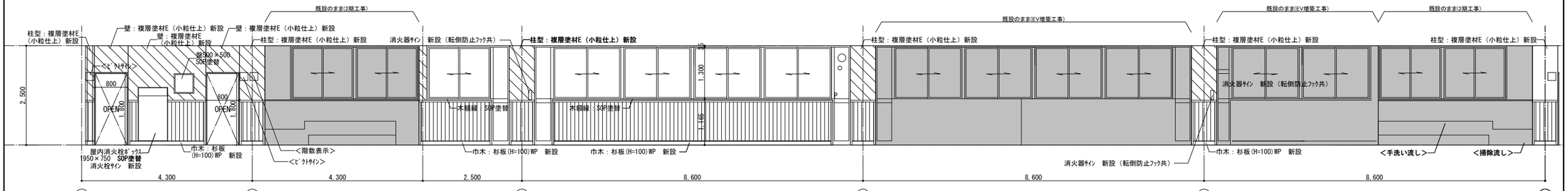
縮　尺　A1 1/50　A3 1/100

今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事

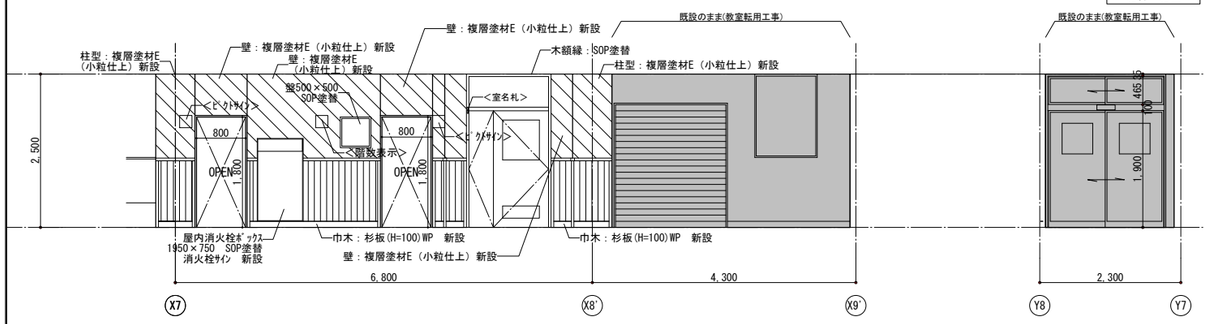
３階廊下（北棟）　展開図（改修前）

NO.　A — 66

3階　廊下(北棟)　展開図(改修後)　1/50

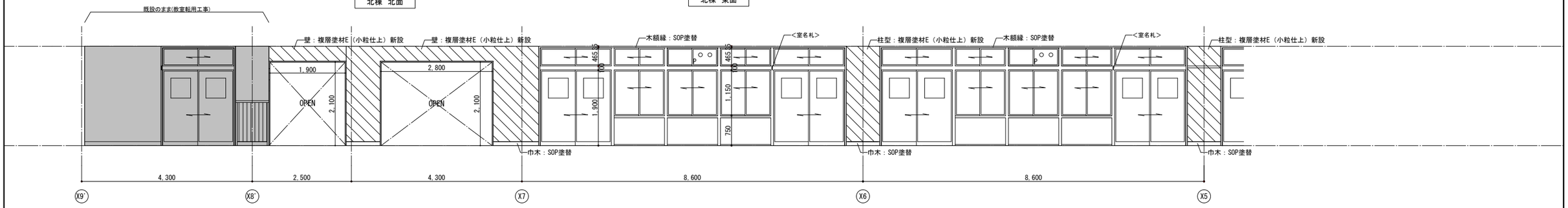


北棟　北面

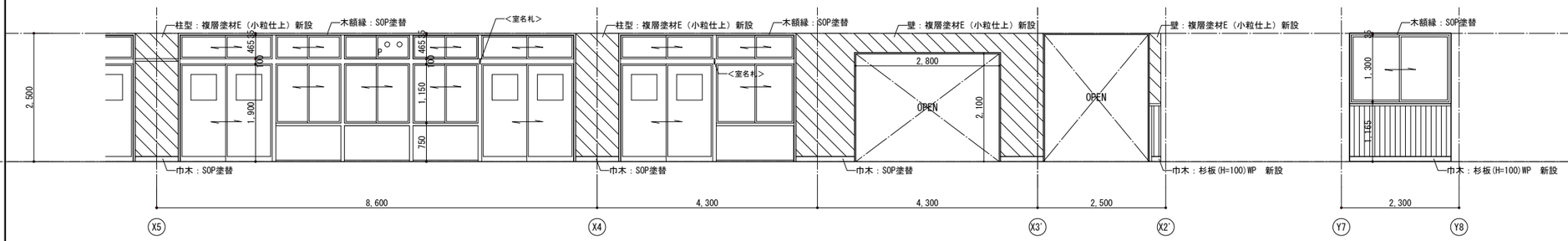


北棟　東面

北棟　北面

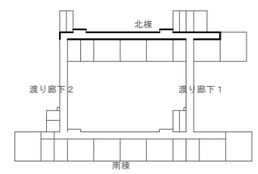


北棟　南面



北棟　南面

北棟　西面



<凡例>

今回工事対象外

複層塗材E(小粒仕上)新設範囲を示す

腰壁:杉羽目板t=12 WP 新設範囲

< >　既設のまま示す

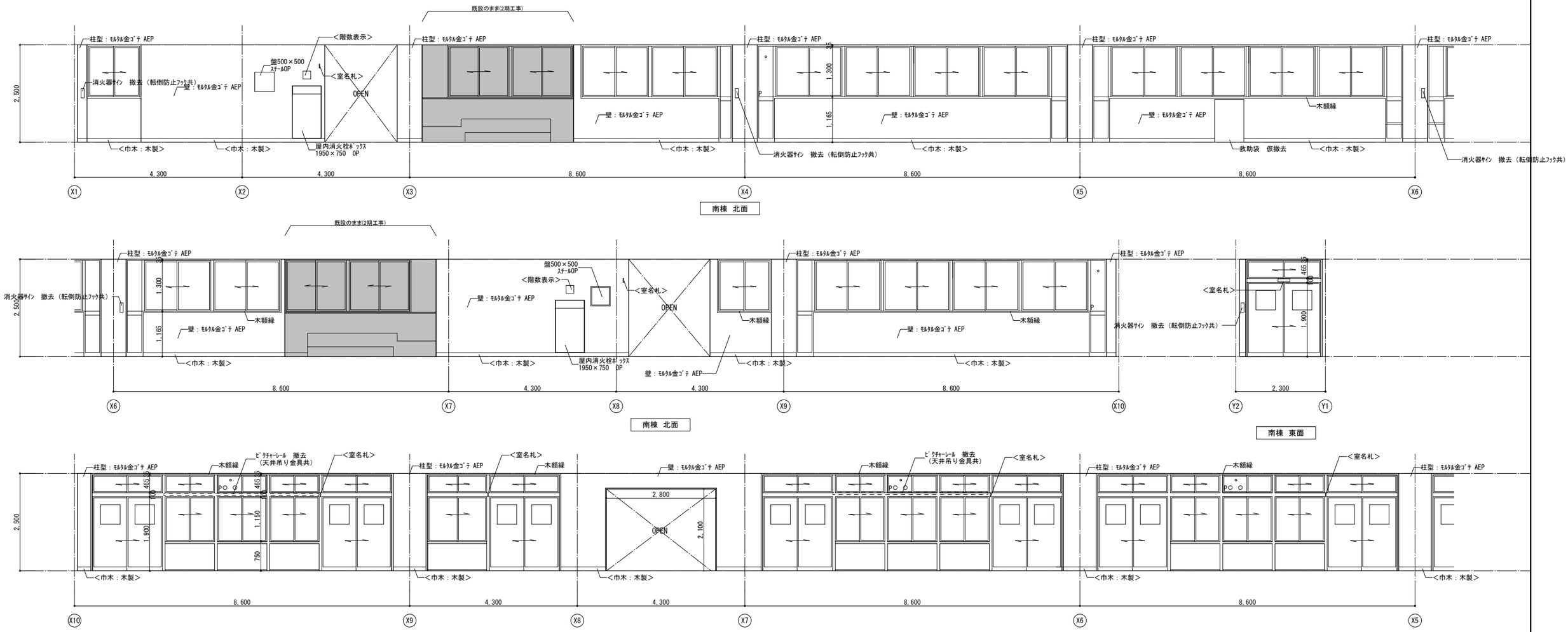
・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５-３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

設　計

整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/50 A3 1/100	３階廊下（北棟）　展開図（改修後）	A — 67

3階　廊下(南棟)　展開図(改修前)　1/50

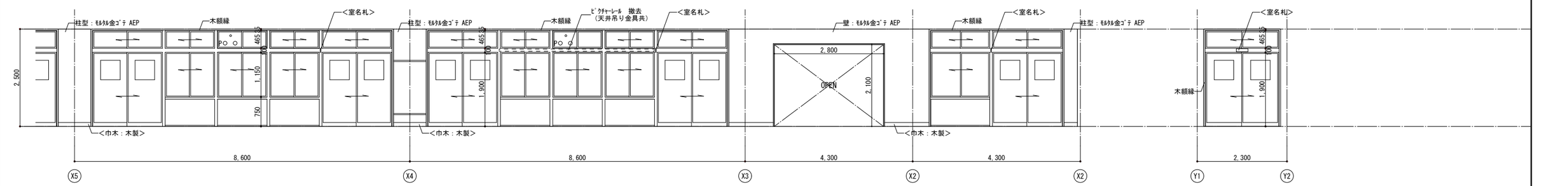


南棟　北面

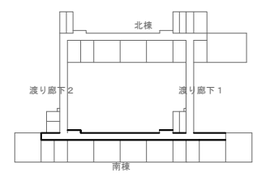
南棟　北面

南棟　東面

南棟　南面



南棟　西面



＜凡例＞

今回工事対象外

＜　＞　既設のまま示す

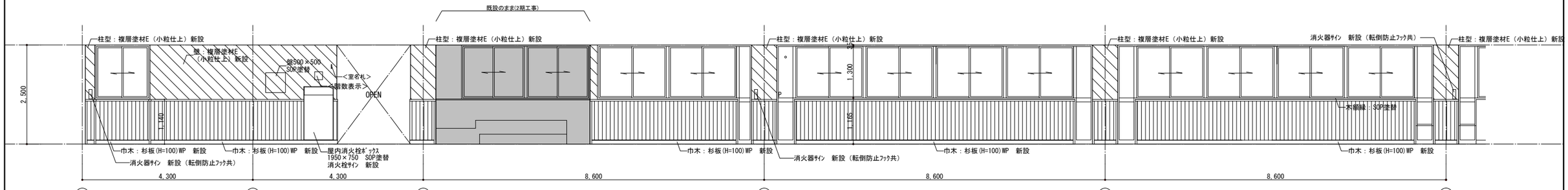
・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５－３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

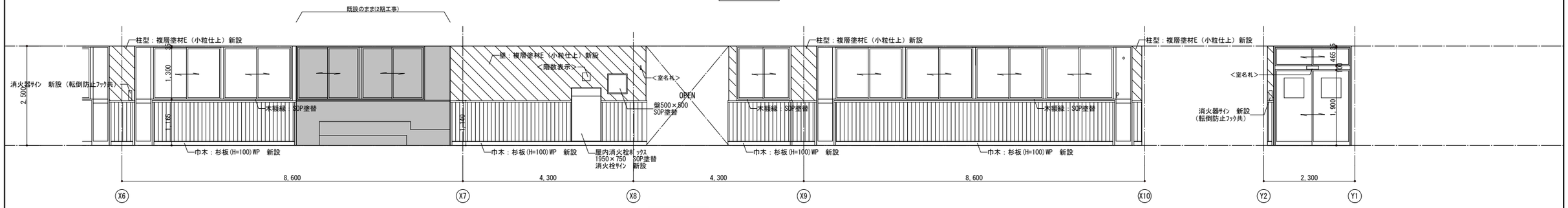
設　計

整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/50 A3 1/100	３階廊下（南棟）　展開図（改修前）	A — 68

3階　廊下(南棟)　展開図(改修後)　1/50

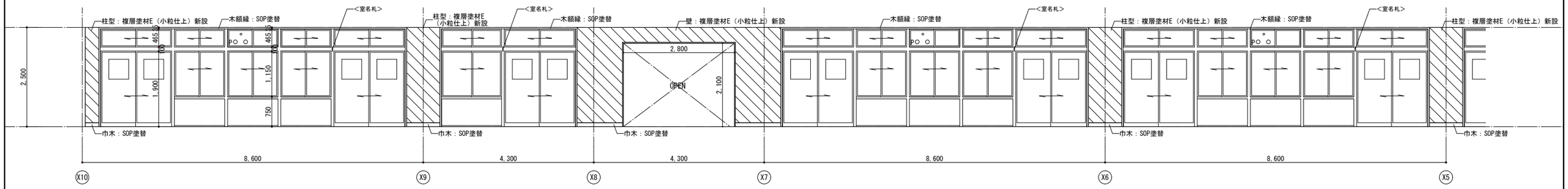


南棟　北面

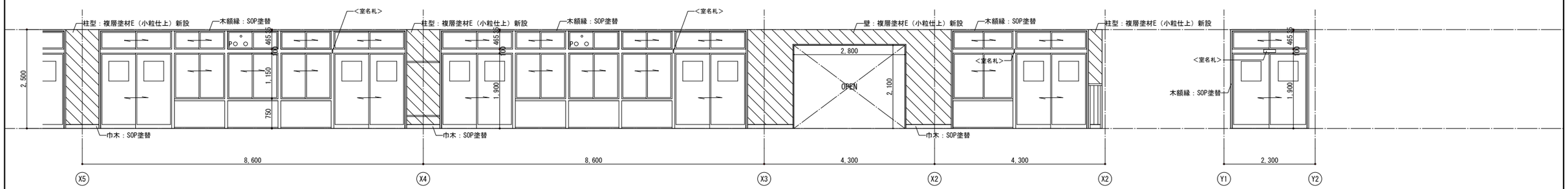


南棟　北面

南棟　東面

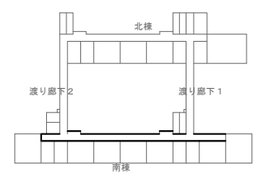


南棟　南面



南棟　南面

南棟　西面



<凡例>

今回工事対象外

複層塗材E(小粒仕上)新設範囲を示す

腰壁:杉羽目板t=12 WP 新設範囲

< > 既設のまま示す

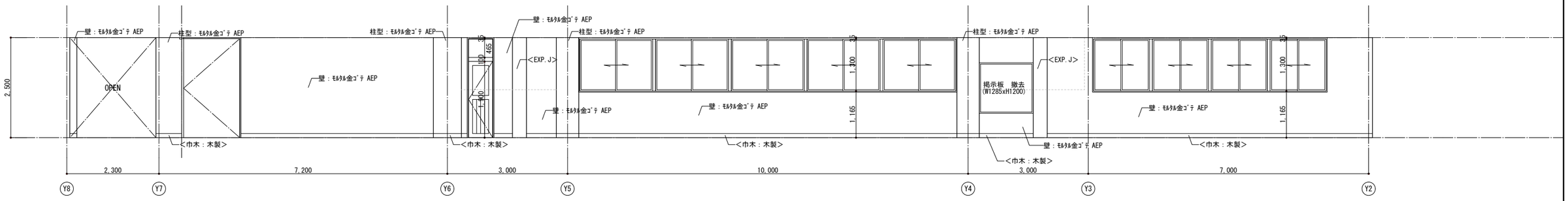
・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５－３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

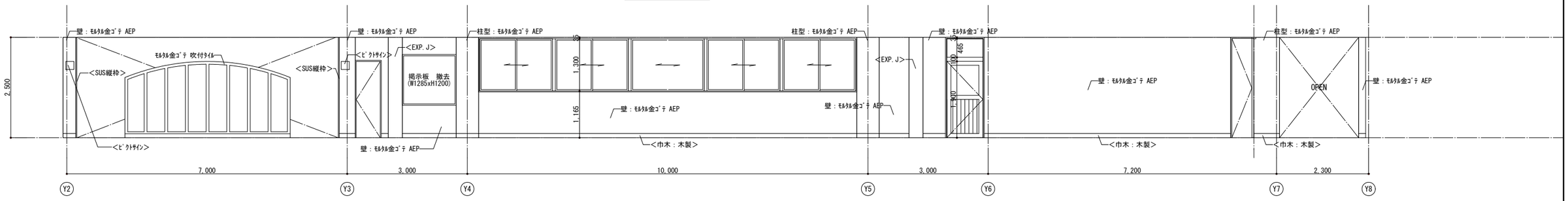
設　計

整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/50 A3 1/100	３階廊下（南棟）　展開図（改修後）	A — 69

3階　渡り廊下１　展開図(改修前)　1/50

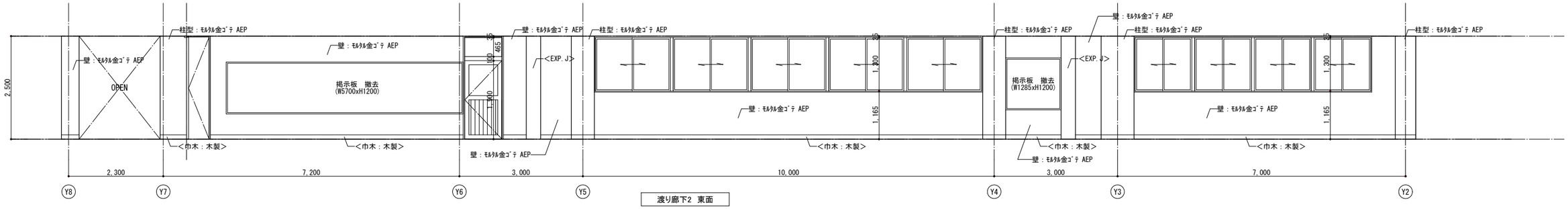


渡り廊下1　東面

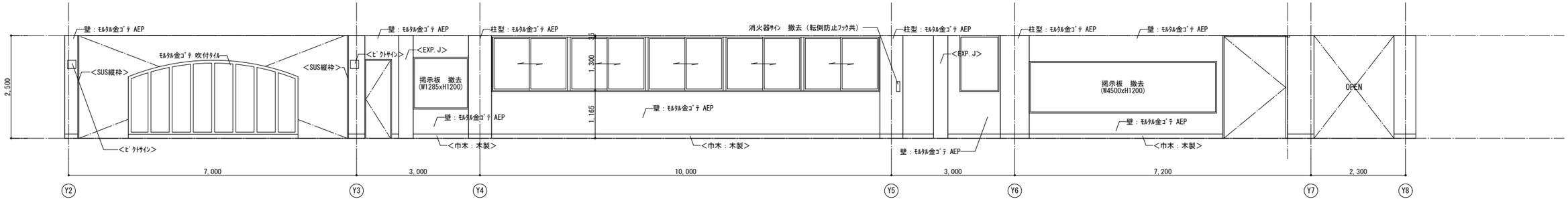


渡り廊下1　西面

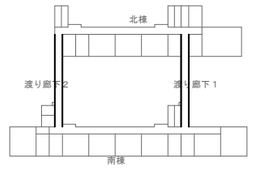
3階　渡り廊下２　展開図(改修前)　1/50



渡り廊下2　東面



渡り廊下2　西面



<凡例>

今回工事対象外

< >　既設のまま示す

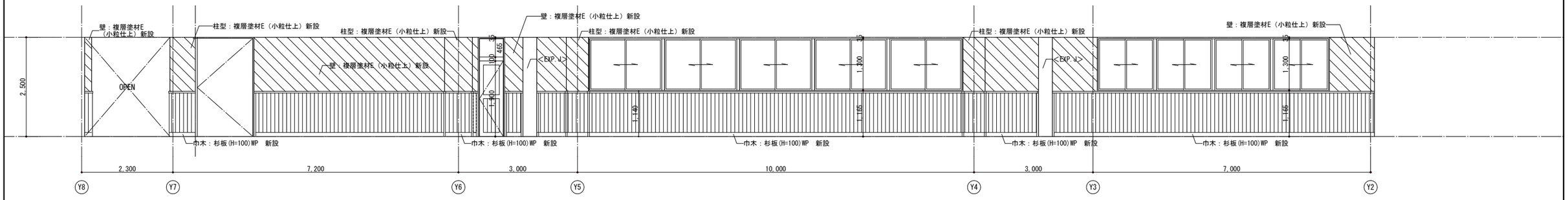
・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５-３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

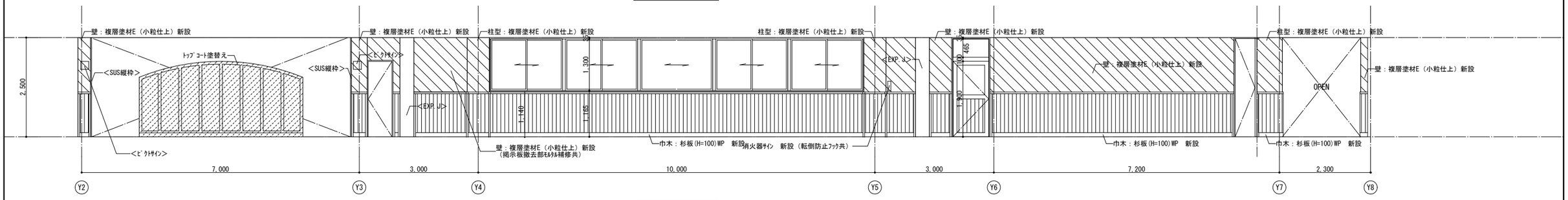
設　計

整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/50 A3 1/100	３階渡り廊下　展開図（改修前）	A — 70

3階　渡り廊下１　展開図(改修後)　1/50

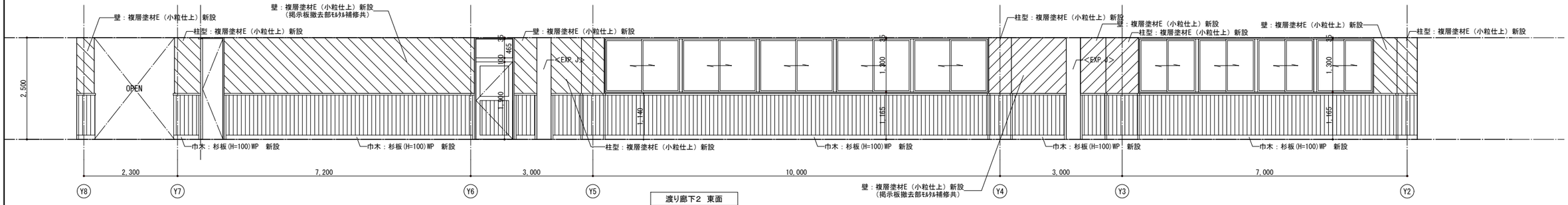


渡り廊下1　東面

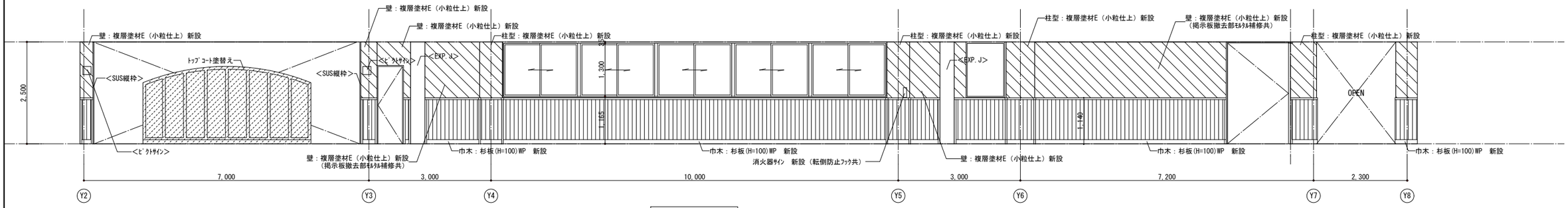


渡り廊下1　西面

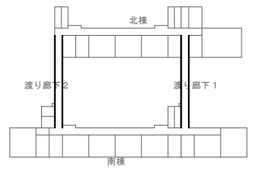
3階　渡り廊下２　展開図(改修後)　1/50



渡り廊下2　東面



渡り廊下2　西面



<凡例>

今回工事対象外

複層塗材E(小粒仕上)新設範囲を示す

腰壁:杉羽目板t=12 WP 新設範囲

< >　既設のまま示す

トップコート塗替え範囲を示す

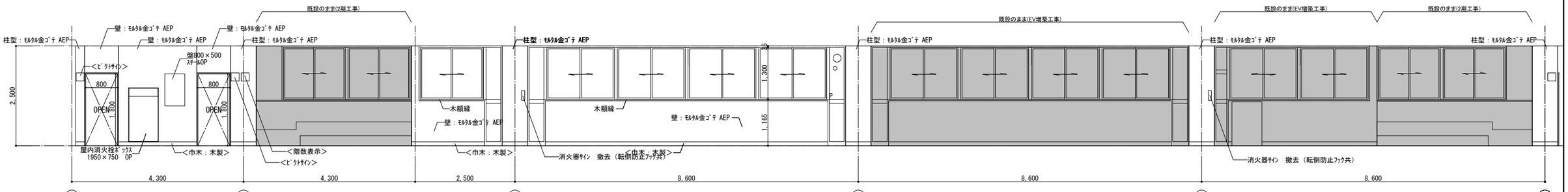
・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５-３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

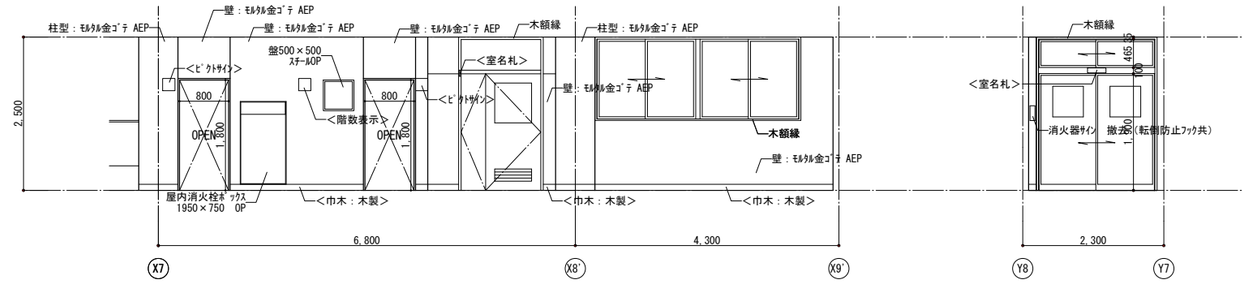
設　計

整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/50 A3 1/100	３階渡り廊下　展開図（改修後）	A — 71

4階　廊下(北棟)　展開図(改修前)　1/50

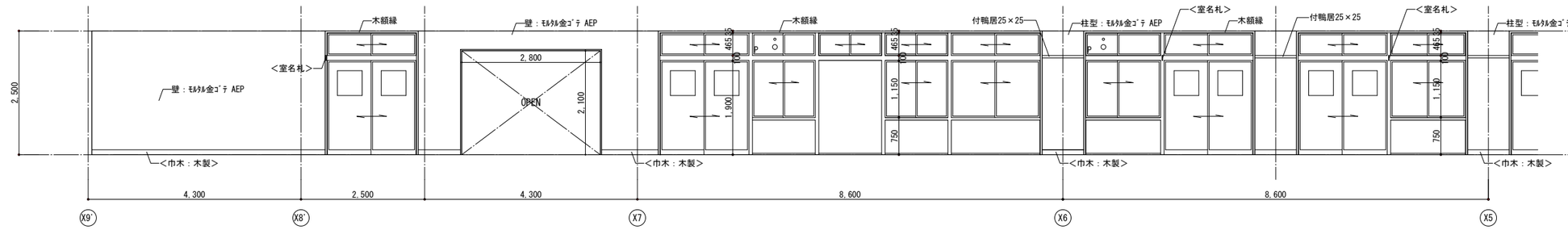


北棟　北面

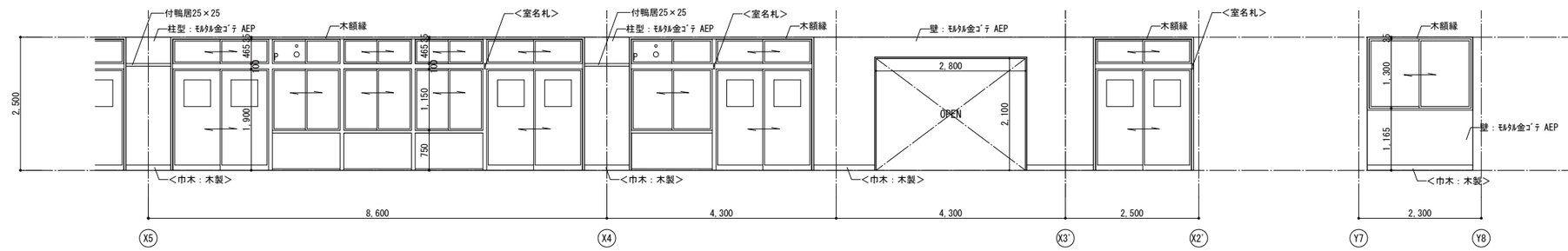


北棟　北面

北棟　東面

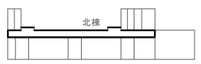


北棟　南面



北棟　南面

北棟　西面



＜凡例＞

今回工事対象外

＜　＞ 既設のまま示す

壁・建具撤去範囲を示す（別途工事）

・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５－３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

設　計

整理番号

年 月 日

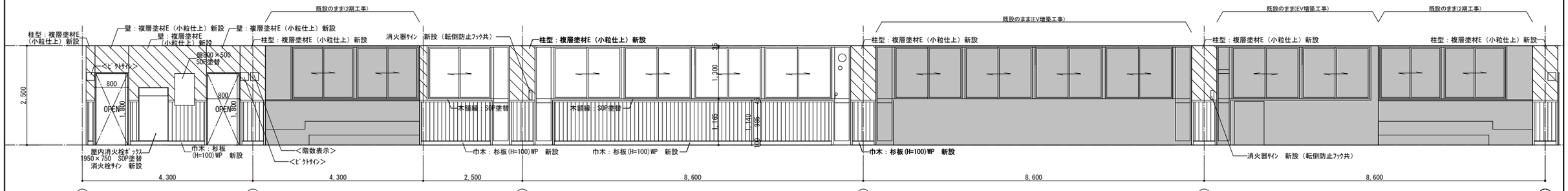
縮　尺　A1 1/50　A3 1/100

今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事

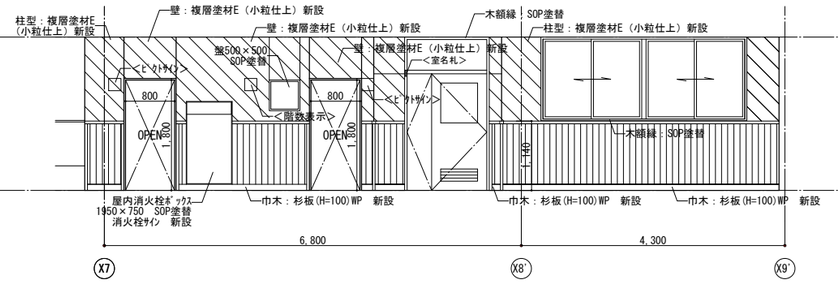
４階廊下（北棟）　展開図（改修前）

NO. A — 72

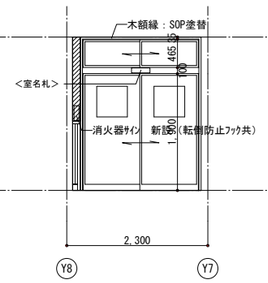
4階　廊下(北棟)　展開図(改修後)　1/50



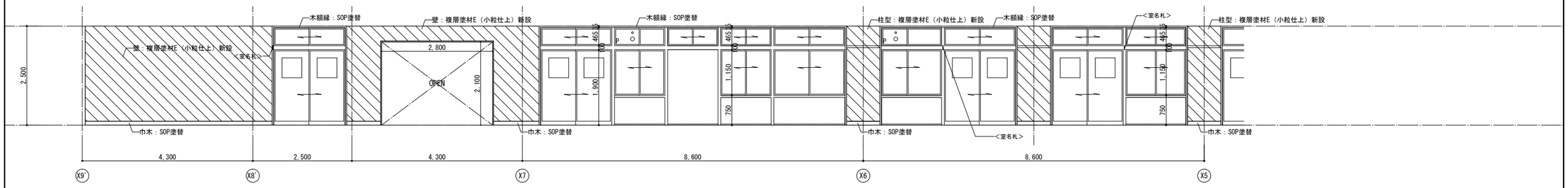
北棟　北面



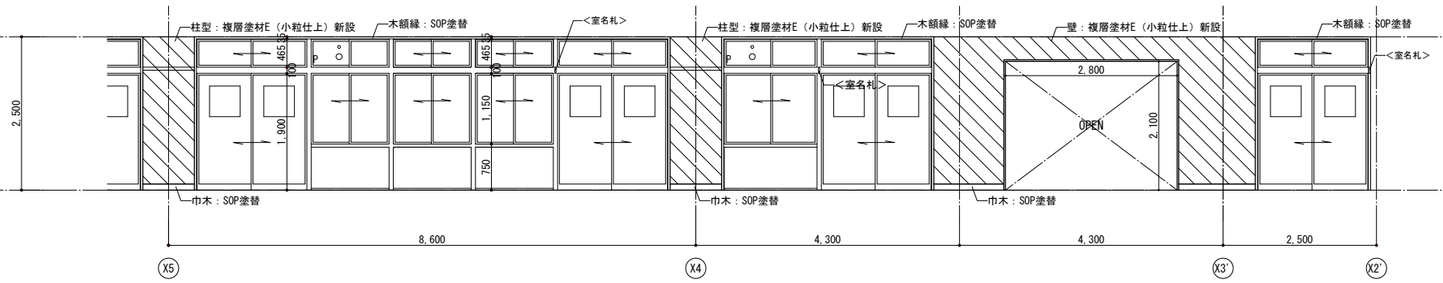
北棟　北面



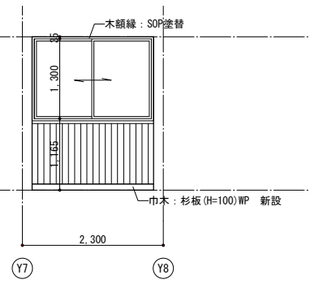
北棟　東面



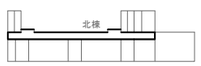
北棟　南面



北棟　南面



北棟　西面



＜凡例＞

今回工事対象外　　複層塗材E(小粒仕上)新設範囲を示す　　腰壁:杉羽目板t=12 WP 新設範囲

＜　　＞ 既設のまま示す

・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５－３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

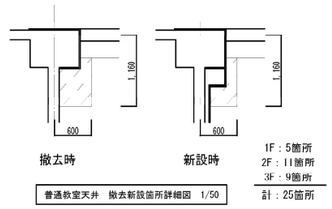
設　計

整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/50 A3 1/100	４階廊下（北棟）　展開図（改修後）	A — 73

天井仕上表	
記号	改修前
A	GB-Dt=9.0　一部撤去
B	段裏ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修の上ﾊﾟｰﾗｲﾄ吹付 撤去
C	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ AEP
D	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し ﾋﾙ石吹付
E	GB-Rt9.0+岩綿吸音板t12.0

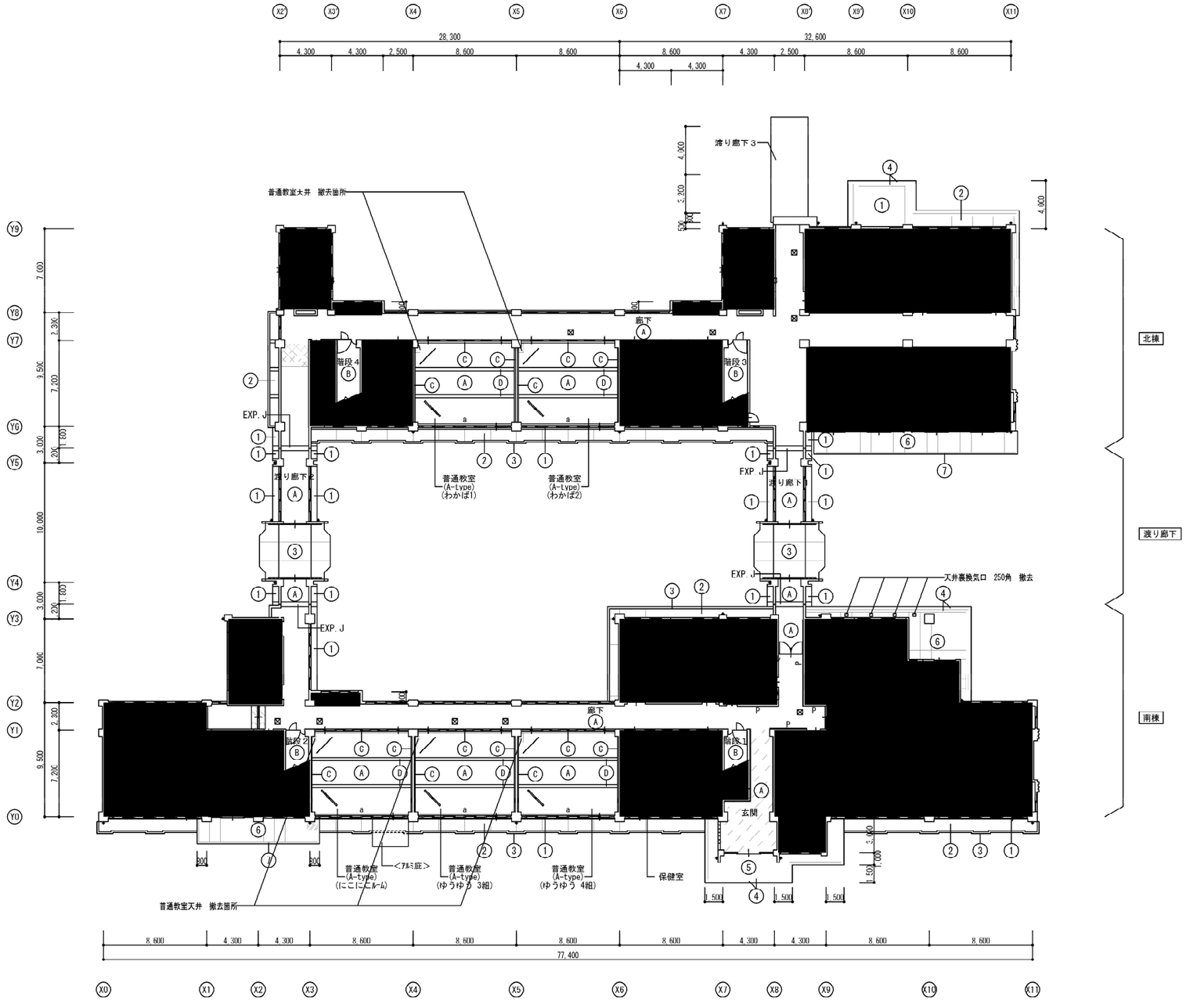
1	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し　ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付
2	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し　目地切　ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付
3	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し　目地切
4	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し　吹付ﾀｲﾙ
5	ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ
6	ﾀｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0　ｾﾗﾐｯｸ化粧板t=4.0　撤去
7	ALCt=100ﾘﾌﾞ付　吹付ﾀｲﾙ

a	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽを示す　OP塗
	天井点検口（ｱﾙﾐ製450×450）（既設）　を示す
	軽量鉄骨天井下地撤去範囲を示す
	天井撤去範囲を示す
	工事対象外範囲を示す



普通教室天井　撤去新設箇所詳細図　1/50

注記）
※1 天井点検口新設部分は、開口補強共とする
※2 図中特記なきものは、既設のままとする
※3 天井改修範囲は、最寄りの日地までとする
※4 ｶｰﾃﾝBOX内部は塗替えを行わない。
※5 ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙの仕様は下記とする。（各階共通）
　ﾚｰﾙ：T-1（TOSO）
　フック：Iフック（TOSO）
　同等品



1階天井伏図（改修前）　1/200

・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和1丁目15-30　TEL(052)618-8211　FAX(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第202334号　早瀬 貴次

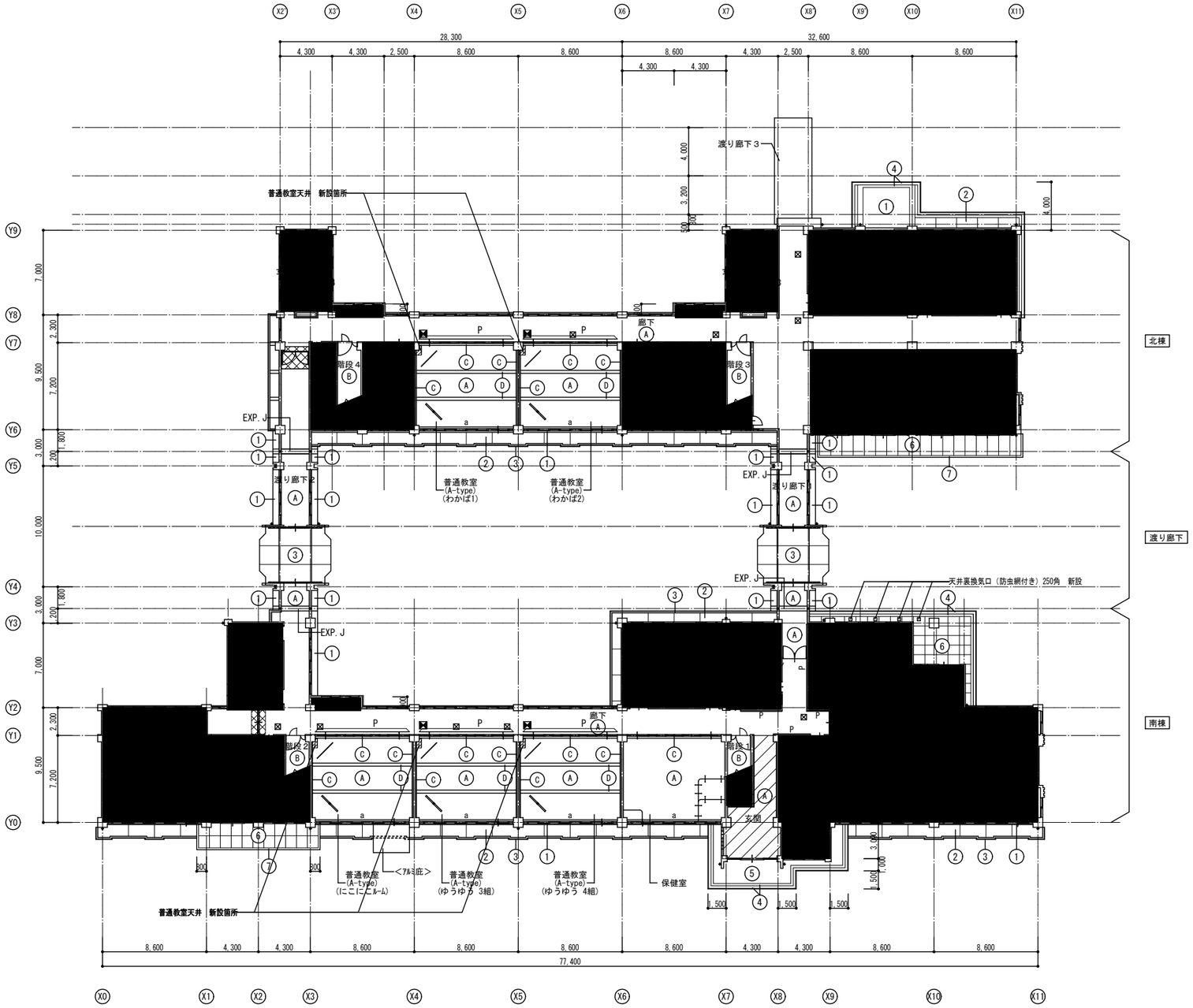
設計	整理番号	縮尺	今池小学校校舎改修第1期及び保全主体工事	NO.
	年 月 日	A1 1/200 A3 1/400	1階　天井伏図（改修前）	A — 74

天井仕上表	
記号	改修後
A	GB-Dt=9.5　一部新設
B	下地調整材C-2の上複層塗材E(小粒仕上) 新設
C	EP-G塗替
D	既設のまま
E	GB-Rt9.0+岩綿吸音板t12.0

1	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設
2	水洗い、劣化部補修の上、ｼﾘｺﾝﾄｯﾌﾟｺｰﾄ新設
3	水洗い、劣化部補修の上、ｼﾘｺﾝﾄｯﾌﾟｺｰﾄ新設
4	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設
5	既設のまま
6	ｹｲｶﾙ板t=6.0　EP塗　新設
7	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設

a	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽを示す　SOP塗替
⊠	天井点検口（ｱﾙﾐ製450×450）（既設）　を示す
⊠	天井点検口（ｱﾙﾐ製450×450）新設　を示す
P	ｱﾙﾐ製ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ 新設
	軽量鉄骨天井下地新設範囲を示す
	天井新設範囲を示す
	工事対象外範囲を示す

注記）
※1 天井点検口新設部分は、開口補強共とする
※2 図中特記なきものは、既設のままとする
※3 天井改修範囲は、最寄りの目地までとする
※4 ｶｰﾃﾝBOX内部は塗替えを行わない。
※5 ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙの仕様は下記とする。(各階共通)
ﾚｰﾙ：T-1（TOSO）
フック：Tフック（TOSO）
同等品



1階天井伏図(改修後)　1/200

・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和1丁目15-30　TEL(052)618-8211　FAX(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第202334号　早瀬 貴次

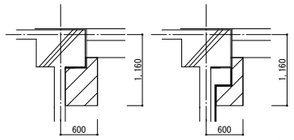
設　計

整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第1期及び保全主体工事	NO.
年　月　日	A1 1/200 A3 1/400	1階　天井伏図（改修後）	A — 75

天井仕上表	
記号	改修前
Ⓐ	GB-Dt=9.0　一部撤去
Ⓑ	段裏ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修の上ﾊﾟｰﾗｲﾄ吹付 撤去
Ⓒ	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ AEP
Ⓓ	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し ﾋﾙ石吹付
Ⓔ	GB-Rt9.0+岩綿吸音板t12.0　撤去

①	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し　ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付
②	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し　目地切　ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付
③	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し　目地切
④	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し　吹付ﾀｲﾙ
⑤	ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ
⑥	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0　ｾﾗﾐｯｸ化粧板t=4.0　撤去
⑦	ALCt=100ﾘﾌﾞ付　吹付ﾀｲﾙ

a	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽを示す　OP塗
⊠	天井点検口（ｱﾙﾐ製450×450）（既設）　を示す
	軽量鉄骨天井下地撤去範囲を示す
	天井撤去範囲を示す
	工事対象外範囲を示す



1F：5箇所
2F：11箇所
3F：9箇所
計：25箇所

普通教室天井　撤去新設箇所詳細図　1/50

注記）
※1 天井点検口新設部分は、開口補強共とする
※2 図中特記なきものは、既設のままとする
※3 天井改修範囲は、最寄りの目地までとする
※4 ｶｰﾃﾝBOX内部は塗替えを行わない。
※5 ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙの仕様は下記とする。（各階共通）
ﾚｰﾙ：T-1（TOSO）
フック：Tフック（TOSO）
同等品

２階天井伏図(改修前)　1/200

・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５-３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

設　計

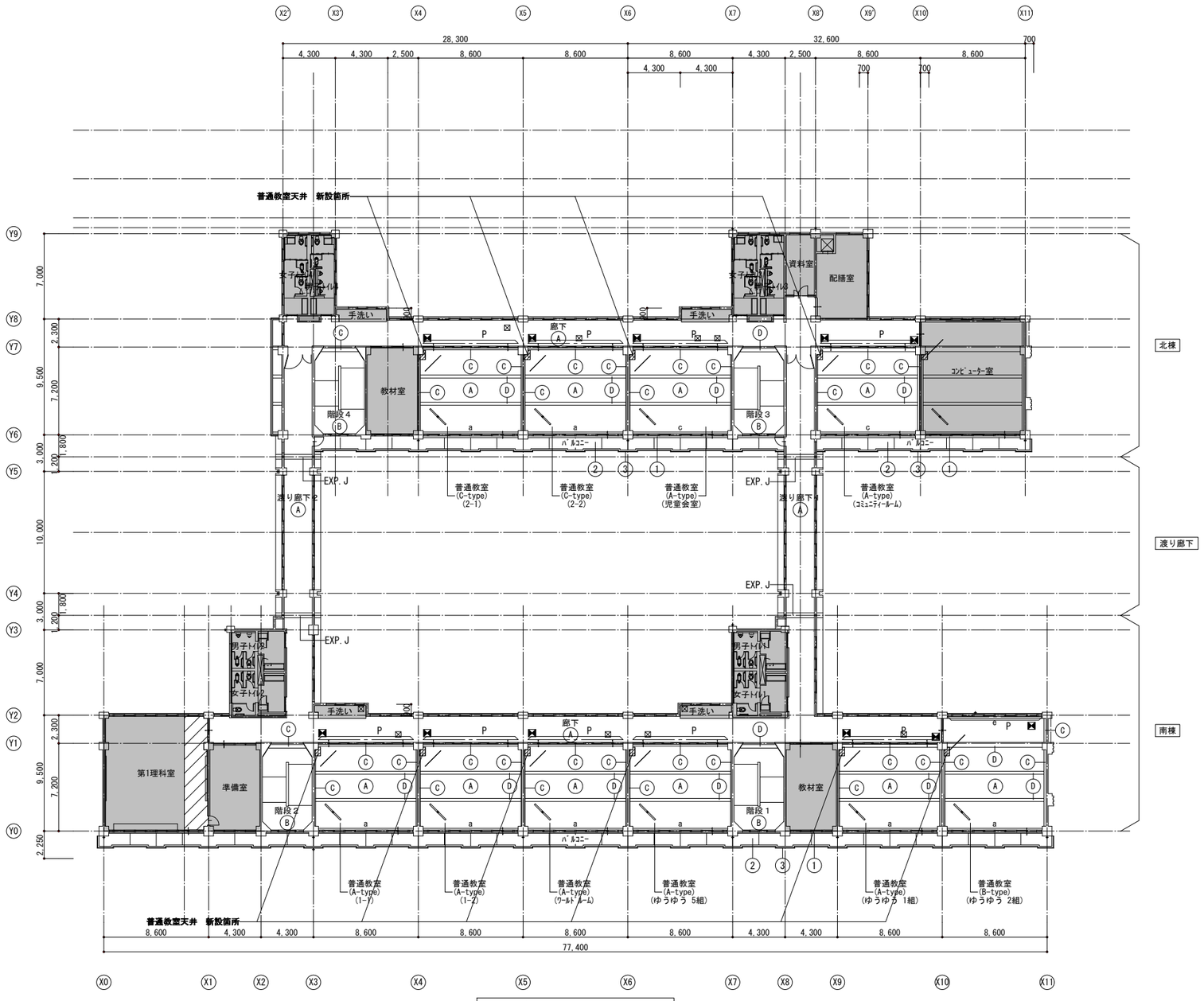
整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/200 A3 1/400	２階　天井伏図（改修前）	A — 76

天井仕上表	
記号	改修後
A	GB-Dt=9.5　一部新設
B	下地調整材C-2の上複層塗材E(小粒仕上) 新設
C	EP-G塗替
D	既設のまま
E	GB-Rt9.0+岩綿吸音板t12.0　新設

1	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設
2	水洗い、劣化部補修の上、ｼﾘｺﾝﾄｯﾌﾟｺｰﾄ新設
3	水洗い、劣化部補修の上、ｼﾘｺﾝﾄｯﾌﾟｺｰﾄ新設
4	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設
5	既設のまま
6	ｹｲｶﾙ板t=6.0　EP塗　新設
7	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設

a	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽを示す　SOP塗替
⊠	天井点検口（ｱﾙﾐ製450×450）（既設）　を示す
⊠	天井点検口（ｱﾙﾐ製450×450）新設　を示す
P	ｱﾙﾐ製ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ 新設
	軽量鉄骨天井下地新設範囲を示す
	天井新設範囲を示す
	工事対象外範囲を示す

注記）
※1 天井点検口新設部分は、開口補強共とする
※2 図中特記なきものは、既設のままとする
※3 天井改修範囲は、最寄りの目地までとする
※4 ｶｰﾃﾝBOX内部は塗替えを行わない。
※5 ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙの仕様は下記とする。(各階共通)
ﾚｰﾙ：T-1（TOSO）
フック：Tフック（TOSO）
同等品



２階天井伏図(改修後)　1/200

・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５-３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

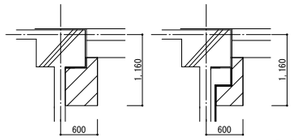
設　計

整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/200 A3 1/400	２階　天井伏図（改修後）	A — 77

天井仕上表	
記号	改修前
A	GB-Dt=9.0　一部撤去
B	段裏ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修の上ﾊﾟｰﾗｲﾄ吹付 撤去
C	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ AEP
D	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し ﾋﾙ石吹付
E	GB-Rt9.0+岩綿吸音板t12.0　撤去

1	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し　ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付
2	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し　目地切　ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付
3	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し　目地切
4	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し　吹付ﾀｲﾙ
5	ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ
6	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0　ｾﾗﾐｯｸ化粧板t=4.0　撤去
7	ALCt=100ﾘﾌﾞ付　吹付ﾀｲﾙ

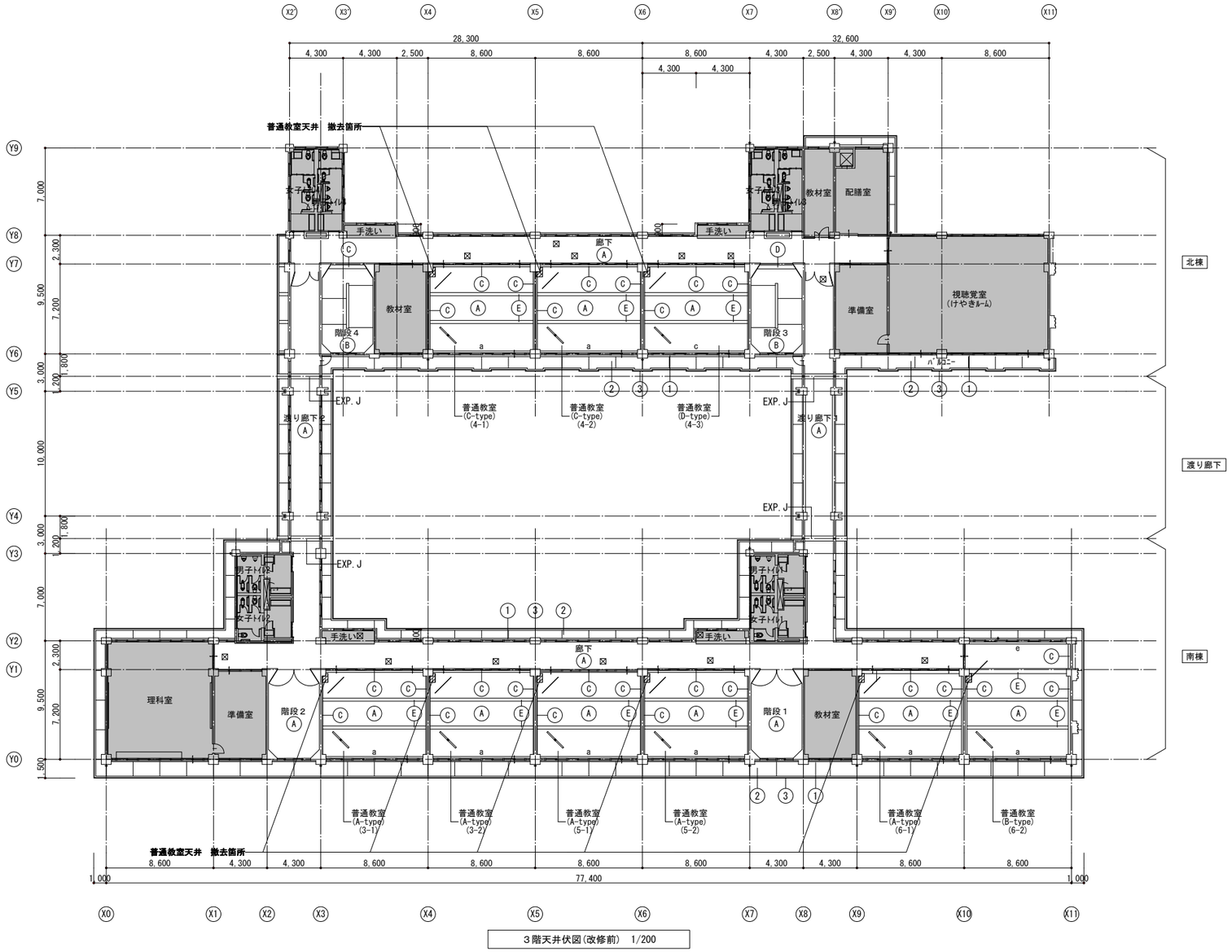
a	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽを示す　OP塗
⊠	天井点検口（ｱﾙﾐ製450×450）（既設）　を示す
⊠	軽量鉄骨天井下地撤去範囲を示す
▨	天井撤去範囲を示す
■	工事対象外範囲を示す



1F：5箇所
2F：11箇所
3F：9箇所
計：25箇所

普通教室天井　撤去新設箇所詳細図　1/50

注記）
※1 天井点検口新設部分は、開口補強共とする
※2 図中特記なきものは、既設のままとする
※3 天井改修範囲は、最寄りの目地までとする
※4 ｶｰﾃﾝBOX内部は塗替えを行わない。
※5 ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙの仕様は下記とする。（各階共通）
ﾚｰﾙ：T-1（TOSO）
フック：Tフック（TOSO）
同等品



3階天井伏図(改修前)　1/200

・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和1丁目15-30　TEL(052)618-8211　FAX(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第202334号　早瀬　貴次

設　計

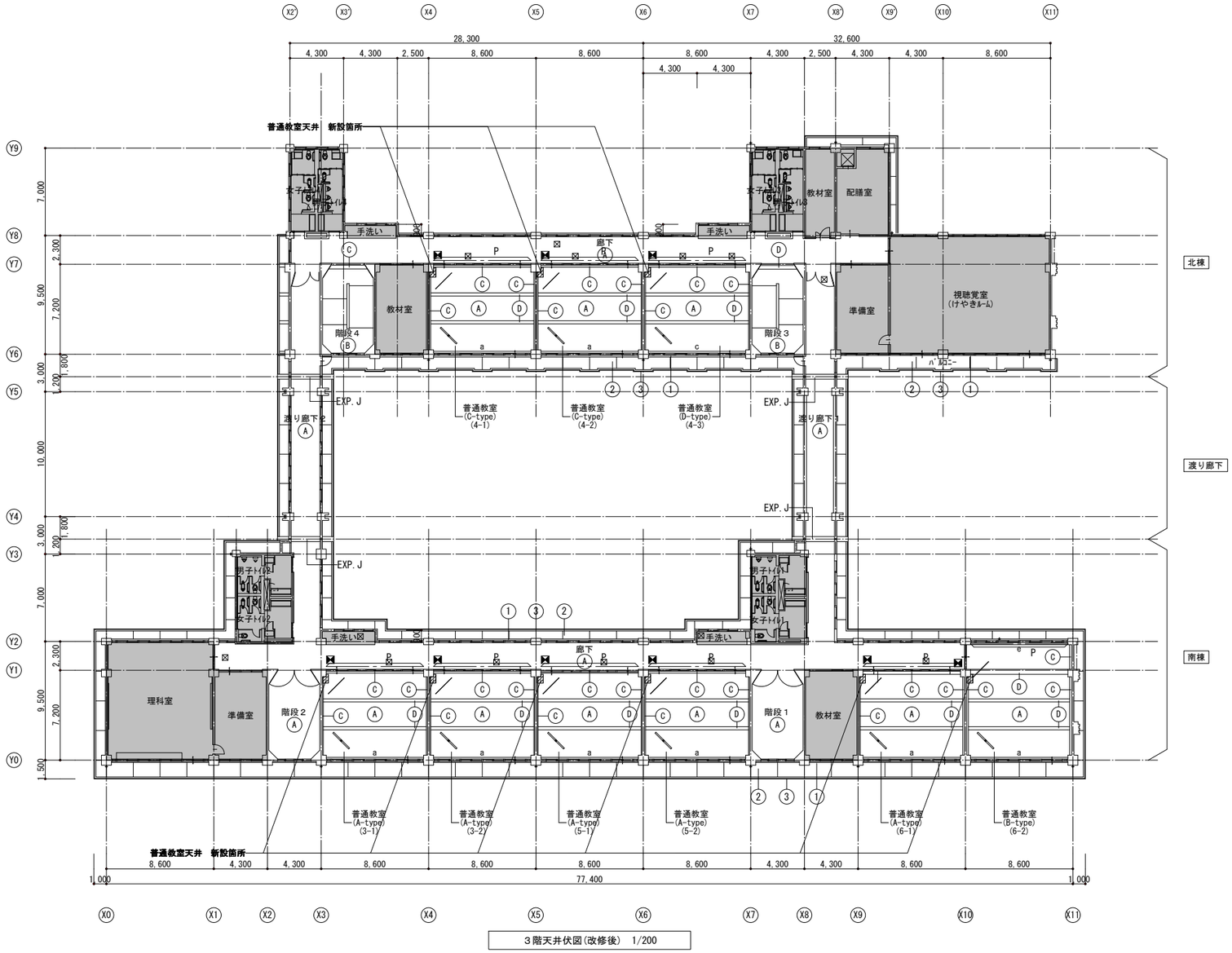
整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/200 A3 1/400	３階　天井伏図（改修前）	A — 78

天井仕上表	
記号	改修後
A	GB-Dt=9.5　一部新設
B	下地調整材C-2の上複層塗材E(小粒仕上) 新設
C	EP-G塗替
D	既設のまま
E	GB-Rt9.0+岩綿吸音板t12.0　新設

1	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設
2	水洗い、劣化部補修の上、ｼﾘｺﾝﾄｯﾌﾟｺｰﾄ新設
3	水洗い、劣化部補修の上、ｼﾘｺﾝﾄｯﾌﾟｺｰﾄ新設
4	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設
5	既設のまま
6	ｹｲｶﾙ板t=6.0　EP塗　新設
7	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設

a	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽを示す　SOP塗替
⊠	天井点検口（ｱﾙﾐ製450×450）（既設）　を示す
⊠	天井点検口（ｱﾙﾐ製450×450）新設　を示す
P	ｱﾙﾐ製ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ 新設
	軽量鉄骨天井下地新設範囲を示す
	天井新設範囲を示す
	工事対象外範囲を示す

注記）
※1 天井点検口新設部分は、開口補強共とする
※2 図中特記なきものは、既設のままとする
※3 天井改修範囲は、最寄りの目地までとする
※4 ｶｰﾃﾝBOX内部は塗替えを行わない。
※5 ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙの仕様は下記とする。(各階共通)
ﾚｰﾙ：T-1 (TOSO)
フック：Tフック (TOSO)
同等品



3階天井伏図(改修後)　1/200

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和1丁目15-30　TEL(052)618-8211　FAX(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第202334号　早瀬 貴次

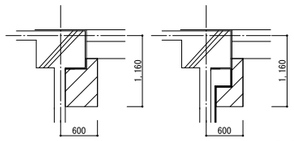
設　計

整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第1期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/200 A3 1/400	3階　天井伏図（改修後）	A — 79

天井仕上表	
記号	改修前
Ⓐ	GB-Dt=9.0　一部撤去
Ⓑ	段裏ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修の上ﾊﾟｰﾗｲﾄ吹付 撤去
Ⓒ	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ AEP
Ⓓ	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し ﾋﾙ石吹付
Ⓔ	GB-Rt9.0+岩綿吸音板t12.0　撤去

①	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し　ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付
②	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し　目地切　ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付
③	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し　目地切
④	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し　吹付ﾀｲﾙ
⑤	ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ
⑥	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0　ｾﾗﾐｯｸ化粧板t=4.0　撤去
⑦	ALCt=100ﾘﾌﾞ付　吹付ﾀｲﾙ

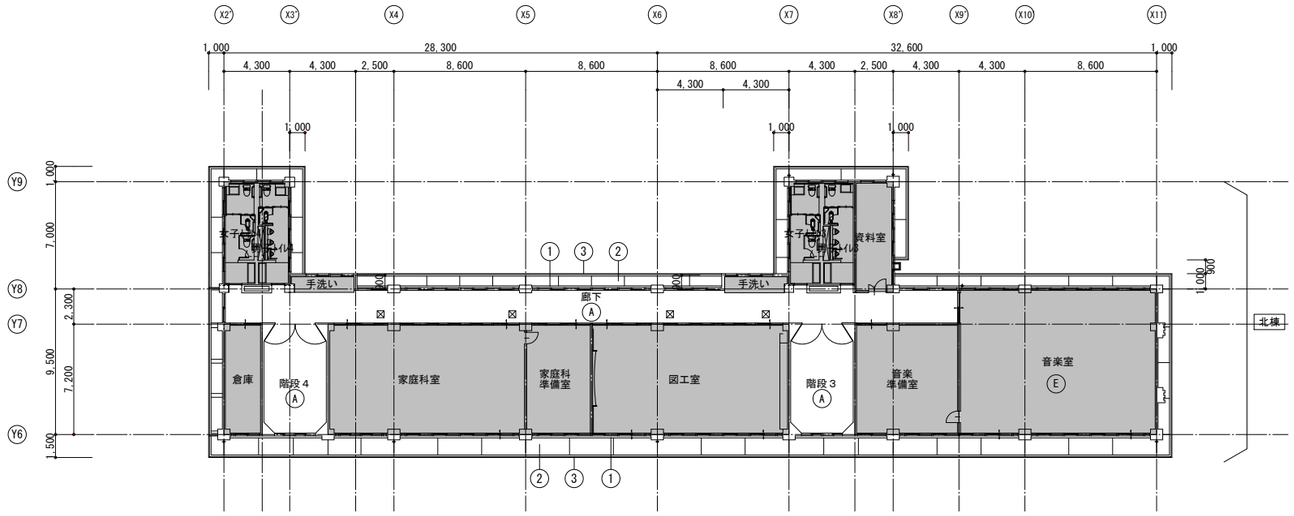
a	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽを示す　OP塗
⊠	天井点検口（ｱﾙﾐ製450×450）（既設）　を示す
	軽量鉄骨天井下地撤去範囲を示す
	天井撤去範囲を示す
	工事対象外範囲を示す



1F：5箇所
2F：11箇所
3F：9箇所
計：25箇所

普通教室天井　撤去新設箇所詳細図　1/50

注記）
※1 天井点検口新設部分は、開口補強共とする
※2 図中特記なきものは、既設のままとする
※3 天井改修範囲は、最寄りの目地までとする
※4 ｶｰﾃﾝBOX内部は塗替えを行わない。
※5 ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙの仕様は下記とする。（各階共通）
ﾚｰﾙ：T-1（TOSO）
フック：Tフック（TOSO）
同等品



４階天井伏図（改修前）　1/200

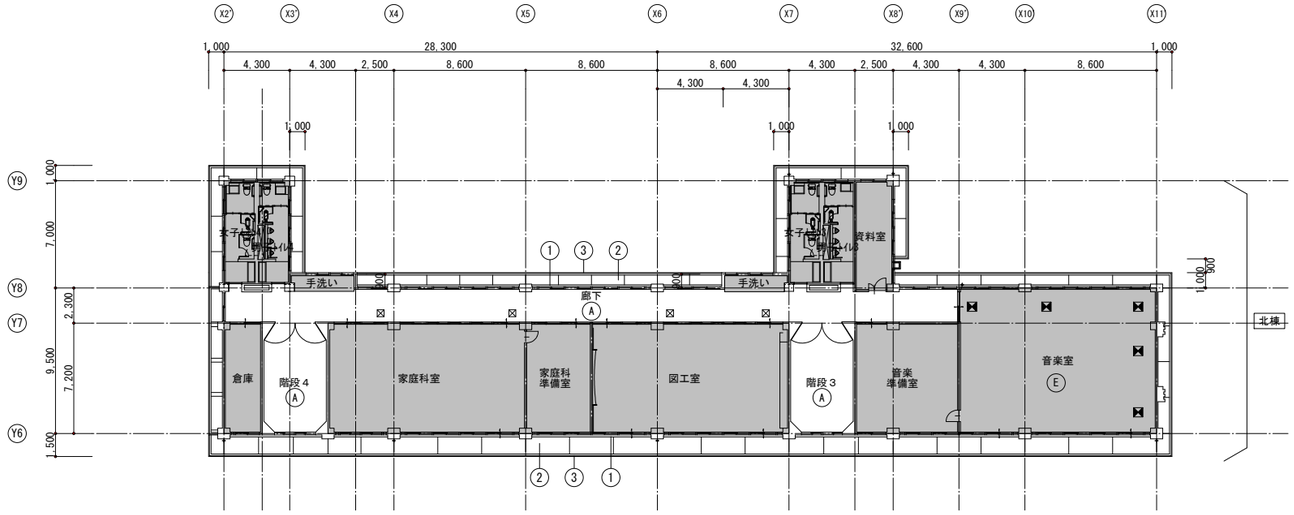
・		・		株式会社 市川三千男建築設計事務所 ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS	設　計	整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
・		・		名古屋市中区平和１丁目１５-３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210		年 月 日	A1 1/200	４階　天井伏図（改修前）	A — 80
・		・		管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次			A3 1/400		
・		・							

天井仕上表	
記号	改修後
A	GB-Dt=9.5　一部新設
B	下地調整材C-2の上複層塗材E(小粒仕上) 新設
C	EP-G塗替
D	既設のまま
E	GB-Rt9.0+岩綿吸音板t12.0　新設

1	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設
2	水洗い、劣化部補修の上、ｼﾘｺﾝﾄｯﾌﾟｺｰﾄ新設
3	水洗い、劣化部補修の上、ｼﾘｺﾝﾄｯﾌﾟｺｰﾄ新設
4	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設
5	既設のまま
6	ｹｲｶﾙ板t=6.0　EP塗　新設
7	水洗い、劣化部補修の上、可とう形改修塗材RE【弾性】 新設

a	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽを示す　SOP塗替
⊠	天井点検口（ｱﾙﾐ製450×450）（既設）　を示す
⊠	天井点検口（ｱﾙﾐ製450×450）新設　を示す
P	ｱﾙﾐ製ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ 新設
	軽量鉄骨天井下地新設範囲を示す
	天井新設範囲を示す
	工事対象外範囲を示す

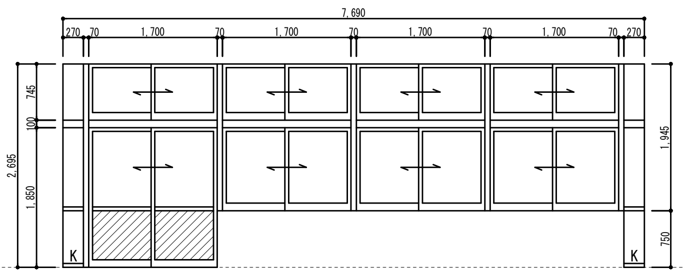
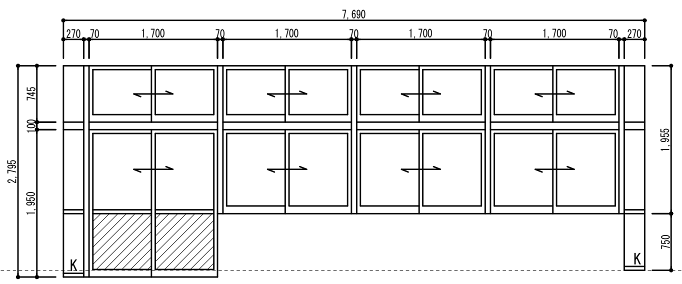
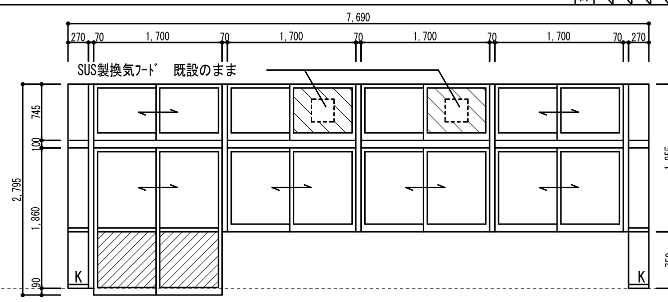
注記）
※1 天井点検口新設部分は、開口補強共とする
※2 図中特記なきものは、既設のままとする
※3 天井改修範囲は、最寄りの目地までとする
※4 ｶｰﾃﾝBOX内部は塗替えを行わない。
※5 ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙの仕様は下記とする。(各階共通)
ﾚｰﾙ：T-1 (TOSO)
フック：Tフック (TOSO)
同等品

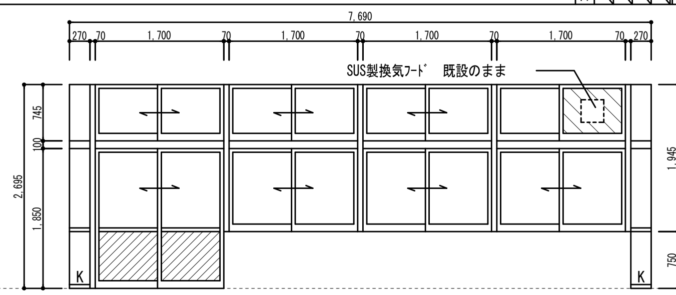
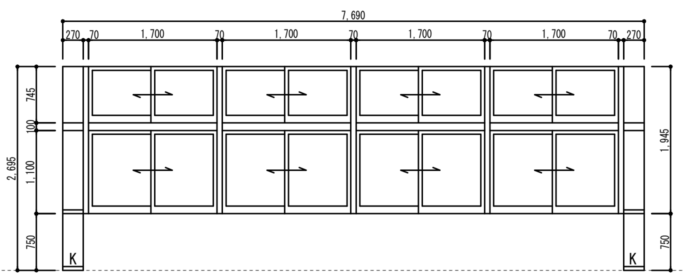
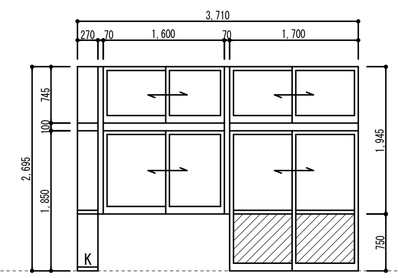


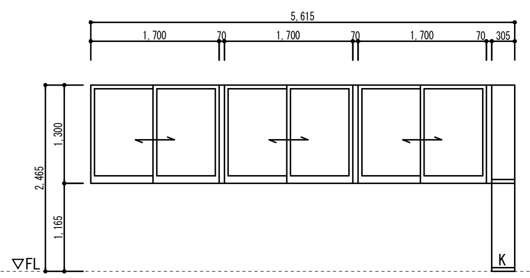
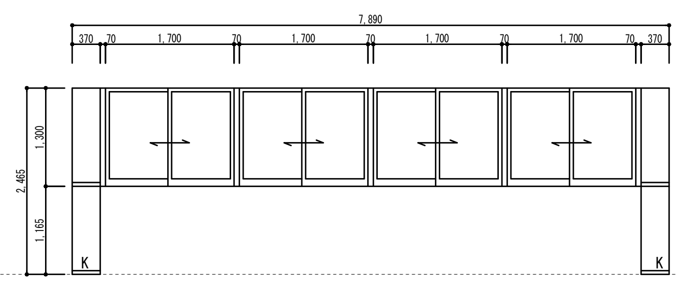
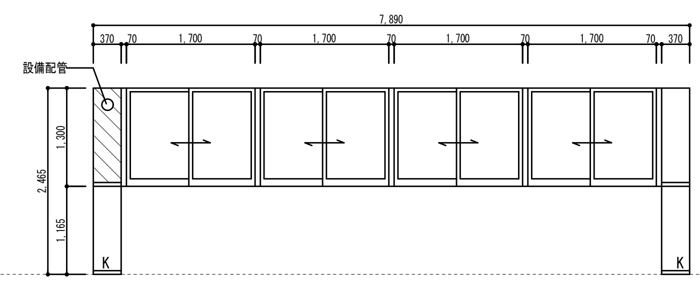
4階天井伏図(改修後)　1/200

・		・		株式会社 市川三千男建築設計事務所 ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS	設　計	整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
・		・		名古屋市中区平和１丁目１５-３０　TEL(052)618-8211　FAX(052)618-8210		年 月 日	A1 1/200	４階　天井伏図（改修後）	A — 81
・		・		管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　賞次			A3 1/400		
・		・							

建具表(1)

符号・室名・数量	AW-1 南棟：1〜3F普通教室（A・B-type）、1F図書室、2F第1理科室、3F第2理科室 / 北棟：1〜3F普通教室（A・C-type）、2Fﾘｻｲｸﾙ倉庫室、3F視聴覚室、4F図工室	AW-1a 南棟：1F保健室	AW-1b 南棟：1F職員室
数量	南棟 1F ＼ 2F ＼ 3F ＼ 計 ＼ / 北棟 1F ＼ 2F ＼ 3F ＼ 4F ＼ 計 ＼	南棟 1F ＼ 2F ＼ 3F ＼ 計 ＼ / 北棟 1F ＼ 2F ＼ 3F ＼ 4F ＼ 計 ＼	南棟 1F ＼ 2F ＼ 3F ＼ 計 ＼ / 北棟 1F ＼ 2F ＼ 3F ＼ 4F ＼ 計 ＼
姿　図			
形式・見込寸法	3連2段引違いｱﾙﾐ窓付引違いｱﾙﾐﾄﾞｱ(両側FIX付)　70	3連2段引違いｱﾙﾐ窓付引違いｱﾙﾐﾄﾞｱ(両側FIX付)　70	3連2段引違いｱﾙﾐ窓付引違いｱﾙﾐﾄﾞｱ(両側FIX付)　70
材　料	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ
ガラス	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0 ﾗﾝﾏ:ｽﾘｶﾞﾗｽt=3.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0 ﾗﾝﾏ:ｽﾘｶﾞﾗｽt=3.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0 ﾗﾝﾏ:ｽﾘｶﾞﾗｽt=3.0
付属金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備　考			
工事内容	ｹｲｶﾙ板塗替(外部 可とう形改修塗材RE【弾性】)	ｹｲｶﾙ板塗替(外部 可とう形改修塗材RE【弾性】)	ｹｲｶﾙ板塗替(外部 可とう形改修塗材RE【弾性】)

符号・室名・数量	AW-1c 北棟：2Fｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室	AW-2 南棟：1F職員室 / 北棟：4F音楽室	AW-3 北棟：3F視聴覚室
数量	南棟 1F ＼ 2F ＼ 3F ＼ 計 ＼ / 北棟 1F ＼ 2F ＼ 3F ＼ 4F ＼ 計 ＼	南棟 1F ＼ 2F ＼ 3F ＼ 計 ＼ / 北棟 1F ＼ 2F ＼ 3F ＼ 4F ＼ 計 ＼	南棟 1F ＼ 2F ＼ 3F ＼ 計 ＼ / 北棟 1F ＼ 2F ＼ 3F ＼ 4F ＼ 計 ＼
姿　図			
形式・見込寸法	3連2段引違いｱﾙﾐ窓付引違いｱﾙﾐﾄﾞｱ(両側FIX付)　70	4連2段引違いｱﾙﾐ窓(両側FIX付)　70	2段引違いｱﾙﾐ窓付引違いｱﾙﾐﾄﾞｱ(片側FIX付)　70
材　料	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ
ガラス	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0 ﾗﾝﾏ:ｽﾘｶﾞﾗｽt=3.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0 ﾗﾝﾏ:ｽﾘｶﾞﾗｽt=3.0	上部:ｽﾘｶﾞﾗｽt=3.0 下部:ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0
付属金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備　考			
工事内容	ｹｲｶﾙ板塗替(外部 可とう形改修塗材RE【弾性】)	ｹｲｶﾙ板塗替(外部 可とう形改修塗材RE【弾性】)	ｹｲｶﾙ板塗替(外部 可とう形改修塗材RE【弾性】)

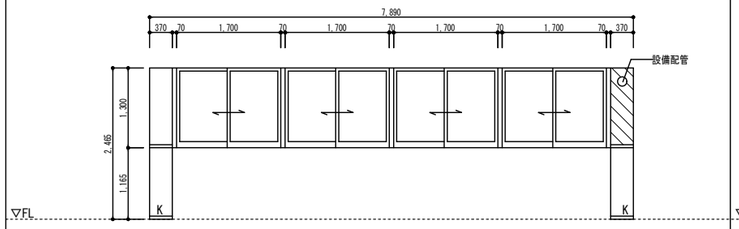
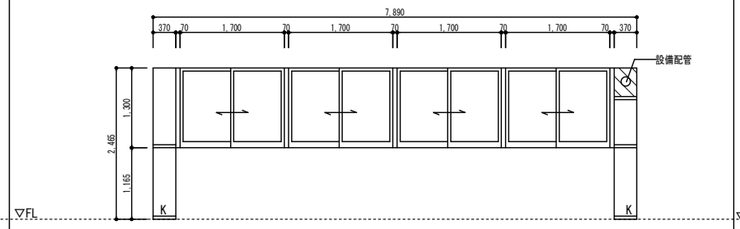
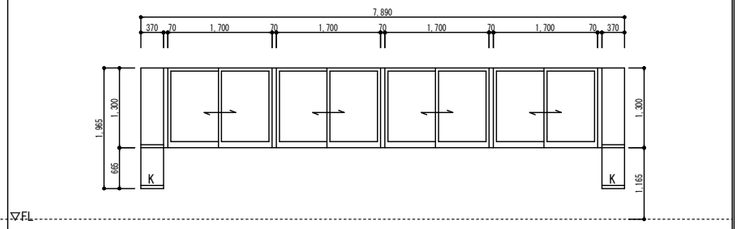
符号・室名・数量	AW-4 南棟：1F職員室	AW-5 南棟：3F普通教室（B-type）、3F第2理科室、3F廊下 / 北棟：1F資料室、3F視聴覚室、1〜4F廊下	AW-5a 南棟：1〜3F廊下
数量	南棟 1F 1 2F ＼ 3F ＼ 計 1 / 北棟 1F ＼ 2F ＼ 3F ＼ 4F ＼ 計 ＼	南棟 1F ＼ 2F ＼ 3F 3 計 3 / 北棟 1F 1 2F 0 3F 1 4F 0 計 2	南棟 1F 1 2F 1 3F 1 計 3 / 北棟 1F ＼ 2F ＼ 3F ＼ 4F ＼ 計 ＼
姿　図			
形式・見込寸法	3連引違いｱﾙﾐ窓(片側FIX付)　70	4連引違いｱﾙﾐ窓(両側FIX付)　70	4連引違いｱﾙﾐ窓(両側FIX付)　70
材　料	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ
ガラス	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0
付属金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備　考			
工事内容	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替・外止め取替 4.ｹｲｶﾙ板塗替(内部 EP-G・外部 可とう形改修塗材RE【弾性】)	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替 4.ｹｲｶﾙ板塗替(内部 EP-G・外部 可とう形改修塗材RE【弾性】)	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替 4.ｹｲｶﾙ板塗替(内部 EP-G・外部 可とう形改修塗材RE【弾性】)

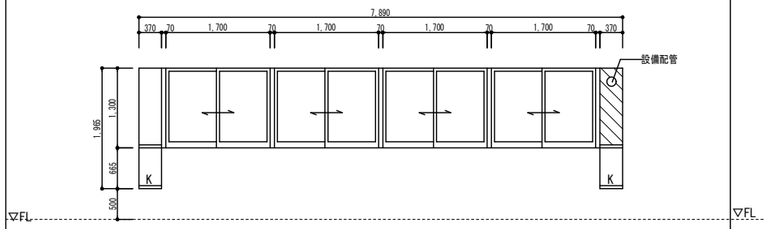
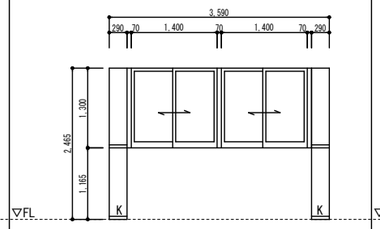
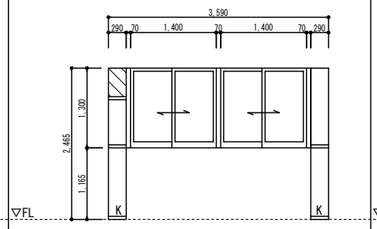
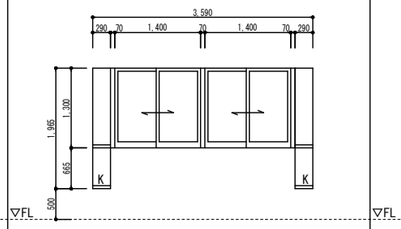
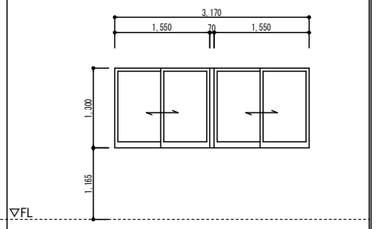
1.南棟・北棟東の既設ｱﾙﾐｻｯｼの製造ﾒｰｶｰは不二ｻｯｼ
2.北棟西・渡り廊下1・2の既設ｱﾙﾐｻｯｼの製造ﾒｰｶｰはYKK
3.ｶﾞﾗｽ全面ｸﾘｰﾆﾝｸﾞを行うこと。(将来改修予定建具も含む)
4.既製間仕切に含まれる建具は建具表に含まない。
5.（斜線）ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=3.0
6.（斜線）ｱﾙﾐﾘﾌﾞﾊﾟﾈﾙt=1.0 両面芯材耐水合板t=4.0
7.K：ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ積層板t=35
8.ｶﾞﾗｽ押えの既設仕様：ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0 型板t=4.0の場合ｶﾞｽｹｯﾄ
それ以外は　ｼｰﾘﾝｸﾞ（SR-1）5×5（南棟・北棟東・渡り廊下1・渡り廊下2）
ｼｰﾘﾝｸﾞ（SR-1）4×4（北棟西）

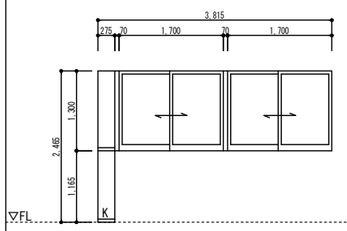
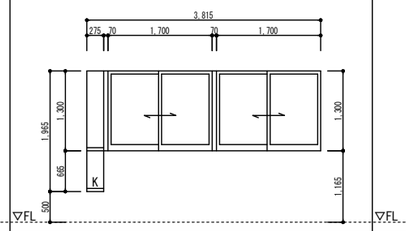
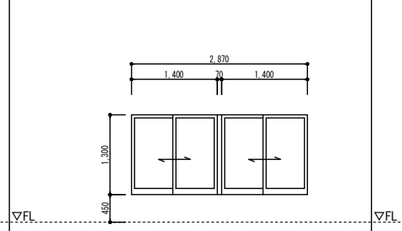
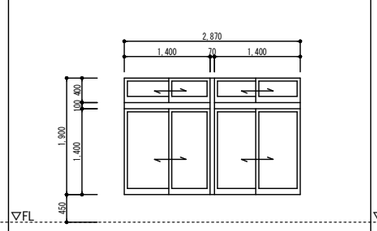
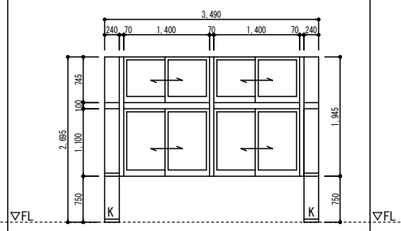
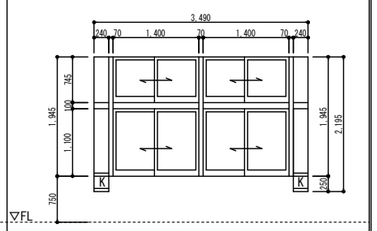
凡例　改修しない建具を示す　改修建具を示す　撤去建具を示す　新設建具を示す　撤去建具を示す（EV増築工事）

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和1丁目15-30　TEL(052)618-8211　FAX(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号 早瀬 貴次

設計	整理番号	縮尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
	年 月 日	A1 1/50 / A3 1/100	建具表(1)	A ― 82

符号・室名・数量	AW 5b 南棟：1・3F廊下 北棟：1F図書室、2F第1理科室、1～3F廊下	AW 5c 北棟：4F音楽室	AW 5d 北棟：2Fｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室
	南棟 1F 2 / 2F 1 / 3F 1 / 計 4 北棟 1F 1 / 2F 1 / 3F 1 / 4F 1 / 計 4	南棟 1F / 2F / 3F / 計 北棟 1F / 2F / 3F 1 / 4F 1 / 計 1	南棟 1F / 2F / 3F / 計 北棟 1F / 2F 1 / 3F / 4F / 計 1
姿　図			
形式・見込寸法	4連引違いｱﾙﾐ窓(両側FIX付)　70	4連引違いｱﾙﾐ窓(両側FIX付)　70	4連引違いｱﾙﾐ窓(両側FIX付)　70
材　料	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ
ガ ラ ス	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0
付属金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備　考			
工事内容	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替 4.ｹｲｶﾙ板塗替(内部 EP-G・外部 可とう形改修塗材RE【弾性】)	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替 4.ｹｲｶﾙ板塗替(内部 EP-G・外部 可とう形改修塗材RE【弾性】)	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替 4.ｹｲｶﾙ板塗替(内部 EP-G・外部 可とう形改修塗材RE【弾性】)

符号・室名・数量	AW 5e 南棟：2F廊下	AW 6 北棟：3F視聴覚室	AW 6a 北棟：4F音楽室	AW 6b 北棟：2F廊下	AW 7 南棟：1～3F手洗い 北棟：1～4F手洗い
	南棟 1F / 2F 1 / 3F / 計 1 北棟 1F / 2F / 3F / 4F / 計	南棟 1F / 2F / 3F / 計 北棟 1F / 2F 1 / 3F / 4F / 計 1	南棟 1F / 2F / 3F / 計 北棟 1F / 2F 1 / 3F / 4F / 計 1	南棟 1F / 2F / 3F / 計 北棟 1F / 2F 1 / 3F / 4F / 計 1	南棟 1F 1 / 2F 2 / 3F 2 / 計 5 北棟 1F 1 / 2F 1 / 3F 1 / 4F 1 / 計 4
姿　図					
形式・見込寸法	4連引違いｱﾙﾐ窓(両側FIX付)　70	2連引違いｱﾙﾐ窓(両側FIX付)　70	2連引違いｱﾙﾐ窓(両側FIX付)　70	2連引違いｱﾙﾐ窓(両側FIX付)　70	2連引違いｱﾙﾐ窓　70
材　料	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ
ガ ラ ス	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0
付属金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備　考					
工事内容	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替 4.ｹｲｶﾙ板塗替(内部 EP-G・外部 可とう形改修塗材RE【弾性】)	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替 4.ｹｲｶﾙ板塗替(内部 EP-G・外部 可とう形改修塗材RE【弾性】)	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替 4.ｹｲｶﾙ板塗替(内部 EP-G・外部 可とう形改修塗材RE【弾性】)	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替 4.ｹｲｶﾙ板塗替(内部 EP-G・外部 可とう形改修塗材RE【弾性】)	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替

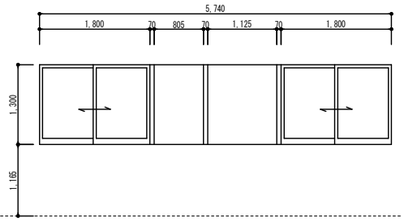
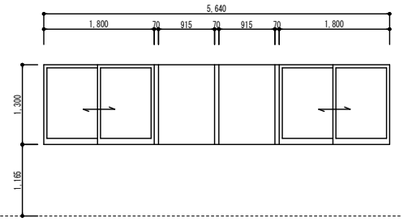
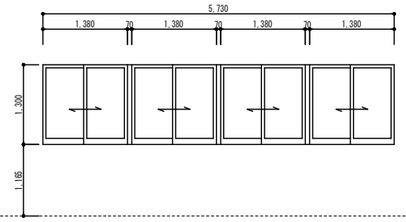
符号・室名・数量	AW 8 南棟：1～3F廊下	AW 8a 南棟：2F廊下	AW 9 南棟：2F階段室1・2	AW 10 南棟：3F階段室1・2	AW 11 南棟：2F第1理科準備室、3F第2理科準備室、3F教材室	AW 11a 南棟：2F教材室
	南棟 1F 1 / 2F 1 / 3F 2 / 計 4 北棟 1F / 2F / 3F / 4F / 計	南棟 1F / 2F 1 / 3F / 計 1 北棟 1F / 2F / 3F / 4F / 計	南棟 1F / 2F / 3F / 計 北棟 1F / 2F / 3F / 4F / 計	南棟 1F / 2F / 3F / 計 北棟 1F / 2F / 3F / 4F / 計	南棟 1F / 2F / 3F / 計 北棟 1F / 2F / 3F / 4F / 計	南棟 1F / 2F / 3F / 計 北棟 1F / 2F / 3F / 4F / 計
姿　図						
形式・見込寸法	2連引違いｱﾙﾐ窓(片側FIX付)　70	2連引違いｱﾙﾐ窓(片側FIX付)　70	2連引違いｱﾙﾐ窓　70	2連2段引違いｱﾙﾐ窓　70	2連2段引違いｱﾙﾐ窓(両側FIX付)　70	2連2段引違いｱﾙﾐ窓(両側FIX付)　70
材　料	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ
ガ ラ ス	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0	網入ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=6.8	ﾗﾌﾜｲﾔｰt=6.8	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0
付属金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備　考						
工事内容	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替 4.ｹｲｶﾙ板塗替(内部 EP-G・外部 可とう形改修塗材RE【弾性】)	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替 4.ｹｲｶﾙ板塗替(内部 EP-G・外部 可とう形改修塗材RE【弾性】)			4.ｹｲｶﾙ板塗替(外部 可とう形改修塗材RE【弾性】)	4.ｹｲｶﾙ板塗替(外部 可とう形改修塗材RE【弾性】)

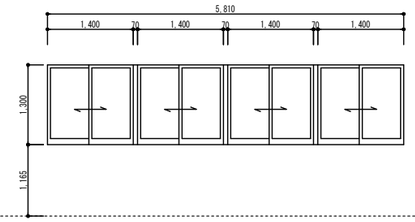
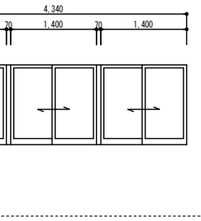
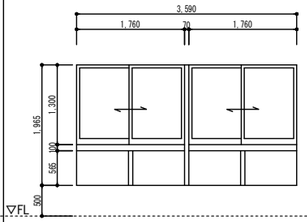
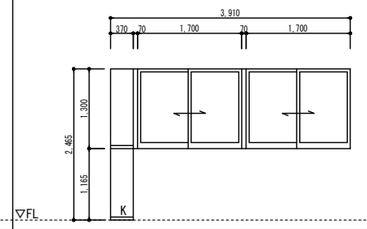
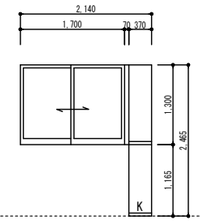
1. 南棟・北棟東の既設ｱﾙﾐｻｯｼの製造ﾒｰｶｰは不二ｻｯｼ
2. 北棟西・渡り廊下1・2の既設ｱﾙﾐｻｯｼの製造ﾒｰｶｰはYKK
3. ｶﾞﾗｽ全面ｸﾘｰﾆﾝｸﾞを行うこと。(将来改修予定建具も含む)
4. 既製間仕切に含まれる建具は建具表に含まない。
5. ▧ ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=3.0
6. ▨ ｱﾙﾐﾘﾌﾞﾊﾟﾈﾙt=1.0 両面芯材耐水合板t=4.0
7. K：ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ積層板t=35

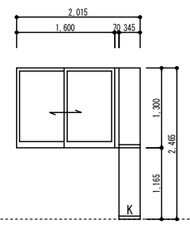
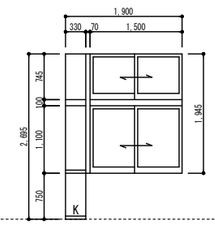
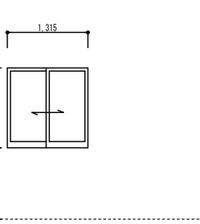
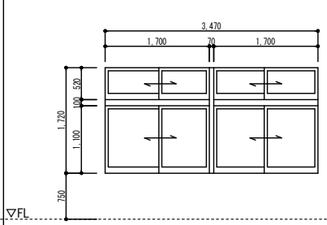
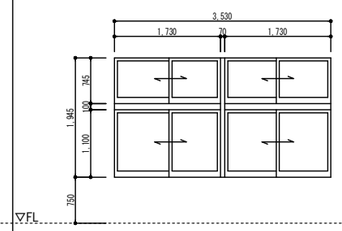
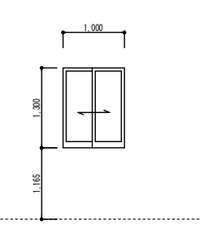
凡例　改修しない建具を示す　改修建具を示す　撤去建具を示す　新設建具を示す　撤去建具を示す(EV増築工事)

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和1丁目15-30　TEL(052)618-8211　FAX(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第202334号 早瀬 貴次

設　計	整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第1期及び保全主体工事	NO.
	年 月 日	A1 1/50 A3 1/100	建具表(2)	A — 83

符号・室名・数量	AW 12 南棟：1～3FﾄｲﾚI・2	AW 13 北棟：1～4FﾄｲﾚI3	AW 14 南棟：1～3F廊下
	南棟 1F 1 2F 2 3F 2 計 5 北棟	南棟 1F 1 2F 1 3F 1 4F 4 計	南棟 1F 1 2F 1 3F 1 計 3 北棟
姿　図			
形式・見込寸法	両側引違いｱﾙﾐ窓付2連FIX（網戸付き） 70	両側引違いｱﾙﾐ窓付2連FIX 70	4連引違いｱﾙﾐ窓 70
材　料	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ
ガ ラ ス	型板ｶﾞﾗｽt=4.0	型板ｶﾞﾗｽt=4.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0
付属金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備　考	SUS可動網戸	SUS可動網戸	
工事内容	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替（網戸共）	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替（網戸共）	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替

符号・室名・数量	AW 15 南棟：2・3F廊下 北棟：2・3F配膳室	AW 16 北棟：4F資料室	AW 17 南棟：1F職員ﾄｲﾚ 北棟：1～4FﾄｲﾚI3	AW 18 南棟：1FｽﾀｼﾞｵI	AW 19 南棟：1F放送室
	南棟 1F 1 2F 1 3F 1 計 2 北棟 1F 1 2F 1 3F 1 4F 2	南棟 1F 1 2F 1 3F 1 計 1 北棟	南棟 1F 1 2F 1 3F 1 計 1 北棟 1F 1 2F 1 3F 1 4F 4	南棟 1F 1 2F 1 3F 1 計 1 北棟	南棟 1F 1 2F 1 3F 1 計 1 北棟
姿　図					
形式・見込寸法	4連引違いｱﾙﾐ窓 70	3連引違いｱﾙﾐ窓 70	2連引違いｱﾙﾐ窓(下部FIX付) 70	2連引違いｱﾙﾐ窓(片側FIX付) 70	引違いｱﾙﾐ窓(両側FIX付) 70
材　料	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ
ガ ラ ス	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0	型板ｶﾞﾗｽt=4.0 腰:ﾗﾌﾜｲﾔｰt=6.8	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=5.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=5.0
付属金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備　考			SUS可動網戸	ｴｱｰﾀｲﾄｻｯｼ	ｴｱｰﾀｲﾄｻｯｼ
工事内容	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替 4.外止め取替（北棟：2・3階配膳室のみ）	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替・外止め取替	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替 4.外れ止め取替（職員ﾄｲﾚのみ）	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替・外止め取替 4.ｹｲｶﾙ板塗替(内部 EP-G・外部 可とう形改修塗材RE【弾性】)	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替・外止め取替 4.ｹｲｶﾙ板塗替(内部 EP-G・外部 可とう形改修塗材RE【弾性】)

符号・室名・数量	AW 20 南棟：1F印刷室	AW 21 北棟：4F音楽準備室	AW 22 南棟：1F図書室、 2・3F廊下	AW 23 南棟：1F教材室	AW 24 南棟：1F校長室	AW 25 南棟：1F湯沸室
	南棟 1F 1 2F 3F 計 1 北棟	南棟 1F 2F 3F 計 北棟	南棟 1F 1 2F 2 3F 5 計 北棟	南棟 1F 1 2F 3F 計 1 北棟	南棟 1F 2F 3F 計 北棟	南棟 1F 1 2F 3F 計 1 北棟
姿　図						
形式・見込寸法	引違いｱﾙﾐ窓(両側FIX付) 70	2段引違いｱﾙﾐ窓(片側FIX付) 70	引違いｱﾙﾐ窓 70	2連2段引違いｱﾙﾐ窓 70	2連2段引違いｱﾙﾐ窓 70	引違いｱﾙﾐ窓 70
材　料	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ
ガ ラ ス	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0	型板ｶﾞﾗｽt=4.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0 ﾗﾝﾏ:ｽﾘｶﾞﾗｽt=3.0	型板ｶﾞﾗｽt=4.0
付属金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備　考						SUS可動網戸
工事内容	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替・外止め取替（網戸共）	4.ｹｲｶﾙ板塗替(外部 可とう形改修塗材RE【弾性】)	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替・外止め取替		1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替・外止め取替（網戸共）

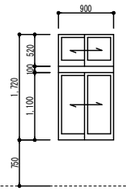
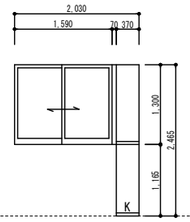
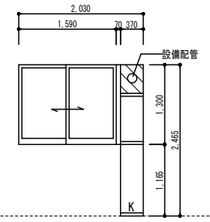
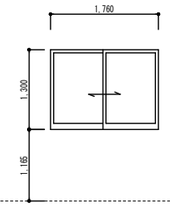
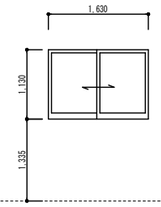
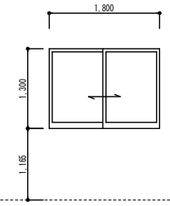
1. 南棟・北棟東の既設ｱﾙﾐｻｯｼの製造ﾒｰｶｰは不二ｻｯｼ
2. 北棟西・渡り廊下1・2の既設ｱﾙﾐｻｯｼの製造ﾒｰｶｰはYKK
3. ｶﾞﾗｽ全面ｸﾘｰﾆﾝｸﾞを行うこと。(将来改修予定建具も含む)
4. 既製間仕切に含まれる建具は建具表に含まない。
5. ▧ ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=3.0
6. ▨ ｱﾙﾐﾘﾌﾞﾊﾟﾈﾙt=1.0 両面芯材耐水合板t=4.0
7. K：ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ積層板t=35

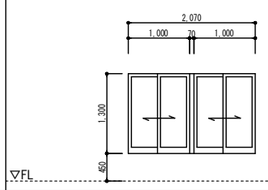
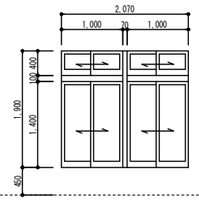
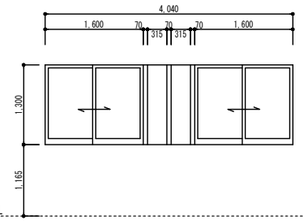
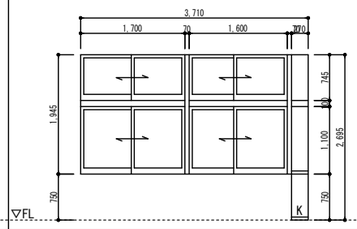
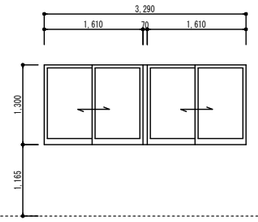
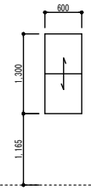
凡例
- 改修建具を示す
- 撤去建具を示す
- 新設建具を示す
- 撤去建具を示す (EV増築工事)

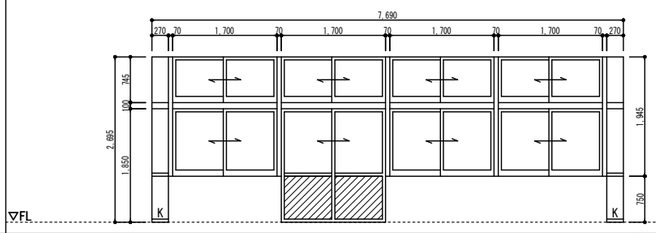
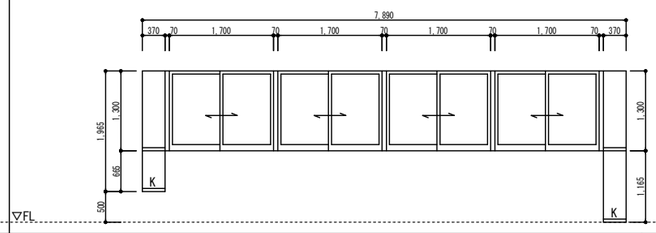
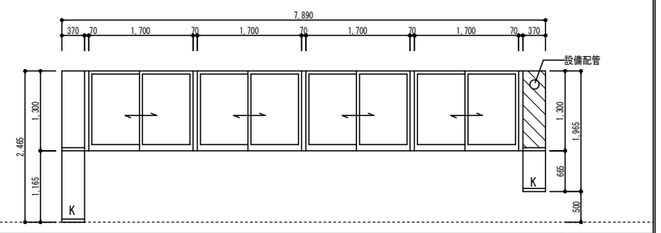
株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和1丁目15-30　TEL(052)618-8211　FAX(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第202334号 早瀬 貴次

設　計

整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第1期及び保全主体工事	NO.
年　月　日	A1 1/50 A3 1/100	建具表(3)	A — 84

符号・室名・数量	AW 26 北棟：1F廊下	AW 27 北棟：2・3F配膳室	AW 27a 北棟：1F配膳室	AW 28 南棟：1F職員室	AW 29 北棟：1F廊下、1F昇降口	AW 30 2・4F資料室 北棟3F教材室
	南棟 1F 2F 3F 計 / 北棟 1F 2F 3F 4F 計	南棟 1F 2F 3F 計 / 北棟 1F 2F 3F 4F 計	南棟 1F 2F 3F 計 / 北棟 1F 2F 3F 4F 計	南棟 1F 2F 3F 計 / 北棟 1F 2F 3F 4F 計	南棟 1F 2F 3F 計 / 北棟 1F 2F 3F 4F 計	南棟 1F 2F 3F 計 / 北棟 1F 2F 3F 4F 計
						1 1 1 3
姿　図						
形式・見込寸法	2段引違いｱﾙﾐ窓	引違いｱﾙﾐ窓(片側FIX付)	引違いｱﾙﾐ窓(片側FIX付)	引違いｱﾙﾐ窓	引違いｱﾙﾐ窓	引違いｱﾙﾐ窓
	70	70	70	70	70	70
材　料	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ
ガ ラ ス	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0	学校用強化ｶﾞﾗｽｶﾞﾗｽt=3.0	学校用強化ｶﾞﾗｽｶﾞﾗｽt=3.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0
付属金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備　考						
工事内容		1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替 4.ｹｲｶﾙ板塗替(内部 EP-G・外部 可とう形改修塗材RE【弾性】)	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替 4.ｹｲｶﾙ板塗替(内部 EP-G・外部 可とう形改修塗材RE【弾性】)		1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替 4.外れ止め取替（昇降口のみ）	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替

符号・室名・数量	AW 31 北棟：2・3F階段3	AW 32 北棟：4F階段室3	AW 33 南棟：1F職員更衣室	AW 34 北棟：3F視聴覚準備室	AW 35 北棟：4F廊下	AW 36 北棟：1F配膳室
	南棟 1F 2F 3F 計 / 北棟 1F 2F 3F 4F 計	南棟 1F 2F 3F 計 / 北棟 1F 2F 3F 4F 計	南棟 1F 2F 3F 計 / 北棟 1F 2F 3F 4F 計	南棟 1F 2F 3F 計 / 北棟 1F 2F 3F 4F 計	南棟 1F 2F 3F 計 / 北棟 1F 2F 3F 4F 計	南棟 1F 2F 3F 計 / 北棟 1F 2F 3F 4F 計
					1 1	1 1
姿　図						
形式・見込寸法	2連引違いｱﾙﾐ窓	2連2段引違いｱﾙﾐ窓	2連FIX付引違いｱﾙﾐ窓	2連2段引違いｱﾙﾐ窓(片側FIX付)	2連引違いｱﾙﾐ窓	上げ下げｱﾙﾐ窓
	70	70	70	70	70	70
材　料	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ
ガ ラ ス	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0	型板ｶﾞﾗｽt=4.0	上部:ｽﾘｶﾞﾗｽt=3.0 下部:ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0
付属金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備　考						
工事内容				4.ｹｲｶﾙ板塗替(外部 可とう形改修塗材RE【弾性】)	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設

符号・室名・数量	AW 37 北棟：4F音楽室	AW 38 南棟：2F普通教室(B-type)	AW 39 南棟：2F廊下
	南棟 1F 2F 3F 計 / 北棟 1F 2F 3F 4F 計	南棟 1F 2F 3F 計 / 北棟 1F 2F 3F 4F 計	南棟 1F 2F 3F 計 / 北棟 1F 2F 3F 4F 計
		1 1	1 1
姿　図			
形式・見込寸法	2連2段引違いｱﾙﾐ窓・2段引違いｱﾙﾐ窓付引違いｱﾙﾐﾄﾞｱ(両側FIX付)	4連引違いｱﾙﾐ窓(両側FIX付)	4連引違いｱﾙﾐ窓(両側FIX付)
	70	70	70
材　料	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ
ガ ラ ス	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0 ﾗﾝﾏ:ｽﾘｶﾞﾗｽt=3.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0
付属金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備　考			
工事内容	4.ｹｲｶﾙ板塗替(外部 可とう形改修塗材RE【弾性】)	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替 4.ｹｲｶﾙ板塗替(内部 EP-G・外部 可とう形改修塗材RE【弾性】)	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替 4.ｹｲｶﾙ板塗替(内部 EP-G・外部 可とう形改修塗材RE【弾性】)

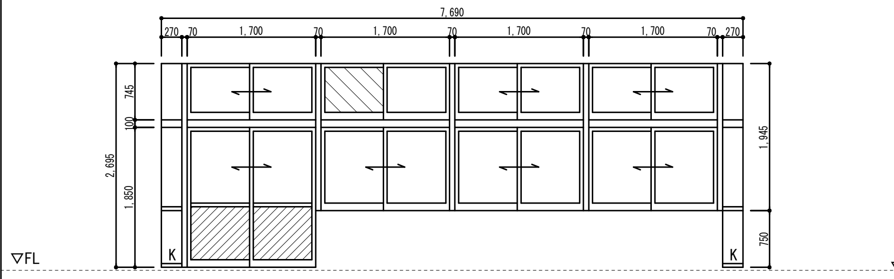
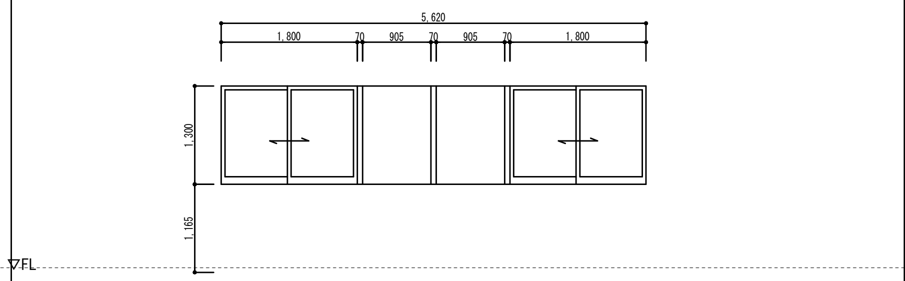
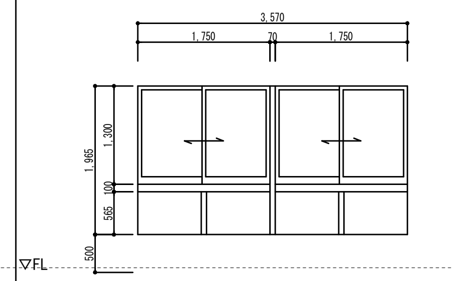
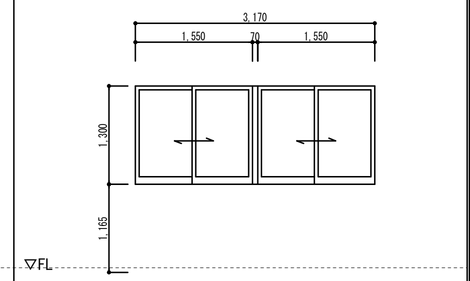
1.南棟・北棟東の既設ｱﾙﾐｻｯｼの製造ﾒｰｶｰは不二ｻｯｼ
2.北棟西・渡り廊下1・2の既設ｱﾙﾐｻｯｼの製造ﾒｰｶｰはYKK
3.ｶﾞﾗｽ全面ｸﾘｰﾆﾝｸﾞを行うこと。(将来改修予定建具も含む)
4.既製間仕切に含まれる建具は建具表に含まない。
5. ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=3.0
6. ｱﾙﾐﾘﾌﾞﾊﾟﾈﾙt=1.0 両面芯材耐水合板t=4.0
7.K：ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ積層板t=35

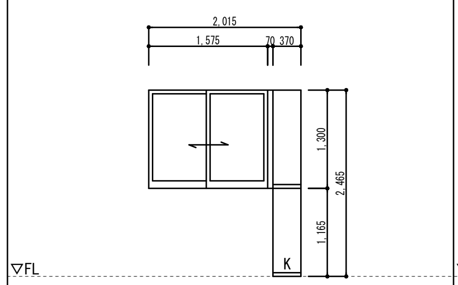
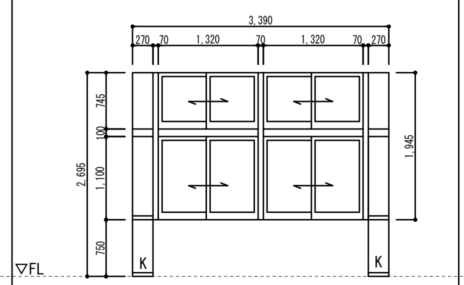
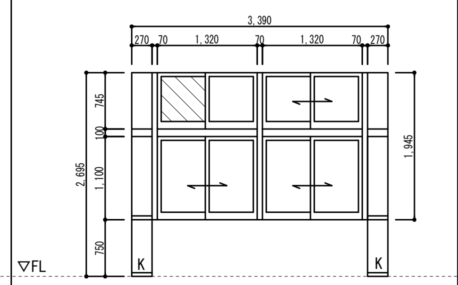
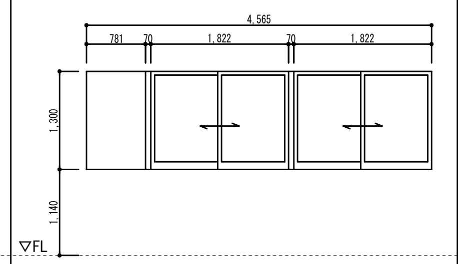
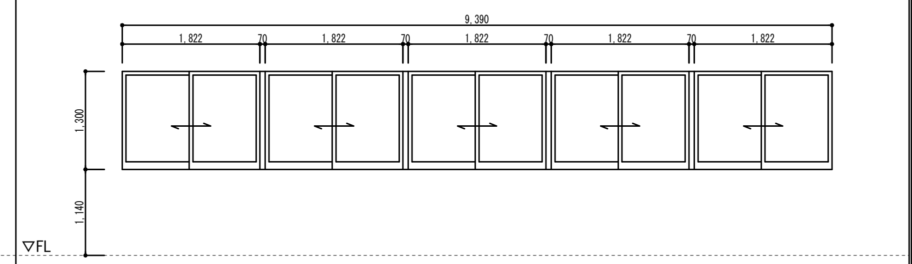
凡例：改修しない建具を示す　改修建具を示す　撤去建具を示す　新設建具を示す　撤去建具を示す(EV増築工事)

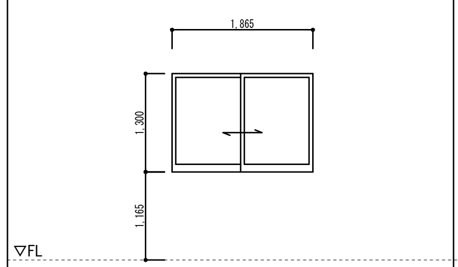
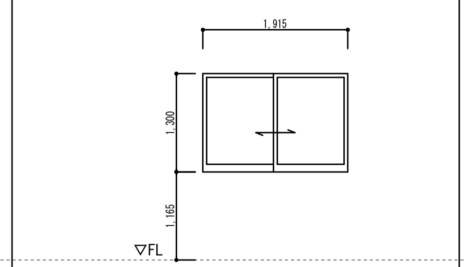
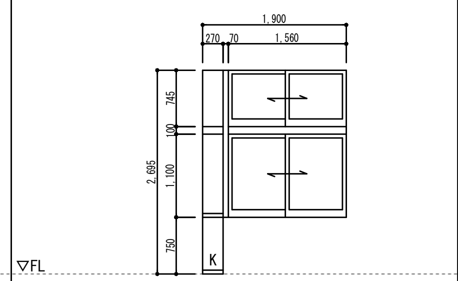
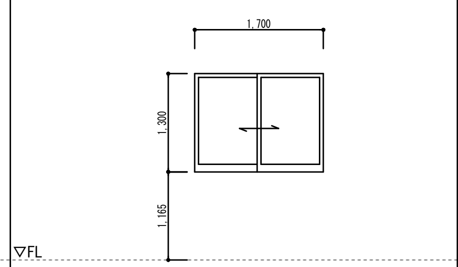
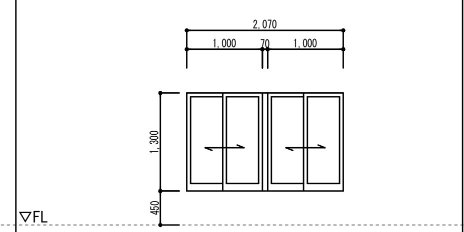
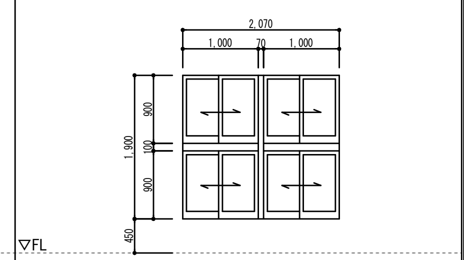
株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和1丁目15-30　TEL(052)618-8211　FAX(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第202334号　早瀬 貴次

設計

整理番号	縮尺	今池小学校校舎改修第1期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/50 A3 1/100	建具表(4)	A — 85

符号・室名・数量	AW N1 北棟：4F家庭科室　南棟 1F― 2F― 3F― 計―／北棟 1F― 2F― 3F― 4F― 計―	AW N2 北棟：1～4Fﾄｲﾚ4　南棟 1F― 2F― 3F― 計―／北棟 1F 2 2F 2 3F 2 4F 2 計 8	AW N3 北棟：1～4Fﾄｲﾚ4　南棟 1F― 2F― 3F― 計―／北棟 1F 1 2F 1 3F 1 4F 1 計 4	AW N4 北棟：1～4F手洗い　南棟 1F― 2F― 3F― 計―／北棟 1F 1 2F 1 3F 1 4F 1 計 4
姿　図				
形式・見込寸法	3連2段引違いｱﾙﾐ窓付引違いｱﾙﾐﾄﾞｱ(両側FIX付)　70	両側引違いｱﾙﾐ窓付2連FIX　70	2連引違いｱﾙﾐ窓(下部FIX付)　70	引違いｱﾙﾐ窓　70
材　料	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ
ガラス	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0 ﾗﾝﾏ:ｽﾘｶﾞﾗｽt=3.0	型板ｶﾞﾗｽt=4.0	型板ｶﾞﾗｽt=4.0 腰:網入型板ｶﾞﾗｽt=6.8	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0
付属金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備　考		SUS可動網戸	SUS可動網戸	
工事内容	4.ｹｲｶﾙ板塗替(外部 可とう形改修塗材RE【弾性】)	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替・外止め取替	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替・外止め取替	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替

符号・室名・数量	AW N5 北棟：1～4F廊下　南棟 1F― 2F― 3F― 計―／北棟 1F 1 2F 1 3F 1 4F 1 計 4	AW N6 北棟：2・3F教材室、1F小会議室　南棟 1F― 2F― 3F― 計―／北棟 1F― 2F― 3F― 4F― 計―	AW N6a 北棟：4F家庭科室　南棟 1F― 2F― 3F― 計―／北棟 1F― 2F― 3F― 4F― 計―	AW N7 渡り廊下2：1F　渡1 1F― 2F― 3F― 計―／渡2 1F― 2F― 3F― 計―	AW N8 渡り廊下2：2・3F　渡1 1F― 2F― 3F― 計―／渡2 1F― 2F 2 3F 2 計 4
姿　図					
形式・見込寸法	引違いｱﾙﾐ窓(片側FIX付)　70	2連引違いｱﾙﾐ窓(片側FIX付)　70	2連引違いｱﾙﾐ窓(片側FIX付)　70	引違いｱﾙﾐ窓(片側FIX付)　70	4連引違いｱﾙﾐ窓　70
材　料	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ
ガラス	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0 ﾗﾝﾏ：ｽﾘｶﾞﾗｽt=3.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0 ﾗﾝﾏ：ｽﾘｶﾞﾗｽt=3.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0
付属金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備　考					
工事内容	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替 4.ｹｲｶﾙ板塗替(内部 EP-G・外部 可とう形改修塗材RE【弾性】)	4.ｹｲｶﾙ板塗替(外部 可とう形改修塗材RE【弾性】)	4.ｹｲｶﾙ板塗替(外部 可とう形改修塗材RE【弾性】)		1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替

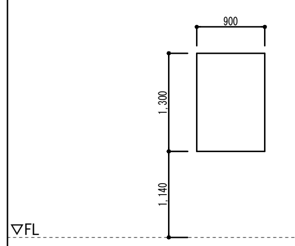
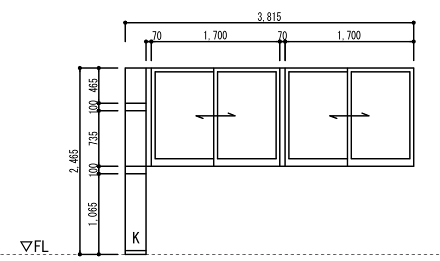
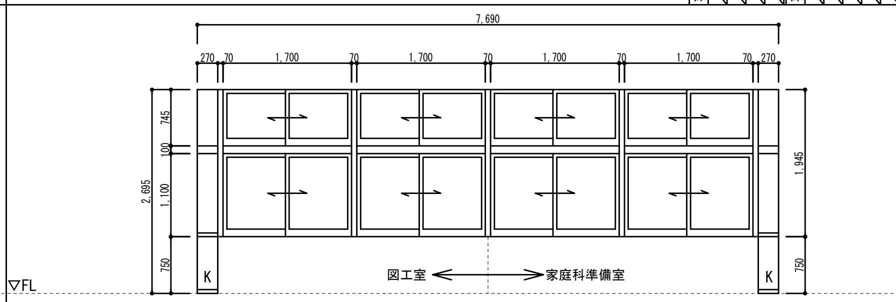
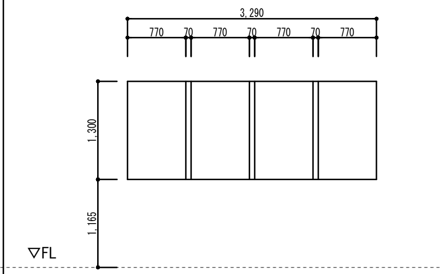
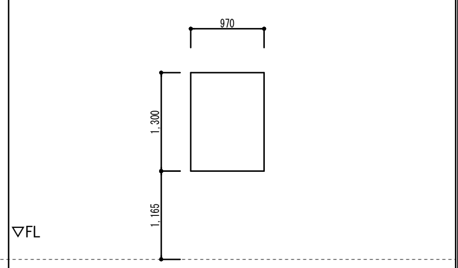
符号・室名・数量	AW N9 北棟：2F廊下　南棟 1F― 2F― 3F― 計―／北棟 1F― 2F 1 3F― 4F― 計 1	AW N10 北棟：3・4F廊下　南棟 1F― 2F― 3F― 計―／北棟 1F― 2F― 3F 1 4F 1 計 2	AW N11 北棟：4F倉庫　南棟 1F― 2F― 3F― 計―／北棟 1F― 2F― 3F― 4F― 計―	AW N12 北棟：1F倉庫4　南棟 1F― 2F― 3F― 計―／北棟 1F― 2F― 3F― 4F― 計―	AW N13 北棟：2・3F階段4　南棟 1F― 2F― 3F― 計―／北棟 1F― 2F― 3F― 4F― 計―	AW N14 北棟：4F階段室4　南棟 1F― 2F― 3F― 計―／北棟 1F― 2F― 3F― 4F― 計―
姿　図						
形式・見込寸法	引違いｱﾙﾐ窓　70	引違いｱﾙﾐ窓　70	2段引違いｱﾙﾐ窓(片側FIX付)　70	引違いｱﾙﾐ窓　70	2連引違いｱﾙﾐ窓　70	2連2段引違いｱﾙﾐ窓　70
材　料	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ
ガラス	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0 ﾗﾝﾏ:ｽﾘｶﾞﾗｽt=3.0	網入ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=6.8	網入ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=6.8	網入ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=6.8
付属金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備　考						
工事内容	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替	4.ｹｲｶﾙ板塗替(外部 可とう形改修塗材RE【弾性】)			

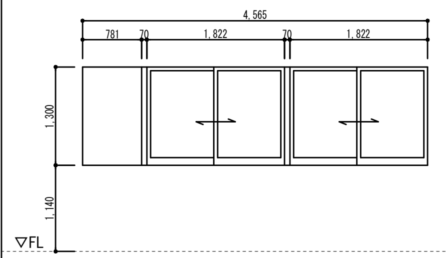
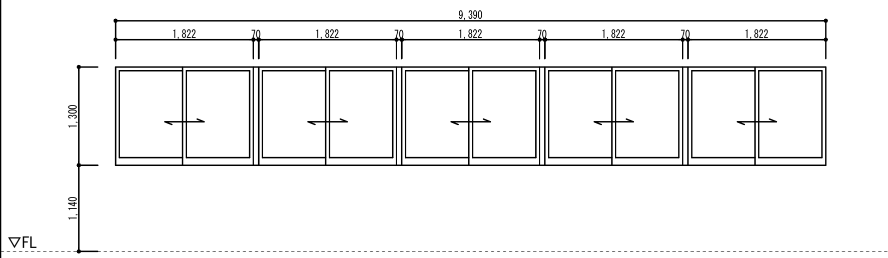
1.南棟・北棟東の既設ｱﾙﾐｻｯｼの製造ﾒｰｶｰは不二ｻｯｼ
2.北棟西・渡り廊下1・2の既設ｱﾙﾐｻｯｼの製造ﾒｰｶｰはYKK
3.ｶﾞﾗｽ全面ｸﾘｰﾆﾝｸﾞを行うこと。(将来改修予定建具も含む)
4.既製間仕切に含まれる建具は建具表に含まない。
5.（斜線）ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=3.0
6.（斜線）ｱﾙﾐﾘﾌﾞﾊﾟﾈﾙt=1.0 両面芯材耐水合板t=4.0
7.K：ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ積層板t=35

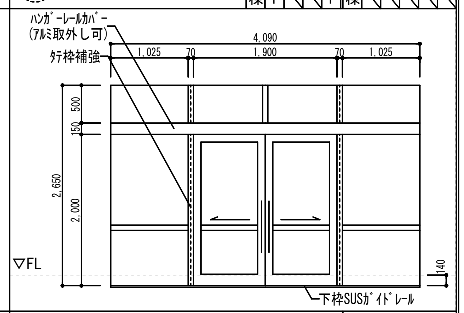
凡例
改修しない建具を示す　改修建具を示す　撤去建具を示す　新設建具を示す　撤去建具を示す（EV増築工事）

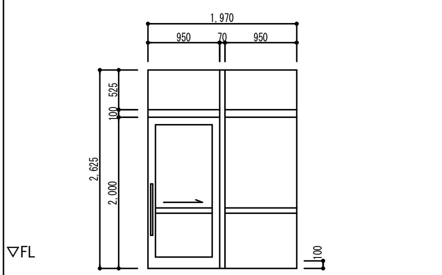
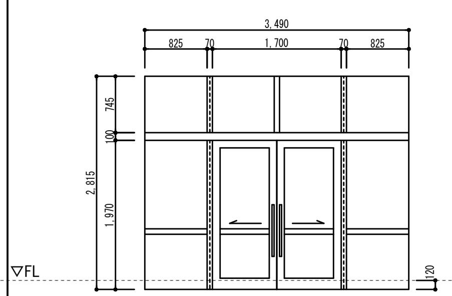
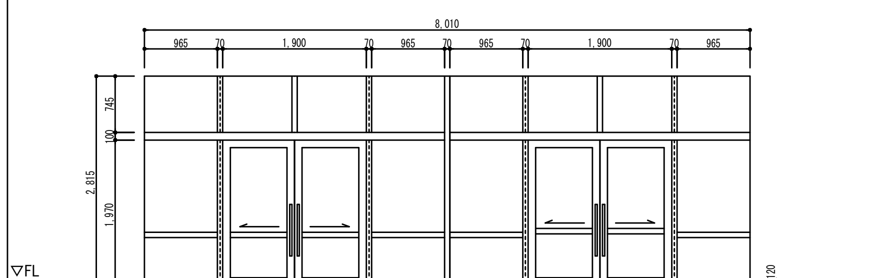
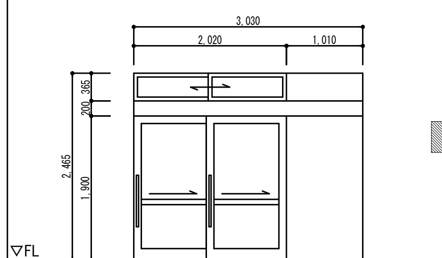
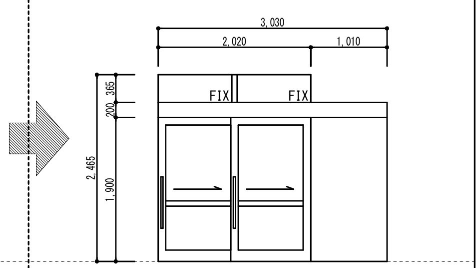
株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和1丁目15-30　TEL(052)618-8211　FAX(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号 早瀬 賞次

設計	整理番号	縮尺	今池小学校校舎改修第1期及び保全主体工事	NO.
	年 月 日	A1 1/50 A3 1/100	建具表(5)	A ― 86

符号・室名・数量	AW N15 2.3F渡り廊下2 (渡1 1F・2F・3F・計: —／渡2 2F 1・3F 1・計 2)	AW N16 北棟：1～4F廊下 (南棟: —／北棟 1F 1・2F 1・3F 1・4F 1・計 4)	AW N17 北棟：4F家庭科準備室-4F図工室 (南棟: —／北棟: —)	AW 40 北棟：2F配膳室 (南棟: —／北棟 2F 1・計 1)	AW 41 北棟：3F配膳室 (南棟: —／北棟 3F 1・計 1)
姿図					
形式・見込寸法	FIX ／ 70	両側引違いｱﾙﾐ窓付2連FIX ／ 70	4連引違いｱﾙﾐ窓(両側FIX付) ／ 70	4連FIX ／ 70	FIX ／ 70
材料	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ
ガラス	網入ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=6.8	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0 ﾗﾝﾏ:ｽﾘｶﾞﾗｽt=3.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0
付属金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備考					
工事内容	1.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去 ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去 ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替 4.ｹｲｶﾙ板塗替(内部 EP-G・外部 可とう形改修塗材RE【弾性】)	4.ｹｲｶﾙ板塗替(外部 可とう形改修塗材RE【弾性】)	1.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去 ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設	1.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去 ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設

符号・室名・数量	AW H1 渡り廊下2：1F (渡1 1F 2・計 2／渡2: —)	AW H2 渡り廊下2：2・3F (渡1: —／渡2 2F 2・3F 2・計 4)
姿図		
形式・見込寸法	引違いｱﾙﾐ窓(片側FIX付) ／ 70	4連引違いｱﾙﾐ窓 ／ 70
材料	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ
ガラス	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0
付属金物	付属金物一式	付属金物一式
備考		
工事内容	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去 ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去 ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替

符号・室名・数量	SSD 1 南棟：1F玄関 (南棟 1F 1・計 1／北棟: —)
姿図	
形式・見込寸法	両側FIX付両引き戸(上部FIX付) ／ 100
材料	SUS304
ガラス	学校用強化ｶﾞﾗｽt=4.0
付属金物	ｼﾘﾝﾀﾞｰ鎌錠 SUS握棒
備考	ﾊﾝｶﾞｰ戸属金物一式(戸車・ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙその他) 中央ｽﾄｯﾊﾟｰ
工事内容	既設のまま

符号・室名・数量	AD 1 南棟：1F職員玄関 (南棟 1F 1・計 1／北棟: —)	AD 2 南棟：1F図書室 (南棟: —／北棟: —)	AD 3 北棟：1F昇降口 (南棟: —／北棟 1F 2・計 2)	AD 4 北棟：1F廊下	AD 新102 北棟：1F廊下 (南棟: —／北棟 1F 1・計 1)
姿図					
形式・見込寸法	片側FIX付片引きｱﾙﾐ戸(上部FIX付) ／ 100	両側FIX付両引きｱﾙﾐ戸(上部FIX付) ／ 100	両側両引きｱﾙﾐ戸付2連FIX(上部FIX付) ／ 100	2連引きｱﾙﾐ戸(上部引違いｱﾙﾐ窓) ／ 100	2連引きｱﾙﾐﾊﾝｶﾞｰﾄﾞｱ(上部FIX窓) ／ 200
材料	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ
ガラス	学校用強化ｶﾞﾗｽt=4.0	学校用強化ｶﾞﾗｽt=4.0	学校用強化ｶﾞﾗｽt=4.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0 腰:網入ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=6.8	学校用強化ｶﾞﾗｽt=4.0（ﾗﾝﾏ共）
付属金物	ｼﾘﾝﾀﾞｰ鎌錠 SUS握棒	SUS握棒	SUS握棒		下枠SUS沓摺（ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ）
備考	ﾊﾝｶﾞｰ戸付属金物一式(戸車・ｶﾞｲﾄﾞﾛｰﾗｰその他) 大型ｼﾘﾝﾀﾞｰﾈｼﾞ締・中央ｽﾄｯﾊﾟｰ	ﾊﾝｶﾞｰ戸属金物一式(戸車・ｶﾞｲﾄﾞﾛｰﾗｰその他) 大型ｼﾘﾝﾀﾞｰﾈｼﾞ締・中央ｽﾄｯﾊﾟｰ	大型ｼﾘﾝﾀﾞｰﾈｼﾞ締	大型ｼﾘﾝﾀﾞｰﾈｼﾞ締	ﾊﾝｶﾞｰ戸付属金物一式(戸車・ｶﾞｲﾄﾞﾛｰﾗｰ他) 本締錠
工事内容	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去 ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｶﾞｲﾄﾞﾛｰﾗｰ取替・外止め取替・付属金物取替 4.ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠取替（ﾏｽﾀｰｷｰ合わせ）		既設のまま	撤去（斫り工法）	新設

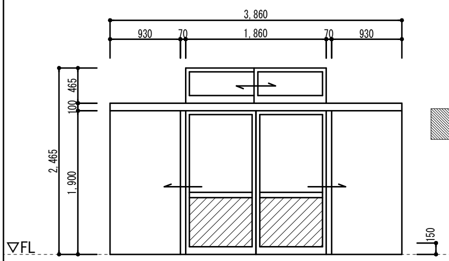
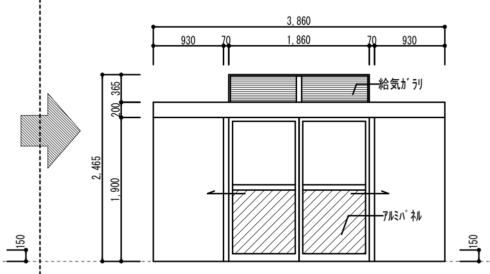
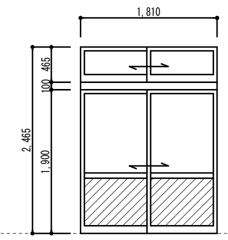
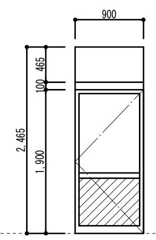
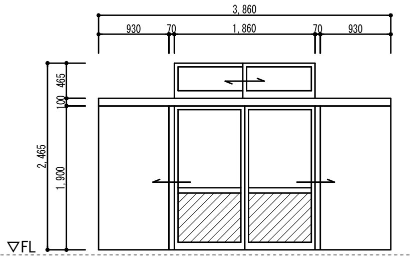
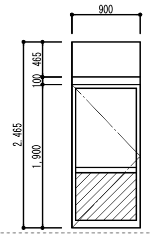
1.南棟・北棟東の既設ｱﾙﾐｻｯｼの製造ﾒｰｶｰは不二ｻｯｼ
2.北棟西・渡り廊下1・2の既設ｱﾙﾐｻｯｼの製造ﾒｰｶｰはYKK
3.ｶﾞﾗｽ全面ｸﾘｰﾆﾝｸﾞを行うこと。(将来改修予定建具も含む)
4.既製間仕切に含まれる建具は建具表に含まない。
5. ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=3.0
6. ｱﾙﾐﾘﾌﾞﾊﾟﾈﾙt=1.0 両面芯材耐水合板t=4.0
7.K：ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ積層板t=35

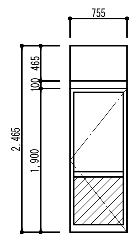
凡例
改修しない建具を示す　改修建具を示す　撤去建具を示す　新設建具を示す　撤去建具を示す(EV増築工事)

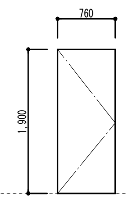
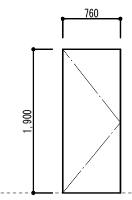
株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５-３０　TEL(052)618-8211　FAX(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号 早瀬 賞次

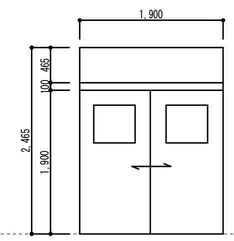
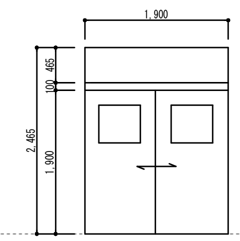
設計 ／ 整理番号 ／ 年月日 ／ 縮尺 A1 1/50 A3 1/100

今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事
建具表(6)

符号・室名・数量	AD N1 渡り廊下2：1F	AD 新103 渡り廊下2：1F（渡1：1F ╲ 2F ╲ 3F ╲ 計 ╲／渡2：1F 2 2F ╲ 3F ╲ 計 2）	AD N2 北棟：1F廊下（南棟：1F ╲ 2F ╲ 3F ╲ 計 ╲／北棟：1F 1 2F ╲ 3F ╲ 4F ╲ 計 1）	AD N3 渡り廊下2：2・3F（渡1：╲／渡2：╲）	AD H1 渡り廊下1：1F（渡1：1F 2 2F ╲ 3F ╲ 計 2／渡2：╲）	AD H2 2・3F渡り廊下1（渡1：╲／渡2：╲）
姿図						
形式・見込寸法	両引きｱﾙﾐﾄﾞｱ　100	両引きｱﾙﾐﾊﾝｶﾞｰﾄﾞｱ　200	上部引違いｱﾙﾐ窓付引違いｱﾙﾐﾄﾞｱ　70	開きｱﾙﾐﾄﾞｱ(上部FIX付)　70	両引きｱﾙﾐﾄﾞｱ(上部FIX付)　100	開きｱﾙﾐﾄﾞｱ(上部FIX付)　70
材料	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ	ｱﾙﾏｲﾄ
ガラス	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0 腰:網入ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=6.8 ﾗﾝﾏ:ｽﾘｶﾞﾗｽt=3.0	学校用強化ｶﾞﾗｽt=4.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0 腰:ﾗﾌﾜｲﾔｰt=6.8 ﾗﾝﾏ:ｽﾘｶﾞﾗｽt=3.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0 腰:網入ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=6.8 ﾗﾝﾏ：ｽﾘｶﾞﾗｽt=3.0	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0 腰:網入ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=6.8	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0 腰:網入ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=6.8
付属金物	付属金物一式 SUS額縁t=2.0(沓摺)	付属金物一式 SUS沓摺（ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ）	付属金物一式	丁番 ﾄﾞｱﾁｪｯｸ ｼﾘﾝﾀﾞｰ箱錠	付属金物一式	丁番 ﾄﾞｱﾁｪｯｸ ｼﾘﾝﾀﾞｰ箱錠
備考	ﾊﾝｶﾞｰ戸付属金物一式(戸車・ｶﾞｲﾄﾞﾛｰﾗｰ他) 大型ｼﾘﾝﾀﾞｰ・ﾈｼﾞ締・中央ｽﾄｯﾊﾟｰ	ﾊﾝｶﾞｰ戸付属金物一式(戸車・ｶﾞｲﾄﾞﾛｰﾗｰ他) 本締錠・ﾗﾝﾏ給気ｶﾞﾗﾘ（開口率30%）・下部ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=5.0			ﾊﾝｶﾞｰ戸付属金物一式(戸車・ｶﾞｲﾄﾞﾛｰﾗｰ他) 大型ｼﾘﾝﾀﾞｰ　ﾈｼﾞ締　中央ｽﾄｯﾊﾟｰ	
工事内容	撤去（斫り工法）	新設	1.建具調整 2.ｶﾞｽｹｯﾄ撤去　ｶﾞﾗｽｼｰﾘﾝｸﾞ(SR-1)10×10（両面）新設 3.戸車取替・ｸﾚｾﾝﾄ取替・外止め取替		既設のまま	

符号・室名・数量	AD H3 2・3F渡り廊下1（渡1：1F ╲ 2F ╲ 3F ╲ 計 ╲／渡2：1F ╲ 2F ╲ 3F ╲ 計 ╲）
姿図	
形式・見込寸法	開きｱﾙﾐﾄﾞｱ(上部FIX付)　70
材料	ｱﾙﾏｲﾄ
ガラス	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0 腰:網入ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=6.8
付属金物	丁番 ﾄﾞｱﾁｪｯｸ ｼﾘﾝﾀﾞｰ箱錠
備考	
工事内容	

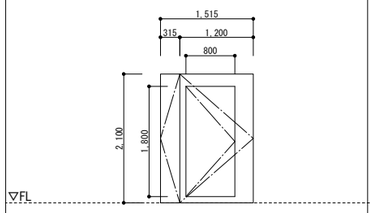
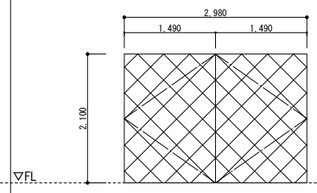
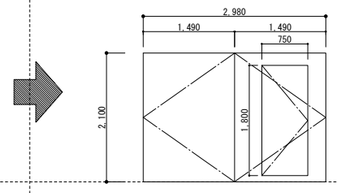
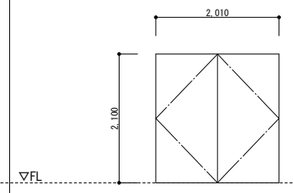
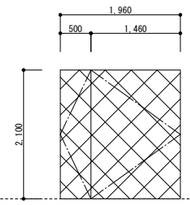
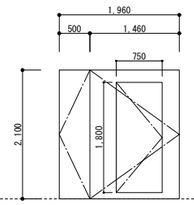
符号・室名・数量	WD N1 南棟：1～3F廊下（南棟：1F 1 2F 1 3F 1 計 3／北棟：1F ╲ 2F ╲ 3F ╲ 4F ╲ 計 ╲）	WD H1 南棟：2、3F廊下（南棟：1F ╲ 2F 1 3F 1 計 2／北棟：1F ╲ 2F ╲ 3F ╲ 4F ╲ 計 ╲）
姿図		
形式・見込寸法	開きﾄﾞｱ　21	開きﾄﾞｱ　21
材料	ﾍﾞﾆﾔ(ｼﾅﾉｷ) OP	ﾍﾞﾆﾔ(ｼﾅﾉｷ) OP
ガラス		
付属金物	丁番 取手 ﾏｸﾞﾈｯﾄｷｬｯﾁ錠	丁番 取手 ﾏｸﾞﾈｯﾄｷｬｯﾁ錠
備考		
工事内容	1.建具調整 2.扉両面SOP塗替（枠、戸袋共）	1.建具調整 2.扉両面SOP塗替（枠、戸袋共）

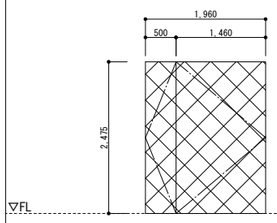
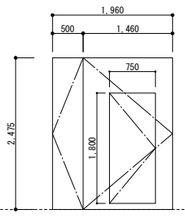
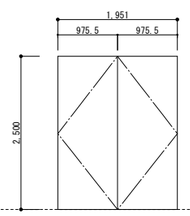
符号・室名・数量	P 南棟：1F図書室	P 新10 南棟：1F図書室（南棟：1F 1 2F ╲ 3F ╲ 計 1／北棟：1F ╲ 2F ╲ 3F ╲ 4F ╲ 計 ╲）
姿図		
形式・見込寸法	ｱﾙﾐﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ　70	ｽﾁｰﾙﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ　80
材料	ｱﾙﾏｲﾄ	ｽﾁｰﾙ
ガラス	ﾗﾝﾏ：ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0 ﾄﾞｱ：型板ｶﾞﾗｽt=4.0	ﾗﾝﾏ：学校用強化ｶﾞﾗｽt=4.0 引違い戸：学校用型板強化ｶﾞﾗｽt=4.0
付属金物	付属金物一式	付属金物一式
備考		
工事内容	撤去	新設

1.南棟・北棟東の既設ｱﾙﾐｻｯｼの製造ﾒｰｶｰは不二ｻｯｼ
2.北棟西・渡り廊下1・2の既設ｱﾙﾐｻｯｼの製造ﾒｰｶｰはYKK
3.ｶﾞﾗｽ全面ｸﾘｰﾆﾝｸﾞを行うこと。(将来改修予定建具も含む)
4.既製間仕切に含まれる建具は建具表に含まない。
5. ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=3.0
6. ｱﾙﾐﾘﾌﾞﾊﾟﾈﾙt=1.0 両面芯材耐水合板t=4.0
7.K：ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ積層板t=35

凡例
改修しない建具を示す　改修建具を示す　撤去建具を示す　新設建具を示す　撤去建具を示す（EV増築工事）

株式会社 市川三千男建築設計事務所 ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS	設計
名古屋市中区平和1丁目15-30　TEL(052)618-8211　FAX(052)618-8210	
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号 早瀬 賞次	
整理番号	年 月 日
縮尺	A1 1/50　A3 1/100
今池小学校校舎改修第1期及び保全主体工事	建具表(7)
NO.	A ― 88

符号・室名・数量	SD 1 南棟：1F階段1・2 北棟：1F階段3・4	SD 2 南棟：2～3F階段1・2 北棟：2～4F階段3・4		SD 3 南棟：1F廊下	SD 4 北棟：2・3F廊下	
	南棟 1F 2 2F 3F 計 2 / 北棟 1F 2 2F 3F 4F 計 2	南棟 1F 2 2F 2 計 4 / 北棟 1F 2 2F 2 3F 2 4F 計 6		南棟 1F 1 3F 1 計 1 / 北棟	南棟 / 北棟 1F 1 2F 1 計 2	
姿　図						
形式・見込寸法	親子防火戸 210	両開き防火戸 210	両開き防火戸 210	両開き防火戸 210	親子防火戸 210	親子防火戸 210
材　料	ｽﾁｰﾙ OP	ｽﾁｰﾙ OP	ｽﾁｰﾙ SOP	ｽﾁｰﾙ OP	ｽﾁｰﾙ OP	ｽﾁｰﾙ SOP
ガラス	――	――	――	――	――	――
付属金物	ﾌﾛｱｰﾋﾝｼﾞ ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ（内側） ｵｰﾄﾋﾝｼﾞ	ﾌﾛｱｰﾋﾝｼﾞ ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ（内側）		ﾌﾛｱｰﾋﾝｼﾞ 分電盤錠 ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ（内側）	ﾌﾛｱｰﾋﾝｼﾞ ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ（内側）	
備　考	戸袋付 煙感連動自動閉鎖 順位調整器 特定防火設備	戸袋付 煙感連動自動閉鎖 順位調整器 特定防火設備	戸袋付 煙感連動自動閉鎖 順位調整器 特定防火設備	戸袋付 煙感連動自動閉鎖 順位調整器 特定防火設備	戸袋付 煙感連動自動閉鎖 順位調整器 特定防火設備	戸袋付 煙感連動自動閉鎖 順位調整器 特定防火設備
工事内容	1.建具調整 2.金物交換（順位調整器、ｵｰﾄﾋﾝｼﾞ、その他付属金物） 3.扉両面SOP塗替（枠、戸袋共）	1.扉　撤去 2.枠・戸袋 SOP塗替	1.潜り戸付き扉SOP塗　新設	1.建具調整 2.金物交換（順位調整器、ｵｰﾄﾋﾝｼﾞ、その他付属金物） 3.扉両面SOP塗替（枠、戸袋共）	1.扉　撤去 2.枠・戸袋 SOP塗替	1.潜り戸付き扉　新設

符号・室名・数量	SD H2 北棟：2・3F廊下		SD 101 北棟：1F廊下
	南棟 / 北棟 1F 1 2F 1 計 2		南棟 / 北棟 1F 1 計 1
姿　図			
形式・見込寸法	親子防火戸 210	親子防火戸 210	両開き防火戸 210
材　料	ｽﾁｰﾙ OP	ｽﾁｰﾙ SOP	ｽﾁｰﾙ OP
ガラス	――	――	――
付属金物	ﾌﾛｱｰﾋﾝｼﾞ ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ（内側）		順位調整器 ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ
備　考	戸袋付 煙感連動自動閉鎖 順位調整器 特定防火設備	戸袋付 煙感連動自動閉鎖 順位調整器 特定防火設備	戸袋付 煙感連動自動閉鎖 特定防火設備
工事内容	1.扉　撤去 2.枠・戸袋 SOP塗替	1.潜り戸付き扉　新設	新設

ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ

1.付属金物：ｱﾝｸﾞﾙﾋﾞｰｽ ｸﾚｾﾝﾄ 出入口戸付引違い用ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠
2.出入口戸下枠：SUSt=2.0
3.ﾊﾟﾈﾙt=35(引違い戸ﾊﾟﾈﾙt=33)　ﾊﾟﾈﾙ表面仕上：ﾒﾗﾐﾝ化粧鋼板t=4.0両面貼　ﾊﾟﾈﾙ骨材：ﾎﾟﾝﾃﾞ鋼板　ﾊﾟﾈﾙ芯材：ﾍﾟｰﾊﾟｰﾊﾆｶﾑ

8.SUS握棒：ﾕﾆｵﾝT-680

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５-３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

設　計

整理番号
年 月 日

縮　尺
A1 1/50
A3 1/100

今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事

建具表(8)

NO. A — 89

生徒用ﾛｯｶｰ、掃除用具入

A1:1/20　A3：1/40

家具工事共通事項

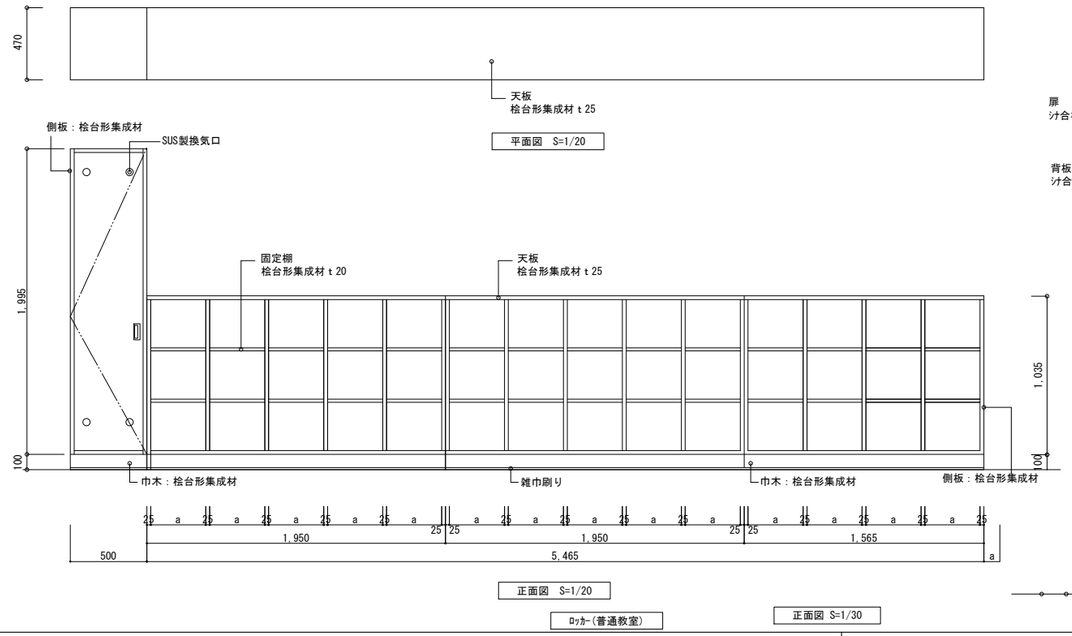
1．寸法は現場にて再調査の上、決定とする。
2．本図は参考図とし、承認図により決定とする。
3．形状・仕上・寸法等は承認前に監督員と協議し、決定する事。
4．内装工事、設備工事、関連工事との調整を行う事。
5．木質建材、下地材、接着剤、保温材等は法に基づくｼｯｸﾊｳｽ対応品とし、
　Ｆ☆☆☆☆以上の建材を使用する事。

家具工事共通事項

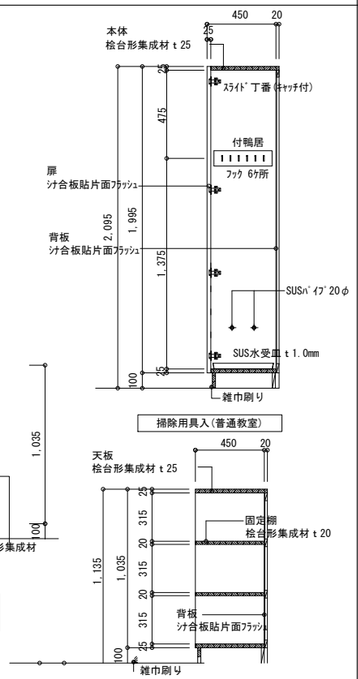
1．特記なき限り、天板、側板、棚板、枠材、仕切材は桧台形集成材（節あり）とする。
　天板ｔ＝25、側板ｔ＝25、棚板ｔ＝20
2．特記なき限り、可動棚はｼﾅ合板ｔ＝20、固定棚はｼﾅ合板ｔ＝8とする。
3．特記なき限り、内部背板はｼﾅ合板ｔ＝4.0 CL仕上げとする。
4．特記なき限り、見掛部分はｳﾚﾀﾝｸﾘｱ仕上げとする。
5．特記なき限り、家具の扉は見込み25、ｼﾅ合板ﾌﾗｯｼｭとする。
6．特記なき限り、SUSﾊﾟｲﾌﾟφ27.2　ｔ＝3.0とする。
7．特記なき限り、出隅部分は必要に応じて適宜面取り加工とする。
8．移動家具を除き、すべての家具は耐震固定とし、必要に応じた下地補強を行うこと。
9．特記なき限り、家具金物はSUSを使用し、見本品により決定する。
10．特記なき限り、SUSはSUS304とする。

※ 桧台形集成材は、愛知県産又は根羽村産の間伐材とする。

室	a	箇所数
普通教室(A-type)	387	5
	401	11
普通教室(B-type)	382	2
普通教室(C-type)	365	1
	379	1
	393	1
	365	1
	379	1
	393	1



ﾛｯｶｰ(普通教室)

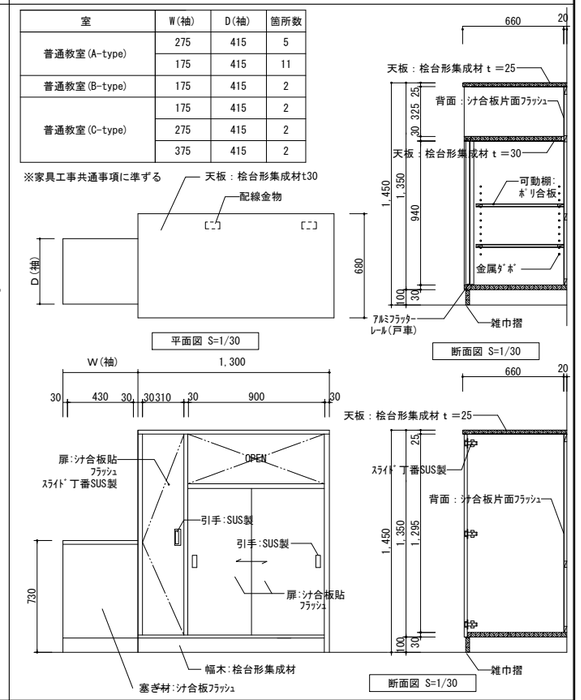


教師用戸棚

A1:1/20 A3：1/40

室	W(袖)	D(袖)	箇所数
普通教室(A-type)	275	415	5
	175	415	11
普通教室(B-type)	175	415	2
普通教室(C-type)	175	415	2
	275	415	2
	375	415	2

※家具工事共通事項に準ずる

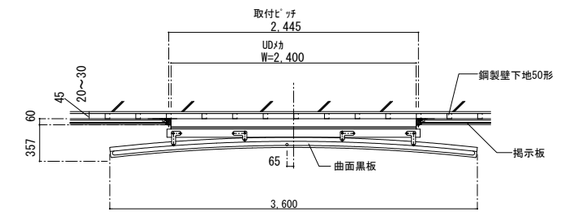


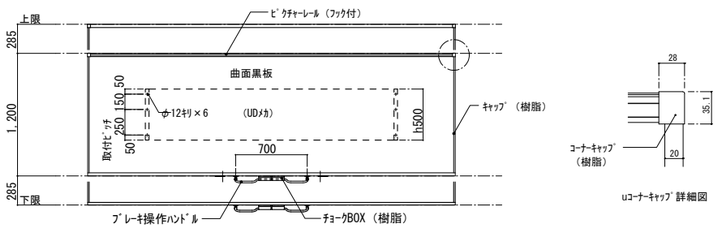
上下式曲面黒板（壁がLGS下地の場合）

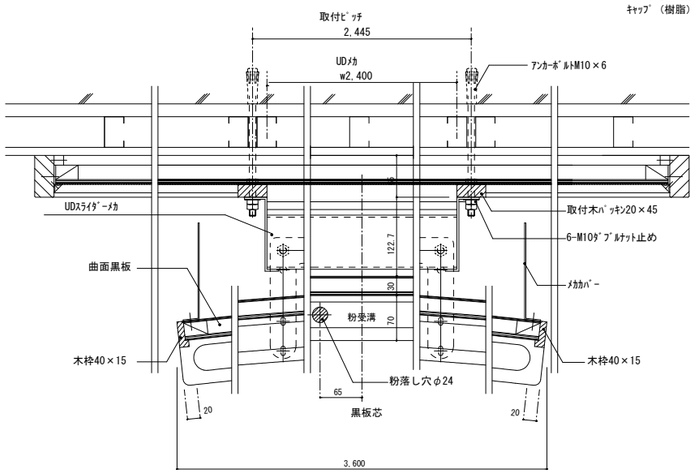
A1:1/5.30　A3：1/10.60

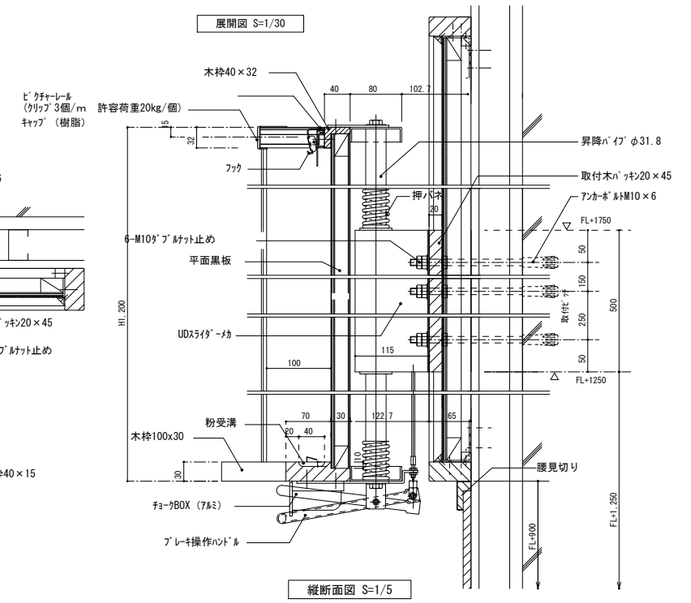
室　名	箇所数
普通教室（A・B-type）	18

・木枠 ﾈｰﾛｰｸﾞﾚｰ(一点鎖線暗線入)







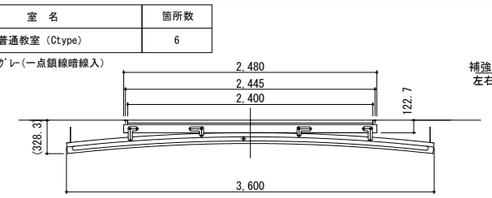


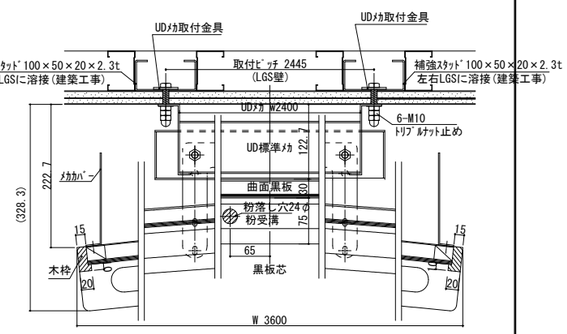
曲面黒板（壁がALC下地の場合）

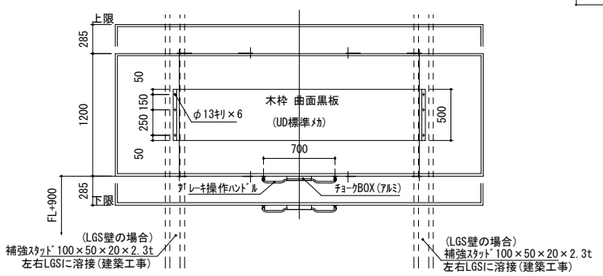
A1:1/5.30　A3：1/10.60

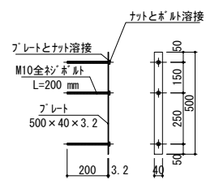
室　名	箇所数
普通教室（Ctype）	6

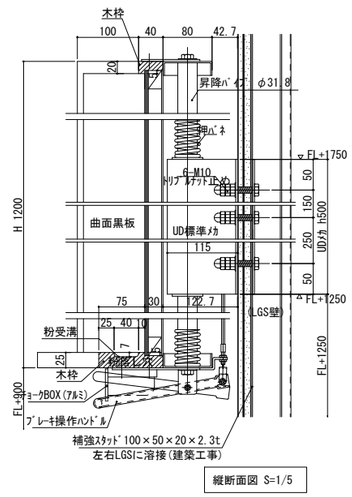
・木枠 ﾈｰﾛｰｸﾞﾚｰ(一点鎖線暗線入)











・		・	
・		・	
・		・	

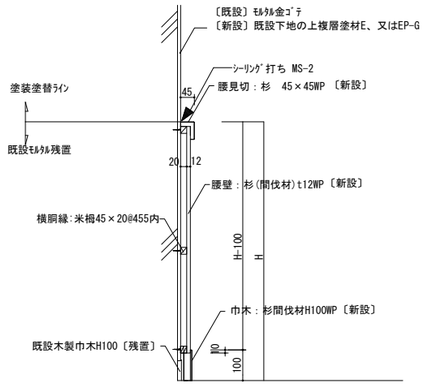
株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５-３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

設　計

整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/5・20・30 A3 1/10・20・30	部分詳細図（1）	A — 90

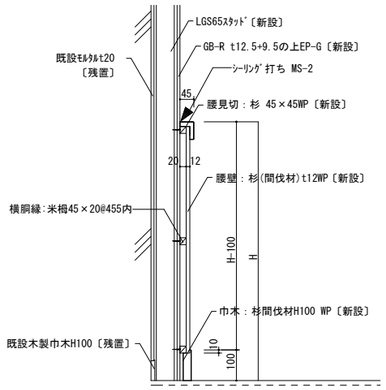
教室・廊下腰壁杉板張り

A1:1/5、1/10　A3：1/10、1/20



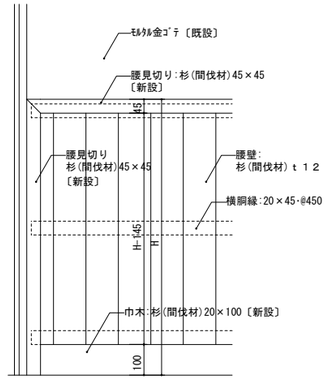
RC壁部分断面詳細図 1/10

※Hは展開図による



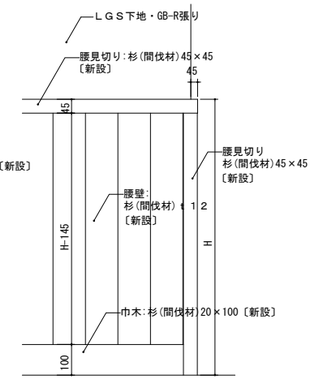
LGS壁部分断面詳細図 1/10

※Hは展開図による



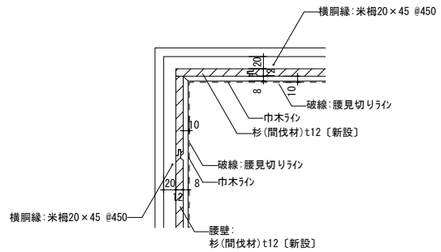
ＲＣ壁部分展開図　1/10

※Hは展開図による

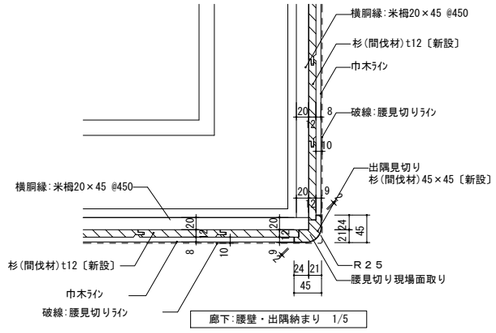


ＬＧＳ壁部分展開図　1/10

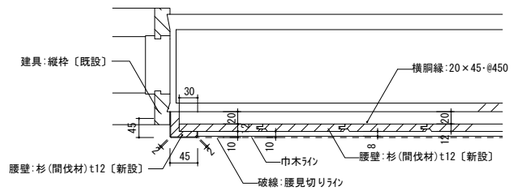
※Hは展開図による



廊下：腰壁・入隅納まり　1/5



廊下：腰壁・出隅納まり　1/5

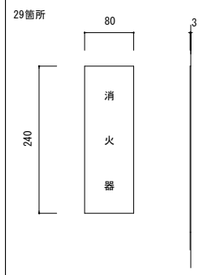


建具廻り納まり　1/5

※杉の間伐材は、愛知県産又は根羽村産の間伐材とする。

消火器ｻｲﾝ詳細図

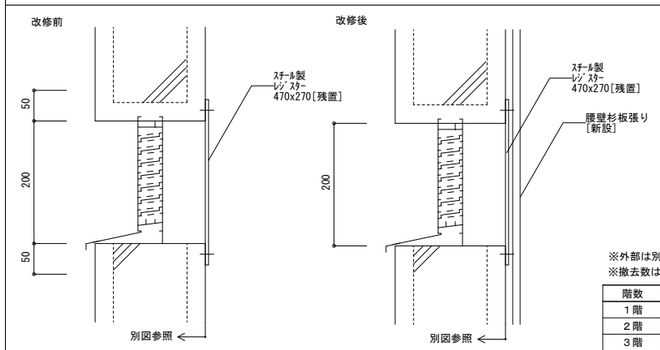
A1:1/5　A3：1/10



＜仕様＞
本体：ｱｸﾘﾙt3
表示：ｼｰﾄ文字
※書体：MSｺﾞｼｯｸ

ﾚｼﾞｽﾀｰ部孔塞ぎ 詳細図（内部）

A1:1/5　A3：1/10



※外部は別図参照
※撤去数は下記のとおりとする。

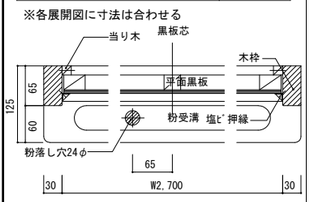
階数	北棟	南棟
1階	4	6
2階	8	14
3階	6	14
4階	0	

木枠平面黒板（普通教室　背面黒板）

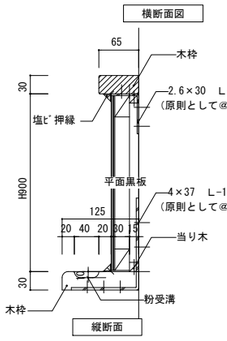
A1:1/5 A3：1/10

室　名	箇所数
普通教室（A・B・C-type）	24

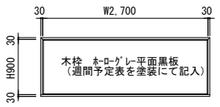
※各展開図に寸法は合わせる



横断面図



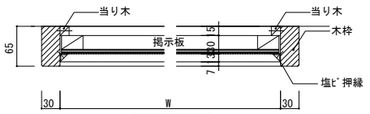
縦断面



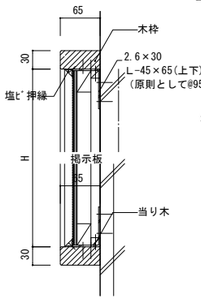
展開図　S=1/50

木枠掲示板

A1:1/5 A3：1/10

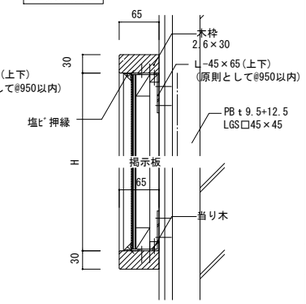


横断面図



縦断面

※ＲＣ躯体設置時



縦断面

※ﾎﾞｰﾄﾞ面設置時

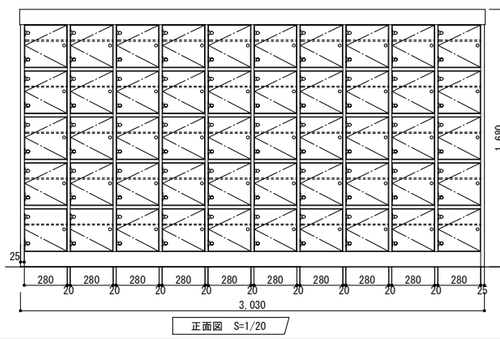
	室　名	寸法(W×H)	備　考	箇所数
北棟	普通教室（A・C-type）	※	背面、木枠:WP塗装	18
	廊下	W5,300×H1,300	背面、木枠:WP塗装	1
	廊下	W6,000×H1,300	背面、木枠:WP塗装	1
南棟	普通教室（A・B-type）	※	背面、木枠:WP塗装	30
渡り廊下	渡り廊下1・2	W1,215×H1,200	背面、木枠:WP塗装	12
	渡り廊下2	W7,500×H1,300	背面、木枠:WP塗装	1
		W6,165×H1,300	背面、木枠:WP塗装	1
		W5,700×H1,300	背面、木枠:WP塗装	2
		W4,635×H1,300	背面、木枠:WP塗装	2

※各展開図に寸法は合わせる

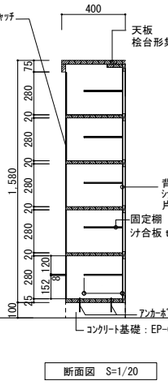
玄関　木製下足箱

A1:1/20　A3：1/40

部屋名	個数
職員玄関	1



正面図　S=1/20

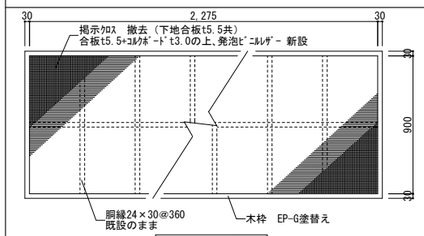


断面図　S=1/20

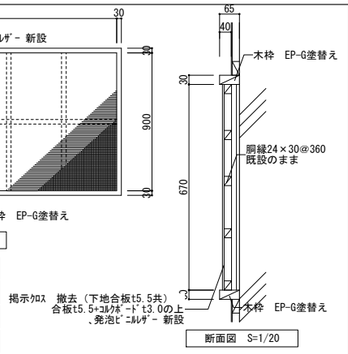
名 称	材 質・仕 様
天 板	t20 ﾒﾗﾐﾝ化粧板
	正面木口:t2 ｾｰﾌﾃｨｴｯｼﾞ（ABS樹脂）
外 装	ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ樹脂板
内 装	ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ樹脂板
上足棚板	t20 ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ樹脂板
	木口:t2 ｾｰﾌﾃｨｴｯｼﾞ（ABS樹脂）
下足棚板	t20 ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ樹脂板
	木口:樹脂ｴｯｼﾞ(ABS樹脂)
開 戸	t20 ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ樹脂板
	木口:t2 ｾｰﾌﾃｨｴｯｼﾞ（ABS樹脂）
	ｱｸﾘﾙ板 t3
	丸型ﾂﾏﾐ取手 φ20
	ｽﾗｲﾄﾞ丁番(上:ｷｬｯﾁ付、下:ｷｬｯﾁ無)
側板見付	t2 ｾｰﾌﾃｨｴｯｼﾞ（ABS樹脂）
見 付	樹脂ｴｯｼﾞ(ABS樹脂)
台 輪	ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ樹脂板
	角部:ｾｰﾌﾃｨｶﾊﾞｰ27L(ABS樹脂)

掲示板　ｸﾛｽ貼替詳細図

A1:1/10　A3：1/20



正面図　S=1/20

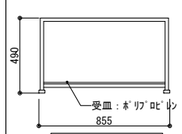


断面図　S=1/20

室　名	箇所数	寸法(W×H)
廊下	2	W5,140×H870
廊下	1	W3,960×H1,840
階段室	24	W1,200×H900

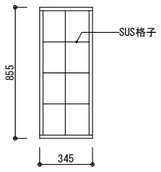
傘立て詳細図

A1:1/20　A3：1/40



正面図　S=1/20

傘立てB
(TERAMOTO UB-281-148-0
同等品とする)

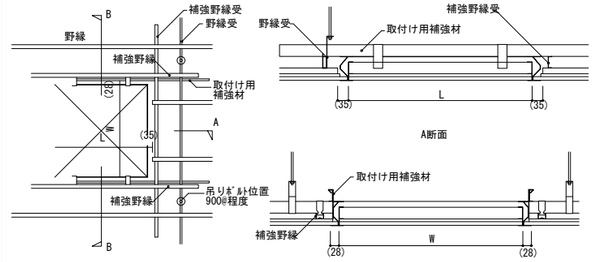


正面図　S=1/20

部　屋　名	種別	個数
職員玄関	傘立てB	1

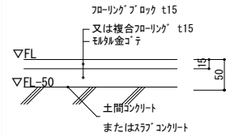
天井開口補強部分

A1:1/10、20　A3：1/20、40



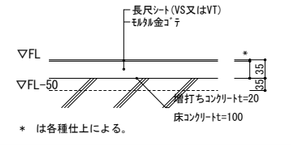
改修床（ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ）詳細図

A1:1/5　A3：1/10



改修床（長尺ﾋﾞﾆﾙ系ｼｰﾄ）詳細図

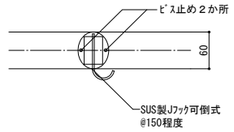
A1:1/5　A3：1/10



＊　は各種仕上による。

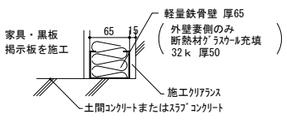
教室内　Ｊﾌｯｸ取付詳細図

A1:1/5　A3：1/10



各教室 正面壁、背面壁軽量下地 詳細図

A1:1/5　A3：1/10



株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５-３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

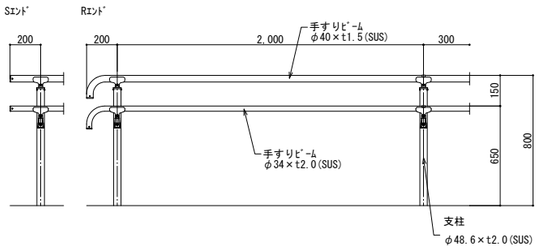
設　計

整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/5・10・20・30 A3 1/10・20・40・60	部分詳細図（2）	A — 91

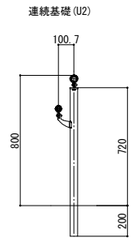
外部ｽﾛｰﾌﾟ　SUS製2段手摺詳細図　　A1:1/5、1/20　A3：1/10、1/40

SUS製手すり ﾄｯﾌﾟ2段 φ40+φ34			
部材	ｻｲｽﾞ	材質	表面処理
支柱	φ48.6×t2.0	SUS SUS304	ﾊﾞﾌ研磨 #400
上段手すりﾋﾞｰﾑ	φ40×t1.5		
下段手すりﾋﾞｰﾑ	φ34×t2.0		
ﾌﾞﾗｹｯﾄ類	-	SUS鋳物 SCS13	電解研磨
Sｴﾝﾄﾞｷｬｯﾌﾟ	-	ｱﾙﾐ合金鋳物 AC4C	焼付塗装（ｼﾙﾊﾞｰ）
ﾋﾞｰﾑｶﾊﾞｰ	-	AAS樹脂	

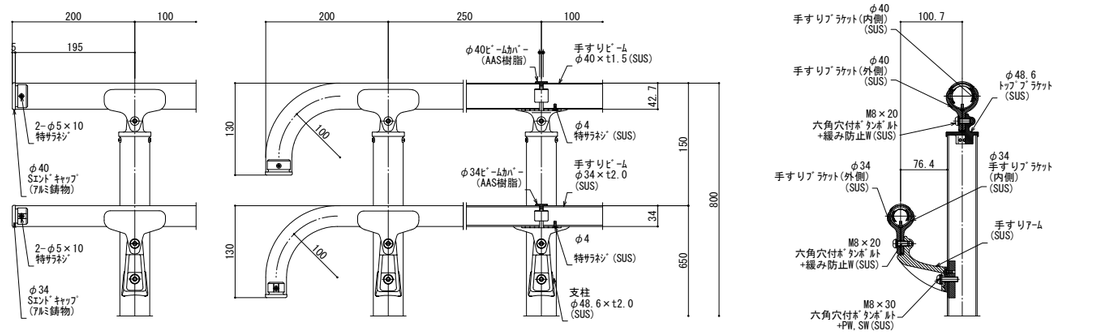
正面図 S=1:20



側面図 S=1:20

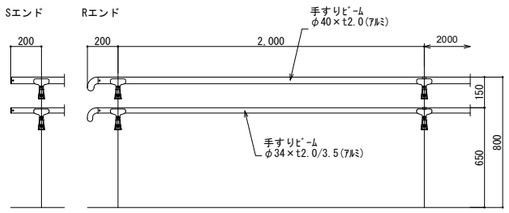


一般部 組付詳細図 S=1:5

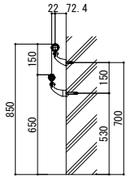


階段室　壁付2段樹脂被膜手摺詳細図　　A1:1/5、1/20　A3：1/10、1/40

正面図 S=1:20

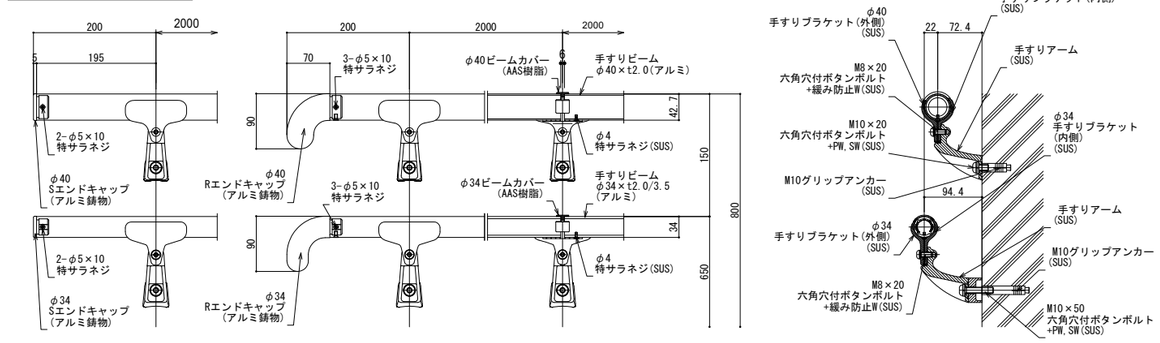


側面図 S=1:20



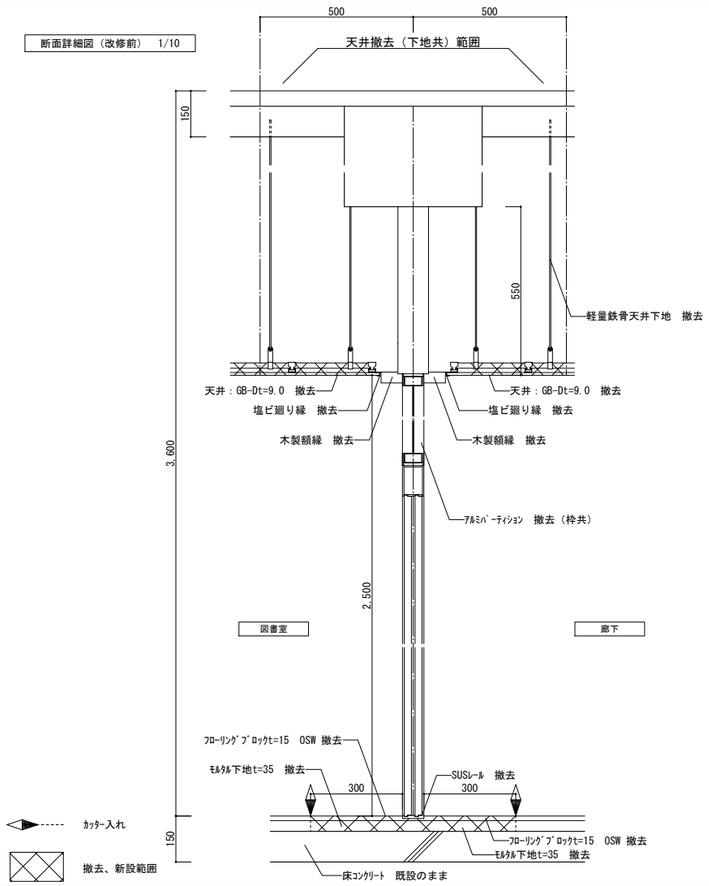
ｱﾙﾐ製手すり ｻﾝﾘｰﾄﾞA 壁付2段 φ40+φ34			
部材	ｻｲｽﾞ	材質	表面処理
上段手すりﾋﾞｰﾑ	φ40×t2.0	ｱﾙﾐ合金押出形材 A6005CS-T5	陽極酸化塗装複合被膜 （ﾋﾞﾀｰﾌﾞﾗｳﾝ、ﾌﾞﾛﾝｽﾞ、ﾌｧｲﾝｼﾙﾊﾞｰ）
下段手すりﾋﾞｰﾑ	φ34×t2.0/3.5		
ﾌﾞﾗｹｯﾄ類	-	ｽﾃﾝﾚｽ鋳物 SCS13	ﾋﾞﾀｰﾌﾞﾗｳﾝ色：焼付塗装（ﾋﾞﾀｰﾌﾞﾗｳﾝ） ﾌﾞﾛﾝｽﾞ色：焼付塗装（ﾋﾞﾀｰﾌﾞﾗｳﾝ） ﾌｧｲﾝｼﾙﾊﾞｰ色：電解研磨
Sｴﾝﾄﾞｷｬｯﾌﾟ Rｴﾝﾄﾞｷｬｯﾌﾟ	-	ｱﾙﾐ合金鋳物 AC4C	ﾋﾞﾀｰﾌﾞﾗｳﾝ色：焼付塗装（ﾋﾞﾀｰﾌﾞﾗｳﾝ） ﾌﾞﾛﾝｽﾞ色：焼付塗装（ﾋﾞﾀｰﾌﾞﾗｳﾝ） ﾌｧｲﾝｼﾙﾊﾞｰ色：焼付塗装（ｼﾙﾊﾞｰ）
ビームカバー	-	AAS樹脂	

一般部 組付詳細図 S=1:5

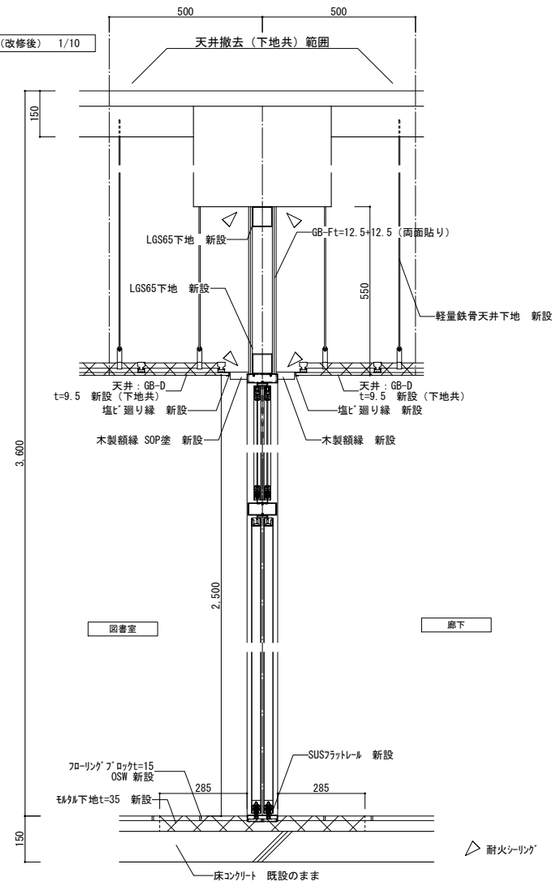


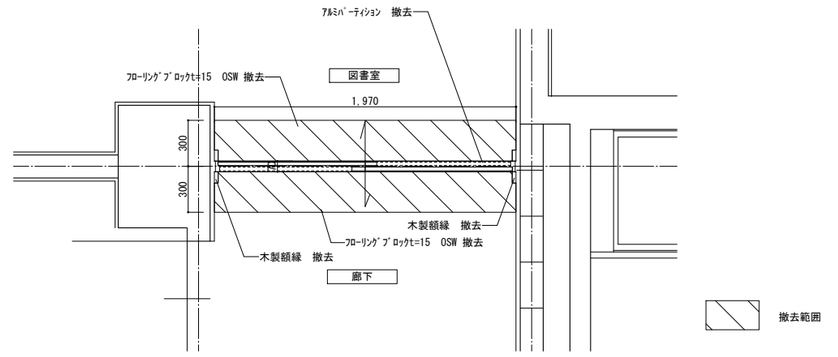
114条区画　間仕切り詳細図　　A1:1/10、1/20　A3：1/20、1/40

断面詳細図（改修前）　1/10

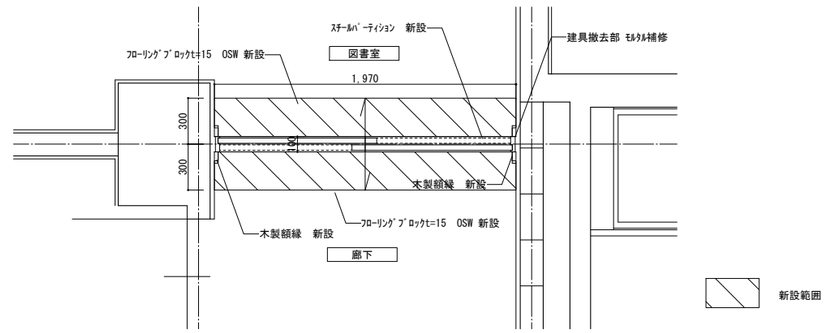


断面詳細図（改修後）　1/10





平面詳細図（改修前）　1/20



平面詳細図（改修後）　1/20

・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５－３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

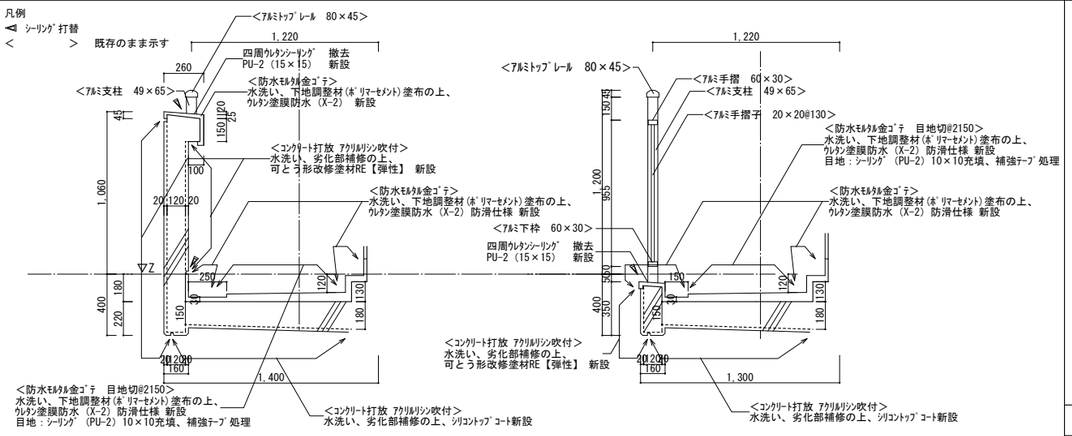
設　計

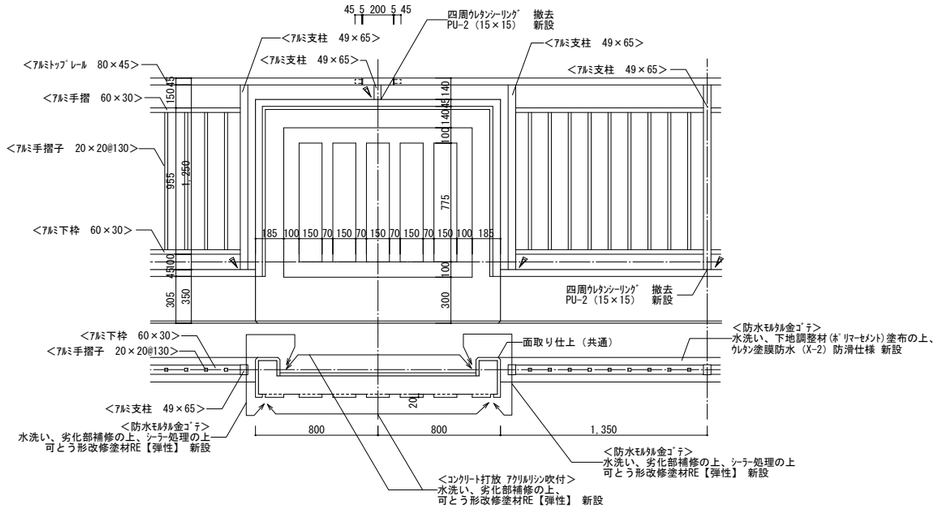
整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/5・10・20 A3 1/10・20・40	部分詳細図（3）	A — 92

ﾊﾞﾙｺﾆｰ防水詳細図 1/10

A1:1/20 A3 : 1/40

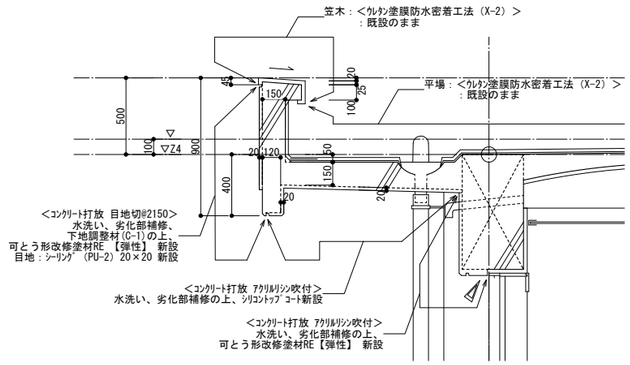
凡例
◁ ｼｰﾘﾝｸﾞ打替
< > 既存のまま示す





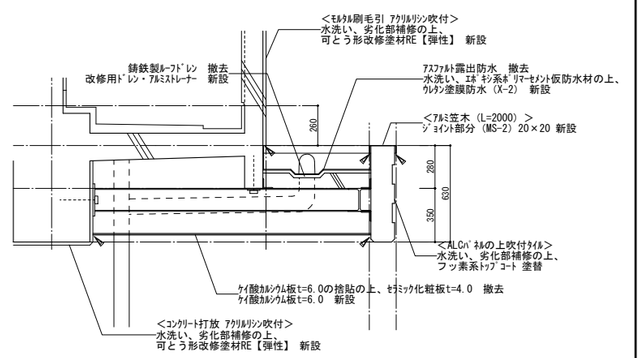
屋上ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ廻り防水詳細図

A1:1/20 A3 : 1/40



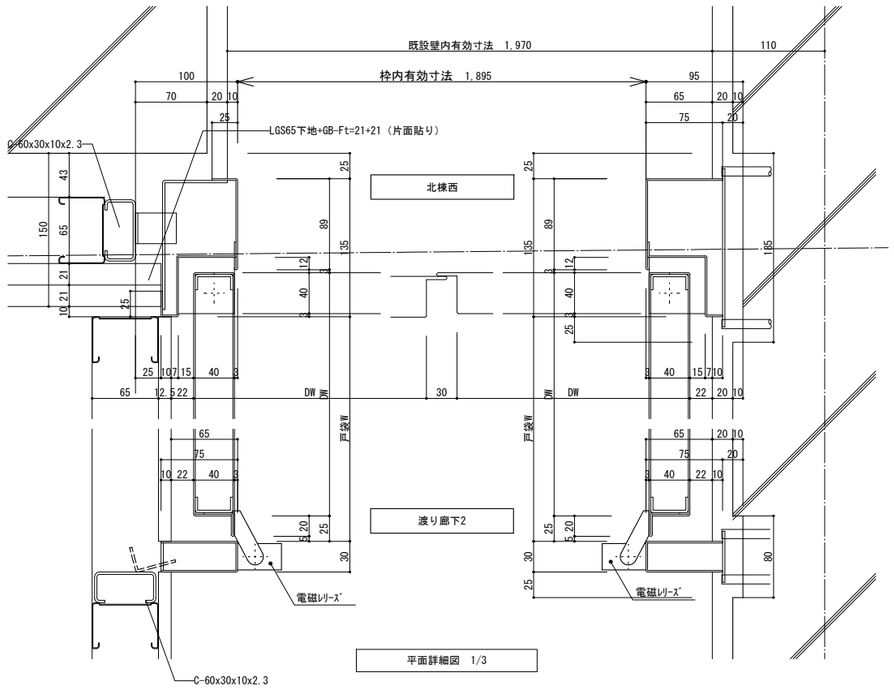
図書館庇防水詳細図

A1:1/20 A3 : 1/40

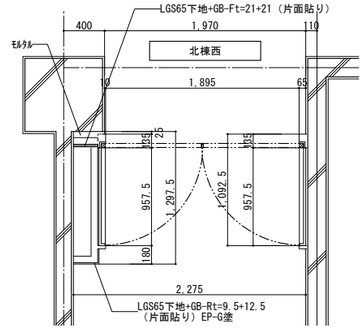


防火扉 新設（参考）詳細図

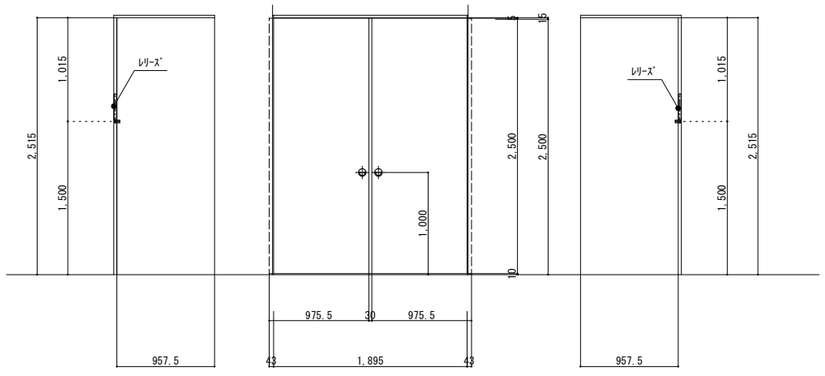
A1:1/20 A3 : 1/40



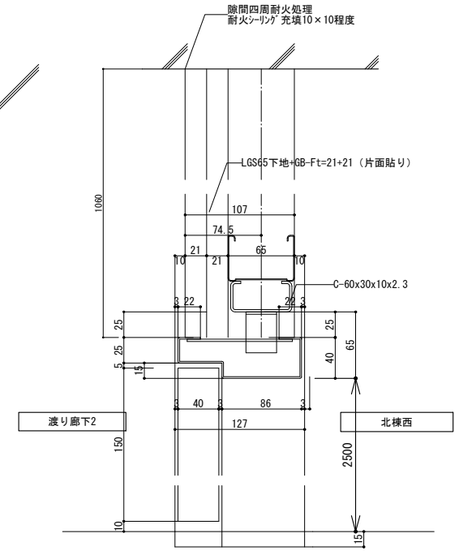
平面詳細図 1/3



平面図 1/30



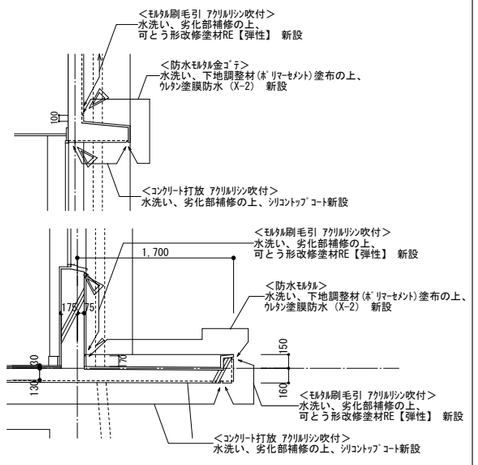
姿図 1/30



断面詳細図 1/3

渡り廊下1・2庇防水詳細図

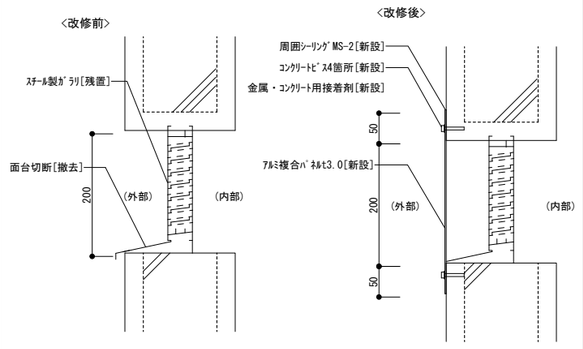
A1:1/20 A3 : 1/40



換気ﾚｼﾞｽﾀｰ詳細図(外部)

A1:1/10 A3 : 1/20

ﾌﾟﾚｰﾄ塞ぎ



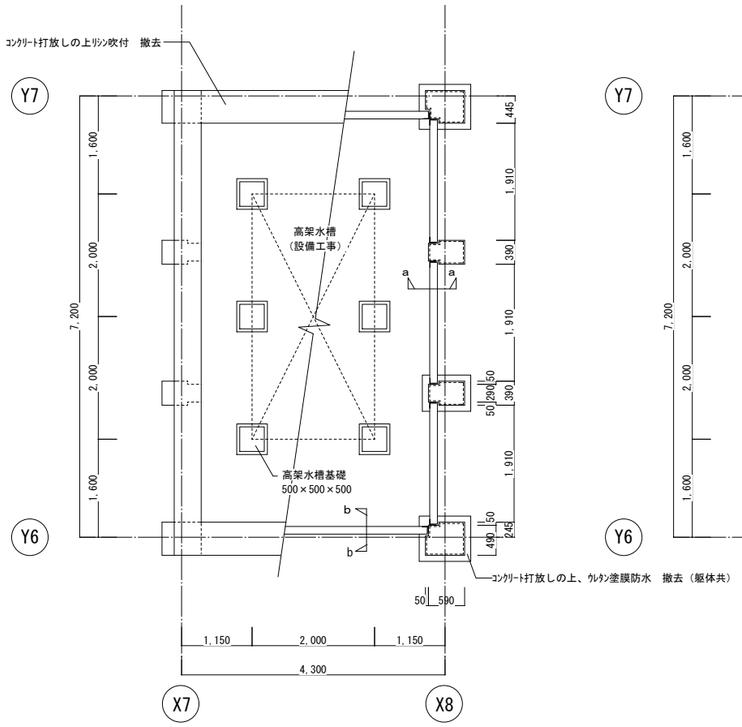
※内部は別図参照
※撤去数も下記のとおりとする。

階数	北棟	南棟
1階	8	18
2階	12	18
3階	13	18
4階	13	

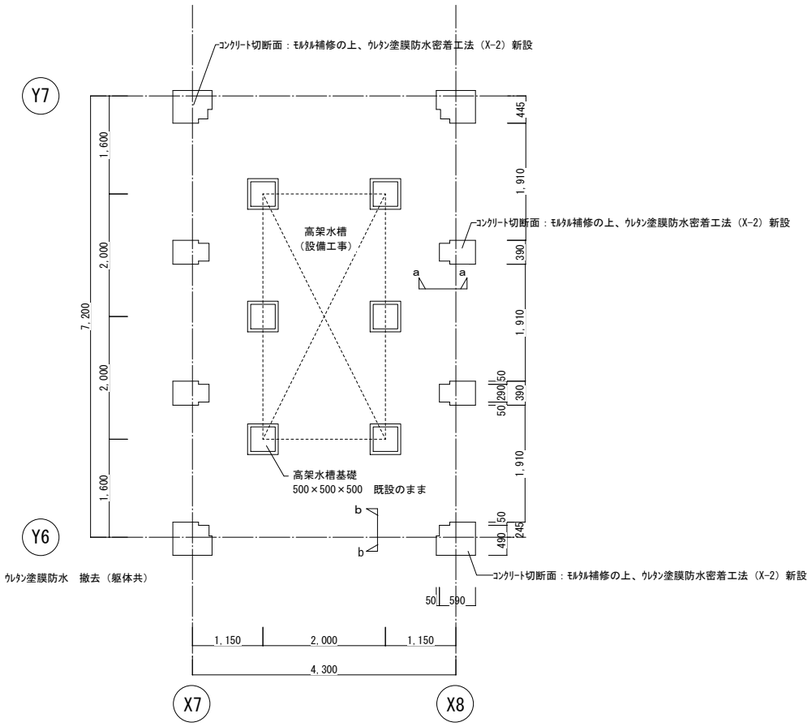
株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和1丁目15-30 TEL(052)618-8211 FAX(052)618-8210
管理建築士・管理技術者 一級建築士 第 202334 号 早瀬 貴次

設 計

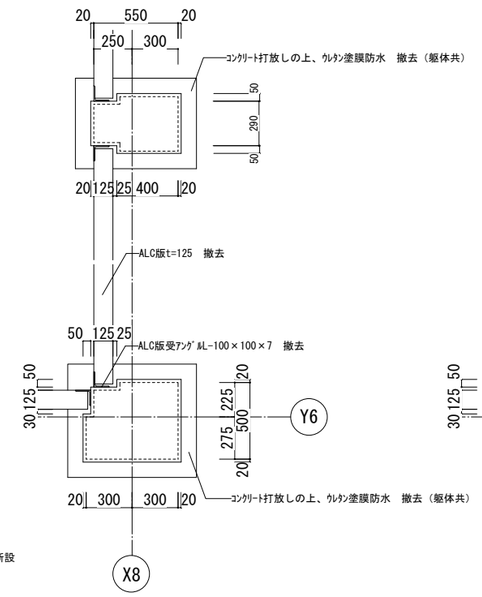
整理番号	縮 尺	今池小学校校舎改修第1期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/10・20 A3 1/20・40	部分詳細図 (4)	A — 93



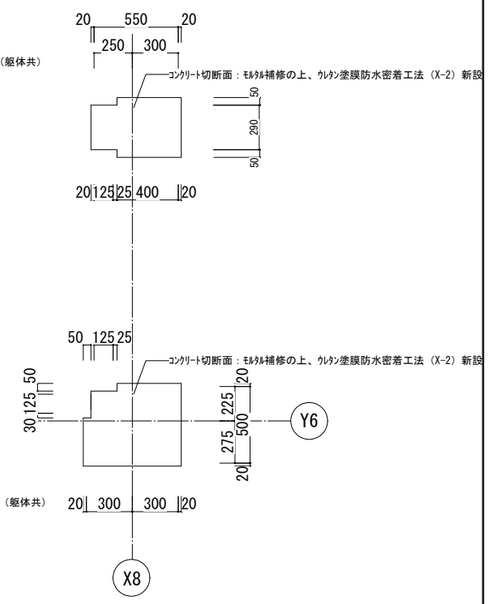
高架水槽目隠し平面詳細図（改修前）　1/50



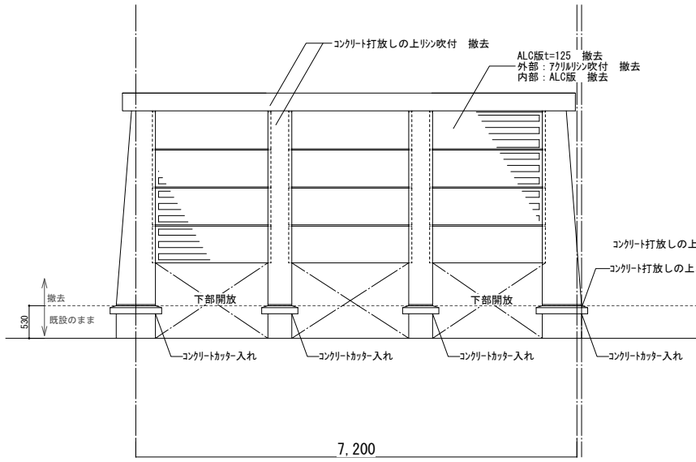
高架水槽目隠し平面詳細図（改修後）　1/50



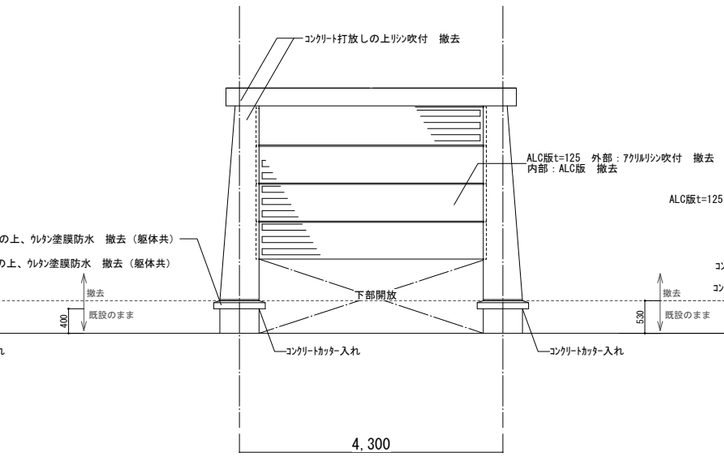
ALC 接合部（改修前）　1/20

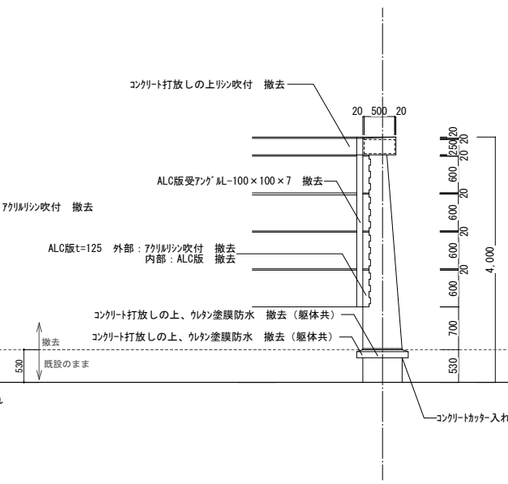


ALC 接合部（改修後）　1/20

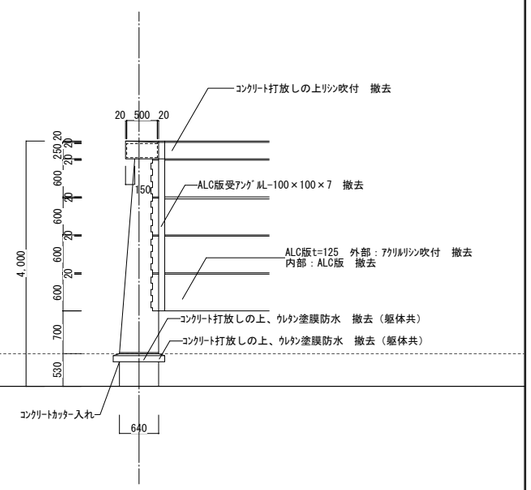


姿図（改修前）　1/50

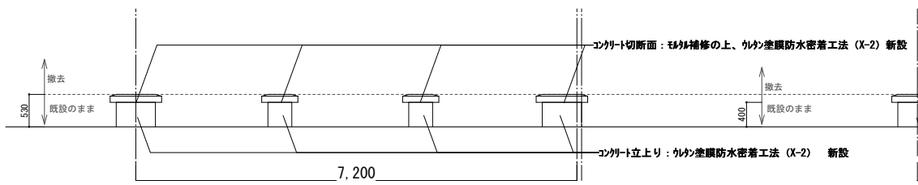




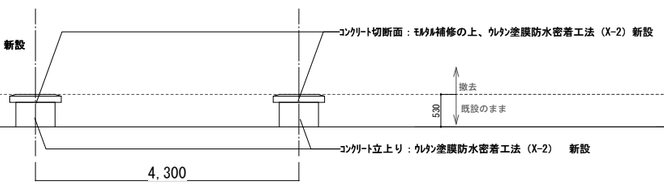
a-a　断面図（改修前）　1/50

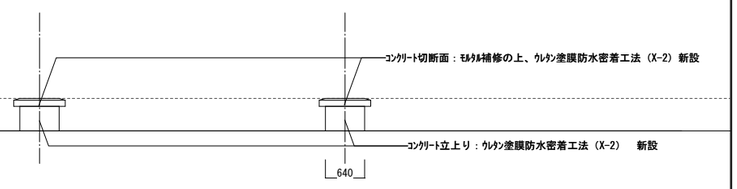


b-b　断面図（改修前）　1/50



姿図（改修後）　1/50





a-a　断面図（改修後）　1/50

b-b　断面図（改修後）　1/50

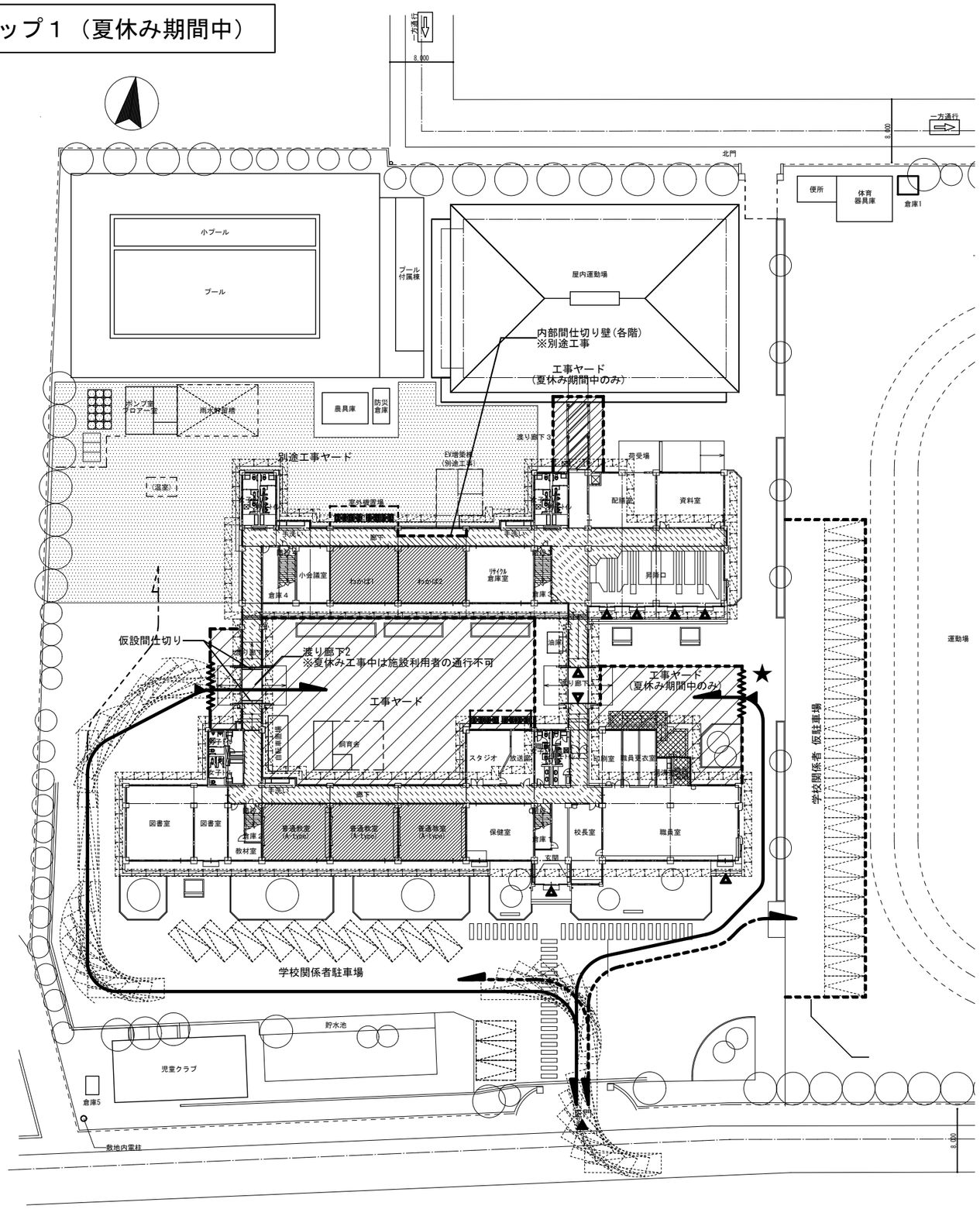
・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５－３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

設　計

整理番号	縮　尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/50 A3 1/100	高置水槽廻り詳細図	A — 94

ステップ１（夏休み期間中）



凡　例			
	工事ヤード範囲を示す		工事車両出入口　を示す
	EV増築工事ヤード（別途工事）範囲を示す		施設利用者出入口　を示す
			工事車両動線を示す
			学校関係者、施設利用者車両動線 を示す
	仮囲い　を示す ﾊﾟﾈﾙﾌｪﾝｽ H1800 全面ﾒｯｼｭｼｰﾄ+巾木板		別途工事の工事車両動線を示す
	キャスターゲート　を示す		
	A型ﾊﾞﾘｹｰﾄﾞまたは ｺｰﾝ掛け を示す		職員玄関 段差解消(スロープ共) 工事範囲 を示す
★	交通誘導員 配置位置を示す		廊下・階段改修 工事範囲 を示す
			教室改修 工事範囲 を示す
			渡り廊下3改修 工事範囲 を示す

※工事中の学校関係者および施設利用者への安全対策は十分に注意すること。

※工事中の臭い、材料の飛散、騒音等には特に留意して養生を行うこと。

※下記の概略工程表に示す☆印の工事内容は、夏休み期間中に工事を実施し、８月３１日までに検査・手直し完了とし、９月１日以降より使用可能とすること。

※事前に学校行事の日程を確認し、休工もしくは作業を控える日時を学校関係者及び監督員と十分に協議をし決定すること。

※登校時間の現場出入りは避けること。やむを得ず登下校及び出退勤となる時間帯においては、工事車両の出入りや工事関係者の往来は注意を払い安全確保に務めること。

※仮設計画については、利用者の動線を確保し事前に監督員・学校との協議を十分に行うこと。

※施工上支障のある仮囲い内の学校施設器具等は移設し、工事終了後に復旧すること。　なお、ＡＥＤ・郵便受については施設利用者が使用可能なように対応すること。

※仮囲いに支障となる樹木がある場合は、学校に確認の上、工事に必要な範囲内で枝払い等をすること。

※場内に既設架空線がある場合には、注意して作業すること。

※大型車両等の搬出入時は、交通誘導員を配置する等として安全には十分注意すること。

※場内の砂・土・舗装等は現況復旧とすること。

※室内換気の為、南面と北面の同時施工を行わないよう工程を計画すること。なお、施工外の範囲は養生シートを撤去すること。

※建物内部から外部足場への侵入について対策を行うこと。（養生シート張りなど）

※仮設間仕切は軽量鉄骨(LGS65)壁下地石膏ボードt9.5＋フィルムシートt0.15＋目張りテープ、扉１ヶ所鍵付(アルミ既製品)とする。

※工事範囲外の部屋は工事期間内も使用する為、機器及び配管配線撤去の際には事前に既設配線ルート等の調査を行い、工事範囲外の部屋の設備機器への影響の有無を確認すること。影響が有る場合は監督員と協議の上、迂回、仮設の準備等の必要と思われる措置を行うこと。

※断水、停電等は学校運営に支障ならないように学校関係者および監督員と十分に協議をすること。

※渡り廊下の段差解消工事、塗装工事については、夏休み期間中の工事とし、夏休み後より使用できるようにすること。

※工事ヤード内に給食搬入口があるため、搬出入の際に工事車両の出入りを行わない等の給食搬出入作業に影響がないよう事前に学校関係者及び監督員と十分に調整を行うこと。

※工事期間中は同時に、EV棟増築工事（別途工事）が行われているため、お互いの作業に影響がある場合には十分に調整を行うこと。

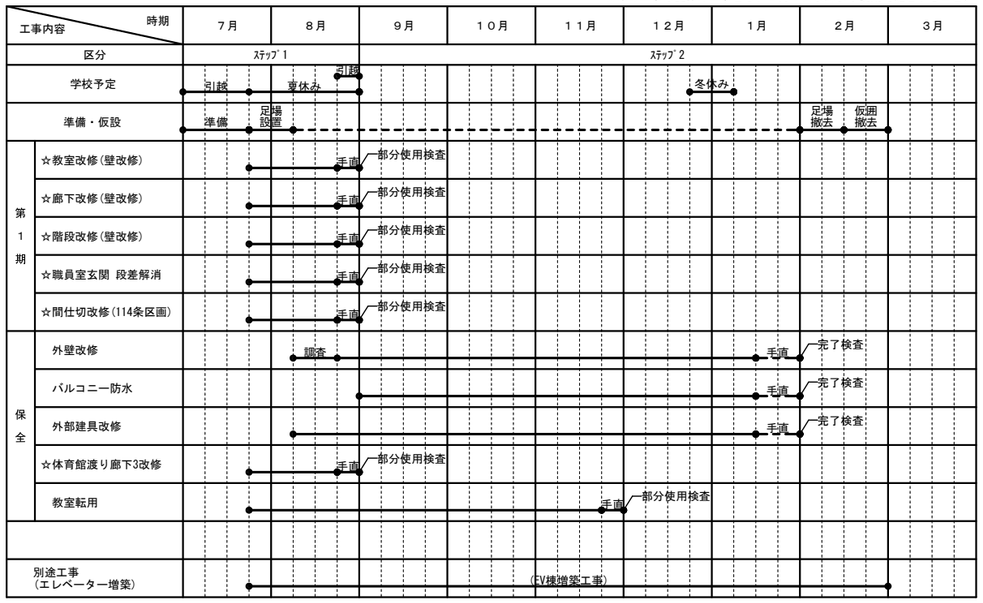
※学校の完全休校日は、8/12～8/15とする。

※グラウンド、体育館の施設開放有り。

※騒音禁止日は下記の通りとする。
6/18PM(一斉研修会)、7/17（終業式）、9/1（始業式）、10/21 PM(就学時健康診断)、11/5（授業参観）、12/8～11 PM（個別懇談会）
12/16 AM(芸術鑑賞会)、12/23（終業式）、1/7（始業式）、1/27（入学説明会）、2/26 PM（６年生を送る会）

※下記の日程については作業場所、時間等を学校と協議のうえ施工すること。
5/13（体力テスト（運動場・体育館））、9/9(避難訓練)、10/23＊(運動会)、11/25＊（長距離走大会）、12/3(餅つきの会（体育館））
2/5 AM(子ども学ぼう会）PM（感謝の会）　＊運動会及び長距離走大会の日については運動場の仮囲いを一時撤去すること。

☆印の工事は夏休み工事とし、９月１日以降より使用可能とすること。



株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５-３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貫次

設　計

整理番号

年　月　日

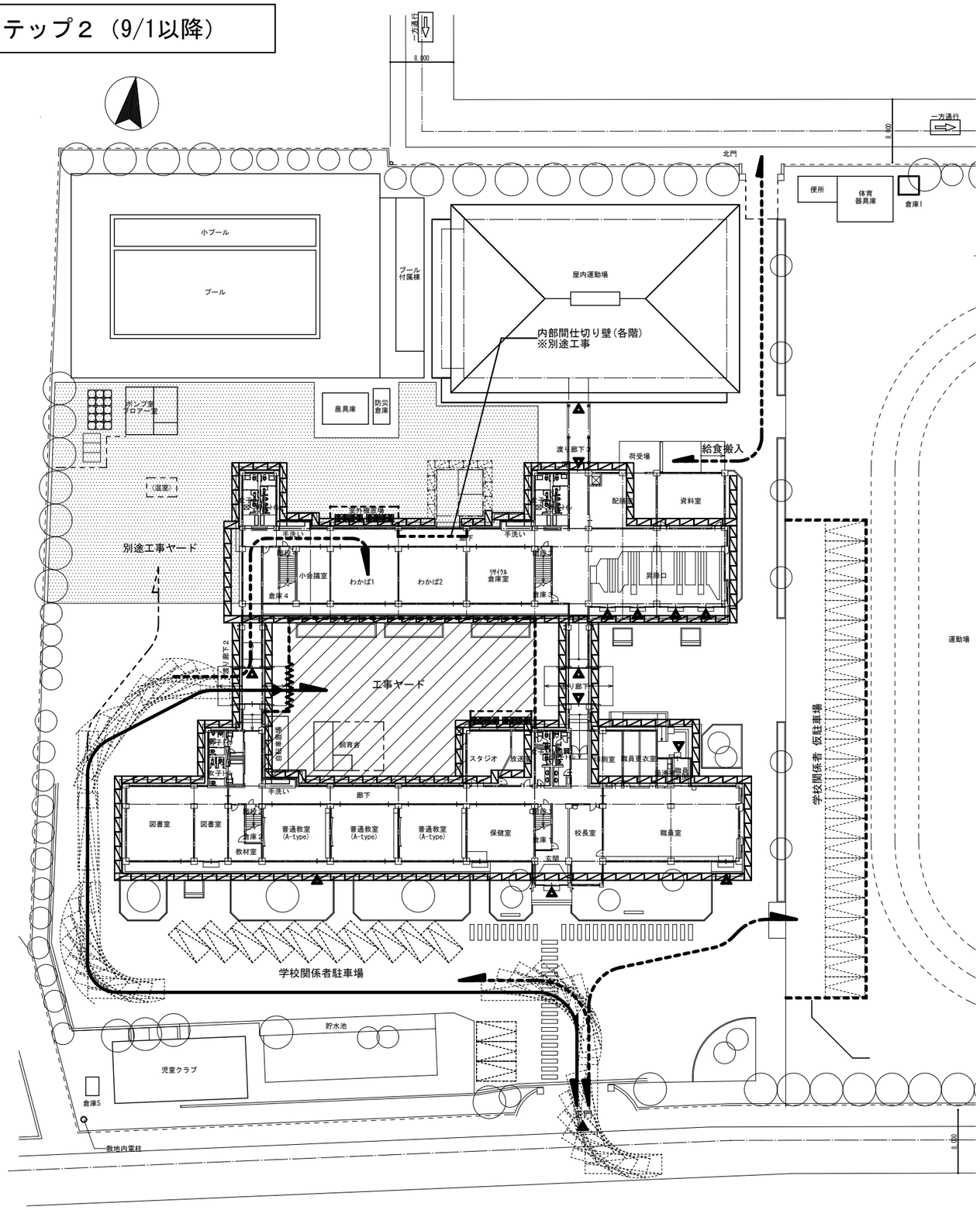
縮　尺　A1 1/300　A3 1/600

今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事

仮設計画図(1)・概略工程表

NO. A — 95

ステップ２（9/1以降）



凡 例			
	工事ヤード範囲を示す	▼	工事車両出入口 を示す
	EV増築工事ヤード（別途工事）範囲を示す	▼	施設利用者出入口 を示す
			工事車両動線を示す
			学校関係者、施設利用者車両動線 を示す
	仮囲い を示す ﾊﾟﾈﾙﾌｪﾝｽ H1800 全面ﾒｯｼｭｼｰﾄ+巾木板		別途工事の工事車両動線を示す
	キャスターゲート を示す		
★	交通誘導員 配置位置を示す		
	外部足場 を示す		
	外部足場(別途工事) を示す		

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５－３０ ＴＥＬ(052)618-8211 ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者 一級建築士 第 202334 号 早瀬 貴次

設 計

整理番号

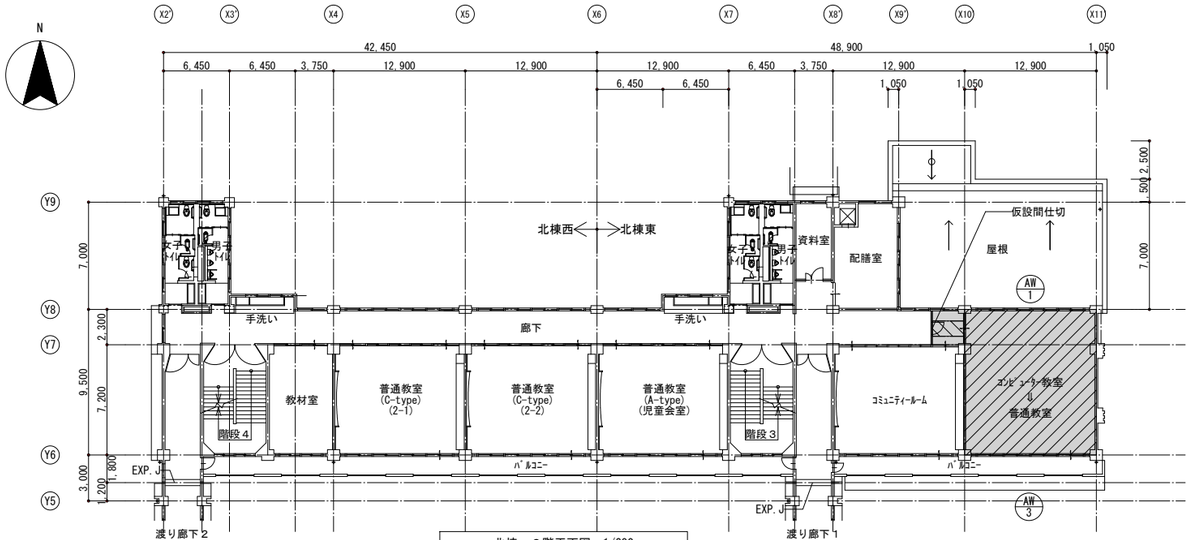
年 月 日

縮 尺 A1 1/300 A3 1/600

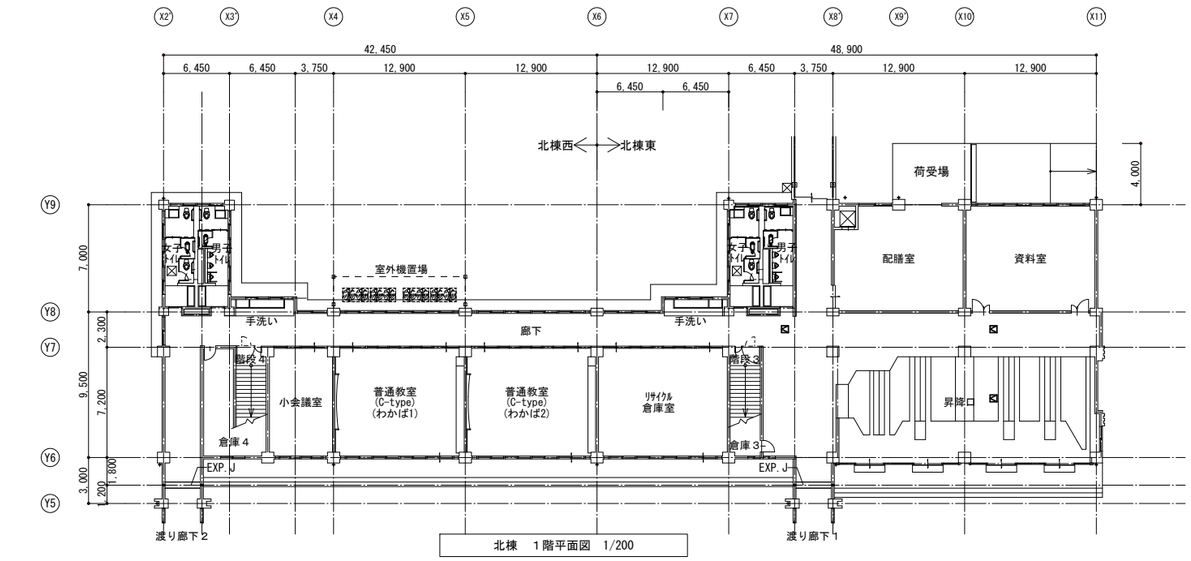
今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事

仮設計画図(2)

NO. A — 96

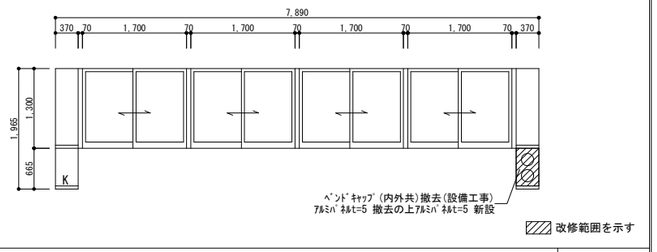


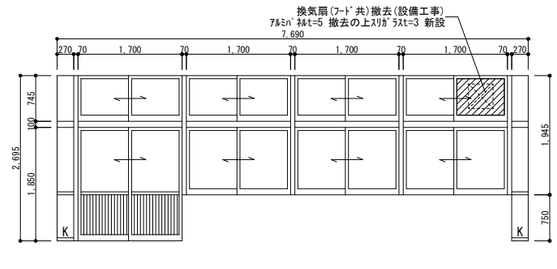
北棟　２階平面図　1/200



北棟　１階平面図　1/200

改修　凡例	
	教室転用する室を示す
	GB-Dt=9.0撤去の上450角点検口新設 (1階：3か所)
	改修建具を示す
	工事区画を示す (工事期間中施設利用不可)

符号・室名・数量	AW 1　北棟東 2階 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰ教室	1
姿　図		
形式・見込寸法	4連引違いｱﾙﾐ窓(両側FIX付)	70
仕　上	ｱﾙﾏｲﾄ	
ガ ラ ス	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0	
付属金物	付属金物一式	
改修内容	ﾍﾞﾝﾄﾞｷｬｯﾌﾟ(内外共)撤去(設備工事) ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=5 撤去の上ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=5 新設	

符号・室名・数量	AW 3　北棟東 2階 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰ教室	1
姿　図		
形式・見込寸法	3連2段引違いｱﾙﾐ窓付引違いｱﾙﾐﾄﾞｱ(両側FIX付)	70
仕　上	ｱﾙﾏｲﾄ	
ガ ラ ス	ﾄｰﾒｲｶﾞﾗｽt=3.0 ﾗﾝﾏ:ｽﾘｶﾞﾗｽt=3.0	
付属金物	付属金物一式	
改修内容	換気扇(ﾌｰﾄﾞ共)撤去(設備工事) ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt=5 撤去の上ｽﾘｶﾞﾗｽt=3 新設	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５－３０　ＴＥＬ(052)618-8211　ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者　一級建築士 第 202334 号　早瀬　貴次

設　計

整理番号

年 月 日

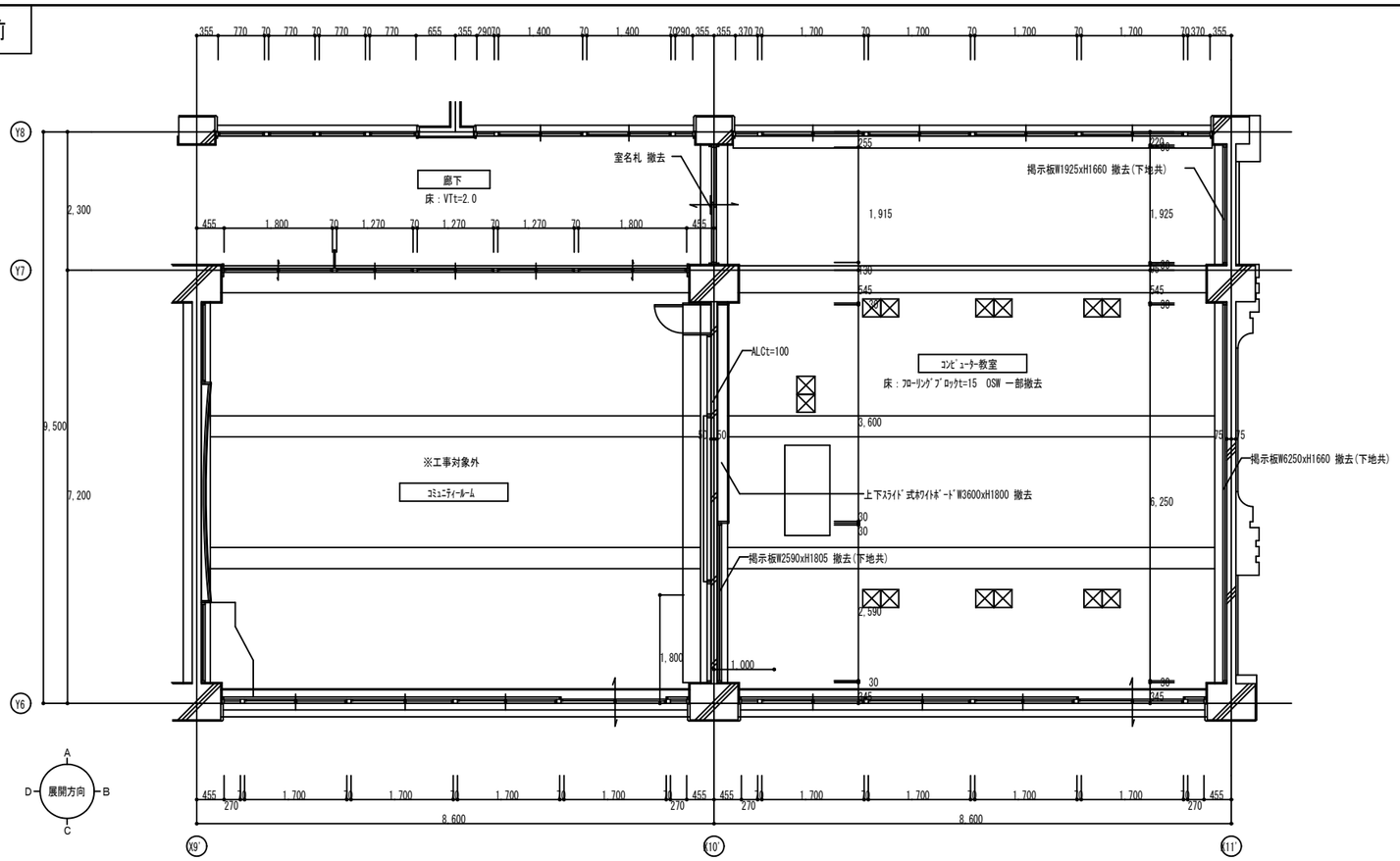
縮　尺
A1 1/50、200
A3 1/100、400

今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事

北棟　１・２階平面図、建具表

NO.
A — 97

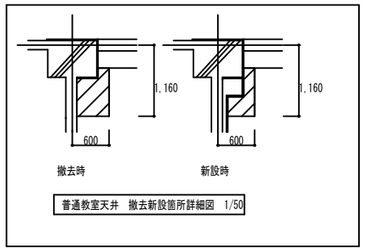
改修前



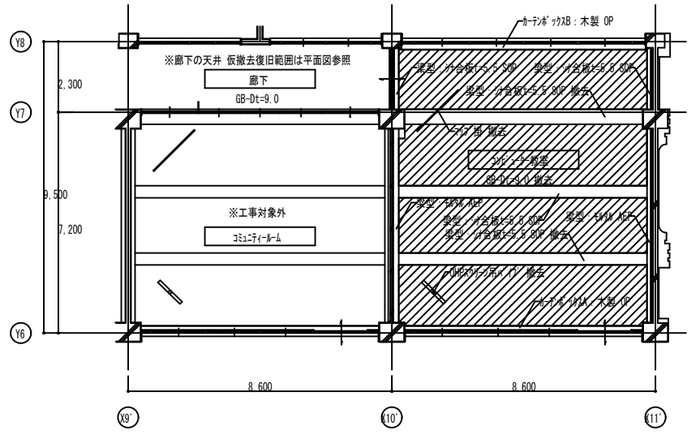
コンピューター教室、コミュニティールーム 平面詳細図(改修前) 1/50

仕上表（改修前）	
室名	コンピューター教室
床	フローリングブロックt=15 OSW 一部撤去
巾木	木製 H=100 OP
壁	モルタル金コテ AEP
柱型	モルタル金コテ AEP
梁型	シナ合板t=5.5 SOP、モルタル AEP
天井	GB-Dt=9.0 撤去(仕上のみ)
備考	撤去：上下式ホワイトボード、掲示板、室名札

改修前 凡例	
	撤去範囲を示す
	床コンセント撤去 5箇所(電気工事) フローリング ブロックt15 撤去 2枚程度/箇所



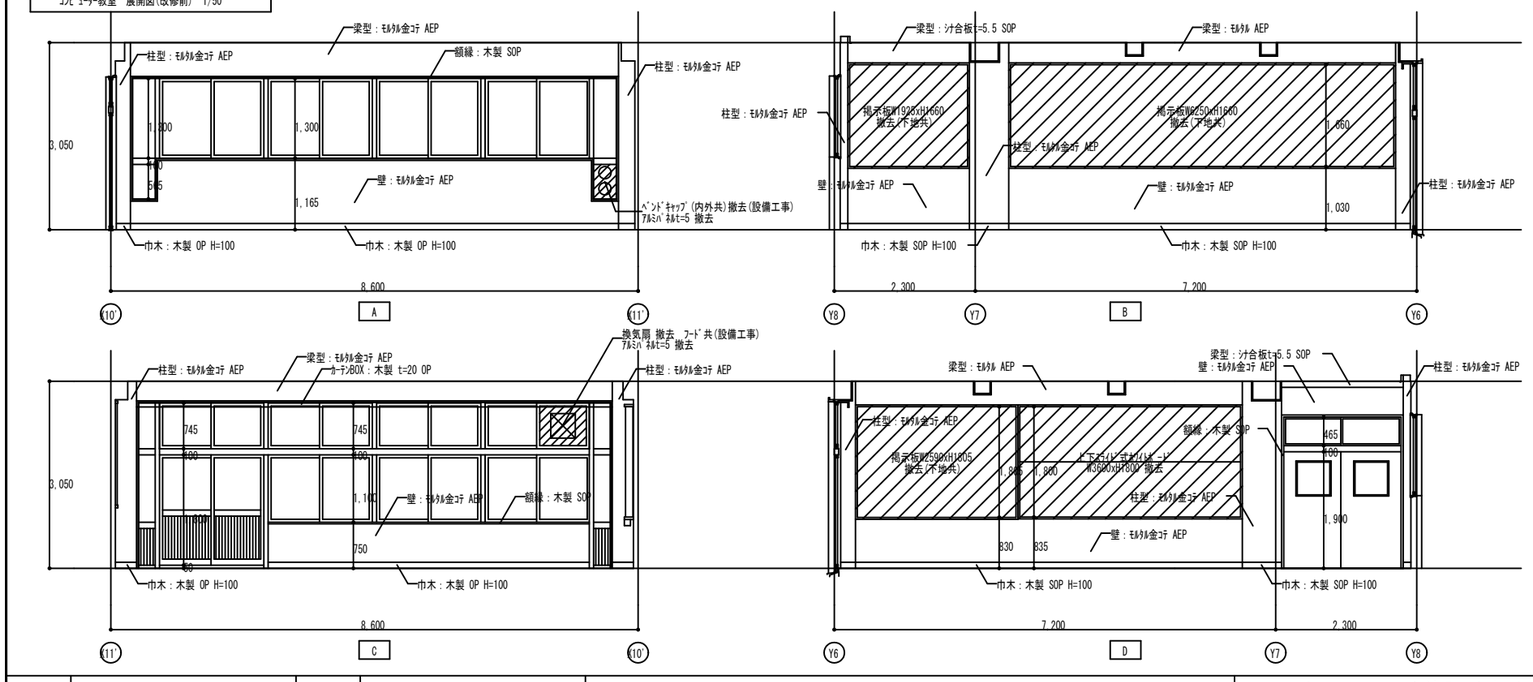
普通教室天井 撤去新設箇所詳細図 1/50



コンピューター教室、コミュニティールーム 天井伏図(改修前) 1/100

※廊下の天井改修範囲は平面図による

コンピューター教室 展開図(改修前) 1/50



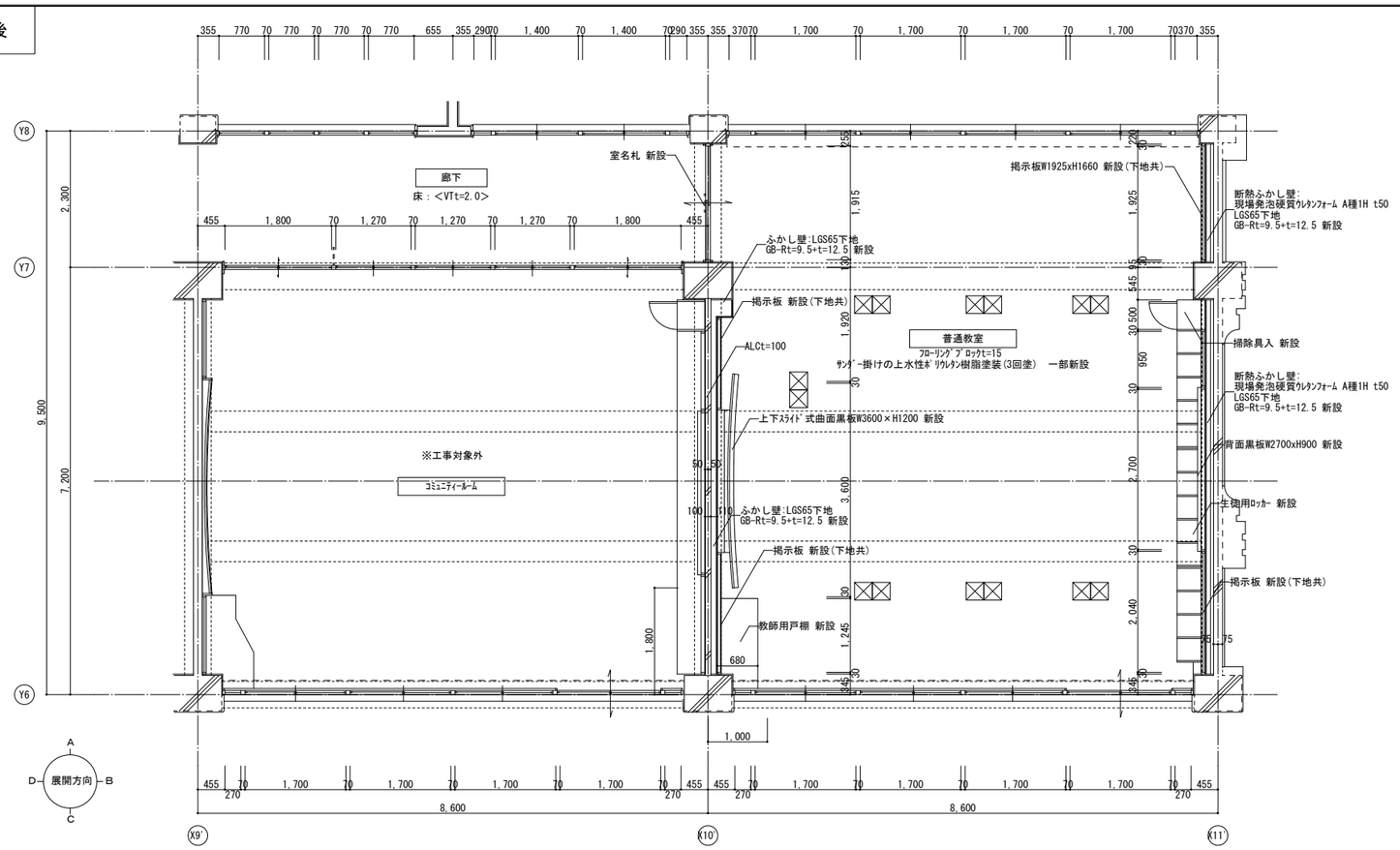
・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和1丁目15-30 TEL(052)618-8211 FAX(052)618-8210
管理建築士・管理技術者 一級建築士 第 202334 号 早瀬 貴次

設 計

整理番号	縮 尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/50,100 A3 1/100,200	コンピューター教室 詳細図(改修前)	A — 98

改修後

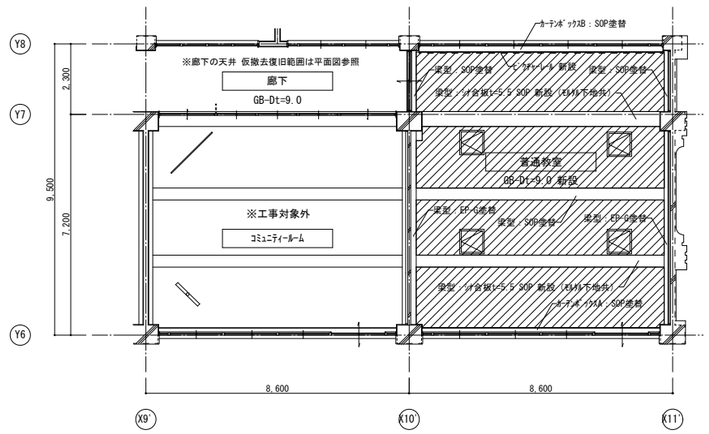


普通教室、ｺﾐｭﾆﾃｨｰﾙｰﾑ 平面詳細図(改修後) 1/50

仕上表（改修後）	
室名	普通教室
床	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸt=15 ｻﾝﾀﾞｰ掛けの上、水性ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ樹脂塗装(3回塗) 一部新設
巾木	杉板 WP 新設
壁	杉羽目板t=12 WP 新設
柱型	EP-G塗替
梁型	SOP塗替、EP-G塗替
天井	GB-Dt=9.5 新設(仕上のみ)
備考	新設：上下ｽﾗｲﾄﾞ式曲面黒板、背面黒板、掲示板、室名札、教師用戸棚、掃除具入、生徒用ﾛｯｶｰ

改修後 凡例	
	新設範囲を示す
	LGS65壁下地新設範囲を示す
	床ｺﾝｾﾝﾄ撤去部 5箇所 ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸt15 新設 2枚程度/箇所
< >	既存のままを示す
	天井点検口新設を示す

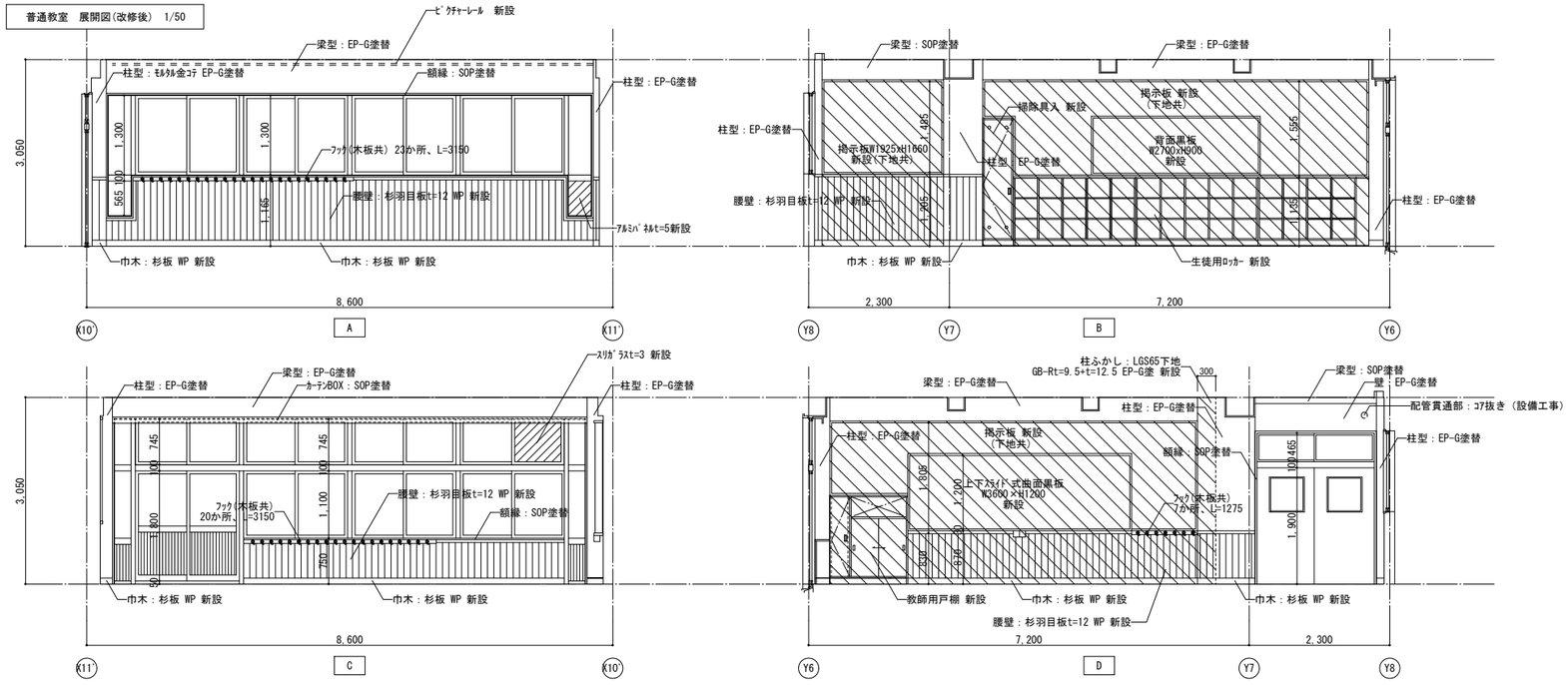
※ｶｰﾃﾝ、暗幕は 一時撤去再取付とする。
※建具額縁、木額縁はSOP塗替とする。
※ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗装（WP）は、大谷塗料 水性VATONﾌﾟﾗｽ同等品とする。
※ｶｰﾃﾝBOX内部は塗替えを行わない。



普通教室、ｺﾐｭﾆﾃｨｰﾙｰﾑ 天井伏図(改修後) 1/100

※廊下の天井改修範囲は平面図による

普通教室 展開図(改修後) 1/50



株式会社 市川三千男建築設計事務所
ICHIKAWA MICHIO ARCHITECTS
名古屋市中区平和１丁目１５－３０ ＴＥＬ(052)618-8211 ＦＡＸ(052)618-8210
管理建築士・管理技術者 一級建築士 第 202334 号 早瀬 貴次

設 計

整理番号	縮 尺	今池小学校校舎改修第１期及び保全主体工事	NO.
年 月 日	A1 1/50,100 A3 1/100,200	普通教室詳細図(改修後)	A — 99